100年後に残る、工藝のために

# 21世紀鷹峯フォーラム

第二回

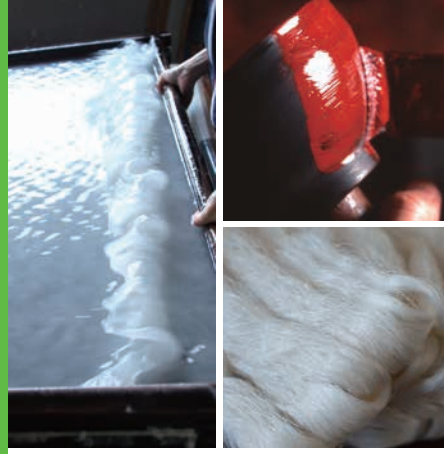
## 東京 Tokyo ガイドブック

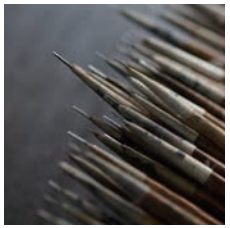
——工芸を体感する100日間

2016年10月22日(土)——2017年1月29日(日)

21st Century Takagamine Forum in Tokyo
"100 Days of *Kogei*" Guidebook

100の連携、300におよぶ工芸イベントを網羅 工芸で東京を歩こう!



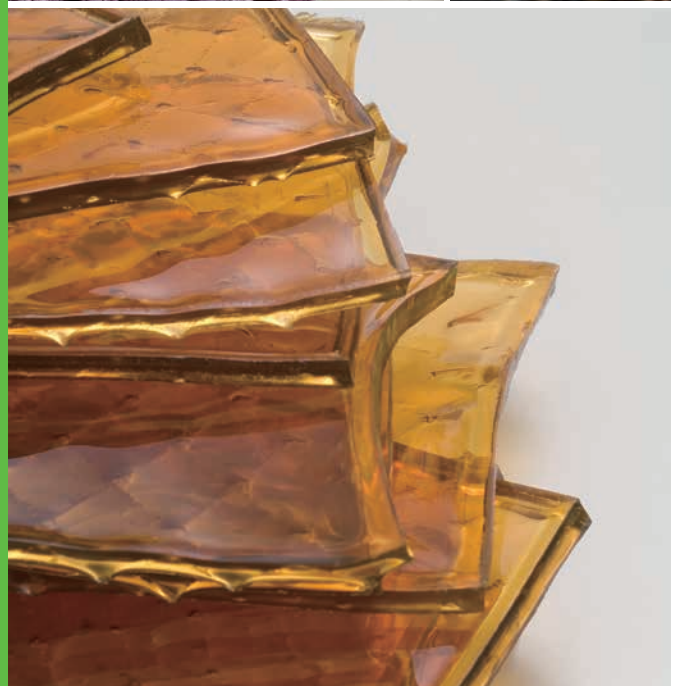


21世紀鷹峯フォーラム

# 東京 Tokyo

## 工芸を体感する100日間

21st Century Takagamine Forum in Tokyo "100 Days of *Kogei*"



表紙＝『北斎漫画』より

この100日間、日本の工芸に触れてみませんか

Special 100days to immerse yourself in *Kogei*（Japanese crafts）!

写真＝大川裕弘（P.1, 2, 3）

# 100年後（のち）に残る、工芸のために

## Toward the Next 100 Years of *Kogei*

よいものをよいと評価し使う、鑑賞者と使い手。
高い志をもったつくり手。良質な素材と道具が確保できる環境。
作品の質を前向きに高めていく市場。
100 年後の工芸のために、いま私たちができることを考え、
一つずつ行動し新たな動きをつくっていきます。

People who appreciate and enjoy using the finely-made items.
Makers with high ambitions.
Environment that can provide high-quality materials and tools.
Market that elevates the quality of works.
Our aim is to think about Kogei in the next 100 years,
discuss what we can do today, and take the first step.

# 概要

## 21世紀鷹峯フォーラム in 東京 「工芸を体感する100日間」

開催期間 —— 2016年10月22日(土)～2017年1月29日(日)

会場 ——東京都内全域

主催 —— 100年後の工芸のために普及啓発実行委員会
(女子美術大学美術館　東京国立博物館　東京文化財研究所　東京国立近代美術館
東京藝術大学　東京藝術大学大学美術館　東京都江戸東京博物館　東京都庭園美術館　女子美術大学
多摩美術大学　多摩美術大学美術館　文化学園大学　文化学園服飾博物館　武蔵野美術大学
武蔵野美術大学美術館・図書館　一社)ザ・クリエイション・オブ・ジャパン(COJ))
オールジャパン工芸連携 京都／東京／金沢実行委員会

助成 —— 文化庁 平成28年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

後援 —— 経済産業省　東京都　京都府　石川県　東京商工会議所　公財)日本デザイン振興会　NHK
朝日新聞社　毎日新聞社　読売新聞社　日本経済新聞社　産経新聞社

協力 —— 森ビル(株)　東日本旅客鉄道(株)　三井不動産(株)　メイ・ウシヤマ学園

協賛 —— 大日本印刷(株)　(株)ピーエス　湖山医療福祉グループ　三菱地所(株)
サントリーホールディングス(株)　(株)八洋　島村楽器(株)

参加・協力機関 —— 麻布十番ギャラリー　足立区立郷土博物館　一財)池坊華道会　伊勢半本店紅ミュージアム
今右衛門東京店　(株)AGホールディングズ　エキシビジョン・スペースAPJ
江戸川区立篠崎子ども図書館　江戸下町伝統工芸館　小津和紙　(株)狩野グラス　紙の博物館
亀戸梅屋敷　画廊三渓洞　菊池寛実記念智美術館　ギャラリー桜の木銀座　ギャラリー田中
GALERIE AZUR　ギャルリ・ブス　銀座黒田陶苑　久米美術館
藝術学舎(京都造形芸術大学・東北芸術工科大学)
一社)芸術支援・地方創造機構・工芸とアートの金沢オークション実行委員会　現代陶芸寛土里
工芸むら田　国画会工芸部　国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
一社)国際工芸交流機構　国立科学博物館　国立新美術館　五島美術館　Komori & Murose
齋藤紫紅洞　SAVOIR VIVRE　茶道宗和流((株)HIECAL)　Salon de TiTi青山本店
澤乃井櫛かんざし美術館　三徳庵・大日本茶道学会　サントリー美術館　資生堂ギャラリー
渋谷区立松濤美術館　しぶや黒田陶苑　(株)島津製作所　NPO法人趣都金澤
新宿区染色協議会(お江戸新宿・紺屋めぐり)　新宿区立四谷図書館　瑞玉ギャラリー　すみだ3M運動
すみだ北斎美術館　静嘉堂文庫美術館　石洞美術館　世田谷美術館　泉屋博古館分館
(株)高島屋美術部　工匠館-たくみのやかた-　田島美術店AOYAMA　玉川大学教育博物館
玉川大学芸術学部　公財)たましん地域文化財団　t.gallery
一財)伝統的工芸品産業振興協会・伝統工芸青山スクエア「JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK2016」
東京おもちゃ美術館　東京クラフトマップ実行委員会　公財)東京都中小企業振興公社
東京都美術館　東京都江戸東京博物館　東京都庭園美術館　地独東京都立産業技術研究センター
東京美術倶楽部　東京文化財研究所　戸栗美術館　土鈴工房・鈴蔵　(株)ナカダイ　中長小西
公社)日本新工芸家連盟　公社)日本工芸会　公社)日本クラフトデザイン協会　公社)日展　日々
NPO法人日本伝統文化交流協会・つなぐ文化プロジェクト　日本陶芸倶楽部
日本橋とやま館(富山県商工労働部)　一社)日本文化伝統産業近代化促進協議会
日本貿易振興機構(JETRO)　日本民藝館　根津美術館　練馬区立美術館　白山陶器東京ショールーム
はせがわ銀座本店銀座ギャラリー　畠山記念館　パナソニック汐留ミュージアム　(株)HALI'S
ピーエス(株)　江東区深川江戸資料館　文京学院大学　文京区小石川図書館
平成記念美術館ギャラリー　町田市立博物館　松岡美術館　三井ゴールデン匠賞
三川内陶磁器工業協同組合　(株)三越伊勢丹　三菱一号館美術館　水戸忠交易
港区立高輪図書館分室　明治大学博物館　吉徳資料室　LIXILギャラリー　ほか

実行委員会 —— 会長　馬場章[女子美術大学美術館長]
副会長　林田英樹[一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン代表理事]



# ごあいさつ

## 工芸を次世代へつなぐきっかけに

この秋から冬にかけて、工芸を盛り上げていくアクション、21世紀鷹峯フォーラム in 東京「工芸を体感する100日間」を開催いたします。

21世紀鷹峯フォーラムは、垣根を越えて、100年後の工芸のために「いまやっておくべきことを考え行動しよう」という主旨のもとに始まりました。情報をつなぎ工芸を楽しむ人を増やそう、というものです。日本ではごく自然に工芸に囲まれて、使う生活を営んできました。天然の素材からつくられた、着物を羽織り、やきものや漆、ガラスの器で食事をし、金工の細工が施された道具を使う。しかし、私たちの環境は年々変わっています。若い人たちに限らず、あらゆる世代が改めて工芸に触れ、見直す機会となりますことを願っています。

今回の21世紀鷹峯フォーラム in 東京には100に及ぶ機関の参加があり、多様に広がる工芸の世界の魅力がここに示されました。展覧会はもちろん、つくることを楽しんだり、初めて触れる方々のための体験の機会が用意されています。身近な生活への提案もあり、購入する楽しみもその一つです。また専門性の高い研究会や講演会が開催され、明日を拓くための情報交換が行われます。

東京における工芸への関心の高まりは、日本各地のつくり手やつなぎ手、支える人びと、研究者にプラスの刺激となっていきます。そして若い世代が興味をもち未来の工芸のつくり手や使い手になっていく契機となるかもしれません。多くの方が工芸に触れる機会となるよう、身近な方をお誘いください。みなさまのご協力によって、さらに大きな輪となっていくことを願っています。

今回の開催に際しまして、文化庁の支援をいただき、また工芸の名のもとに、100以上の機関の参加、協力、協賛をいただきました。この場をお借りしまして、心よりの感謝を申し上げます。

100年後の工芸のために普及啓発実行委員会
(東京)会長／女子美術大学美術館 館長

馬場 章

## 京都、東京、金沢、オールジャパン、そして世界へ

21世紀鷹峯フォーラムは、第一回を京都で開催し、本年の東京、来年度は金沢へと会場を移していきます。昨年の京都における円卓会議では、工芸への思いをとりまとめ「京都提言」として発表しました。東京ではこの提言を引き継ぐ意味で、「よき使い手とよき鑑賞者を生みだす」「未来の工芸の使い手を育てる」取り組み、「よいものをつくり続けるため」の素材や道具の支援や研究会、「国内外の現代の生活の中に工芸が行き渡るため」のシンポジウムが大きな柱となっています。

日本の工芸は日常の暮らしのなかで使われながら進歩し、ときに旦那と呼ばれる人たちが高い品質のものを求められるなかで発展してきました。日本の工芸が100年後もこれまで同様に高い質を保ちつくり続けていくには、一人でも多くの方が関心をもち、さまざまな場面で使っていくことが大切ではないでしょうか。よき使い手と鑑賞者の存在が、つくり手にとってはよりよきものを生み出していく力となっていきます。

東京では連携の輪と工芸への関心の高まりが「オールジャパン」に拡がるきっかけになることを目指しています。来年の金沢ではさらに世界への発信をテーマに動き始めました。

工芸に触れ、みて、学び、使い楽しみながら、100年後の工芸のためにできることを考え、そしてアクションするこの活動に、ぜひご参加ください。

100年後の工芸のために普及啓発実行委員会
(東京)副会長／オールジャパン工芸連携
京都東京金沢実行委員会 委員長／一般社団法人
ザ・クリエイション・オブ・ジャパン 代表理事

林田英樹(元文化庁長官)

# 目次


004 —— 概要

005 —— ごあいさつ

008 —— 「21世紀鷹峯フォーラム」とは
円卓会議
こどもWSコレクション
絶滅危惧の素材と道具
つくるフォーラム
モリタテ！工芸塾

014 —— 東京工芸散歩「21世紀鷹峯フォーラム」の楽しみ方

020 —— 索引——会場名・主宰団体

022 —— 工芸イベントカレンダー

038 —— 工芸マップ東京


## イベント紹介


067 —— U 上野・隅田川・下町

東京国立博物館／東京藝術大学・東京藝術大学大学美術館／東京都江戸東京博物館／国立科学博物館／国画会工芸部／文京学院大学／一社）日本文化伝統産業近代化促進協議会／すみだ北斎美術館／吉徳これくしょん／江東区深川江戸資料館／台東区立江戸下町伝統工芸館／すみだ3M運動「小さな博物館」「工房ショップ」／足立区立郷土博物館／石洞美術館

089 —— R 六本木・渋谷・青山

東京都庭園美術館／東京美術倶楽部／菊池寛実記念智美術館／公社）日展／t.gallery／泉屋博古館分館／水戸忠交易／狩野グラススタジオ／藝術学舎（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学）／今右衛門東京店／伊勢半本店 紅ミュージアム／根津美術館／白山陶器東京ショールーム／（株）田島美術店AOYAMA／SALON de TiTi青山本店／日本陶芸倶楽部／公社）日本クラフトデザイン協会／しぶや黒田陶苑／GALERIE AZUR／戸栗美術館／渋谷区立松濤美術館／NPO法人趣都金沢／日本民藝館／松岡美術館／久米美術館／畠山記念館／（株）HALI'S／女子美術大学＋100年後の工芸のために普及啓発実行委員会／長崎県、三川内陶磁器工業協同組合／サントリー美術館

123 —— G 銀座・日本橋・新橋

東京国立近代美術館工芸館／池坊東京会館／明治大学博物館／画廊 三渓洞／日本橋とやま館／齋藤柴紅洞／LIXILギャラリー／中長小西／一社）芸術支援・地方創造機構　工芸とアートの金沢オークション実行委員会／はせがわ銀座本店 銀座ギャラリー／パナソニック汐留ミュージアム／資生堂ギャラリー／ギャラリー桜の木銀座／小津商店小津和紙＋100年後の工芸のために普及啓発実行委員会／三菱一号館美術館

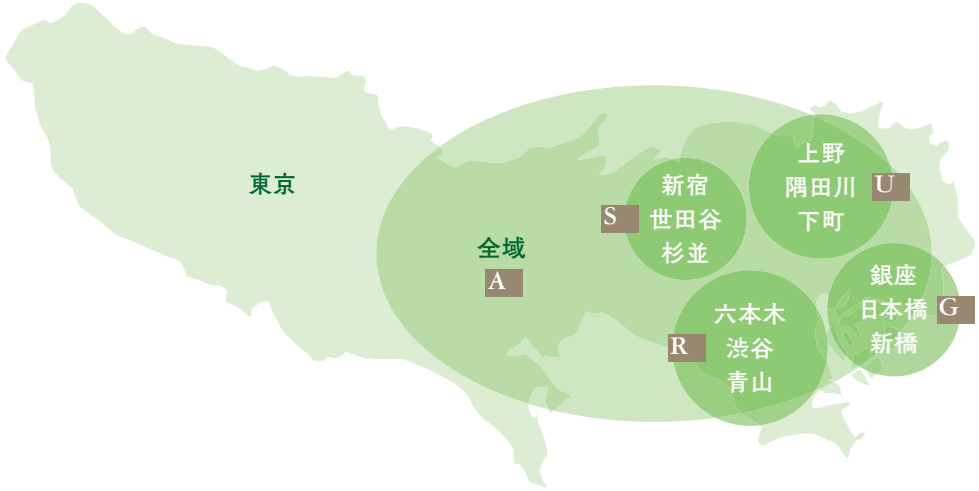
141 —— S 新宿・世田谷・杉並

文化学園大学 文化学園大学短期大学部／文化学園服飾博物館／公財）三徳庵（大日本茶道学会）／東京おもちゃ美術館／平成記念美術館ギャラリー／世田谷美術館／静嘉堂文庫美術館／五島美術館／国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館／公社）日本工芸会／西武池袋本店 アート・ギャラリー

153 —— A 全域（その他）

女子美術大学・女子美術大学短期大学部／多摩美術大学・多摩美術大学美術館／武蔵野美術大学美術館・図書館／茶道宗和流（〈株〉HIECAL）／梅若サロン／NPO法人日本伝統文化交流協会―つなぐ文化プロジェクト／伝統的工芸品産業振興協会「JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2016」／TOKYO CRAFT MAP／紙の博物館／瑞玉ギャラリー／たましん歴史・美術館／玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館／土鈴工房 鈴蔵／町田市立博物館／三井ゴールデン匠賞

122, 179 —— 工芸が充実［美術館・博物館、ギャラリー、書店など］

# 「21世紀鷹峯フォーラム」とは

## 21世紀鷹峯フォーラム in東京「工芸を体感する100日間」

**美術館・博物館、教育機関、研究所、団体、ギャラリー、ホテル、
そして料亭に至るまで。工芸の名品・新作、そしてよき使い手が集まる街・東京。
一人ひとりが改めて工芸を「みて」「ふれ」「体験」し楽しみながら、
工芸を取り巻く未来への課題を「考え」、解決のために「参加する」、
そのきっかけをつくる総合アクションです。**

参加機関 100

イベント総数 300

❶ よき使い手とよき鑑賞者を生みだす
❷ よいものをつくり続けるための支援
❸ 国内外の現代の生活の中に工芸が行き渡るために
以上3つの課題を中心に展開していきます。連携の美術館・博物館においては、「素材とわざ」「朱」に焦点をあてた展示や「次世代への教育普及」のためのワークショップやシンポジウムを開催していきます。最終日、2017年1月29日の円卓会議で「東京提言」を発表する予定です。

## 「21世紀鷹峯フォーラム」とは

**これまで一人ひとりでは解決できなかった課題に対して、
誰もが当事者となりながら、マルチセクター（多種多様な部門）、
オールジャンル、オールジャパンの力によって解決策を
見出し取り組んでいくアクションです。**

工芸にまつわるさまざまな機関と縦横無尽に情報の連携を行い、一人でも多くの工芸のファン、よき鑑賞者とよき使い手を増やしていくための活動やサポートを行います。2015年、京都で第一回が始まり、各種の産官学連携プロジェクトと従来の枠組みを超えた研究会や公募事業などを行いました。会期最終日には、あらゆる立場の工芸有識者が集う工芸版「ダボス会議」の円卓会議を開催し、社会に向けて「京都提言」を発表しました。工芸の全国ネットでの連携を目指して、2017年は金沢で開催いたします。

## 鷹峯とは

江戸時代初期、茶・書・漆・陶芸の制作を行った本阿弥光悦（ほんあみこうえつ）は、京都・洛北（らくほく）の鷹峯（たかがみね）の麓（ふもと）で、職人が物づくりにいそしみ、各種の名人通人たちが集まる工芸における理想的な環境をつくろうとしました。この理念を21世紀のつくり手と使い手のなかで実現することを願い、鷹峯の名を使っています。



**京都提言**

21世紀鷹峯フォーラム in 京都の最終日 2015年12月6日（日）に、
国立京都国際会館にて開催した、円卓会議にて発表

日本の工芸は世界に誇り得るものです。この21世紀鷹峯フォーラムを機に、ここに参加した私たちは、工芸の魅力を支えるすべてのものが、危うい状態になっている現状を危惧し、打破していく行動をおこしてまいります。ここに100年後に残る工芸のために、三つの提言をいたします。

一つ　100年後にもよき工芸品を生み出すためには、よいつかい手と鑑賞者の存在が必要です。この志に賛同いただける美術館・博物館、大学などの教育機関、研究機関とともに、特に若い人たちが、よいつかい手として、工芸の魅力に気づき、よい鑑賞者となってもらえるように、工芸にまつわる感性、物語、日々どうつかっていくのかを多くの人に伝えていける、「見分ける」体験・教育の機会を、全連携機関と増やすよう、心掛けてまいります。

一つ　京都は、これからも工芸の都として、つくり手が求める材料と道具、技術および技能、それらの情報が最も集まる拠点として、このフォーラムを機に各産地との連携をはかっていきます。100年後にも新たなつくり手が多く生まれるために、大切な道具と材料とわざ、その情報の確保に努めていきます。

一つ　私たちは、100年後に残る、工芸のために今後も、連携・協力して活動を続けていきます。この活動を盛り上げていくためには、多くの方々の理解と協力と、国の関係各省庁、地方公共団体、そして企業の支えが必要であり、さまざまな支援を求めて声をあげていきます。鑑賞者となってもらえるように、工芸にまつわる感性、物語、日々どうつかっていくのかを多くの人に伝えていける、「見分ける」体験・教育の機会を、全連携機関と増やすよう、心掛けてまいります。

# 円卓会議 メインシンポジウム「100年後の工芸のために」

## 有識者、つくり手、つなぎ手、使い手が揃い意見を交換する、工芸版「ダボス会議」

2015年12月に開催された、京都での第1回の様子（国立京都国際会館）

［主催］**100年後の工芸のために普及啓発実行委員会＋オールジャパン工芸連携京都／東京／金沢実行委員会**

**2017年1月29日（日）**

**会場** **東京ミッドタウン Hall A**
R-43（地図09 P.52）

**時間** 13:00～16:00（予定）

**主な流れ**
・円卓会議（意見交換）
・成果共有
・東京提言
・今後の展開

東京、そして日本で工芸に関わるさまざまな方たちが集まり、「100年後の工芸のために」意見を交換いたします。すべての出席者から事前に寄せられた事前のアンケートの結果と、その場で投げかける3つの問いとその答えから、参加者全員が同時に考えていく新しい形式のシンポジウム。最後に、21世紀鷹峯フォーラムで開催された工芸にまつわるアクティビティの成果とも合わせ、「東京提言」を発表し、「100年後の工芸のために」、私たちに何ができるのか、そして何をすべきかを共有し、それぞれの立場でこれからの工芸への関わり方に役立てていただきます。

# こども工芸ワークショップコレクション

## 次世代の工芸ファンを育てる

**総合監修アドバイザー**
塩瀬隆之［京都大学総合博物館准教授］

**教育普及・連携プロジェクト参加機関**
伊勢半本店紅ミュージアム／池坊華道会／女子美術大学／玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館／東京おもちゃ美術館／東京国立近代美術館／東京都江戸東京博物館／土鈴工房鈴蔵／日展／日本クラフトデザイン協会／日本工芸会／日本陶芸倶楽部／武蔵野美術大学美術館、大学、つくり手団体、華道、陶芸教室まで、さまざまな団体がこども向け・初心者向けのワークショップを開催します。それぞれの機関ならではの、特別な体験が並びます。また新しい試みとして、「伝える」手法をアーカイブしていきます。今後、全国の教育普及の場で大きく活かしてゆける「よい伝え方」への手立てを示すことでしょう。



# 絶滅危惧の素材と道具

## 未来でも制作を続けられるための環境づくり

これまでもこの問題は多くの人たちが心を痛め、さまざまな自治体、関係機関、組合などが、絶滅しつつある素材と道具の問題に向き合い、実態の調査を行ってきました。しかし、予算の年度の問題、行政単位・業界ごとによるなどの壁や、需要自体の低下があり、努力が実を結びにくくなっています。業界を越え、現代ならではの手法で、採算がとれる無理のない生産および供給ができる持続可能なエコシステムをどのように構築していくかを考えていくプロジェクト。

### 「いま起こっていること」ミニシンポジウム＋ワークショップ

［主催］**COJ＋100年後の工芸のために普及啓発実行委員会**

**2017年1月23日（月）**

**会場** **国立新美術館**
東京都港区六本木7-22-］
R-47（地図09 P.52）

**時間** 10:30～12:00 **入場料** 無料

### 「NEXT100年」成果報告会

**2016年12月13日（火）**

**会場** **六本木ヒルズ・ハリウッドプラザ ハリウッドビューティー専門学校・教室**

全国で取り組んでいるつくり手、研究者、団体による、「顔料」「つくる道具」「動物原料」分野別のあらたな取り組みの成果報告会

※詳細、申込はWebにてご確認ください

# つくるフォーラム

## 使う目的と納品先を明らかにした、新しい公募のかたち

これまでのプロジェクトでは、つくってから見本市に出し、買い手を探すシステムが多く、良品を生み出しても販売に直結しにくいことが難点でした。しかしこのコンテストでは、つかう目的を明らかにして公募することにより、ものづくりの活性化を促す新たなつくり手の支援を行っています。発注する側には要件を満たす最適なつくり手を見つけ出し、つくり手には仕様・規格で注文されるOEMではなく、それぞれの強みや独自性をふまえた顔の見える発注者に出会う場となるでしょう。

**2015年「つくるフォーラム」公募実績**

1. 株式会社島津製作所
   勤続25年記念表彰品@330個／公募条件：京都のつくり手
2. ピーエス株式会社
   「室内にほしい」ラジエーターを共同開発する工芸の募集／公募条件：全国のつくり手、プランor技術
3. 京都国立博物館チーム
   暮らしの新提案となる、日本海外に発信できる京博ブランド開発・現代の印籠「ミントケース」／公募条件：全国のつくり手

公募説明会は、つかい手とつくり手が創造的な対話をする場

### つくるフォーラム 公募説明会

［主催］**一社）ザ・クリエイション・オブ・ジャパン**
［プロジェクト総合監修］**川越仁恵（文京学院大学経営学部准教授）**

**2017年1月23日（月）**

**会場** **国立新美術館・講堂**
東京都港区六本木7-22-2
R-49（地図09 P.52）

**時間** 13:00～17:00 **入場料** 無料（要事前申込み） **問** 03-3573-3339（COJ）

※2017年1月23日（月）国立新美術館・講堂　公募説明会会場にて、前回のプロジェクト成果の発表・展示

**2016公募予定企業の一部ご紹介**

・島津製作所
・京都国立博物館チーム「京博ブランド」第二次募集
・ナカダイ
・アクアイグニス　ほか

2016年度 島津製作所勤続25年記念表彰品。表望堂・杉本晃則「漆螺鈿グラス紅白梅」。撮影＝多田雅輝



# モリタテ！工芸塾

## 工芸の新しい市場をつくるために

工芸を国内外の生活に広めること、協働や連携のあらたなかたちを考えること、次の市場形成のためのムーブメントをつくるために、多角的な勉強会を展開します。伝統工芸との新たな出会いを求める、デザイナー、プロデューサー、つなぎ手、今後の展開や海外状況をいちはやく知りたいつくり手、産地振興にかかわる人たち、輸送、輸出入、クリエイティブツーリズムのプロフェッショナルの皆様がこの機会に交流しここで生まれるゆるやかで立体的な協働関係を形成できるようなシリーズを目指しています。

※モリタテ！工芸塾シリーズは、
主にWeb上で参加募集を予定

### フォーラム
### 日本工芸を海外に広めるために
### 輸出のための障壁を取り除く

［主催］**一社）ザ・クリエイション・オブ・ジャパン＋**
**100年後の工芸のために普及啓発実行委員会＋**
**オールジャパン工芸連携京都／東京／金沢実行委員会**
［共催］**地独）東京都立産業技術研究センター**
［協力］**日本貿易振興機構（JETRO）、**
**公財）東京都中小企業振興公社**

**2016年12月12日（月）**

**会場** **東京都立産業技術研究センター**
**5階講堂**
東京都江東区青海2-4-10］
G-19（地図14 P.62）

**時間** 13:00～17:00 **入場料** 無料（要事前申込）
**問** 03-3573-3339（COJ）

**東京都立産業技術研究センター**

東京都の中小企業に対する技術支援（依頼試験、研究開発、技術相談、人材育成など）により、東京の産業振興を図り、都民生活の向上に貢献することを役割として、東京都により設置された試験研究機関です。

日本の工芸を海外へ輸出するには、自身の工芸の価値を正しく理解し、相手に丁寧に伝えること、輸出先市場をよく知ることが大切です。また、規制が存在しており、法律自体の捉え方など国内の取り引きとは大きく異なり、様々な障壁が存在します。このフォーラムでは、実際の現場で向き合った立場の方々に、2006年のEU単一市場の誕生以降の国際的な物質規制に関する傾向、具体的な障壁の事例を紹介してもらうとともに、それらをどう乗り越えてきたか体験を語っていただきます。ものづくりの時点から配慮すべきこと、手続き上で気をつけるべきことなどを知ることは最初の障壁を壊すことができる絶好の機会となるでしょう。

**日本の輸出力をブースト、サポート**
日本の工芸品の海外輸出促進に向けて取り組み、成功例
草野信明［JETRO輸出有望案件発掘専門家、株式会社クレアツォーネ代表取締役］／上原美智代［日本貿易振興機構（JETRO）ものづくり産業部生活関連産業課長］

**日本の工芸を海外へ―新たな取り組み、経験談をきく**
各産地・地方の工芸品輸出促進に向けた取り組み、成功例
①「東京手仕事」［（公財）東京都中小企業振興公社］
②「岩鋳」（岩手県）岩清水晃［株式会社 岩鋳代表取締役］

**海外「物質規制」を「事前に」理解するための必聴情報**
① 全体基調講演：さまざまな日本の工芸品の例を見ながら輸出の場合注意すべき点を学びます。都産技研・広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）の活動を紹介
松浦徹也［中小企業診断士・技術士（経営工学）］
② 有害物質規制にともなう検査内容に関する情報、有害物質に配慮した工芸
中澤亮二［（地独）東京都立産業技術研究センター］

**全体シンポジウム**
テーマ：日本の工芸品の海外輸出促進に向けて

# 東京工芸散歩「21世紀鷹峯フォーラム」の楽しみ方

この 100 日間で、「21 世紀鷹峯フォーラム」に参加した機関だけでも 300 に及ぶ、展覧会、展示、ワークショップ、講演会が開催されます。専門店の展示などを加えると 500 近いかもしれません。
この東京には、江戸時代より日本各地の工芸の産地から一流の製品が集まり、さまざまな場所でさまざまな人たちが使ってきました。いまでも「みる」も「買う」も「使う」も日本の中心地です。
「21 世紀鷹峯フォーラム」を機に、あらためて東京の魅力ある、多種多様な工芸ポイントに足を運んでみませんか。

100days START
2016年10月22日(土)
日本工芸
Opening Conversation
交流パーティ
at
六本木アカデミーヒルズ
「タワーホール」
(六本木ヒルズ・森タワー 49F)

100EVENTS
みる 知る 学ぶ
100の機関が連携
「東京の工芸」という
新たな視点の体感を得る機会
100年先のために
使い手のみならず、つくり手も、繋ぎ手も、
この機会に「工芸の100年先」に関心を
暮らし方、ものへ触れ方に豊かさを
2016年現在の私たちが連携して興す
ライフスタイル・ムーブメント
美術、教育、産業、衣食住、
人のものづくりが、
輝き続ける社会へ向けて

100days FINISH
2017年1月29日(日)
100年後に残る工藝のために
産官学・工芸有識者 円卓会議
at
東京ミッドタウン Hall A
参加無料(要予約)
工芸版「ダボス会議」。事前調査とその結果をふまえた最新の情報交換の場です。つくり手、つかい手、つなぎ手、美術館や研究者、行政機関、教育機関が日本全体で興すべきことを話し合います。

### 1. 目的別・工芸の楽しみ方 ▶P.016

主な展覧会、ワークショップなどの主要なイベントを「みる」「体験する」「学ぶ・ふれる」という行動と、工芸の分野で分けてみました。ご自分の好きな分野を集中的に回ったり、講演会をいくつか出席して、自分だけの「連続講座」を組んでみたり、実演でつくり方を幾種類も見て歩いたりと、ご自分でプログラムを組んでいただくことも楽しいでしょう。色分けされた分野や、テーマの補足を追うと「漆」や「染織」が多くなっているなど、つくり手、展示する側、みる側、使い手を問わず、近年の一つの動きがみて取れるかもしれません。

### 2. 索引 ▶P.020

気になる美術館・博物館が何ページに載っているか、という役割だけでなく、美術・工芸に関する団体などの名称から紹介ページにたどりつくことが可能です。東京にどんな施設や団体があるのかは、この索引と P.179「工芸が充実」の一覧を見ていただくと、東京の一側面の現在が一望できそうです。

### 3. 工芸イベントカレンダー ▶P.022

100 日間を、約 20 日ごとに分け、5 つの期間ごとにカレンダーを作成しています。それぞれの期間のなかで開催されるイベント名が左の列に一覧となっています。イベント名の右に、このガイドブックでの掲載ページが表示されています。休みの日には、工芸のイベントを数カ所「はしご」しましょう。

なお、この情報は 9 月 10 日現在のもので作成していますので、変更等の可能性もありますから、それぞれの施設の web などをご確認の上、足をお運びください。

### 4. 工芸マップ東京 ▶P.038

「21 世紀鷹峯フォーラム」に参加の機関を表示した地図です。よく耳にしていたけれど、一度も訪れたことのない施設が、意外な場所にあることを発見したり、展覧会→買い物→講演会など、地図の上から自分の工芸コースが組めるかもしれません。

### 5. 特典

このガイドブックの提示などにより、割引きやプレゼントの特典のある機関があります。それぞれのページの左上、もしくは右上の濃い緑の線が目印です。

### 6. 共通のテーマ

参加した機関の共通したテーマを設けました。

**A「次世代の工芸ファン」を広めるための機会**
こどもを中心に新しいファンをつくるための展示、より深く知るためにギャラリートークや講演会など

**B「素材やわざ」をわかりやすく展示・実演**
工芸をより親しんでいただくためには、天然の素材や手作業による工程への理解が大切だと考えています。作品を鑑賞するときだけでなく、購入する際や、使い方につながっていくものです。

**C「朱」にまつわる作品、資料が展示されている**
水銀の使用や取引を国際的に規制する法律が施行されるにあたり、工芸や美術で長らく使われてきた水銀朱を原料とする「朱」の使用も規制される可能性があります。改めて「朱」に注目しようと、明示をしました。

上:「小津和紙」の workshop 紙漉き体験▶P.139
中:「明治大学博物館」の制作工程の説明や道具の展示▶P.128　下:朱

## 目的別・工芸の楽しみ方

10月22日から1月29日の間に開催される、工芸にまつわるイベントのなかから、主なものを編集部の視点で「みる」「体験する」「学ぶ・ふれる」で分けてみました。陶磁器、漆、染織・織物など、中心の素材やテーマを示しましたので、いま興味をもっている素材をテーマに歩くことも可能です。思わぬ組み合わせによって、自分だけの新しい工芸ルートが生まれるかもしれません。

### 目的別・工芸の楽しみ方 —— みる

| | | |
|---|---|---|
| 染織 | | 掛袱紗ー祝う心を模様にたくす ▶P.068 |
| 総合 | | 台東区の伝統工芸職人展 ▶P.069 |
| 総合 | 明治 | 驚きの明治工藝 ▶P.070 |
| 漆 | | 三田村有純「黄金境界」 ▶P.070 |
| 漆 | | うるしのかたち展 2016 ▶P.071 |
| 金工 | | 宮田亮平「喜怒哀藝」 ▶P.071 |
| 金工 | | 橋本明夫の景色 ▶P.072 |
| 金工 | | 飯野一朗「彫金の風景」 ▶P.072 |
| 総合 | | すみだの伝統工芸 ワークショップと実演 ▶P.073 |
| 総合 | | ～来て、見て、体験～ 台東区の伝統工芸 ▶P.074 |
| 民俗 | | 世界遺産 ラスコー展 ▶P.074 |
| 総合 | | 90回記念国展受賞作家展 ▶P.075 |
| 総合 | | 国家安泰東京創生神楽（仮） ▶P.077 |
| 版画 | | 北斎の帰還 ▶P.078 |
| 民俗 | 芝居 | 「立版古と芝居絵」展 ▶p079 |
| 民俗 | 伝統行事 | 「羽子板」展 ▶P.079 |
| 人形 | 伝統行事 | 「おひなさま」展 ▶P.079 |
| 総合 | | 江東区伝統工芸展 ▶P.080 |
| 総合 | | アラサーみゅーじあむ モノがたり ▶P.086 |
| 皮革 | | みんなで見る"現代の工芸と製品" ▶P.087 |
| 陶磁 | 染付 | 古染付 ▶P.088 |
| 七宝 | | 並河靖之七宝展 ▶P.090 |
| 陶磁 | | The Power of Colors 色彩のちから ▶P.093 |
| 総合 | | 第2回菊池寛実賞「工芸の現在」展 ▶P.093 |
| 総合 | | 日展―日本美術展覧会― ▶P.094–095 |
| 彫刻 | | 矢部裕輔展 ▶P.096 |
| 陶磁 | | スナ・フジタ展 ▶P.096 |
| 陶磁 | | 伊勢﨑晃一朗展 ▶P.096 |
| 陶磁 | 明治,色絵 | 明治有田 超絶の美 ―万国博覧会の時代 ▶P.097 |
| 総合 | | 常設展 ▶P.098 |
| 陶磁 | 色絵 | お酒をたのしむうつわ展 ▶P.101 |
| 陶磁 | 色絵 | 悦楽の磁器―有田の化粧道具― ▶P.102 |
| 陶磁 | | 未来の匠―有田焼 ふたり展― ▶P.102 |
| 陶磁 | 染付 | 染付誕生400年 ▶P.103 |
| 陶磁 | クラフトデザイン | Process―はんこ― ▶P.104 |
| 総合 | | 常設展 ▶P.105 |
| ガラス | | Muses ～ Lariqueラリックの女神たち ▶P.106 |
| 陶磁 | | 日本陶芸倶楽部アマチュア作品展 ▶P.107 |
| 総合 | | くらし心地 ▶P.108 |
| 茶 | 陶磁 | 昭和名盌鑑 ▶P.110 |
| 陶磁 | | 美濃 安洞雅彦 オリベ展 ▶P.111 |
| 陶磁 | 染付,色絵 | 戸栗コレクション 1984·1985―revival―展 ▶P.112 |
| 総合 | | 月―夜を彩る清けき光 ▶P.113 |
| 陶磁 | 近代 | セラミックス ジャパン ▶P.113 |
| 総合 | | 柳宗悦·蒐集の軌跡 ―日本の工芸を中心に― ▶P.115 |
| 陶磁 | 染付,色絵 | 中国の陶磁 明から清まで ▶P.116 |
| 総合 | 明治 | 美術工芸の半世紀 明治の万国博覧会II ～さらなる挑戦～ ▶P.117 |
| 茶 | | 天下人の愛した茶道具 ▶P.118 |
| 総合 | | A hundred threads ▶P.120 |
| 陶磁 | 染付 | 江戸の技、明治の細工、現代の匠 長崎みかわち焼 展 ▶P.121 |
| 総合 | | 革新の工芸 ―"伝統と前衛"、そして現代― ▶P.124 |
| 茶 | | 近代工芸と茶の湯（仮） ▶P.125 |
| 総合 | 道具 | 商品ーさまざまな伝統的デザイン ▶P.128 |
| 総合 | | 常設展 ▶P.129 |
| 総合 | 富山 | キテ·ミテ·フレテ KOGEI TOYAMA ▶P.130 |
| 漆 | | 漆の用と美 ▶P.131 |
| 紙 | | WASHI 紙のみぞ知る用と美 ▶P.132 |
| 金工 | | クリエイションの未来展 ▶P.132 |
| 陶磁 | | 大塚茂吉展 ▶P.132 |
| 漆 | | 頂点を極めたお椀 ▶P.133 |
| 総合 | | 工芸とアートの金沢オークション出品作品展示 ▶P.134 |
| 総合 | 仏具 | 常設展 ▶P.135 |
| 総合 | 装飾 | モードとインテリアの20世紀展ーポワレからシャネル、サンローランまで ▶P.136 |
| 絵画 | | マティスとルオー展 ▶P.136 |
| 総合 | くらし | 「そばにいる工芸」展 ▶P.137 |
| 紙 | | 和紙の作り手と使い手をつなぐ ▶P.139 |
| 絵画 | 東西交流 | 拝啓 ルノワール先生―梅原龍三郎に息づく師の教え ▶P.140 |
| 染織 | | 麻のきもの·絹のきもの ▶P.143 |
| 木工 | 玩具 | 木のおもちゃ 20作家展 ▶P.145 |
| 漆 | | 三田村有純 漆藝展「黄金幻想」 ▶P.146 |
| 陶磁 | 色絵 | 色絵シルクロード行 武腰一憲 陶芸展 ▶P.146 |
| 染織 | | 志村ふくみ―母衣への回帰 ▶P.147 |
| 漆 | | 漆芸名品展―うるしで伝える美の世界― ▶P.148 |
| 茶 | | 茶道具取合せ展 ▶P.149 |
| 染織 | | 藍の仕事着 ▶P.150 |
| 総合 | | とり、とりどり ▶P.150 |
| 漆 | | 日本伝統漆芸展 ▶P.151 |
| 漆 | | 作家による「うるし·おわん·うつわ展」 ▶P.152 |
| 総合 | | えどがわ伝統工芸 × 女子美術大学 ▶P.154 |
| 総合 | | 創る、伝える、繋がる ▶P.155 |
| 総合 | | 「想像 × 創造」―116 年の伝統と躍動する工芸女子― ▶P.156 |
| ガラス | | ガラスプログラムー 3年生 作品展 ▶P.158 |
| 金工 | | 金属プログラム3年生展 ▶P.158 |
| 金工 | | メタルアートストリート展 ▶P.158 |
| 染織 | 染 | 染色家 岡村吉右衛門の造形と探求―祈りの徴し― ▶P.159 |
| あかり | 照明デザイン | あかり／AKALI：デザインされた日本の光 ▶P.160 |
| 民俗 | | 面 めん／つら ▶P.161 |
| 総合 | くらし | JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2016 ▶P.164–167 |
| 総合 | 民芸,クラフト | TOKYO CRAFT MAP ▶P.168–171 |
| 紙 | | 紙で旅するニッポン ～九州·中国編～ ▶P.172 |
| 総合 | | Δημιουργος（デミウルゴス） ▶P.173 |
| 陶磁 | | 椎名勇 作陶展 ▶P.173 |
| 陶磁 | | 東洋古陶磁展 ▶P.174 |
| 陶磁 | 教育 | みる·さわる·つくる·つかう―焼き物大好きの未来世代育成プログラム〈焼き物大好き！子供作品展〉▶P.175 |
| 民俗 | 陶磁 | 土鈴·触れて聞いて語ろう ▶P.176 |
| ガラス | | ―ガラスに、彫る―日本のグラヴィール ▶P.177 |

## 目的別·工芸の楽しみ方 —— 体験する

| | | |
|---|---|---|
| 金工 | 自在置物「蛇」の動きをコマ撮りムービーで再現上映 | 驚きの明治工藝 ▶P.070 |
| 総合 | ワークショップ:①木目込みミニ鞠の制作体験 ②江戸文字の体験 | すみだの伝統工芸 ▶P.073 |
| 総合 | ワークショップ:伝統工芸の技法を使った工作物の制作体験 | ～来て、見て、体験～ 台東区の伝統工芸 ▶P.074 |
| 総合 | 各種伝統技法体験 | 江東区伝統工芸展 ▶P.080 |
| 総合 | 入札体験 | 伝統工芸品オークション ▶P.081 |
| 総合 | 体験可能施設多数(詳細は該当ページを参照) | すみだ3M運動 ▶P.082–085 |
| 七宝 | ワークショップ:七宝の技術を用いた制作体験 | 並河靖之七宝展 ▶P.090 |
| 総合 | 作品購入 | 歳末 東美正札会 ▶P.092 |
| 総合 | ①親子鑑賞教室 ②らくらく鑑賞会 ③グループ作品解説 ④ミニ解説会 | 日展—日本美術展覧会— ▶P.094 |
| ガラス | ワークショップ:パート·ド·ヴェール技法(ガラス)による作品制作(全2回) | オリジナルの小皿をつくろう ▶P.099 |
| 金工 | 岩手県盛岡市の南部鉄器の老舗「岩鋳」にて製造工程の見学 | 東北の暮らしと芸術 ▶P.100 |
| 陶磁 | 有田焼の技法体験:①陶板·影彫り ②吹墨 | 未来の匠—有田焼 ふたり展 ▶P.102 |
| 陶磁 | ①こども陶芸教室 ②上絵付け体験 ③赤楽茶碗を作る会 | 日本陶芸倶楽部 ▶P.107 |
| 染織 | ワークショップ:羊毛が「糸」に変わる仕組みを楽しく学び、体験する。 | アートな糸を作る ▶P.109 |
| 茶 | 茶会体験 | 金沢古今茶会 ▶P.114 |
| 総合 | ケースに入っていない「露出展示」による間近な鑑賞体験 | 柳宗悦·蒐集の軌跡—日本の工芸を中心に— ▶P.115 |
| ガラス | ワークショップ:鋳造技法をつかったガラス作品制作 | 鋳込みガラス、ワークショップ ▶P.119 |
| 総合 | 作品を実際に手にとり、ガイドスタッフとの対話の中で鑑賞を深める | 工芸館がやってきた! 出張タッチ&トーク ▶P.126 |
| 総合 | ①いけばな体験 ②こども向けワークショップ(②に関しては要問い合わせ) | 身近ないけばな、身近な工芸 ▶P.127 |
| 総合 | ①とやま×蔵元ナイト ②漆の技法「螺鈿」を用いた制作体験 | キテ·ミテ·フレテ KOGEI TOYAMA ▶P.130 |
| 金工 | ワークショップ:銀の板を好きなモチーフの形に切り抜いてかたちをつくる | 「銀製ペンダントトップを作ろう!」 ▶P.136 |
| 総合 | ①練香体験:香の原料を調合し、オリジナルの香りをつくる。 ②貝覆と歌留多遊びを体験 | さわるあそぶ 王朝の雅 ワークショップ ▶P.138 |
| 紙 | 紙漉き体験 | 和紙の作り手と使い手をつなぐ ▶P.139 |
| 染織 | 作品解説を交え実作品を手にとって鑑賞 | 伝統の技を革新する技術 ▶P.142 |
| 染織 | ワークショップ(予定) | 麻のきもの·絹のきもの ▶P.143 |
| 茶 | 立礼で実際に抹茶を点てる体験教室 | はじめての茶道講座 ▶P.144 |
| 木工 | ワークショップ:木製玩具作家を講師に招いたおもちゃづくり(予定) | 木のおもちゃ 20作家展 ▶P.145 |
| 総合 | ワークショップ(詳細未定) | えどがわ伝統工芸 × 女子美術大学 ▶P.154 |
| 総合 | 江戸風鈴の絵付け | 伝統工芸 こどもワークショップ ▶P.154 |
| 上映 | エンサイクロペディア·シネマグラフィカ上映会 | 面 めん／つら ▶P.161 |
| 茶 | 茶事体験 | 一枝窓茶事体験 ▶P.162 |
| 茶 | カジュアルな茶席の特別体験 | 夜咄Sahan 茶飯釜体験 ▶P.162 |
| 総合 | ①組紐でストラップ制作 ②本格的な機織り体験 ③日本刺繍体験 | 日本の工芸、文化を「体感·体験·発見」するワークショップ ▶P.163 |
| 紙 | ワークショップ:和紙づくり | 紙で旅するニッポン～九州·中国編～ ▶P.172 |
| 陶磁 | 土鈴工房見学や、土鈴を楽しむ体験 | 土鈴·触れて聞いて語ろう ▶P.176 |

## 目的別·工芸の楽しみ方 —— 学ぶ

| | | |
|---|---|---|
| 総合 | ギャラリートーク | 驚きの明治工藝 ▶P.070 |
| 漆 | ギャラリートーク | 三田村有純「黄金境界」 ▶P.070 |
| 漆 | ギャラリートーク | うるしのかたち展 2016 ▶P.071 |
| 金工 | ギャラリートーク | 宮田亮平「喜怒哀藝」 ▶P.071 |
| 総合 | パネルディスカッション | 「伝統工芸活性化に向けた協働と連携～インフォグラフィックの効果的な活用を軸に」 ▶P.076 |
| 版画 | ①講演会 ②スライドトーク ③その他プログラム(予定) | 北斎の帰還 ▶P.078 |
| 総合 | 公開講座 | 伝統と保存の技術 ▶P.086 |
| 総合 | 工房探訪:制作工程などを学ぶ | 工房をたずねる会 ▶P.087 |
| 七宝 | ①講演会 ②トークイベント | 並河靖之七宝展 ▶P.090 |
| 陶磁 | ①講演会 ②アーティストトーク | The Power of Colors 色彩のちから ▶P.093 |
| 総合 | アーティストトーク | 第2回菊池寛実賞 工芸の現在 ▶P.093 |
| 総合 | ①講演会 ②シンポジウム | 日展—日本美術展覧会— ▶P.094 |
| 彫刻 | 作家によるギャラリートーク | 矢部裕輔展 ▶P.096 |
| 陶磁 | 作家によるギャラリートーク | スナ·フジタ展 ▶P.096 |
| 陶磁 | 作家によるギャラリートーク | 伊勢﨑晃一朗展 ▶P.096 |
| 陶磁 | ①外部研究者によるトークイベント ②ギャラリートーク | 明治有田 超絶の美 —万国博覧会の時代 ▶P.097 |
| 総合 | 講演会 | 女性たちの工芸史 ▶P.100 |
| 総合 | 連続講座 | 伝統工芸の現在 ▶新時代の工芸家たち ▶P.100 |
| 金工 | 作家による技法解説 | 東北の暮らしと芸術 ▶P.100 |
| 陶磁 | ①スライドレクチャー ②講演会 | 染付誕生400年 ▶P.103 |
| 陶磁 | ①作品解説 ②スライドショー | Process —はんこ— ▶P.104 |
| ガラス | ①ギャラリートーク ②トークセッション | Muses ～ラリックの女神たち ▶P.106 |
| 陶磁 | ①ギャラリートーク ②素材や制作方法について解説 | 美濃 安洞雅彦 オリベ展 ▶P.111 |
| 陶磁 | 展示解説 | 戸栗コレクション 1984·1985—revival—展 ▶P.112 |
| 総合 | 講演会 | 月—夜を彩る清(さや)けき光 ▶P.113 |
| 陶磁 | 講演会 | セラミックス ジャパン ▶P.113 |
| 総合 | 公開討論会 | 工芸建築の可能性 ▶P.114 |
| 茶 | ①列品解説 ②ミニトーク | 天下人の愛した茶道具 ▶P.118 |
| 総合 | シンポジウム | A hundred threads ▶P.120 |
| 陶磁 | トークイベント | 江戸の技、明治の細工、現代の匠 長崎みかわち焼 展 ▶P.121 |
| 総合 | ①アーティストトーク ②ギャラリートーク | 東京国立近代美術館工芸館 ▶P.124、125 |
| 総合 | ①ギャラリートーク ②製造工程見本等資料展示 | 商品ーさまざまな伝統的デザイン ▶P.128 |
| 総合 | トークショー | キテ·ミテ·フレテ KOGEI TOYAMA ▶P.130 |
| 総合 | ギャラリートーク | さわるあそぶ 王朝の雅 ワークショップ ▶P.138 |
| 紙 | シンポジウム | 和紙の作り手と使い手をつなぐ ▶P.139 |
| 絵画 | ①ギャラリートーク ②レクチャー | 拝啓 ルノワール先生—梅原龍三郎に息づく師の教え ▶P.140 |
| 染織 | 公開講座 | 伝統の技を革新する技術 ▶P.142 |
| 染織 | シンポジウム | ファッションデザイン分野のアーカイブ中核拠点形成に関するシンポジウム ▶P.142 |
| 染織 | ①公開学術講座 ②ギャラリートーク ③研究会(詳細は該当ページを参照) | 麻のきもの·絹のきもの ▶P.143 |
| 茶 | 講座:茶道の歴史、茶席での手前や作法など、茶道の全体像を学ぶ | はじめての茶道講座 ▶P.144 |
| 漆 | 講演会 | 漆芸名品展—うるしで伝える美の世界— ▶P.148 |
| 茶 | ①ギャラリートーク ②茶室公開 | 茶道具取合せ展 ▶P.149 |
| 漆 | 列品解説 | 日本伝統漆芸展 ▶P.151 |
| 漆 | 出品者による解説 | 作家による「うるし·おわん·うつわ展」 ▶P.152 |
| 総合 | 講演会 | 創る、伝える、繋がる ▶P.155 |
| あかり | ギャラリートーク | あかり／ AKALI :デザインされた日本の光 ▶P.160 |
| 紙 | ①ミュージアムトーク ②資料展示による制作工程の紹介 | 紙で旅するニッポン ～九州·中国編～ ▶P.172 |
| 陶磁 | ギャラリートーク | 東洋古陶磁展 ▶P.174 |
| 陶磁 | 焼き物に関する全てのプロセス(対話型鑑賞、ハンズオン、制作、作品の使用)を体験することによる、工芸教育について考える。 | みる·さわる·つくる·つかう —焼き物大好きの未来世代育成プログラム<焼き物大好き!子供作品点> ▶P.175 |
| ガラス | ①講演会 ②ギャラリートーク ③制作工程の紹介 | —ガラスに、彫る—日本のグラヴィール ▶P.177 |

## 目的別·工芸の楽しみ方 —— ふれる

| | | |
|---|---|---|
| 総合 | 実演:押絵羽子板、べっ甲細工、銀かんざし、桐たんす | すみだの伝統工芸 ▶P.073 |
| 総合 | 職人による実演コーナー | ～来て、見て、体験～ 台東区の伝統工芸 ▶P.074 |
| 総合 | 各種技法の実演(詳細は該当ページを参照) | 江東区伝統工芸展 ▶P.080 |
| 総合 | 伝統工芸職人による製作実演 | 伝統工芸品オークション ▶P.081 |
| 紙 | 五箇所和紙の実演 | キテ·ミテ·フレテ ▶P.130 |
| 総合 | 製作実演(予定) | えどがわ伝統工芸 × 女子美術大学 ▶P.154 |
| 紙 | 紙漉き実演会 | 小川和紙手漉き実演会 ▶P.172 |

# 索引——会場名・主催団体　主なイベントの主催団体、および会場施設名の索引です


**あ**

082 藍染博物館 U-06-01
165 青山ブックセンター本店 A-16-18
166 AKOMEYA TOKYO A-16-27
086 足立区立郷土博物館 U-01
114 アーツ千代田 3331 U-26
084 アトリエ アミーチ U-06-20
084 アトリエ創藝館 U-06-21
166 安藤七宝店 東京支店 A-16-30
127 池坊東京会館 G-21
102 伊勢半本店紅ミュージアム R-14
084 (株)磯貝べっ甲専門店 U-06-28
162 一枝窓 A-18
101 今右衛門東京店 R-12
109 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター R-20
169 うつわ謙心 A-17-09
170 器と道具 つみ草 A-17-22
163 梅若サロン(梅若能楽学院) S-12
134 (株)AGホールディングス G-11
126 江戸川区篠崎子ども図書館 U-27
084 江戸木箸 大黒屋 U-06-22
082 江戸木目込人形博物館 U-06-02
084 江戸小紋 大松染工場 U-06-23
082 江戸小紋博物館 U-06-03
082 江戸表具博物館 U-06-04
168 LT shop A-17-03
084 大関鞄工房 U-06-24
139 小津商店小津和紙 G-22
084 おみねらたん U-06-25
082 折箱博物館「木具輪」 U-06-05
171 小鹿田焼ソノモノ A-17-36

**か**

082 錺かんざし博物館 U-06-06
084 かざり工芸三浦 U-06-26
168 かぐれ表参道 A-17-05
167 かぐれ東急プラザ銀座 A-16-32
164 かぐれ 東京ミッドタウン A-16-03
084 片岡屏風店 U-06-27
099 狩野グラススタジオ R-09
171 かまわぬ 浅草店 A-17-30
166 かまわぬ 丸の内店 A-16-22
084 KAMISM Lab. U-06-29
172 紙の博物館 A-01
084 硝子企画舎 U-06-31
093 菊池寛実記念智美術館 R-03
158 ギャラリー KINGYO U-23-2
138 ギャラリー桜の木銀座 G-15
169 ギャラリー・セントアイヴス A-17-15
158 ギャラリー TEN U-23-1
111 GALERIE AZUR R-24
084 革倶楽 U-06-30
114 旧前田侯爵家駒場本邸・和館 R-28
165 玉川堂 青山店 A-16-19
082 桐の博物館 U-06-07
084 桐屋田中 U-06-32
166 銀座きもの青木 A-16-26
171 銀座 たくみ A-17-33
165 銀座夏野 青山店 A-16-17
166 銀座夏野 新丸の内ビル店 A-16-21
082 金庫と鍵の博物館 U-06-08
171 knulpAA A-17-37
171 クープスタンド A-17-32
170 組む 東京 A-17-28
117 久米美術館 R-33
170 暮らしの道具 谷中 松野屋 A-17-25
170 classico A-17-27
169 CLASKA Gallery & Shop "DO" A-17-13
100 藝術学舎(京都造形芸術大学＋東北芸術工科大学) R-11
134 一社)芸術支援・地方創造機構 G-11
082 古伊万里資料館 U-06-09
169 工藝 器と道具 SML A-17-16
134 工芸とアートの金沢オークション実行委員会 G-11
080 工匠館 U-18
080 江東区深川江戸資料館 U-05
150 国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館 S-11
075 国画会工芸部 U-14
074 国立科学博物館 U-13
094 国立新美術館 R-47
085 コージロー U-06-34
149 五島美術館 S-10
083 小林人形資料館 U-06-10

**さ**

131 齋藤紫紅洞 G-08
164 THE COVER NIPPON A-16-04
167 ザ・コンランショップ 新宿本店 A-16-38
166 ザ・コンランショップ 丸の内店 A-16-24
083 指物博物館 U-06-11
085 紗蔵 U-06-35
170 zakka 土の記憶 A-17-23
162 茶道宗和流 S-14, A-18
106 Salon de TiTi 青山本店 R-19
129 三渓洞 G-03
144 (公財)三徳庵 S-01
122 サントリー美術館 R-07
137 資生堂ギャラリー G-17
168 shizen A-17-02
083 漆工博物館 U-06-12
113 渋谷区立松濤美術館 R-26
110 しぶや黒田陶苑 R-23
154 渋谷ヒカリエ R-22
164 JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2016 A-16
085 シューテクニック U-06-36
114 NPO法人趣都金澤 R-28
171 SyuRo A-17-31
154 女子美術大学 R-44, S-06, A-10
155 女子美術大学アートミュージアム(相模原キャンパス) A-10
154 女子美術大学(杉並キャンパス) S-06
126 新宿区立四谷図書館 S-03
173 瑞玉ギャラリー A-02
168 Style-Hug Gallery A-17-01
164 STYLE MEETS PEOPLE A-16-05
156 スパイラルガーデン R-44
085 すみだ江戸切子館 U-06-37
082 すみだ3M運動 U-06
078 すみだ北斎美術館 U-15
166 スローハウス・銀座 A-16-31
083 セイコーミュージアム U-06-13
167 成城学園前 HANSEL&GRETEL A-16-40
148 静嘉堂文庫美術館 S-09
151, 152 西武池袋本店 S-13, S-15
088 石洞美術館 U-04
147 世田谷美術館 S-08
097 泉屋博古館分館 R-05
169 宙 A-17-14

**た**

081 台東区立江戸下町伝統工芸館 U-07
144 大日本茶道学会 S-01
134 dining gallery 銀座の金沢 G-11
164 TIME & STYLE MIDTOWN A-16-06
105 (株)田島美術店 AOYAMA R-18
175 玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館 A-08
174 たましん歴史・美術館 A-05
157 多摩美術大学 U-23, R-36, A-06, A-07
159 多摩美術大学美術館 A-06
083 ちいさな硝子の本の博物館 U-06-14
085 塚田工房 U-06-38
165 TSUTAYA TOKYO ROPPONGI A-16-12
170 TSUGIKI A-17-26
096 t.gallery R-04
167 DEAN & DELUCA A-16-34
164 テネリータ 東京ミッドタウン店 A-16-08
164 伝統工芸 青山スクエア A-16-01
164 伝統的工芸品産業振興協会 R-16
158 天王洲アイル セントラルタワービル R-36
145 東京おもちゃ美術館 S-02
166 東京鳩居堂 銀座本店 A-16-29
168 TOKYO CRAFT MAP A-17
070 東京藝術大学 U-12
070 東京藝術大学大学美術館 U-12
163 東京交通会館 G-13
124 東京国立近代美術館工芸館 G-07
068 東京国立博物館 U-10
073 東京都江戸東京博物館 U-16
090 東京都庭園美術館 R-32
075 東京都美術館 U-14
092 東京美術倶楽部 R-01
108 東京ミッドタウン・デザインハブ R-20
164 陶香堂 A-16-02
085 東駒スポーツ用品(株) U-06-33
163 (株)道明 U-25
144 徳友会館(大日本茶道学会本部教場) S-01
112 戸栗美術館 R-25
120 虎ノ門ヒルズ R-02
176 土鈴工房 鈴蔵 A-13

**な**

158 長池公園自然館 A-07
133 中長小西 G-10
094 公社)日展 R-47
108 公社)日本クラフトデザイン協会 R-20
151 公社)日本工芸会 S-13
163 NPO法人日本伝統文化交流協会 U-25, A-14, G-05, G-13, S-12
107 日本陶芸倶楽部 R-21
163 日本橋高島屋 G-05
130 日本橋とやま館 G-04
077 一社)日本文化伝統産業近代化促進協議会 U-21
115 日本民藝館 R-29
103 根津美術館 R-15
126 練馬区立美術館 A-03
085 NOB. U-06-39
085 ノーブル U-06-40
166 ノリタケ・大倉陶園 銀座店 A-16-28
167 ノルディックフォルム A-16-39

**は**

104 白山陶器東京ショールーム R-16
083 羽子板資料館 U-06-15
085 羽子板の鴻月 U-06-41
118 畠山記念館 R-34
135 はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー G-12
170 Vada antiques A-17-21
169 PARTY A-17-10
136 パナソニック汐留ミュージアム G-18
168 VA-VA CLOTHING & VARIETY A-17-07
119 (株)HALI'S R-39
167 HAREM TOKYO A-16-37
162 (株)HIECAL S-14, A-18
166 HIGASHIYA GINZA A-16-25
164 菱屋カレン ブロッソ 東京ミッドタウン店 A-16-07
085 ヒズファクトリー U-06-42
167 日比谷花壇 日比谷公園店 A-16-35
083 屏風博物館 U-06-16
171 備後屋 A-17-34
142 文化学園大学・文化学園大学短期大学部 S-04
165 ファーバーカステル 東京ミッドタウン A-16-11
167 フィアット松濤 A-16-36
083 袋物博物館 U-06-17
167 FLAXUS A-16-41
165 FLANNEL SOFA 東京ショールーム A-16-15
168 BLOOM & BRANCH AOYAMA A-17-08
165 プレインピープル青山 A-16-16
167 プレインピープル 東急プラザ銀座 A-16-33
165 風呂敷専門店むす美 A-16-20
143 文化学園服飾博物館 S-05
076 文京学院大学 U-20
126 文京区立小石川図書館 U-24
146 平成記念美術館ギャラリー S-07
083 べっ甲資料館 U-06-18
168 べにや民芸店 A-17-04
158 WhiteGallery U-23-3

**ま**

165 マスターウォール 東京 A-16-14
169 益久染織研究所 中目黒店 A-17-17
177 町田市立博物館 A-09
116 松岡美術館 R-31
165 MA by So Shi Te A-16-13
170 MARKUS A-17-20
121 三川内陶磁器工業協同組合 R-48
169 MIGRATORY A-17-18
178 三井広報委員会 A-18
140 三菱一号館美術館 G-14
098 水戸忠交易 R-08
126 港区立高輪図書館分館 R-30
160 武蔵野美術大学 A-04
160 武蔵野美術大学美術館・図書館 A-04
161 武蔵野美術大学民俗資料室 A-04
085 向島めうがや U-06-43
085 むさしや豊山 U-06-44
128 明治大学博物館 G-01
083 名刺と紙製品の博物館 U-06-19
170 モノ・モノ A-17-24
170 monsen A-17-19

**や**

169 yūyūjin A-17-12
077 湯島天満宮 U-21
171 jokogumo A-17-35
163 横浜高島屋 A-14
079 吉徳これくしょん U-17
162 夜咄 Sahan S-14

**ら**

169 Lion Pottery A-17-11
168 LANTIKI centraaaaal A-17-06
132 LIXIL ギャラリー G-09
165 LIBECO HOME A-16-09
166 LES TOILES DU SOLEIL A-16-23

**わ**

165 WISE・WISE tools A-16-10
171 watari A-17-29

# 工芸イベントカレンダー

このカレンダーは、9月10日現在の情報を元につくられています。各イベントの情報は変更の可能性があります。
また、事前申し込みが必要なイベントもございます。主催団体、および開催施設のwebサイト等でご確認の上、足をお運びください。

| 10月22日（土）～11月10日（木）<br>《イベント名［会場施設名］（主催者）※主催者の表記は会場施設と異なる場合のみ》 | | 掲載ページ | 10月 | | | | | | | | | | 11月 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 |
| U-01 | 開館30周年記念　アラサーみゅーじあむ モノがたり（前期）［足立区立郷土博物館］ | P.086 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| U-04 | 古染付　―このくにのひとのあこがれ　かのくにのひとのねがい―［石洞美術館］ | P.088 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| U-05 | 江東区伝統工芸展｜実演（体験あり）［江東区深川江戸資料館］ | P.080 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| U-12 | 驚きの明治工藝［東京藝術大学大学美術館］ | P.070 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| U-12 | 退任記念展 三田村有純「黄金境界」［東京藝術大学大学美術館］ | P.070 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| U-12 | うるしのかたち展 2016［東京藝術大学大学美術館 陳列館］ | P.071 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| U-12 | うるしのかたち展 2016 ギャラリートーク［東京藝術大学大学美術館 陳列館］ | P.071 | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | |
| U-13 | 特別展「世界遺産 ラスコー展 ～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」［国立科学博物館］ | P.074 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| U-14 | 90回記念国展受賞作家展（版画部、彫刻部、工芸部、写真部）―未来への歩み2016―［東京都美術館］（国画会 版画部・彫刻部・工芸部・写真部） | P.075 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| U-17 | 吉徳これくしょん企画展 国立劇場50周年記念「立版古と芝居絵」展［吉徳これくしょん］ | P.079 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-02 | A hundred thread［虎ノ門ヒルズ］（女子美術大学） | P.120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| R-03 | 「The Power of Colors 色彩のちから」展［菊池寛実記念 智美術館］ | P.093 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-03 | 「The Power of Colors　色彩のちから」展｜講演会「色材文化を視る・知る－青と赤」［菊池寛実記念 智美術館］ | P.093 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| R-05 | 有田焼創業400年記念　明治有田 超絶の美―万国博覧会の時代［泉屋博古館分館］ | P.097 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-05 | 有田焼創業400年記念　明治有田 超絶の美―万国博覧会の時代<br>ゲスト・トーク「香蘭社に秘蔵された図案」［泉屋博古館分館 ］ | P.097 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-08 | 常設展［水戸忠交易］ | P.098 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-09 | 体験レッスン：オリジナルの小皿をつくろう［グラスアートクラス］（狩野グラススタジオ） | P.099 | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| R-11 | 伝統工芸の現在―新時代の工芸家たち［藝術学舎］（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学） | P.100 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-14 | 悦楽の磁器―有田の化粧道具―［伊勢半本店 紅ミュージアム］ | P.102 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 |
| R-14 | 併催企画「未来の匠」―有田焼 ふたり展―［伊勢半本店 紅ミュージアム］ | P.102 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-14 | 併催企画「未来の匠」―有田焼 ふたり展―｜有田焼作家に学ぶ体験講座「陶板・影彫り」［伊勢半本店 紅ミュージアム］ | P.102 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-14 | 併催企画「未来の匠」―有田焼 ふたり展―｜有田焼作家に学ぶ体験講座「吹墨」［伊勢半本店 紅ミュージアム］ | P.102 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| R-15 | コレクション展　中国陶磁勉強会［根津美術館］ | ― | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-15 | コレクション展　中国陶磁勉強会<br>特別講座 中国陶磁と漆器を楽しく勉強する会「世界を魅了した中国の染付［根津美術館］ | ― | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-16 | 特別展「Process―はんこ―」［白山陶器東京ショールーム］ | P.104 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| R-16 | 特別展「Process―はんこ―」｜HAKUSAN SHOP オープン13周年キャンペーン［白山陶器東京ショールーム］ | P.104 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| R-18 | 常設展［〈株〉田島美術店］ | P.105 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| R-19 | トークイベント“Muses ～ Lariqueラリックの女神たち～ ”［Salon de TiTi］ | P.106 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-21 | 第33回 日本陶芸倶楽部アマチュア作品展［日本陶芸倶楽部］ | P.107 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| R-23 | 昭和名盃鑑［しぶや黒田陶苑 ］ | P.110 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-23 | 備前 大桐大展［しぶや黒田陶苑 ］ | P.110 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| R-23 | 色絵染付 柴山勝展［しぶや黒田陶苑 ］ | P.110 | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| R-25 | 戸栗コレクション1984・1985―revival―展［戸栗美術館］ | P.112 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-26 | 月―夜を彩る清（さや）けき光［渋谷区立松濤美術館］ | P.113 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-26 | 月―夜を彩る清（さや）けき光｜記念講演会［渋谷区立松濤美術館］ | P.113 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| R-29 | 創設80周年特別展　柳宗悦・蒐集の軌跡―日本の工芸を中心に―［日本民藝館］ | P.115 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-31 | 松岡コレクション 中国の陶磁 明から清まで［松岡美術館］ | P.116 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-33 | 美術工芸の半世紀　明治の万国博覧会Ⅱ～さらなる挑戦～［久米美術館］ | P.117 | | | | | | | | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具［畠山記念館］ | P.118 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具｜列品解説［畠山記念館］ | P.118 | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | ○ |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具｜ミニトーク［畠山記念館］ | P.118 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-39 | 鋳込みガラス、ワークショップ［HALI'S Glass Art Studio］ | P.119 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |

| 10月22日（土）～11月10日（木） | | 掲載ページ | 10月 | | | | | | | | | | 11月 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 |
| R-42 | 日本工芸 Opening Conversation［六本木アカデミーヒルズ タワーホール］（ザ・クリエイション・オブ・ジャパン） | - | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-47 | 改組 新 第3回 日展 ―日本美術展覧会―［国立新美術館］ | P.094 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| G-01 | 常設展示 商品 ―さまざまな伝統的デザイン［明治大学博物館］ | P.128 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-03 | 常設展［画廊 三渓洞］ | P.129 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-04 | キテ・ミテ・フレテ KOGEI TOYAMA ―手しごとを知る18日間―［日本橋とやま館］ | P.130 | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-07 | 革新の工芸―“伝統と前衛”、そして現代―［東京国立近代美術館工芸館］ | P.124 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| G-07 | 革新の工芸―“伝統と前衛”、そして現代―｜アーティストトーク／ギャラリートーク［東京国立近代美術館工芸館］ | P.124 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| G-08 | 漆の用と美［齊藤柴紅洞］ | P.131 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | | | | | |
| G-09 | 大塚茂吉展 ― 静寂なる振動―［LIXILギャラリー］ | P.132 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| G-09 | 市野雅彦展［LIXILギャラリー］ | P.132 | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| G-11 | 第2回 工芸とアートの金沢オークション出品作品展示［dining gallery 銀座の金沢］（一社）芸術支援・地方創造機構） | P.134 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| G-11 | 第2回 工芸とアートの金沢オークション出品作品展示｜レセプションパーティー［dining gallery 銀座の金沢］（一社）芸術支援・地方創造機構） | P.134 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| G-12 | 常設展示［はせがわ銀座本店/銀座ギャラリー］ | P.135 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-13 | 日本刺繍 紅会 第25回かがりはずし展［東京交通会館 ゴールドサロン］（特非）日本伝統文化交流協会） | P.163 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| G-14 | 拝啓 ルノワール先生― 梅原龍三郎に息づく師の教え［三菱一号館美術館］ | P.140 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| G-17 | 「そばにいる工芸」展［資生堂ギャラリー］ | P.137 | ○ | ○ | 休 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| G-18 | モードとインテリアの20世紀展―ポワレからシャネル、サンローランまで―［パナソニック 汐留ミュージアム］ | P.136 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| G-18 | 工芸ワークショップ「銀製ペンダント トップを作ろう！」［パナソニック東京汐留ビル3階ホール］（パナソニック 汐留ミュージアム） | P.136 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| S-01 | はじめての茶道講座［徳友会館（大日本茶道学会本部教場）］（公財）三徳庵） | P.144 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| S-02 | 木のおもちゃ 20作家展［東京おもちゃ美術館］ | P.145 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| S-07 | 三田村 有純 漆藝展「黄金幻想」［平成記念美術館ギャラリー］ | P.146 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 |
| S-08 | 志村ふくみ―― 母衣（ぼろ）への回帰［世田谷美術館］ | P.147 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| S-09 | 漆芸名品展ーうるしで伝える美の世界ー［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| S-09 | 漆芸名品展ーうるしで伝える美の世界ー｜学芸員による列品解説［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| S-11 | 特別展「藍の仕事着」［国際基督教大学湯浅八郎記念館］ | P.150 | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州・中国編～［紙の博物館］ | P.172 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| A-04 | あかり／ AKALI：デザインされた日本の光［武蔵野美術大学美術館］ | P.160 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A-04 | あかり／ AKALI：デザインされた日本の光｜ワークショップ II「オリジナルランプをつくろう」［武蔵野美術大学］ | P.160 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-04 | 面 めん／つら　民俗資料にみる顔の表現［武蔵野美術大学美術館・図書館 民俗資料室ギャラリー］ | P.161 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A-04 | 面 めん／つら　民俗資料にみる顔の表現「仮面」を観る―エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ上映会［武蔵野美術大学］ | P.161 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| A-05 | 東洋古陶磁展［たましん歴史・美術館］ | P.174 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| A-08 | みる・さわる・つくる・つかう―焼き物大好きの未来世代育成プログラム〈焼き物大好き！子供作品展〉［玉川大学教育博物館］ | P.175 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A-09 | 青野武市作品受贈記念展 ―ガラスに、彫る―日本のグラヴィール［町田市立博物館］ | P.177 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| A-09 | 青野武市作品受贈記念展 ―ガラスに、彫る―日本のグラヴィール 講演会「父、青野武市の生涯と作品」［町田市立博物館］ | P.177 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| A-13 | 土鈴・触れて聞いて語ろう［土鈴工房・鈴蔵］ | P.176 | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| A-16 | JAPAN TRADITIONAL CRAFT WEEK 2016（伝統的工芸品産業振興協会）※各施設の休館日はP.164 ～ 167を参照 | P.164 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |

| 11月11日（金）～11月30日（水） | | 掲載ページ | 11月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| | | | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | |
| U-01 | 開館30周年記念　アラサーみゅーじあむ モノがたり（前期）[足立区立郷土博物館] | P.086 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| U-01 | 公開講座 伝統と保存の技術[足立区立郷土博物館] | P.086 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| U-04 | 古染付～このくにのひとのあこがれ　かのくにのひとのねがい～[石洞美術館] | P.088 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| U-10 | 第13回「台東区の伝統工芸職人展」―したまちに受け継がれる匠のこころ粋―[東京国立博物館 平成館ラウンジ]（台東区） | P.069 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| U-12 | 宮田亮平退任展「喜怒愛藝」[東京藝術大学大学美術館] | P.071 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | |
| U-13 | 特別展「世界遺産 ラスコー展 ～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」[国立科学博物館] | P.074 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| U-14 | 90回記念国展受賞作家展（版画部、彫刻部、工芸部、写真部）―未来への歩み2016―[東京都美術館]（国画会版画部・彫刻部・工芸部・写真部） | P.075 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| U-15 | 北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション[すみだ北斎美術館] | P.078 | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| U-16 | すみだの伝統工芸 ワークショップと実演―木目込みミニ鞠を作ってみよう（ワークショップ）[東京都江戸東京博物館] | P.073 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| U-16 | すみだの伝統工芸 ワークショップと実演―押絵羽子板・べっ甲細工（実演）[東京都江戸東京博物館] | P.073 | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| U-17 | 吉徳これくしょん企画展　国立劇場50周年記念「立版古と芝居絵」展[吉徳これくしょん] | P.079 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| U-24 | 工芸館がやってきた！出張タッチ＆トーク[文京区立小石川図書館 ]（東京国立近代美術館工芸館） | P.126 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| U-26 | フォーラム「工芸建築の可能性～金沢からの創造」[アーツ千代田 3331]（特非）趣都金澤） | P.114 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-02 | A hundred thread[虎ノ門ヒルズ アトリウム]（女子美術大学） | P.120 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-02 | A hundred thread｜記念フォーラム「世界とつながる工芸の未来」[虎ノ門ヒルズ]（女子美術大学） | P.120 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-03 | 「The Power of Colors 色彩のちから」展[菊池寛実記念 智美術館] | P.093 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-03 | 「The Power of Colors 色彩のちから」展｜アーティストトーク 鈴木徹氏（出品作家）[菊池寛実記念 智美術館] | P.093 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-04 | 矢部裕輔展[t.gallery] | P.096 | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| R-05 | 有田焼創業400年記念　明治有田 超絶の美―万国博覧会の時代[泉屋博古館分館] | P.097 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-05 | 有田焼創業400年記念　明治有田 超絶の美―万国博覧会の時代<br>ゲストトーク「香蘭社に秘蔵された図案」[泉屋博古館分館] | P.097 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | |
| R-05 | 有田焼創業400年記念　明治有田 超絶の美―万国博覧会の時代<br>ゲストトーク「宮中晩餐会の食器と精磁会社」[泉屋博古館分館] | P.097 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-08 | 常設展[水戸忠交易] | P.098 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| R-09 | 体験レッスン：オリジナルの小皿をつくろう[グラスアートクラス]（狩野グラススタジオ） | P.099 | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| R-11 | 伝統工芸の現在―新時代の工芸家たち[藝術学舎]（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学） | P.100 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-12 | お酒をたのしむうつわ展[今右衛門東京店] | P.101 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| R-14 | 悦楽の磁器―有田の化粧道具[伊勢半本店 紅ミュージアム] | P.102 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-14 | 併催企画「未来の匠」―有田焼 ふたり展―[伊勢半本店 紅ミュージアム] | P.102 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-18 | 常設展 [〈株〉田島美術店 AOYAMA] | P.105 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | |
| R-21 | こども陶芸教室「陶芸家になってみる」[日本陶芸倶楽部] | P.107 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| R-23 | おいしいうつわ[しぶや黒田陶苑] | P.110 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-23 | 菊池克展[しぶや黒田陶苑] | P.110 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| R-23 | 金重憐 徳利展『晩秋寸酔』[しぶや黒田陶苑] | P.110 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| R-24 | 美濃 安洞雅彦 オリベ展[GALERIE AZUR] | P.111 | | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| R-25 | 戸栗コレクション1984・1985―revival―展[戸栗美術館] | P.112 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-26 | 月―夜を彩る清（さや）け光[渋谷区立松濤美術館] | P.113 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| R-29 | 創設80周年特別展　柳宗悦・蒐集の軌跡―日本の工芸を中心に―[日本民藝館] | P.115 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | | | | | | | | |
| R-30 | 工芸館がやってきた！出張タッチ＆トーク[港区立高輪図書館分室]（東京国立近代美術館工芸館） | P.126 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| R-31 | 松岡コレクション 中国の陶磁 明から清まで[松岡美術館] | P.116 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-33 | 美術工芸の半世紀　明治の万国博覧会II ～さらなる挑戦～[久米美術館] | P.117 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具[畠山記念館] | P.118 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |

| 11月11日（金）～11月30日（水） | | 掲載ページ | 11月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | | | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具｜列品解説［畠山記念館］ | P.118 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具｜ミニトーク［畠山記念館］ | P.118 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ |
| R-39 | 鋳込みガラス、ワークショップ［HALI'S Glass Art Studio］ | P.119 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| R-47 | 改組 新 第3回 日展 ―日本美術展覧会―［国立新美術館］（公社）日展） | P.094 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| R-47 | 工芸を体感する ―卓越した技が冴える工芸の美―［国立新美術館］（公社）日展） | P.095 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-47 | シンポジウム「日展の工芸美術は何処へ向かうか」［国立新美術館］（公社）日展） | P.095 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-48 | 長崎みかわち焼展［渋谷ヒカリエ 8/CUBE］（長崎県、三川内陶磁器工業協同組合） | P.121 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン［明治大学博物館］ | P.128 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン<br>常設展示リニューアル記念ギャラリートーク① “伝統的工芸品”の成立［明治大学博物館］ | P.128 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| G-03 | 常設展［画廊 三渓洞］ | P.129 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| G-04 | キテ･ミテ･フレテ KOGEI TOYAMA ―手しごとを知る18日間―［日本橋とやま館］ | P.130 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| G-04 | キテ･ミテ･フレテ KOGEI TOYAMA ―手しごとを知る18日間―<br>とやま工芸×蔵元ナイト［日本橋とやま館］ | P.130 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| G-04 | キテ･ミテ･フレテ KOGEI TOYAMA ―手しごとを知る18日間―<br>螺鈿細工体験［日本橋とやま館］ | P.130 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| G-05 | 道明展 飛鳥･奈良時代の色彩Ⅱ［日本橋高島屋］（特非）日本伝統文化交流協会） | P.163 | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| G-07 | 革新の工芸―“伝統と前衛”、そして現代―［東京国立近代美術館工芸館］ | P.124 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| G-09 | 市野雅彦展［LIXILギャラリー］ | P.132 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| G-12 | 常設展示［はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー］ | P.135 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-14 | 拝啓 ルノワール先生―梅原龍三郎に息づく師の教え［三菱一号館美術館］ | P.140 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| G-18 | モードとインテリアの20世紀展―ポワレからシャネル、サンローランまで―<br>［パナソニック 汐留ミュージアム］ | P.136 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| S-01 | はじめての茶道講座［徳友会館（大日本茶道学会本部教場）］（公財）三徳庵） | P.144 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-01 | はじめての茶道講座｜本部教場半日体験講座<br>［徳友会館（大日本茶道学会本部教場）］（公財）三徳庵） | P.144 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| S-01 | はじめての茶道講座｜木村孝先生講演会「年末年始の晴れの日に」<br>［徳友会館（大日本茶道学会本部教場）］（公財）三徳庵） | P.144 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | | | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 |
| S-03 | 工芸館がやってきた! 出張タッチ＆トーク<br>［新宿区立四谷図書館］（東京国立近代美術館工芸館） | P.126 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| S-02 | 木のおもちゃ 20作家展［東京おもちゃ美術館］ | P.145 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| S-06 | 伝統工芸こどもワークショップ［女子美術大学 杉並キャンパス］ | P.154 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| S-07 | 三田村 有純 漆藝展「黄金幻想」［平成記念美術館ギャラリー］ | P.146 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| S-09 | 漆芸名品展ーうるしで伝える美の世界ー［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| S-09 | 漆芸名品展ーうるしで伝える美の世界ー｜漆の楽しい見方、教えます《静嘉堂の巻》<br>［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| S-09 | 漆芸名品展ーうるしで伝える美の世界ー｜学芸員による列品解説［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| S-11 | 特別展「藍の仕事着」［国際基督教大学湯浅八郎記念館］ | P.150 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州･中国編～［紙の博物館］ | P.172 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| A-02 | Δημιουργος（デミウルゴス）［瑞玉ギャラリー］ | P.173 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| A-04 | あかり／ AKALI：デザインされた日本の光［武蔵野美術大学美術館］ | P.160 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-04 | 面 めん／つら　民俗資料にみる顔の表現［武蔵野美術大学美術館･図書館 民俗資料室ギャラリー］ | P.161 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-05 | 東洋古陶磁展［たましん歴史･美術館］ | P.174 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| A-05 | 東洋古陶磁展｜ギャラリートーク［たましん歴史･美術館］ | P.174 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-08 | みる･さわる･つくる･つかう―焼き物大好きの未来世代育成プログラム〈焼き物大好き!子供作品展〉［玉川大学教育博物館］ | P.175 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-09 | 青野武市作品受贈記念展 ―ガラスに、彫る―日本のグラヴィール［町田市立博物館］ | P.177 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| A-09 | 青野武市作品受贈記念展 ―ガラスに、彫る―日本のグラヴィール<br>ギャラリー･トーク［町田市立博物館］ | P.177 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| A-09 | 青野武市作品受贈記念展 ―ガラスに、彫る―日本のグラヴィール<br>町田華道協会によるいけばな展示［町田市立博物館］ | P.177 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |

| 12月1日（木）～12月20日（火） | | 掲載ページ | 12月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | | | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 |
| U-01 | 開館30周年記念　アラサーみゅーじあむ モノがたり（前期）[足立区立郷土博物館] | P.086 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| U-01 | 見学会 みんなで見る“現代の工芸と製品”[足立区役所庁舎]（足立区立郷土博物館） | P.087 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| U-04 | 古染付～このくにのひとのあこがれ　かのくにのひとのねがい～[石洞美術館] | P.088 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 |
| U-07 | 伝統工芸品オークション[台東区立江戸下町伝統工芸館 ]（台東区伝統工芸振興会） | P.081 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-07 | 伝統工芸職人による製作実演<br>[台東区立江戸下町伝統工芸館 ]（台東区伝統工芸職人団体） | P.081 | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | |
| U-10 | 特集陳列「掛袱紗ー祝う心を模様にたくす」[東京国立博物館 本館] | P.068 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| U-13 | 特別展「世界遺産 ラスコー展 ～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」[国立科学博物館] | P.074 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| U-15 | 北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション[すみだ北斎美術館] | P.078 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| U-16 | すみだの伝統工芸 ワークショップと実演―江戸文字を体験してみよう（ワークショップ）<br>[東京都江戸東京博物館] | P.073 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| U-16 | すみだの伝統工芸 ワークショップと実演― 錺かんざし·桐たんす（実演）<br>[東京都江戸東京博物館] | P.073 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | |
| U-17 | 吉徳これくしょん企画展「羽子板」展[吉徳これくしょん] | P.079 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-20 | 伝統工芸活性化に向けた協働と連携～インフォグラフィックの効果的な活用を軸に<br>[文京学院大学 本郷キャンパス] | P.076 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| R-01 | 歳末 東美正札会[東京美術倶楽部] | P.092 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-03 | 「The Power of Colors 色彩のちから」展[菊池寛実記念 智美術館] | P.093 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| R-03 | 「第2回菊池寛実賞 工芸の現在」展[菊池寛実記念 智美術館] | P.093 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | 休 | ○ |
| R-04 | スナ·フジタ展[t.gallery] | P.096 | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| R-05 | 有田焼創業400年記念　明治有田 超絶の美―万国博覧会の時代[泉屋博古館分館] | P.097 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-08 | 常設展[水戸忠交易] | P.098 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-09 | 体験レッスン:オリジナルの小皿をつくろう[グラスアートクラス]（狩野グラススタジオ） | P.099 | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | |
| R-11 | 女性たちの工芸史―女性工芸家列伝[藝術学舎]（京都造形芸術大学·東北芸術工科大学） | P.100 | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |

| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 |
| R-11 | 伝統工芸の現在―新時代の工芸家たち<br>[藝術学舎]（京都造形芸術大学·東北芸術工科大学） | P.100 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| R-14 | 悦楽の磁器―有田の化粧道具[伊勢半本店 紅ミュージアム] | P.102 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-18 | 常設展 [〈株〉田島美術店 AOYAMA] | P.105 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| R-12 | お酒をたのしむうつわ展[今右衛門東京店] | P.101 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-21 | 上絵付を愉しむ会「赤絵盃一対」[日本陶芸倶楽部] | P.107 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-23 | 漆藝 太田修嗣展[しぶや黒田陶苑 ] | P.110 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| R-23 | 昭和巨匠陶藝逸品展 ひとりたのしむ[しぶや黒田陶苑 ] | P.110 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-24 | GALERIE AZUR 逸品展[GALERIE AZUR] | P.111 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| R-25 | 戸栗コレクション1984·1985―revival―展[戸栗美術館] | P.112 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| R-26 | セラミックス ジャパン[渋谷区立松濤美術館] | P.113 | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| R-31 | 松岡コレクション 中国の陶磁 明から清まで[松岡美術館] | P.116 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ |
| R-33 | 美術工芸の半世紀　明治の万国博覧会II ～さらなる挑戦～[久米美術館] | P.117 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具[畠山記念館] | P.118 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| R-34 | 天下人の愛した茶道具 | 列品解説[畠山記念館] | P.118 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-39 | 鋳込みガラス、ワークショップ[HALI'S Glass Art Studio] | P.119 | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ |
| R-42 | フォーラム 日本工芸を海外に広めるために輸出のための障壁を取り除く[地方独立行政法人<br>東京都立産業技術研究センター]（オールジャパン工芸連携京都東京金沢実行委員会） | P.021 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| R-47 | 改組 新 第3回 日展 ―日本美術展覧会―[国立新美術館]（公財）日展） | P.094 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-48 | 長崎みかわち焼展[渋谷ヒカリエ 8/CUBE]（長崎県、三川内陶磁器工業協同組合） | P.121 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン[明治大学博物館] | P.128 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン | 常設展示リニューアル記念ギャラリートーク②<br>移り変わる商品―伝統的工芸品の変容[明治大学博物館] | P.128 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| G-03 | 常設展[画廊 三渓洞] | P.129 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| G-07 | 革新の工芸―“伝統と前衛”、そして現代―[東京国立近代美術館工芸館] | P.124 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| G-09 | WASHI 紙のみぞ知る用と美展[LIXILギャラリー] | P.132 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 12月1日（木）～12月20日（火） | | 掲載ページ | 12月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | |
| | | | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | |
| G-09 | 「クリエイションの未来展」第10回 宮田亮平監修　みなの衆［LIXILギャラリー］ | P.132 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| G-09 | 市野雅彦展［LIXILギャラリー］ | P.132 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| G-10 | 室瀬和美＋目白漆學舎［中長小西］ | P.133 | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| G-12 | 常設展示［はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー］ | P.135 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| G-14 | 拝啓 ルノワール先生― 梅原龍三郎に息づく師の教え［三菱一号館美術館］ | P.140 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | |
| G-21 | 身近ないけばな、身近な工芸［池坊東京会館］（一財）池坊華道会） | P.127 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| S-01 | はじめての茶道講座［徳友会館（大日本茶道学会本部教場）］（公財）三徳庵） | P.144 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| S-02 | 木のおもちゃ 20作家展［東京おもちゃ美術館］ | P.145 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| S-07 | 色絵シルクロード 武腰一憲 陶芸展［平成記念美術館ギャラリー］ | P.146 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| S-09 | 漆芸名品展―うるしで伝える美の世界―［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| S-09 | 漆芸名品展ーうるしで伝える美の世界ー｜学芸員による列品解説［静嘉堂文庫美術館］ | P.148 | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展［五島美術館］ | P.149 | | | | | | | | | | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展｜ギャラリートーク「茶道具取合せ展について」（仮称）［五島美術館別館］ | P.149 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| S-14 | 夜咄Sahan　茶飯釜体験［夜咄Sahan（よばなし さはん）］（茶道宗和流） | P.162 | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-15 | 作家による「うるし・おわん・うつわ展」［西武池袋本店 アート・ギャラリー］ | P.152 | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州・中国編～［紙の博物館］ | P.172 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州・中国編～｜ミュージアムトーク［紙の博物館］ | P.172 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-02 | 椎名勇 作陶展［瑞玉ギャラリー］ | P.173 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| A-05 | 東洋古陶磁展［たましん歴史・美術館］ | P.174 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-06 | 生誕100年記念 染色家 岡村吉右衛門の造形と探求［多摩美術大学美術館］ | P.159 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | 休 | |
| A-10 | 創る、伝える、繋がる女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻教員展［女子美術大学アートミュージアム］ | P.155 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| A-10 | 創る、伝える、繋がる女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻教員展 講演会「現代アート化する工芸」［女子美術大学アートミュージアム］ | P.155 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| A-14 | 道明展 飛鳥・奈良時代の色彩II［横浜高島屋］（特非）日本伝統文化交流協会） | P.163 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |

| 12月21日（水）～1月9日（月） | | 掲載ページ | 12月 | | | | | | | | | | | 1月 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | | | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 |
| U-01 | 開館30周年記念　アラサーみゅーじあむ モノがたり（後期）［足立区立郷土博物館］ | P.086 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| U-04 | 古染付～このくにのひとのあこがれ　かのくにのひとのねがい～［石洞美術館］ | P.088 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ |
| U-07 | 伝統工芸品オークション［台東区立江戸下町伝統工芸館 ］（台東区伝統工芸振興会） | P.081 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-07 | 伝統工芸職人による製作実演［台東区立江戸下町伝統工芸館 ］（台東区伝統工芸職人団体） | P.081 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ |
| U-10 | 特集陳列「掛袱紗ー祝う心を模様にたくす」［東京国立博物館 本館］ | P.068 | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| U-12 | 回顧展「橋本明夫の景色」［東京藝術大学大学美術館 陳列館］ | P.072 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-12 | 退任記念展 飯野一朗「彫金の風景」展［東京藝術大学大学美術館 陳列館］ | P.072 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-13 | 特別展「世界遺産 ラスコー展 ～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」［国立科学博物館］ | P.074 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-15 | 北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション［すみだ北斎美術館］ | P.078 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| U-17 | 吉徳これくしょん企画展「羽子板」展［吉徳これくしょん］ | P.079 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-25 | 日本の工芸、文化を「体感・体験・発見」するワークショップ「組紐でストラップ作り体験」［〈株〉道明］（特非）日本伝統文化交流協会） | P.163 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-03 | 「第2回菊池寛実賞 工芸の現在」展［菊池寛実記念 智美術館］ | P.093 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-04 | 伊勢﨑晃一朗展［t.gallery］ | P.096 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-08 | 常設展［水戸忠交易］ | P.098 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-09 | 体験レッスン：オリジナルの小皿をつくろう［グラスアートクラス］（狩野グラススタジオ） | P.099 | | | | ○ | ○ | | | | | | 休 | 休 | | | | | | ○ | ○ | |
| R-15 | コレクション展　「染付誕生400年」［根津美術館］ | P.103 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| R-18 | 常設展［〈株〉田島美術店 AOYAMA］ | P.105 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 |
| R-20 | 第56回日本クラフト展―くらし心地―［東京ミッドタウン・デザインハブ ］（公社）日本クラフトデザイン協会） | P.108 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| R-21 | 上絵付を愉しむ会「赤絵盃一対」［日本陶芸倶楽部］ | P.107 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| R-23 | 唐津 田中佐次郎展［しぶや黒田陶苑 ］ | P.110 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| R-25 | 戸栗コレクション1984・1985―revival―展［戸栗美術館］ | P.112 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-26 | セラミックス ジャパン［渋谷区立松濤美術館］ | P.113 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-31 | 松岡コレクション 中国の陶磁 明から清まで［松岡美術館］ | P.116 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |

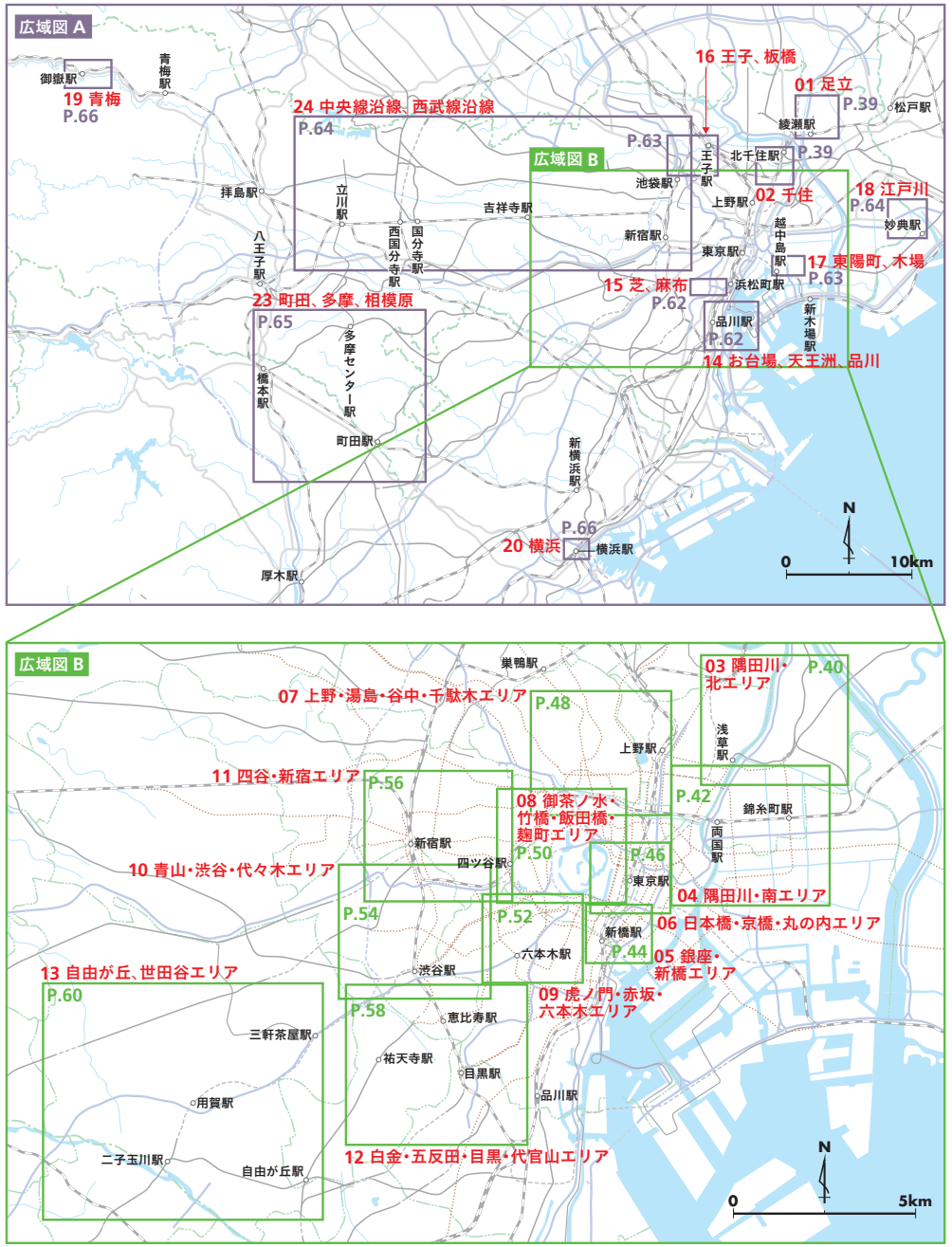
| 12月21日（水）～1月9日（月） | | 掲載ページ | 12月 | | | | | | | | | | | 1月 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | | | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 |
| R-39 | 鋳込みガラス、ワークショップ［HALI'S Glass Art Studio］ | P.119 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン［明治大学博物館］ | P.128 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ |
| G-03 | 常設展［画廊 三渓洞］ | P.129 | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 |
| G-07 | 所蔵作品展 近代工芸と茶の湯Ⅱ（仮称）［東京国立近代美術館工芸館］ | P.125 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-09 | WASHI 紙のみぞ知る用と美 展［LIXILギャラリー］ | P.132 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-09 | 「クリエイションの未来展」第10回 宮田亮平監修 みなの衆［LIXILギャラリー］ | P.132 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-09 | 市野雅彦展［LIXILギャラリー］ | P.132 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| G-10 | 室瀬和美＋目白漆學舎［中長小西］ | P.133 | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 |
| G-12 | 常設展示［はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー］ | P.135 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-14 | 拝啓 ルノワール先生― 梅原龍三郎に息づく師の教え［三菱一号館美術館］ | P.140 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-22 | 和紙の作り手と使い手をつなぐ［小津和紙］（女子美術大学・女子美術短期大学部） | P.139 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| S-02 | 木のおもちゃ 20作家展［東京おもちゃ美術館］ | P.145 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| S-05 | 麻のきもの・絹のきもの［文化学園服飾博物館］ | P.143 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | 休 | 休 |
| S-07 | 色絵シルクロード行 武腰一憲 陶芸展［平成記念美術館ギャラリー］ | P.146 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展［五島美術館］ | P.149 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展｜ギャラリートーク「茶の湯の裂」（仮称）［五島美術館 別館］ | P.149 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-12 | 日本の工芸、文化を「体感・体験・発見」するワークショップ｜本格的な機織り体験［梅若サロン］（特非）日本伝統文化交流協会） | P.163 | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-12 | 日本の工芸、文化を「体感・体験・発見」するワークショップ｜日本刺繍体験［梅若サロン］（特非）日本伝統文化交流協会） | P.163 | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州・中国編～［紙の博物館］ | P.172 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ |
| A-06 | 生誕100年記念 染色家 岡村吉右衛門の造形と探求［多摩美術大学美術館］ | P.159 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A-10 | 創る、伝える、繋がる女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻教員展［女子美術大学美術館］ | P.155 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 1月10日（火）～1月29日（日） | | 掲載ページ | 1月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| U-01 | 公開講座 伝統と保存の技術［足立区立郷土博物館］ | P.086 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| U-01 | 開館30周年記念 アラサーみゅーじあむ モノがたり（後期）［足立区立郷土博物館］ | P.086 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-04 | 古染付～このくにのひとのあこがれ かのくにのひとのねがい～［石洞美術館］ | P.088 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-07 | 伝統工芸品オークション［台東区立江戸下町伝統工芸館］（台東区伝統工芸振興会） | P.081 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| U-07 | 伝統工芸職人による製作実演［台東区立江戸下町伝統工芸館 ］（台東区伝統工芸職人団体） | P.081 | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| U-10 | 特集陳列「掛袱紗ー祝う心を模様にたくす」［東京国立博物館 本館］ | P.068 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-12 | 回顧展「橋本明夫の景色」［東京藝術大学大学美術館 陳列館］ | P.072 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| U-12 | 退任記念展 飯野一朗「彫金の風景」展［東京藝術大学大学美術館 陳列館］ | P.072 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| U-13 | 特別展「世界遺産 ラスコー展 ～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」［国立科学博物館］ | P.074 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-13 | 台東区の伝統工芸～来て、見て、体験～［国立科学博物館］ | P.074 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| U-15 | 北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション［すみだ北斎美術館］ | P.078 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| U-17 | 吉徳これくしょん企画展「おひなさま」展［吉徳これくしょん］ | P.079 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| U-27 | 工芸館がやってきた！ 出張タッチ＆トーク［江戸川区立篠崎子ども図書館］（東京国立近代美術館工芸館） | P.126 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| R-03 | 「第2回菊池寛実賞 工芸の現在」展［菊池寛実記念 智美術館］ | P.093 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-04 | 伊勢﨑晃一朗展［t.gallery］ | P.096 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-08 | 常設展［水戸忠交易］ | P.098 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-09 | 体験レッスン：オリジナルの小皿をつくろう［グラスアートクラス］（狩野グラススタジオ） | P.099 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| R-15 | コレクション展「染付誕生400年」［根津美術館］ | P.103 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-15 | コレクション展「染付誕生400年」｜スライドレクチャー［根津美術館］ | P.103 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| R-15 | 特別講座「肥前伊万里と中国伊万里」［根津美術館］ | P.103 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-15 | 特別催事「〈現代6作家による〉茶室でみる磁器の現在」［根津美術館］ | P.103 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ |
| R-18 | 常設展［〈株〉田島美術店 AOYAMA］ | P.105 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-20 | 第56回日本クラフト展―くらし心地―［東京ミッドタウン・デザインハブ ］（公社）日本クラフトデザイン協会） | P.108 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |

| 1月10日（火）～1月29日（日） | | 掲載ページ | 1月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| R-20 | 親子ふれあいワークショップ アートな糸を作る［インターナショナル·デザイン·リエゾンセンター（ミッドタウン·タワー）］（公社）日本クラフトデザイン協会） | P.109 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-21 | こども陶芸教室「陶芸家になってみる」［日本陶芸倶楽部］ | P.107 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| R-21 | 赤楽茶碗を作る会［日本陶芸倶楽部］※要2日間参加 | P.107 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| R-22 | えどがわ伝統工芸×女子美術大学―伝統工芸者と女子美生のコラボレーション作品展―［渋谷ヒカリエ］（女子美術大学、江戸川区） | P.154 | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| R-26 | セラミックス ジャパン［渋谷区立松濤美術館］ | P.113 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-26 | セラミックス ジャパン｜記念講演会［渋谷区立松濤美術館］ | P.113 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| R-28 | 金沢古今茶会［旧前田侯爵家駒場本邸 ·和館］（特非）趣都金澤） | P.114 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| R-31 | 松岡コレクション 中国の陶磁 明から清まで［松岡美術館］ | P.116 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| R-32 | 並河靖之七宝展 明治七宝の誘惑［東京都庭園美術館］ | P.090 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-32 | 並河靖之七宝展 明治七宝の誘惑｜講演会「西欧における日本七宝へのまなざし（仮）」［東京都庭園美術館］ | P.090 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| R-39 | 鋳込みガラス、ワークショップ［HALI'S Glass Art Studio］ | P.119 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| R-43 | 2016年度21世紀鷹峯フォーラム 第2回in東京「100年後に残る工藝のために」［東京ミッドタウン］（ザ·クリエイション·オブ·ジャパン） | P.018 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| R-44 | 「想像×創造」―116年の伝統と躍動する工芸女子―女子美術大学 デザイン工芸学科 工芸専攻卒業·修了制作展［スパイラルガーデン］（女子美術大学） | P.156 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | |
| R-46 | 「絶滅危惧の素材と道具」発表会［国立新美術館］（ザ・クリエイション・オブ・ジャパン） | P.019 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| R-46 | つくるフォーラム本年度公募説明会［国立新美術館］（ザ・クリエイション・オブ・ジャパン） | P.020 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン［明治大学博物館］ | P.128 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-01 | 常設展示 商品―さまざまな伝統的デザイン｜常設展示リニューアル記念ギャラリートーク③ 伝統的工芸品の価値創造［明治大学博物館］ | P.128 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| G-03 | 常設展［画廊 三渓洞］ | P.129 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| G-07 | 所蔵作品展 近代工芸と茶の湯II（仮称）［東京国立近代美術館工芸館］ | P.125 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-09 | WASHI 紙のみぞ知る用と美 展［LIXILギャラリー］ | P.132 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-09 | 「クリエイションの未来展」第10回 宮田亮平監修 みなの衆［LIXILギャラリー］ | P.132 | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| G-09 | 美崎光邦展［LIXILギャラリー］ | P.132 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-10 | 室瀬和美+目白漆學舎［中長小西］ | P.133 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| G-12 | 常設展示［はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー］ | P.135 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-15 | さわるあそぶ 王朝の雅 ワークショップ［ギャラリー桜の木銀座］ | P.138 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| G-18 | マティスとルオー展［パナソニック 汐留ミュージアム］ | P.136 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G-22 | 和紙の作り手と使い手をつなぐ［小津和紙］ | P.139 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | |
| G-22 | 和紙の作り手と使い手をつなぐ｜日本文化にいきづく和紙［小津和紙］ | P.139 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-04 | 平成28年度文化学園大学特別公開講座「伝統の技を革新する技術」［文化学園大学］ | P.142 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-04 | ファッションデザイン分野のアーカイブ中核拠点形成に関するシンポジウム［文化学園大学］ | P.142 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| S-05 | 麻のきもの·絹のきもの［文化学園服飾博物館］ | P.143 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展［五島美術館］ | P.149 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展｜ギャラリートーク「茶道具取合せ展について」（仮称）［五島美術館 別館］ | P.149 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展｜ギャラリートーク「茶の湯の裂」（仮称）［五島美術館 別館］ | P.149 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展｜ギャラリートーク「古経楼と茶の湯」（仮称）［五島美術館 別館］ | P.149 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S-10 | 館蔵 茶道具取合せ展｜平成28年度 第3回 陶芸講座 織部焼·越前風自然釉焼締陶器［五島美術館］ | P.149 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| S-11 | 特別展「とり、とりどり」［国際基督教大学湯浅八郎記念館］ | P.150 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| S-13 | 第34回日本伝統漆芸展［西武池袋本店］（公財）日本工芸会） | P.151 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州·中国編～［紙の博物館］ | P.172 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A-01 | 紙で旅するニッポン～九州·中国編～｜ミュージアムトーク［紙の博物館］ | P.172 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| A-03 | 工芸館がやってきた！ 出張タッチ&トーク［練馬区立美術館］（東京国立近代美術館工芸館） | P.126 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| A-06 | 生誕100年記念 染色家 岡村吉右衛門の造形と探求［多摩美術大学美術館］ | P.159 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A-07 | ガラスプログラム―3年生 作品展［長池公園自然館］（多摩美術大学） | P.158 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| A-15 | 一枝窓茶事体験［三鷹·一枝窓（いっしそう）］（茶道宗和流） ※1席7名限定 | P.162 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |

# 工芸マップ東京

100日間に工芸にまつわるイベントが開催されたり、販売が行われている場所です。目的地の近くにある、これまで知らなかったさまざまな施設に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



地図01

足立エリア

U-01
足立区立郷土博物館
▸P.86

地図02

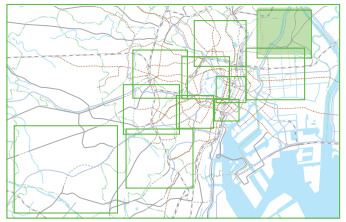
千住エリア

U-04
石洞美術館
▸P.88

## 地図03

### 隅田川·北エリア

- U-06-01 藍染博物館▸P.82
- U-06-02 江戸木目込人形博物館▸P.82
- U-06-03 江戸小紋博物館▸P.82
- U-06-06 錺かんざし博物館▸P.82
- U-06-09 古伊万里資料館▸P.82
- U-06-10 小林人形資料館▸P.83
- U-06-12 漆工博物館▸P.83
- U-06-13 セイコーミュージアム▸P.83
- U-06-14 ちいさな硝子の本の博物館▸P.83
- U-06-15 羽子板資料館▸P.83
- U-06-16 屏風博物館▸P.83
- U-06-22 江戸木箸 大黒屋▸P.84
- U-06-23 江戸小紋 大松染工場▸P.84
- U-06-25 おみねらたん▸P.84
- U-06-26 かざり工芸三浦▸P.84
- U-06-27 片岡屏風店▸P.84
- U-06-29 KAMISM Lab.▸P.84
- U-06-35 紗蔵▸P.85
- U-06-38 塚田工房▸P.85
- U-06-41 羽子板の鴻月▸P.85
- U-06-42 ヒズファクトリー▸P.85
- U-06-43 向島めうがや▸P.85
- U-07 台東区立江戸下町伝統工芸館▸P.81
- A-17-30 かまわぬ 浅草店▸P.171



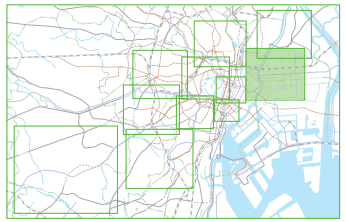


N
0
500m
荒川一中前
南千住駅
都電
JR 常磐線
三ノ輪
回向院
投込寺
三ノ輪駅
東京メトロ日比谷線
昭和通り
つくばエクスプレス
明治通り
鷲神社
台東区
U-07 台東区立江戸下町伝統工芸館
つくばエクスプレス線「浅草」駅より5分
浅草署
国際通り
U-06-14 ちいさな硝子の本の博物館
「本所吾妻橋」駅より3分
花やしき
浅草神社
浅草寺
浅草駅
ROX
伝法院
A-17-30 かまわぬ 浅草店
つくばエクスプレス「浅草」駅より3分
雷門
浅草駅
アサヒビール
吾妻橋
墨田区役所
東京メトロ銀座線
田原町駅
U-06-42 ヒズファクトリー
浅草駅
「本所吾妻橋」駅より5分
江戸通り
U-06-06 錺かんざし博物館
U-06-26 かざり工芸三浦
「本所吾妻橋」駅より3分
都営大江戸線
蔵前駅
待乳山聖天
隅田公園
言問橋
隅田川
隅田公園
吾妻橋本所駅
都営浅草線
汐入公園
東白鬚公園
隅田川
梅若小
石浜神社
白鬚橋
首都高速6号向島線
墨堤通り
桜橋
墨田川高
U-06-15 羽子板資料館
U-06-41 羽子板の鴻月
「曳舟」駅より12分
「押上」駅より12分
曳舟駅
U-06-22 江戸木箸 大黒屋
U-06-43 向島めうがや
U-06-38 塚田工房
U-06-02 江戸木目込人形博物館
「押上」駅より8分
とうきょうスカイツリー駅
U-06-12 漆工博物館
「とうきょうスカイツリー」駅より2分
U-06-25 おみねらたん
東京スカイツリー
半蔵門線
東京メトロ
「とうきょうスカイツリー」駅より5分
U-06-35 紗蔵
U-06-16 屏風博物館
U-06-27 片岡屏風店
「とうきょうスカイツリー」駅より1分
U-06-29 KAMISM Lab.
「押上」駅より2分
北十間川
東武スカイツリーライン
鐘ヶ淵駅
荒川
墨田区
U-06-10 小林人形資料館
「京成八広」駅より2分
八広駅
四ツ木橋
新四ツ木橋
U-06-13 セイコーミュージアム
「東向島」駅より8分
向島百花園
東向島駅
京成押上線
明治通り
U-06-09 古伊万里資料館
「京成八広」駅より5分
「東武曳舟」駅より3分
京成曳舟駅
U-06-23 江戸小紋 大松染工場
「京成曳舟」駅より15分
第三吾嬬小
向じま梅鉢屋
U-06-03 江戸小紋博物館
「京成曳舟」駅より15分
曳舟小
U-06-01 藍染博物館
「京成曳舟」駅より5分
「押上」駅より5分
東武亀戸線
小村井駅
東あずま駅
▾地図04 P.42

## 地図04

### 隅田川·南エリア

- U-05 江東区深川江戸資料館▸P.80
- U-06-04 江戸表具博物館▸P.82
- U-06-05 折箱博物館「木具輪」▸P.82
- U-06-07 桐の博物館▸P.82
- U-06-08 金庫と鍵の博物館▸P.82
- U-06-11 指物博物館▸P.83
- U-06-17 袋物博物館▸P.83
- U-06-18 べっ甲資料館▸P.83
- U-06-19 名刺と紙製品の博物館▸P.83
- U-06-20 アトリエ アミーチ▸P.84
- U-06-21 アトリエ創藝館▸P.84
- U-06-24 大関鞄工房▸P.84
- U-06-28 磯貝べっ甲専門店▸P.84
- U-06-30 革倶楽▸P.84
- U-06-31 硝子企画舎▸P.84
- U-06-32 桐屋田中▸P.84
- U-06-33 東駒スポーツ用品▸P.85
- U-06-34 コージロー▸P.85
- U-06-36 シューテクニック▸P.85
- U-06-37 すみだ江戸切子館▸P.85
- U-06-39 NOB.▸P.85
- U-06-40 ノーブル▸P.85
- U-06-44 むさしや豊山▸P.85
- U-15 すみだ北斎美術館▸P.78
- U-16 東京都江戸東京博物館▸P.73
- U-17 吉徳これくしょん▸P.79
- U-18 工匠館(江東区森下文化センター内)▸P.80
- A-17-28 組む 東京▸P.170
- A-17-31 SyuRo▸P.171





◂地図04 P.42

台東区

浅草駅 / 新御徒町駅 / つくばエクスプレス / 都営大江戸線 / 蔵前駅 / 駒形橋 / 首都高速6号向島線 / 江戸通 / 厩橋

「新御徒町」駅より8分 / A-17-31 SyuRo

「両国」駅より5分 / U-06-44 むさしや豊山

蔵前駅

U-06-33 東駒スポーツ用品

「両国」駅より4分 / U-06-18 べっ甲資料館

U-06-28 (株)磯貝べっ甲専門店

「浅草橋」駅より1分 / U-17 吉徳これくしょん

「両国」駅より1分 / U-06-39 NOB.

都営浅草線

浅草橋駅

U-16 東京都江戸東京博物館

国技館 / 両国駅

「馬喰町」駅より4分 「馬喰横山」駅より4分 / A-17-28 組む 東京

馬喰町駅

「両国」駅より3分

「両国」駅より5分 / U-06-34 コージロー

両国橋

東日本橋駅

U-06-17 袋物博物館

「両国」駅より7分 / U-06-07 桐の博物館 / U-06-32 桐屋田中

馬喰横山駅

都営新宿線

浜町駅

明治座 / 浜町公園

新大橋

人形町駅

森下駅

芭蕉記念館

「森下」駅より3分 / U-06-08 金庫と鍵の博物館

水天宮

水天宮前駅

U-06-04 江戸表具博物館

「森下」駅より2分

清洲橋

隅田川

茅場町駅

日本橋川

永代橋

首都高速9号深川線

清澄庭園

中央区

◂地図06 P.46

墨田区

本所吾妻橋駅

三ツ目通り

大横川親水公園

たばこと塩の博物館

「押上」駅より約8分 / U-06-21 アトリエ創藝館

春日通り

U-06-31 硝子企画舎

「錦糸町」駅より5分 / U-06-37 すみだ江戸切子館

U-06-20 アトリエ アミーチ

清平橋

蔵前橋通り

「両国」駅より10分 / U-06-40 ノーブル

「錦糸町」駅より11分

「錦糸町」駅より12分

「錦糸町」駅より4分 / U-06-36 シューテクニック

乾燥木材工芸資料館

錦糸公園

天神橋

「亀戸」駅より7分 / U-03 亀戸屋梅屋敷

亀戸天神

明治通り

北十間川

錦糸橋

アトレ

「両国」駅より5分 / U-15 すみだ北斎美術館

総武本線

錦糸町駅

亀戸駅

京葉道路

「両国」駅より3分 / U-06-30 革倶楽

東京メトロ半蔵門線

首都高速7号小松川線

U-06-24 大関鞄工房

「両国」駅より5分

竪川

「菊川」駅より5分 / U-06-11 指物博物館

「菊川」駅より3分 / U-06-19 名刺と紙製品の博物館

横十間川

都営新宿線

住吉駅

西大島駅

新大橋通り

猿江恩賜公園

菊川駅

U-06-05 折箱博物館「木具輪」

「森下」駅より3分

大横川

清澄通り

猿江神社

U-18 工匠館(江東区森下文化センター内)

「菊川」駅より11分

小名木川

清澄白河駅

清洲橋通り

江東区

U-05 江東区深川江戸資料館

「清澄白河」駅より3分

東京都現代美術館

四ツ目通り

木場公園

仙台堀川

葛西橋通り

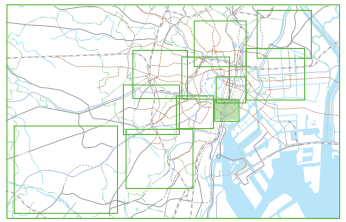
N

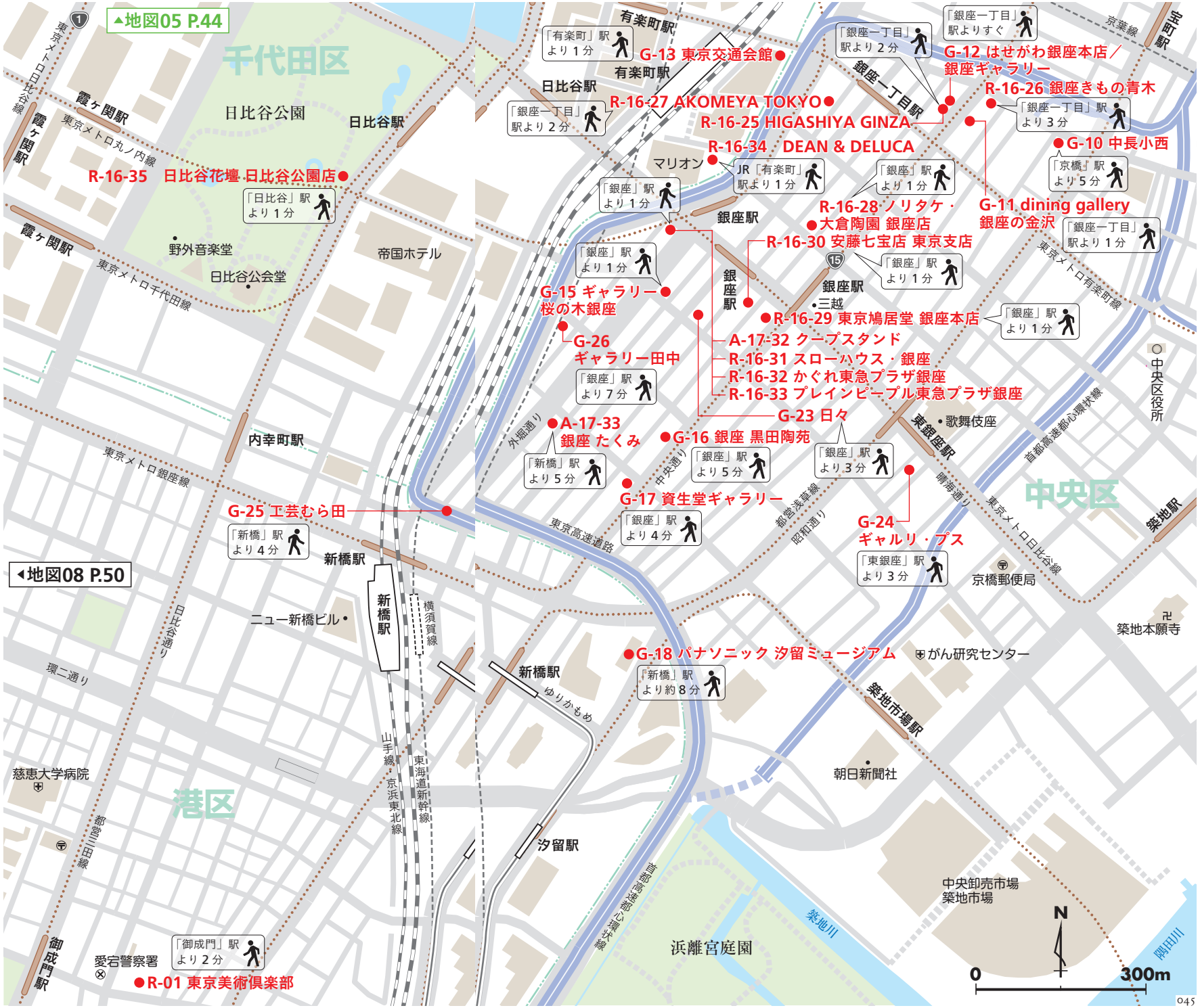
0 500m

## 地図05

### 新橋·銀座エリア


R-01 東京美術倶楽部▸P.92
G-10 中長小西▸P.133
G-11 dining gallery 銀座の金沢▸P.134
G-12 はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー▸P.135
G-13 東京交通会館▸P.163
G-15 ギャラリー桜の木銀座▸P.138
G-17 資生堂ギャラリー▸P.137
G-18 パナソニック 汐留ミュージアム▸P.136
A-16-33 プレインピープル東急プラザ銀座▸P.167
A-16-25 HIGASHIYA GINZA▸P.166
A-16-26 銀座きもの青木▸P.166
A-16-27 AKOMEYA TOKYO▸P.166
A-16-28 ノリタケ·大倉陶園 銀座店▸P.166
A-16-29 東京鳩居堂 銀座本店▸P.166
A-16-30 安藤七宝店 東京支店▸P.166
A-16-31 スローハウス·銀座▸P.166
A-16-32 かぐれ東急プラザ銀座▸P.167
A-16-34 DEAN & DELUCA▸P.167
A-16-35 日比谷花壇 日比谷公園店▸P.167
A-17-32 クープスタンド▸P.171
A-17-33 銀座 たくみ▸P.171

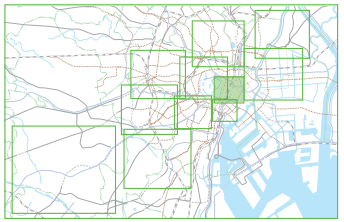





## 地図06

### 京橋·日本橋エリア


G-03 画廊 三溪洞▸P.129
G-04 日本橋とやま館▸P.130
G-05 日本橋高島屋▸P.163
G-08 齋藤紫紅洞▸P.131
G-09 LIXILギャラリー▸P.132
G-14 三菱一号館美術館▸P.140
G-20 ギャラリーなつか▸P.157
G-22 小津和紙▸P.139
A-16-21 銀座夏野 新丸の内ビル店▸P.166
A-16-22 かまわぬ 丸の内店▸P.166
A-16-23 LES TOILES DU SOLEIL▸P.166
A-16-24 ザ·コンランショップ 丸の内店▸P.166

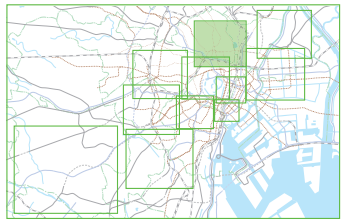

▲地図08 P.50
◂地図08 P.50
▾地図05 P.44
地図04 P.42▸

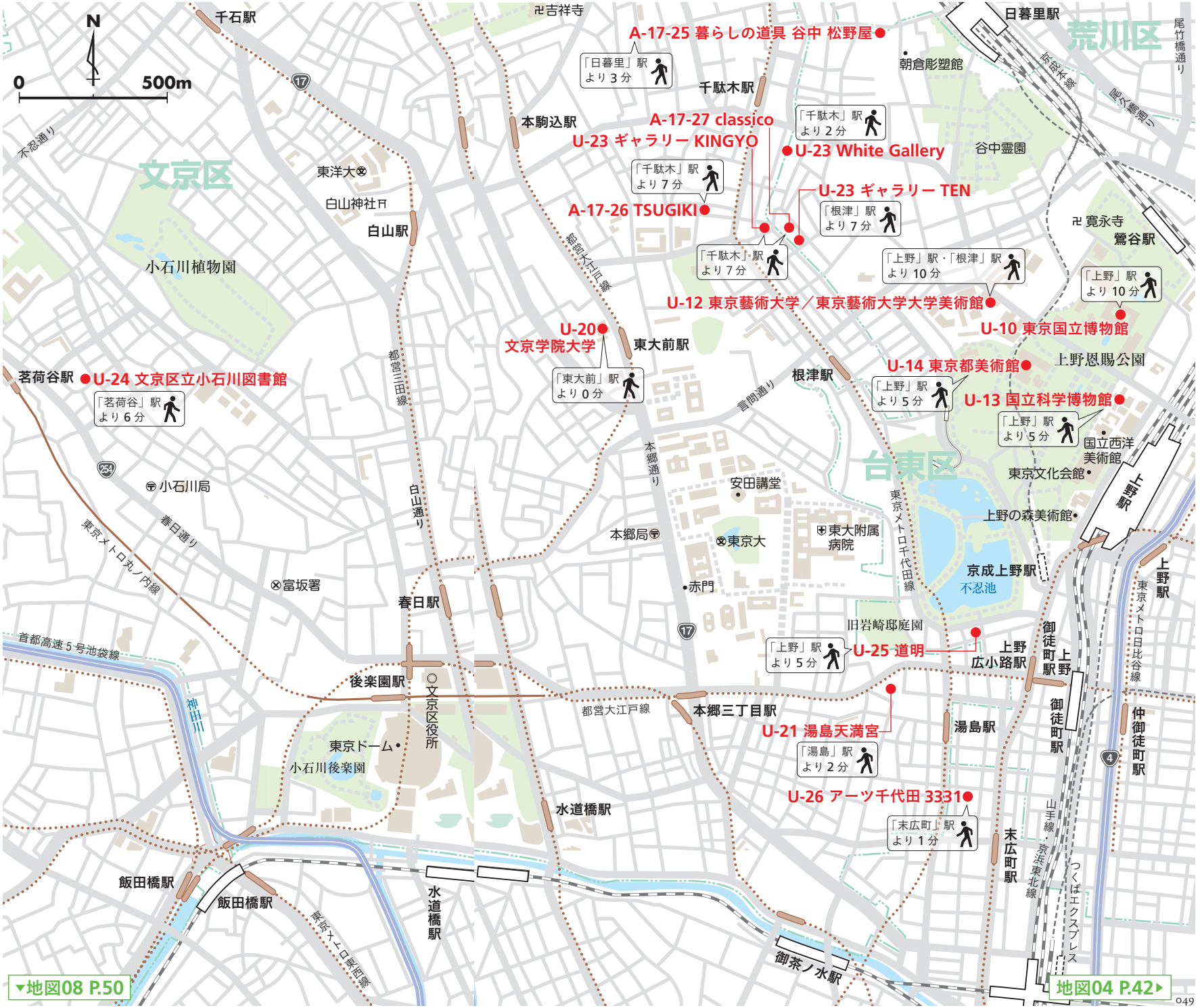

竹橋駅
N
0
300m
皇居東御苑
宮内庁病院
三の丸尚蔵館
大手門
皇宮警察
千代田区
桔梗門
坂下門
皇居外苑
日比谷公園
丸の内署
東京メトロ半蔵門線
東京メトロ東西線
都営三田線
首都高速中央環状線
大手町駅
大手町ビル
山手線
京浜東北線·中央本線
東北·上越新幹線
東京メトロ千代田線
内堀通り
オアゾ
「東京駅」·「大手町」駅より直結
R-16-21 銀座夏野 新丸の内ビル店
R-16-22 かまわぬ 丸の内店
R-16-23 LES TOILES DU SOLEIL
東京駅
中央区
永代通り
日本橋駅
日本橋
R-16-24 ザ·コンランショップ 丸の内店
「東京駅」·「二重橋」駅より直結
二重橋前駅
日比谷通り
東京中央局
横須賀線
「東京」駅より徒歩5分
G-15 三菱一号館美術館
「有楽町」駅より3分
京葉線
東海道新幹線
G-27 FORUM ART SHOP/EXHIBITION SPACE APJ
東京メトロ有楽町線
東京メトロ日比谷線
日比谷駅
帝劇
出光美術館
東京国際フォーラム
有楽町駅
新橋駅
東京高速道路
銀座一丁目駅
「新日本橋」駅より1分
G-03 画廊 三溪洞
新日本橋駅
総武本線
江戸通り
三越前駅
日銀
三井本館
三井記念美術館
三越
「三越前」駅より1分
G-04 日本橋とやま館
首都高速1号上野線
G-22 小津和紙
「新日本橋」駅より2分、「小伝馬町」駅より2分
東京メトロ銀座線
八重洲通り
外堀通り
「日本橋」駅より直結
G-05 日本橋高島屋
都営浅草線
首都高速都心環状線
中央通り
昭和通り
「宝町」駅より1分
G-08 齋藤紫紅洞
「京橋」駅より2分
京橋駅
G-20 ギャラリーなつか
宝町駅
G-09 LIXILギャラリー
「京橋」駅より1分
平成通り
東京メトロ日比谷線
新大橋通り
鍛冶橋通り
八丁堀駅

## 地図07

### 上野·谷中·千駄木エリア


U-10 東京国立博物館▸P.68
U-12 東京藝術大学／東京藝術大学大学美術館▸P.70
U-13 国立科学博物館▸P.74
U-14 東京都美術館▸P.75
U-20 文京学院大学▸P.76
U-21 湯島天満宮（仮）▸P.77
U-23-1 ギャラリー TEN▸P.158
U-23-2 ギャラリー KINGYO▸P.158
U-23-3 White Gallery▸P.158
U-24 文京区立小石川図書館▸P.126
U-25 道明▸P.163
U-26 アーツ千代田 3331▸P.114
A-17-25 暮らしの道具 谷中 松野屋▸P.170
A-17-26 TSUGIKI▸P.170
A-17-27 classico▸P.170

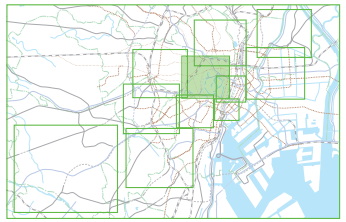



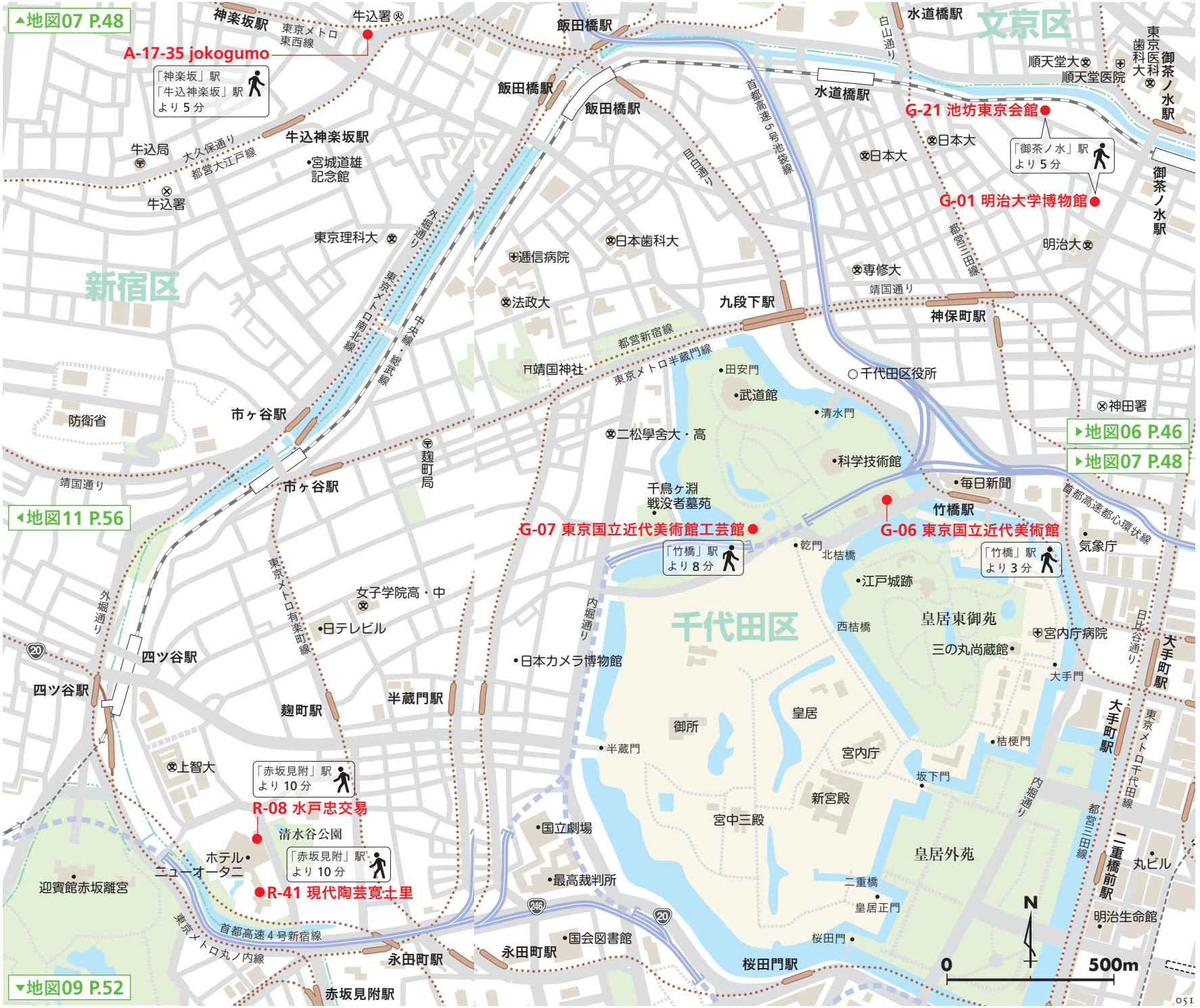


**地図08**

**御茶ノ水·飯田橋·竹橋·麹町エリア**

R-08 水戸忠交易▸P.98
G-01 明治大学博物館▸P.128
G-07 東京国立近代美術館工芸館▸P.124
G-21 池坊東京会館▸P.127
A-17-35 jokogumo▸P.171

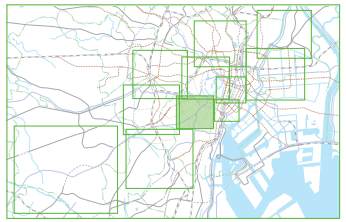




## 地図09

### 虎ノ門·赤坂·六本木エリア


R-02 虎ノ門ヒルズ▸P.120
R-03 菊池寛実記念 智美術館▸P.93
R-05 泉屋博古館分館▸P.97
R-07 サントリー美術館▸P.122
R-20 東京ミッドタウン·デザインハブ▸P.108
R-42 六本木ヒルズ アカデミーヒルズタワーホール▸P.14
R-43 東京ミッドタウン Hall A▸P.10
R-47、R-49、R-50 国立新美術館 ▸P.11、12、94
A-16-01 伝統工芸 青山スクエア▸P.164
A-16-02 陶香堂▸P.164
A-16-03 かぐれ 東京ミッドタウン▸P.164
A-16-04 THE COVER NIPPON▸P.164
A-16-05 STYLE MEETS PEOPLE▸P.164
A-16-06 TIME & STYLE MIDTOWN ▸P.164
A-16-07 菱屋カレン ブロッソ 東京ミッドタウン店▸P.164
A-16-08 テネリータ 東京ミッドタウン店 ▸P.164
A-16-09 LIBECO HOME▸P.165
A-16-10 WISE·WISE tools▸P.165
A-16-11 ファーバーカステル東京ミッドタウン ▸P.165
A-16-12 TSUTAYA TOKYO ROPPONGI ▸P.165


▲地図08 P.50
◀地図10 P.54
▸地図05 P.44


R-07 サントリー美術館
R-16-03 かぐれ 東京ミッドタウン
R-16-04 THE COVER NIPPON
R-16-05 STYLE MEETS PEOPLE
R-16-06 TIME & STYLE MIDTOWN
R-16-07 菱屋 カレン ブロッソ 東京ミッドタウン店
R-16-08 テネリータ 東京ミッドタウン店
R-16-09 LIBECO HOME
R-16-10 WISE · WISE tools
R-16-11 ファーバーカステル東京ミッドタウン
R-20 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
R-20 東京ミッドタウン・デザインハブ
R-43 東京ミッドタウン Hall A

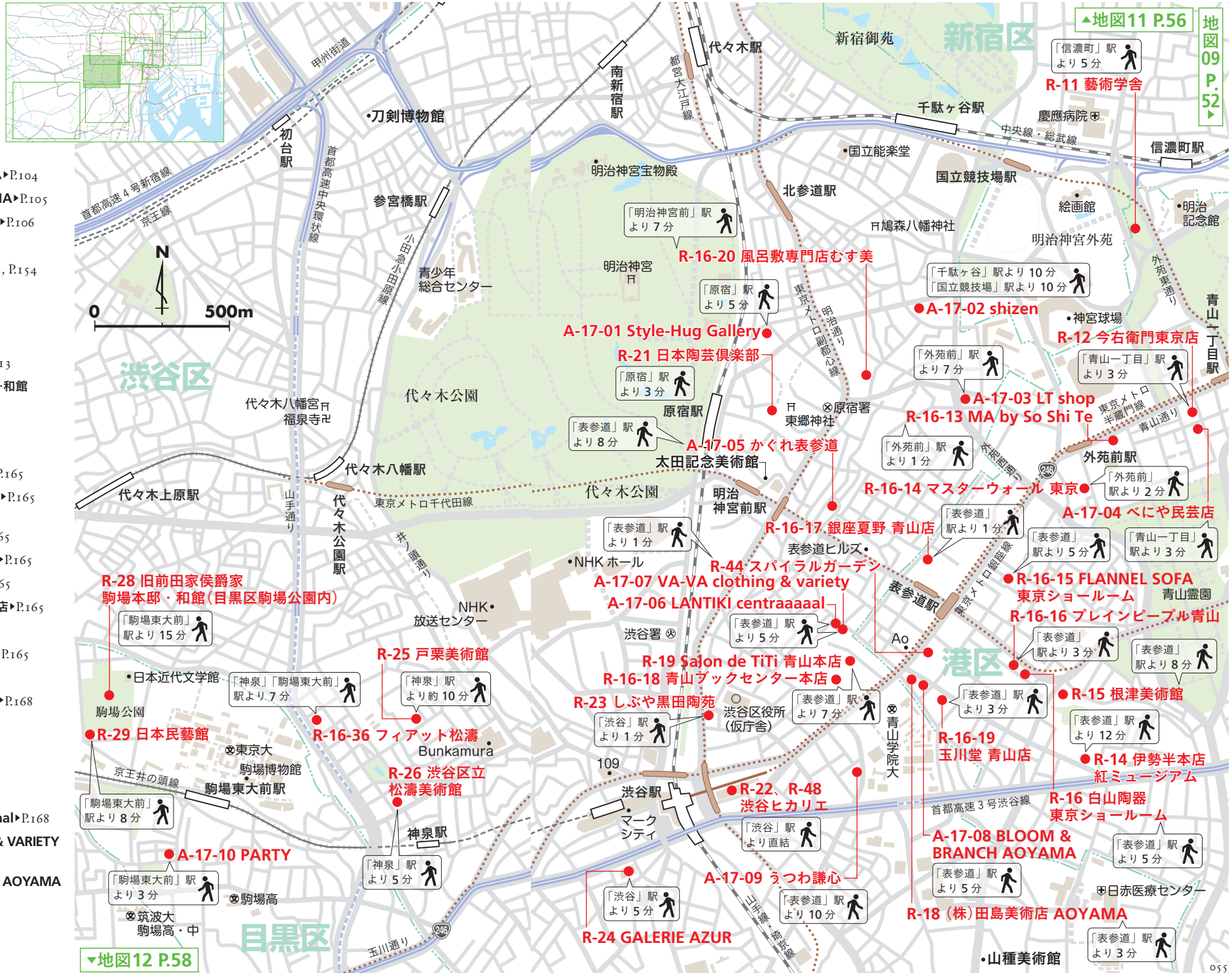
R-16-1 伝統工芸 青山スクエア
「青山一丁目」駅より5分
R-16-2 陶香堂
「赤坂見附」駅より2分
R-47、R-49、R-50 国立新美術館
「乃木坂」駅より直結
「六本木」駅より直結
R-42 六本木ヒルズ アカデミーヒルズタワーホール
「六本木」駅より10分
R-16-12 TSUTAYA TOKYO ROPPONGI
「六本木」駅より9分
R-02 虎ノ門ヒルズ
「虎ノ門」駅より徒歩約5分
R-03 菊池寛実記念 智美術館
「神谷町」駅より6分
R-05 泉屋博古館分館
「六本木一丁目」駅より5分
R-07 サボア・ヴィーブル
「六本木」駅より10分

東宮御所
赤坂御苑
赤坂御用地
豊川稲荷
青山一丁目駅
東京メトロ半蔵門線
青山通り
赤坂署
カナダ大使館
赤坂局
青山霊園
乃木坂駅
東京メトロ千代田線
檜町公園
東京ミッドタウン
防衛大学校
六本木駅
政策研究大学院大
六本木通り
麻布署
六本木ヒルズ
テレビ朝日
東京メトロ日比谷線
永田町駅
国会図書館
桜田門駅
東京メトロ有楽町線
千代田区
赤坂見附駅
日比谷高
国会議事堂
日枝神社
国会議事堂前駅
東京メトロ丸ノ内線
霞ヶ関駅
溜池山王駅
首相官邸
赤坂サカス
赤坂駅
東京メトロ銀座線
虎ノ門駅
東京メトロ日比谷線
港区
虎の門病院
アメリカ大使館
桜田通り
アークヒルズ
テレビ朝日
ホテルオークラ別館
六本木一丁目駅
首都高速3号渋谷線
首都高速都心環状線
東京メトロ南北線
環二通り
25.7 愛宕山
テレビ東京
慈恵大学病院
神谷町駅
東京慈恵会医科大
都営三田線
日比谷通り
御成門駅
麻布署
ロシア大使館
東洋英和女学院高・中
東京タワー
増上寺
港区役所
麻布十番駅
N
0
500m

## 地図10

### 青山·渋谷·代々木エリア

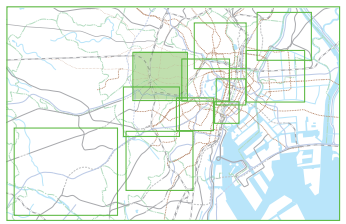

R-11 藝術学舎▸P.100
R-12 今右衛門東京店▸P.101
R-14 伊勢半本店 紅ミュージアム▸P.102
R-15 根津美術館▸P.103
R-16 白山陶器東京ショールーム▸P.104
R-18 (株)田島美術店 AOYAMA▸P.105
R-19 Salon de TiTi 青山本店▸P.106
R-21 日本陶芸倶楽部▸P.107
R-22、R-48 渋谷ヒカリエ▸P.121, P.154
R-23 しぶや黒田陶苑▸P.110
R-24 GALERIE AZUR▸P.111
R-25 戸栗美術館▸P.112
R-26 渋谷区立松濤美術館▸P.113
R-28 旧前田家侯爵家駒場本邸·和館 (目黒区駒場公園内)▸P.114
R-29 日本民藝館▸P.115
R-44 スパイラルガーデン▸P.156
A-16-13 MA by So Shi Te▸P.165
A-16-14 マスターウォール 東京▸P.165
A-16-15 FLANNEL SOFA 東京ショールーム▸P.165
A-16-16 プレインピープル青山▸P.165
A-16-17 銀座夏野 青山店▸P.165
A-16-18 青山ブックセンター本店▸P.165
A-16-19 玉川堂 青山店▸P.165
A-16-20 風呂敷専門店むす美▸P.165
A-16-36 フィアット松濤▸P.167
A-17-01 Style-Hug Gallery▸P.168
A-17-02 shizen▸P.168
A-17-03 LT shop▸P.168
A-17-04 べにや民芸店▸P.168
A-17-05 かぐれ表参道▸P.168
A-17-06 LANTIKI centraaaaal▸P.168
A-17-07 VA-VA CLOTHING & VARIETY ▸P.168
A-17-08 BLOOM & BRANCH AOYAMA ▸P.168
A-17-09 うつわ謙心▸P.169
A-17-10 PARTY▸P.169

## 地図11

### 四谷·新宿エリア

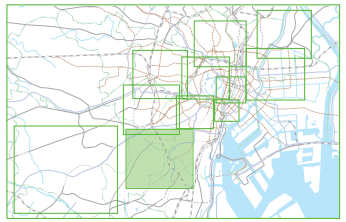
S-01 徳友会館(大日本茶道学会本部教場) ▸P.144
S-02 東京おもちゃ美術館▸P.145
S-03 新宿区立四谷図書館▸P.126
S-04 文化学園大学▸P.142
S-05 文化学園服飾博物館▸P.143
A-16-38 ザ·コンランショップ 新宿本店 ▸P.167
A-16-39 ノルディックフォルム▸P.167
A-17-34 備後屋▸P.171

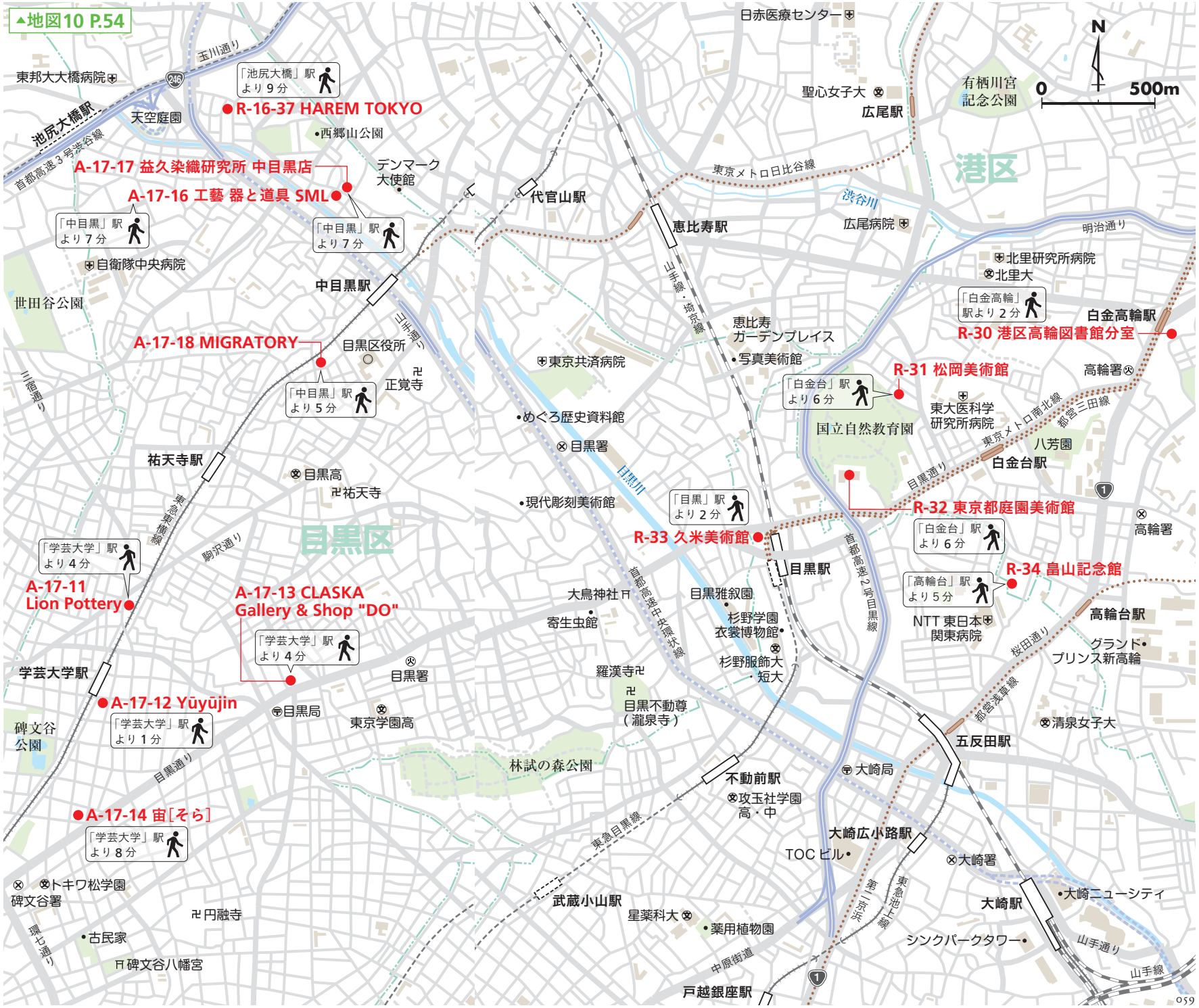


## 地図12

### 白金·目黒·五反田·代官山エリア


R-30 港区高輪図書館分室▸P.126
R-31 松岡美術館▸P.116
R-32 東京都庭園美術館▸P.90
R-33 久米美術館▸P.117
R-34 畠山記念館▸P.118
A-16-37 HAREM TOKYO▸P.167
A-17-11 Lion Pottery▸P.169
A-17-12 yūyūjin▸P.169
A-17-13 CLASKA Gallery & Shop "DO" ▸P.169
A-17-14 宙[そら]▸P.169
A-17-16 工藝 器と道具 SML▸P.169
A-17-17 益久染織研究所 中目黒店▸P.169
A-17-18 MIGRATORY▸P.169

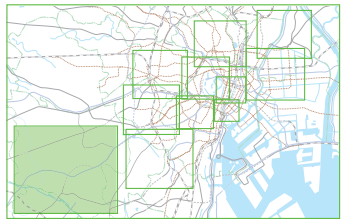



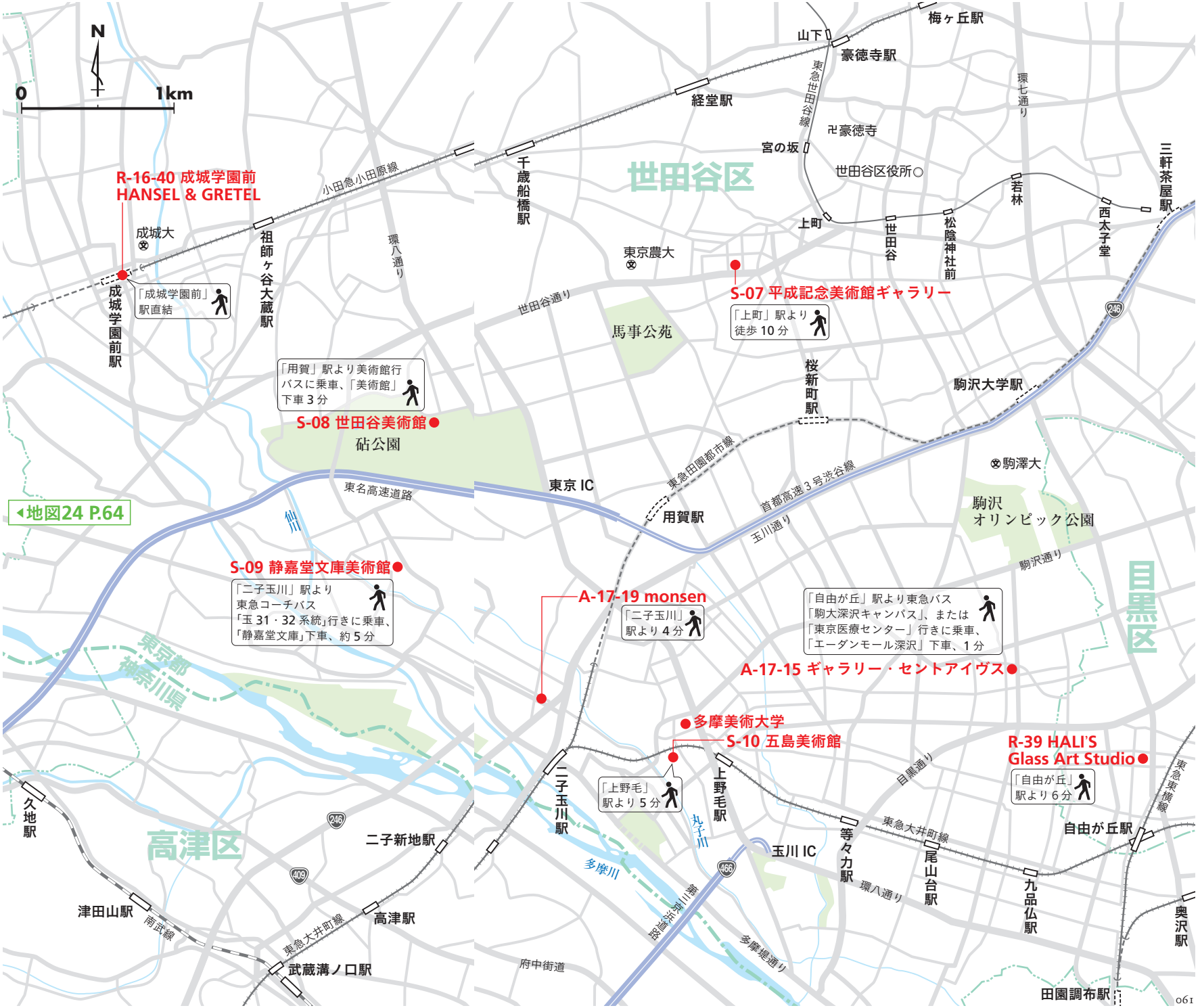


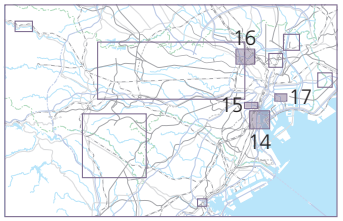
## 地図13

**自由が丘·世田谷エリア**

R-39 HALI'S Glass Art Studio▸P.119
S-07 平成記念美術館ギャラリー▸P.146
S-08 世田谷美術館▸P.147
S-09 静嘉堂文庫美術館▸P.148
S-10 五島美術館▸P.149
A-16-40 成城学園前 HANSEL&GRETEL ▸P.167
A-17-15 ギャラリー·セントアイヴス▸P.169
A-17-19 monsen▸P.170








## 地図14

品川·天王洲·お台場エリア

G-19 地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター▸P.13

R-36 天王洲アイルセントラルタワービル▸P.158

## 地図15

麻布·芝エリア

R-04 t.gallery▸P.96

R-09 狩野グラススタジオ▸P.99

## 地図16

王子·板橋エリア

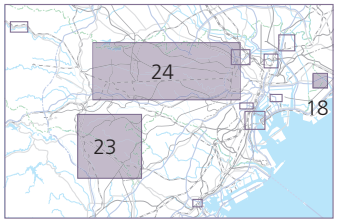
A-01 紙の博物館▸P.172

A-02 瑞玉ギャラリー▸P.173

## 地図17

東陽町、木場エリア

A-17-29 watari▸P.171




## 地図24

**広域—西武沿線·中央線沿線エリア**

- S-13 ／ S15 西武池袋本店▸P.151
- A-17-36 小鹿田焼ソノモノ▸P.171
- A-03 練馬区美術館▸P.126
- A-17-37 knulpAA▸P.171
- A-13 土鈴工房 鈴蔵▸P.176
- S-14 夜咄Sahan▸P.162
- S-12 梅若サロン（梅若能楽学院）▸P.163
- A-17-24 モノ·モノ▸P.170
- S-06 女子美術大学（杉並キャンパス）▸P.154
- A-17-23 zakka土の記憶▸P.170
- A-17-20 MARKUS▸P.170
- A-17-21 Vada antiques▸P.170
- A-17-22 器と道具 つみ草▸P.170
- A-18 三鷹·一枝窓▸P.162
- S-11 国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館▸P.150
- A-05 たましん歴史·美術館▸P.174
- A-04 武蔵野美術大学 美術館·図書館▸P.160
- A-16-41 FLAXUS▸P.167

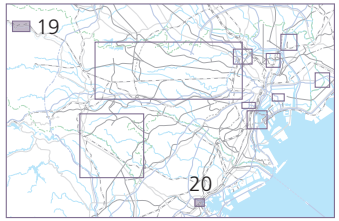
## 地図18

- U-27 江戸川篠崎 子ども図書館▸P.126

## 地図23

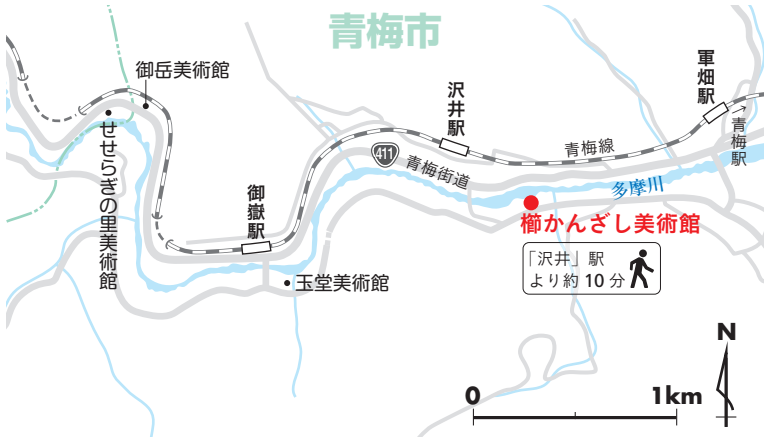
**広域—多摩·町田·相模原エリア**

- A-06 多摩美術大学美術館▸P.159
- A-07 長池公園自然館▸P.158
- A-08 玉川大学教育博物館▸P.175
- A-09 町田市立博物館▸P.177
- A-10 女子美術大学美術館（女子美術大学相模原キャンパス）▸P.155




## 地図19

**青梅エリア**



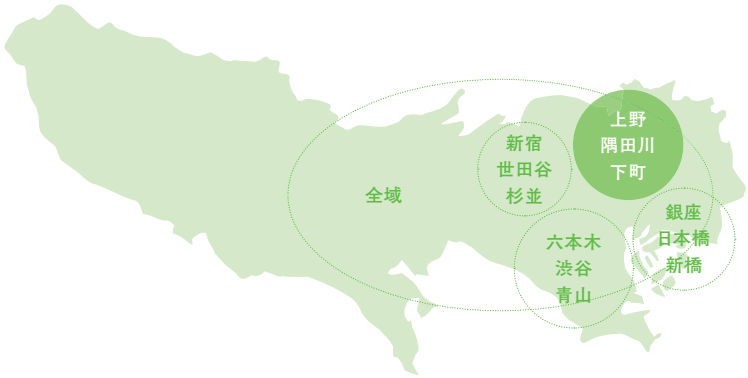

## 地図20

**広域―横浜エリア**　A-14 横浜高島屋▸P.163

U

# 上野・隅田川・下町

Ueno , Sumidagawa , Downtown



▸地図07 P.49

**東京国立博物館**
Tokyo National Museum

**住所** 台東区上野公園13-9　**交通** JR「上野」駅公園口より徒歩10分
http://www.tnm.jp　**問** 03-5777-8600（ハローダイヤル）　**休館日** 月曜（祝休日の場合は翌平日）、年末年始（12月24日～2017年1月1日）　**観覧料** 一般620円、大学生410円。高校生以下、満70歳以上、障害者手帳をおもちの方および介護者1名は無料

# 特集陳列「掛袱紗 ―祝う心を模様にたくす」

Thematic Exhibition: *Kake fukusa* Japanese Gift Covers with Festive Patterns

**2016年12月20日（火）～2017年2月19日（日）**

**会場 東京国立博物館 本館1階14室**

**時間** 9:30～17:00（入館は16:30まで）※金・土曜および11月3日（木・祝）は20:00まで開館（入館は19:30まで）

掛袱紗（かけふくさ）は、婚礼や長寿を祝う儀において、お祝いの品を贈る際にその上に掛ける「覆い」です。江戸時代後期には、刺繍や友禅染、綴織（つづれおり）などによる美しい模様で飾られました。広蓋（ひろぶた）に掛けられた掛袱紗の使用例もご覧いただきながら、当館所蔵の江戸時代の袱紗を「物語・説話絵」「神仏と祭り」「武家模様」「吉祥模様」の4つのテーマに分けて紹介します。模様の意味を通して江戸時代における祝う心の表現に迫ります。
キュレーター：小山弓弦葉 工芸室長

《袱紗 萌黄繻子地桜樹孔雀模様》
江戸時代・19世紀

《袱紗 紺繻子地鯛模様》江戸時代・18～19世紀

# 第13回「台東区の伝統工芸職人展」
## ―したまちに受け継がれる匠のこころ粋―

The 13th Exhibition of Taito City's Traditional Craftsmen : Celebrating Generations of Artisanal Spirit

［主催］**台東区**

**2016年11月15日（火）～20日（日）**

**会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ**

**時間** 9:30～17:00（入館は16:30まで）※開館時間延長などに関わらず、伝統工芸職人展は17:00まで

**観覧料** 総合文化展鑑覧料でご覧いただけます

**問** 03-5246-1131（台東区役所文化産業観光部産業振興課）

B 第13回「台東区の伝統工芸職人展」

2004年度より実施している展示。東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。平成館ラウンジにて、伝統工芸職人による、指物（さしもの）、漆器、べっ甲、桐箪笥などの伝統工芸品およびその製造過程を公開し、伝統工芸への理解を深めていただきます。下町の歴史と風土のなかで育まれ受け継がれてきた、職人の本物の技と手づくりのぬくもりに触れてください。

昨年の「台東区の伝統工芸職人展」の様子

### 東京国立博物館と工芸

1872（明治5）年創設の日本でもっとも長い歴史をもつ博物館。日本と東洋の美術品、考古遺物など11万6千件以上を所蔵し、そのうち常時約3000件を展示しています。工芸では、日本およびアジアの陶磁器・染織・漆工・金工・武具などを展示しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

第12回「台東区の伝統工芸職人展」（2015年）、「2014年日中韓国立博物館合同企画特別展『東アジアの華　陶磁名品展』」（2014年）、第11回「台東区の伝統工芸職人展」（2014年）、「日本伝統工芸展60回記念『人間国宝展―生み出された美、伝えゆくわざ―』」（2014年）、第10回「台東区の伝統工芸職人展」（2013年）

▸地図07 P.49

**東京藝術大学／東京藝術大学大学美術館**
Tokyo University of the Arts / The University Art Museum, Tokyo University of The Arts

**住所** 台東区上野公園12-8　**交通** JR「上野」駅、千代田線「根津」駅より徒歩10分。京成線、日比谷線・銀座線「上野」駅より徒歩15分。JR「上野」駅公園口から循環バス「東西めぐりん」（東京芸術大学経由）で4分、バス停「東京芸術大学」で下車　http://www.geidai.ac.jp/museum/
**問** 03-5777-8600（ハローダイヤル）

# 驚きの明治工藝

Meiji Kogei：Amazing Japanese Art

［主催］**東京藝術大学、朝日新聞社**

**2016年9月7日（水）～10月30日（日）**

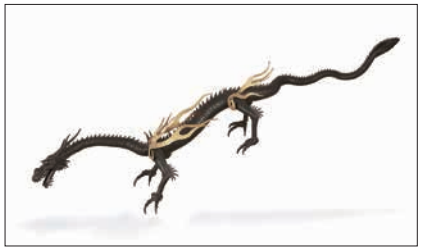
**会場 東京藝術大学大学美術館 地下2階**

**休館日** 月曜 **時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）※10月22日（土）は20:00まで開館（入館は19:30まで）**入館料** 一般1300円、大学・高校生800円。中学生以下、障がい者手帳をおもちの方とその付添者1名は無料

A 毎週木曜の11:00から藝大生によるギャラリートークを実施。 B 自在置物の「蛇」の動きをコマ撮りムービーで再現上映。

特 美術館チケット売場にて本書のご提示で、「驚きの明治工藝」の入館料を100円引き

細密、写実的な表現で近年人気の高い「明治工藝」の一大コレクションが台湾にあることはあまり知られていません。この「宋培安コレクション」から130件以上もの名品を日本ではじめて紹介します。全長3メートルもある世界最大の龍の「自在置物」、「ビロード友禅」をはじめ、漆工、金工、彫刻など、驚きがいっぱいの展覧会です。



宗義《自在龍》

# 退任記念展 三田村有純「黄金境界」

GOLDEN BOUNDARIES — Carrying on the Flow of Edo Makie Tradition Special Exhibition for the Retirement of Professor Arisumi Mitamura

**2016年10月25日（火）～11月6日（日）**

**会場 東京藝術大学大学美術館 3階**

**休館日** 会期中無休 **時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）**入館料** 無料

三田村有純ギャラリートーク▸**日程** 10月30日（日）、11月3日（木・祝日）**時間** 15:00～ **会場** 東京藝術大学大学美術館3階 参加自由・入場無料

A 三田村有純ギャラリートーク B 三代に渡る作品展示により、受け継がれてきた技法と共に個人によって異なる表現を見せる。 C 朱漆で塗られたキュービックハウスを展示。

漆の立体作品35点を一堂に展示。本展では自作に加え三田村が多くを学んだ祖父、父の作品や資料等50点も併せて展観します。また建築と漆芸の融合させた2畳の空間を作り、未来への提言を試みます。

三田村有純《生命在る処》個人蔵

# うるしのかたち展 2016

form of urushi 2016

［主催］**東京藝術大学漆芸研究室**

**2016年10月29日（土）～11月6日（日）**

**会場 東京藝術大学大学美術館 陳列館**

**休館日** 会期中無休 **時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）**入館料** 無料

ギャラリートーク▸**日程** 10月30日（日）小椋範彦（美術学部教授）▸**日程** 11月3日（木・祝） 青木宏憧（漆芸研究室非常勤講師）、松崎森平（漆芸研究室非常勤講師）**時間** 14:00～（両日）**会場** 東京藝術大学大学美術館 陳列館 参加自由・入場無料

A ギャラリートーク。 B 20代の学生から70歳を超える名誉教授の作品まで、27名の個性ある漆芸作品を展示。 C 朱色の漆を塗り、磨き上げた乾漆作品を展示。

東京藝術大学漆芸研究室は、今年で127年を迎えます。現在も漆芸を志す学生は多く、中国、韓国、ベトナムなどのアジア諸国だけでなくヨーロッパなどから留学生が集まってきています。今回は教員、名誉教授から留学生を含む学生による漆芸作品を展示します。

# 宮田亮平退任展「喜怒愛藝」

In Commemoration of Retirement Ryohei Miyata

**2016年11月14日（月）～23日（水）**

**会場 東京藝術大学大学美術館 3階**

**休館日** 会期中無休 **時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）※11月14日（月）は20:00まで開館（入館は19:30まで）**入館料** 無料

宮田亮平《月あかり》個人蔵　撮影：江崎義一

宮田は1972年より美術学部工芸科で教鞭をとり、2005年以降は学長として尽力してきました。本展は助手時代の「ゲルからの移行」から現存のライフワークであるイルカの作品群と各地のパブリックアートの写真などで構成。制作に対する思考の熟成とともに変化する作品が展示されます。

ギャラリートーク▸**日程** 2016年11月19日（土）、11月20日（日）**時間** 14:00～ **会場** 東京藝術大学大学美術館3階 参加自由・入場無料

# 回顧展「橋本明夫の景色」

Professor Akio Hashimoto Retrospective Exhibition. “The scenery of the Akio Hashimoto”

**2017年1月6日(金)～19日(木)**

**会場 東京藝術大学大学美術館 陳列館1階**

**休館日** 会期中無休 **時間** 10:00～17:00(入館は16:30まで) **入場料** 無料

鋳金を指導してきた故橋本明夫の回顧展。橋本は伝統的な真土型技法を主に用いながらも、最先端の高周波溶解炉によるセラミック鋳造をいち早く取り入れ制作しました。修了制作から近年の作品まで一挙に公開します。

橋本明夫《気流・天と地》鋳鉄、2006年

B 制作に使用した道具や、映像の展示。

## 退任記念展
# 飯野一朗「彫金の風景」

Professor Ichiro Iino Retirement Exhibition.
“The landscape of the Metalsmith's work”

**2017年1月6日(金)～19日(木)**

**会場 東京藝術大学大学美術館 陳列館2階**

**休館日** 会期中無休 **時間** 10:00～17:00(入館は16:30まで) **入場料**：無料

B 金属のもつさまざまな表情を展観。

飯野一朗《リボンのブローチ》

工芸科で彫金を指導してきた飯野は、工芸作品からジュエリーまで幅広い分野において第一線で活躍してきました。卒業制作から近作までの軌跡を追う本展は、彫金科の歴史を辿るものでもあり、同時に彫金という分野の可能性を提示します。

### 東京藝術大学／東京藝術大学大学美術館・陳列館と工芸

1887年の東京美術学校設置に先立つ時期から芸術資料の収集が行われ、現在の収蔵品は2万9000件あまりに達しています。東京藝術大学大学美術館は、芸術資料の収集、研究、保存、展示や普及活動に加えて、制作と教育研究の現場である芸術大学という特質を合わせて、わが国に前例のない実験的な美術館として機能することを基本理念としています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「若手工芸作家国際展 第2回薪技芸・炎」(2016年)、「島田文雄退任記念展」(2015年)、「和鉄　たたらと鍛冶　永田和宏退任記念展」(2014年)、「うるしのかたち展」(2014年)、「『漆芸　軌跡と未来』」展」(2012年)

**東京都江戸東京博物館**
The Metropolitan Edo-Tokyo Museum
**住所** 墨田区横網1-4-1　**交通** JR「両国」駅より徒歩3分　https://www.edo-tokyo-museum.or.jp　**問** 03-3626-9974(代表)

# すみだの伝統工芸　ワークショップと実演

**2016年11月19日(土)、20日(日)**
**12月17日(土)、18日(日)**

**休館日** 月曜(祝日の場合は翌平日) **時間** 9：30～17：30(土曜は19：30まで)(入館は閉館の30分前まで) **入館料** 一般600円、大学・専門学校生480円、中学生(都外)・高校生・65歳以上300円。中学生(都内)・小学生以下は無料

**1. ワークショップ**
木目込みミニ鞠を作ってみよう▸
**日程** 11月20日(日)
**時間** ①10:30～11:30 ②12:30～13:30 ③14:30～15:00(予定)
**講師** 塚田詠春
江戸文字を体験してみよう▸
**日程** 12月18日(日)
**時間** ①10:30～11:30 ②12:30～13:30 ③14:30～15:00(予定)
**講師** 大石智博
**募集人数** 各回20人、各回開始10分前より先着順にて受付
**参加費** 無料(常設展観覧料が必要)
**会場** 東京都江戸東京博物館 常設展示室内5階 ミュージアム・ラボ

**2. 実演**
押絵羽子板・べっ甲細工▸
**日程** 11月19日(土)、20日(日)
**時間** 10:30～16:30(予定)
**実演者** 西山和宏(押絵羽子板)、磯貝英之(べっ甲細工)
錺かんざし・桐たんす▸
**日程** 12月17日(土)、18日(日)
**時間** 10:30～16:30(予定)
**実演者** 三浦孝之(錺かんざし)、田中英二(桐たんす)
**会場** 東京都江戸東京博物館 常設展示室内5階 体験住宅

東京都江戸東京博物館の地元、墨田区伝統工芸保存会に所属する職人が伝える東京の伝統工芸の技を、ワークショップと実演で体感していただく企画です。ワークショップは木目込みによるミニ鞠作りと提灯に筆で江戸文字を書く体験、実演は押絵羽子板、べっ甲細工、錺かんざし、桐たんすをご覧いただきます。

上：木目込みミニ鞠　下：江戸文字体験

### 東京都江戸東京博物館と工芸

江戸東京の歴史と文化を振り返り、未来の都市と生活を考える場として1993年に開館。徳川家康の江戸入府から現代に至る400年余の期間について紹介し、絵画や工芸品のほか、漆工芸技術を結集した女乗物なども展示しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

江戸切子、藍染めなど伝統工芸の体験教室（毎年）

特典

## U-13

▶地図07 P.49

**国立科学博物館**
National Museum of Nature and Science

**住所** 台東区上野公園7-20　**交通** アクセス：JR「上野」駅より徒歩5分、銀座線・日比谷線「上野」駅・京成線「上野」駅より徒歩10分　http://www.kahaku.go.jp　**問** 03-5777-8600（ハローダイヤル）

# ～来て、見て、体験～ 台東区の伝統工芸

Traditional Handicrafts of Taito City

**2017年1月14日（土）、15日（日）**

**時間** 10:00～16:00　**入館料** 一般・大学生620円。高校生（高等専門学校生含む）以下・65歳以上は無料。体験コーナーでは材料費が必要

台東区および台東区伝統工芸振興会との連携により、職人による実演コーナー、ものづくり体験コーナーなど、職人の技を間近で見る機会、伝統工芸を使った工作物をつくることができるイベントです。

左：ものづくり体験コーナー（過去のイベントの様子）、右：実演コーナー（過去のイベントの様子）

## 特別展
# 「世界遺産　ラスコー展
## ～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」

Lascaux: The Cave Paintings of the Ice Age

**2016年11月1日（火）～2017年2月19日（日）**

**休館日** 月曜（ただし12/26、1/2、1/9、2/13は開館）、12月28日（水）～1月1日（日）、1月10日（火）　**時間** 9:00~17:00（入館は16:30まで）※金曜は20:00まで開館、（入館は19:30まで）　**料金**：一般・大学生1600円、小・中・高校生600円。未就学児、障がい者手帳をおもちの方は無料

実物大で再現される壁画「黒い牝ウシ」
© SPL Lascaux international exhibition

本展は、フランスのラスコー洞窟で2万年前に描かれた壁画の全貌を紹介します。実物大で再現した洞窟壁画の他、クロマニョン人が残した彫刻や道具に焦点を当て、人類の創造性や芸術のはじまりに迫ります。

### 国立科学博物館と工芸

1931年に竣工した日本館は重要文化財に指定されている建物です。飛行機型の平面と、均整の取れた立面をもち、中央ホールや階段室の美しいステンドグラスが魅力です。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「～来て、見て、体験～　台東区の伝統工芸」（2013-2015年）

割引適応者用スタンプ捺印欄

特 チケット売り場にて本書のこのページのご提示で、特別展「世界遺産　ラスコー展　～クロマニョン人が残した洞窟壁画～」入場料（一般・大学生）を100円引き（本書一冊につきお一人様1回まで）



## U-14

▶地図07 P.49

**国画会工芸部**
Kokugakai

**住所** 台東区上野公園8-36　**交通** JR「上野」駅より徒歩7分、京成線・銀座線・日比谷線「上野」駅より徒歩10分　**問** 03-3391-9316（国画会工芸部事務所）　http://www.kokugakai.com/kougeibu/

# 90回記念国展受賞作家展
## （版画部、彫刻部、工芸部、写真部）
## ―未来への歩み2016―

［主催］**国画会 版画部・彫刻部・工芸部・写真部**

**2016年11月8日（火）～15日（火）**

**会場 東京都美術館 ギャラリーA・B**

**時間** 9:30～17:30（入館は17:00まで）※8日は14:00より開館、15日は14:30まで開館　**入場料** 無料

国画会は、1925年に始まった美術団体で、毎年春に東京都美術館で国展（国画会展）を行い、今年で90年の節目を迎えました。今回は、「90年記念国展」で受賞した作家たちの作品を展示。柳宗悦、冨本憲吉、バーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司、芹沢銈介などわが国の工芸をリードした巨匠たちが活躍していた工芸部。その先人の志を継ぎ、織、染、陶、漆、皮革、木工、ガラス、それぞれの素材の本質を追究し、創意工夫にあふれる作品が並びます。

左：工芸部　準会員優作賞　境朋子《雨上がる》
右：工芸部　90回記念展賞　伊田悠子《匂い立つ》

### 国画会工芸部と工芸

1927年、梅原龍三郎の勧めで富本憲吉が会員として迎えられ、国画会に工芸部が新設。柳宗悦を柱として、浜田庄司、バーナード・リーチ、河井寛次郎、芹沢銈介、棟方志功などの民藝運動の作家も加わっていましたが、1937年に民藝関係の作家たちが退会。しかし、1947年に再び柳宗悦、浜田、河井、柳悦孝などによって、「用と美」を理念とした新たな工芸部が発足します。以後、毎年新しく会員を加え、現在では100名を超える会員、準会員が所属しています。

**文京学院大学**
Bunkyo Gakuin University

**住所** 文京区向丘1-19-1　**交通** 南北線「東大前」駅出口より徒歩0分
http://www.u-bunkyo.ac.jp　**問** 03-3814-1661（代表）

# 伝統工芸活性化に向けた協働と連携

## ～インフォグラフィックの効果的な活用を軸に

"Collaboration for the Revitalization of Traditional Japanese Crafts"

**2016年12月17日（土）**

**時間** 12:30～15:00　**入場料** 無料

**ゲストパネラー**（予定、五十音順、敬称略）
元雅亮（有限会社はじめ商事代表取締役。大島紬織元）
前島直紀（株式会社カーツメディアワークス制作部長。インフォグラフィックデザイナー）
矢島里佳（株式会社和える代表取締役。0から6歳の伝統ブランドaeruを創設）
吉田治英（株式会社GK京都顧問。京都の伝統工芸を生かしたプロダクトデザインを推進）
※他に本学教員が参加

伝統工芸の再活性化に係わる方々の協働・連携のプロセスでの、コミュニケーションの重要性やインフォグラフィックを用いることの有効性について、大島紬と本学学生たちの係わりあいのケースなどを例に、パネルディスカッションの形でご紹介します。当該伝統工芸産業の特質や課題、活性化に向けた展望などを「絵」を交えて整理し発信することで、認識の共有化が進み、協働・連携の共通基盤が生まれやすくなることを、具体例を通じてわかりやすくお示しできればと考えます。

大島紬の生産工程を見学・体験する学生たち（2016年）

### 文京学院大学と工芸

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5000人の学生が在籍する総合大学です。経営学部にはマーケティング・デザイン専攻があり、また外国学部を中心にロンドン芸術大学との相互交流がスタートするなど、学生の社会デザイン力を高める多彩な教育を、伝統工芸の技術者や産地と連携しながら実践しています。

**一般社団法人　日本文化伝統産業近代化促進協議会**
Association for Modernizing Culture and Traditional Industry of Japan（J-ART）

# 国家安泰東京創生神楽（仮）

［主催］**創生神楽東京実行委員会**

**2016年11月下旬～12月初旬のうち1日（予定）**

**会場 湯島天満宮**（調整中）
文京区湯島3-30-1

**時間** 夕刻ころより　**入場料** 一般2000円、こども（18歳以下）500円（仮）　**交通** 千代田線「湯島」駅より徒歩2分　http://www.kagura.jp.net/　**問** 06-6754-9160／assis@neo-japanesque.net

民話・神話などの先祖から伝わる伝承を後世に継ぎ伝えるべく、口伝で授かった重要な形に舞や音楽をクリエイティブに演出して創作しています。世界の歴史文化が神楽コミュニケーションでつながることを目的として、私たちは創生神楽を世界に発信し続け、地域社会秩序の回復と世界平和の促進のために、創生神楽をさらに推進して参りたい所存でございます。
東京都の平和・地域活性などを祈り、古来よりの伝承を未来に残すための一助と成りたいと存じます。

B 古来から伝わる世界和合のための形や呪を神楽のなかで現す。

世界文化遺産　総本山金峰山寺　神楽殿に於いて

### 一般社団法人　日本文化伝統産業近代化促進協議会と工芸

わが国の伝統文化（伝統技術・伝統 美・精神性）を、今日的なデザインや機能を取り入れ、現代生活にふさわしいように進化させ、全世界へ発信し、文化的な貢献を国際的に行うこと。「ネオ・ジャパネスク（温故創新）」と題した独自の日本的世界観を表現する舞台や芸術作品展などの事業を各国で展開。

### これまでの工芸に関する主なイベント

イギリス王立ビクトリア&アルバート美術館に作品の着物が所蔵（2002年）、ピッティ宮殿（イタリア・フィレンツェ）銀器博物館所蔵《合茶絵付大碗「絆」》、NEO JAPANESQUE（新日本様式）ブランド推進懇談会における表博耀デザインプロデュース《絢爛プラズマテレビ》

特 神楽HP（http://www.kagura.jp.net/）にアクセスしてホーム画面のご提示で、入場料を200円引き（仮）

**すみだ北斎美術館**
THE SUMIDA HOKUSAI MUSEUM

**住所** 墨田区亀沢2-7-2　**交通** 大江戸線、JR「両国」駅より徒歩5分　http://hokusai-museum.jp/　**問** 03-6658-8931（～10/31）、03-5777-8600（11/1～ハローダイヤル）／FAX 03-6658-8992／bunkashinkou@city.sumida.lg.jp

# 北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション

［主催］すみだ北斎美術館

**2016年11月22日（火）～2017年1月15日（日）**

**会場 すみだ北斎美術館 企画展示室**

**時間** 9:30～17:30（入館は17:00まで）**休館日** 月曜（祝日の場合は翌日）、12月26日～1月1日 **入場料** 一般1200円

開館記念展として、「北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション」を開催予定。《隅田川両岸景色図巻》は、一部の研究者間では北斎壮年時の傑作として注目されていましたが、海外に流失。今日まで100年あまりまったく行方の知られていなかった作品です。2015年に、区内篤志家の寄付金により墨田区が取得しました。また、この《隅田川両岸景色図巻》に加え、墨田区が収集した数々の北斎の名品、優品を展示します。

A 講演会やスライドトークなど、多彩な教育普及プログラムを実施する予定。

## すみだ北斎美術館と工芸

葛飾北斎は、本所割下水（現在の墨田区北斎通り）付近で生まれ、生涯のほとんどを区内で過ごし、作品を数多く残しました。墨田区では北斎を区民の誇りとして長く顕彰するとともに、観光や産業へ寄与する地域活性化の拠点として、「すみだ北斎美術館」を開設。北斎をテーマとした展覧会や教育普及活動を通じ情報を発信し、北斎と「すみだ」の魅力を高めていくことを目指します。

淡い鏡面のアルミパネルが印象的な外観（建築設計：妹島和世建築設計事務所）

葛飾北斎
《冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
墨田区所蔵





**吉徳これくしょん**
Yoshitoku Dolls Collection

**住所** 台東区浅草橋1-9-14　**休館日** 12月31日、1月1日　**時間** 10:00～17:00（入館は16:50まで）　**入館料** 無料　**交通** JR・浅草線「浅草橋」駅より徒歩1分　http://www.yoshitoku.co.jp　**問** 03-3863-4419

## 吉徳これくしょん企画展
# 国立劇場50周年記念「立版古（たてばんこ）と芝居絵」展

**2016年9月20日（火）～11月27日（日）**

国立劇場の開場50周年を記念して、芝居にゆかりの深い江戸から明治時代の「立版古」（組上絵）と貴重なその版木、芝居にちなんだ錦絵や人形などを、国立劇場所蔵作品を含めて展示します。

## 吉徳これくしょん企画展
# 「羽子板」展

**2016年12月3日（土）～2017年1月9日（月）**

**休館日** 12月31日（土）、2017年～1月1日（日）

明治の名工・大和屋吟光作の押絵羽子板をはじめ、江戸時代から現代に至る羽子板ならびに浮世絵や古文献などの関連資料を展示紹介します。

大和屋吟光《押絵羽子板「助六」》1906年、吉徳資料室蔵

## 吉徳これくしょん企画展
# 「おひなさま」展

**2017年1月14日（土）～3月3日（金）**

江戸時代から現代に至る雛人形・雛道具ならびに浮世絵や古文献などの関連資料を展示します。

森川杜園《一刀彫立雛》19世紀、吉徳資料室蔵

B「羽子板」展では江戸時代から昭和戦前期の名作を展示。 C「おひなさま」展では紅花や蘇芳（すおう）といった天然染料を使用した雛人形を展示。

## 吉徳これくしょんと工芸

人形問屋・吉徳の10代目当主で、日本の人形玩具研究の第一人者であった山田徳兵衛（1896～1983）が収集した人形玩具ならびに文献資料などを適切に保存・活用するため、1980年に資料室を、2014年に展示室を開設しました。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「生誕120年記念『野口光彦』展」（2016年）、「『日本人形のいろいろ』展」（2015年）、「『語りかける人形たち―人形と国際交流』展」（2015年）、「吉徳これくしょん名品展」（2014年）

平田郷陽《やまと人形》20世紀、吉徳資料室蔵

**江東区深川資料館**
Fukagawa Edo Museum

**住所** 江東区白河1-3-28　**交通** 半蔵門線・大江戸線「清澄白河」駅より徒歩3分。都営バス門33系統「清澄庭園前」バス停より徒歩3分、都営バス秋26系統「清澄白河駅前」バス停より徒歩4分　http://www.city.koto.lg.jp/　**問** 03-3647-9819／572109@city.koto.lg.jp

# 江東区伝統工芸展

Crafting Beauty in Modern Koto City

［主催］**江東区、江東区教育委員会**

**2016年10月29日(土)～11月3日(木・祝)**

**会場 江東区深川江戸資料館 地階レクホール**

**時間** 9:30～17:00（入館は16:30まで）※最終日は16:00まで開館（入館は15:30まで）　**入場料** 無料

※江東区伝統工芸品即売展（江東区伝統工芸保存会主催）同時開催

## 実演日程表

**10月29日（土）庖丁製作** 吉澤操／**手描友禅** 和田宣明／**べっ甲細工*** 磯貝實　ペンダントの磨き仕上げ：費用2000円／**染色補正** 丸田常廣／**無地染*** 近藤良治　手ぬぐいの絞り染め：費用1500円

**10月30日(日)建具*** 友國三郎　組子細工コースター：費用1000～1500円／**江戸指物*** 山田一彦　箸：費用1000円、小箱：費用1800円／**刀剣研磨** 臼木良彦／**相撲呼出し裁着袴製作** 富永皓／**あめ細工** 青木喜／**江戸切子*** 小林淑郎　中皿のカット：費用1000円／**すだれ製作*** 豊田勇　色紙掛け：費用500円／**木彫刻** 渡邉美憲

**10月31日(月)帯製作** 杉浦正雄／**建具*** 友國三郎　組子細工コースター：費用1000～1500円／**あめ細工** 青木喜

**11月1日(火)江戸指物*** 山田一彦　箸：費用1000円、小箱：費用1800円／**相撲呼出し裁着袴製作** 富永皓／**ふすま framed・ふすま縁** 鈴木延坦／**あめ細工** 青木喜

**11月2日（水）刀剣研磨** 臼木良彦／**江戸指物*** 山田一彦　箸：費用1000円、小箱：費用1800円／**江戸切子*** 小林淑郎　中皿のカット：費用1000円／**あめ細工** 青木喜

**11月3日(木・祝)紋章上絵** 亀山晴男／**刀剣研磨** 臼木良彦／**江戸指物*** 山田一彦　箸：費用1000円、小箱：費用1800円／**表具*** 岩崎晃　一閑張りの器：費用1000円／**あめ細工** 青木喜／**鍛金*** 佐生明義　銀のペンダントトップ：費用3000円／**更紗染*** 佐野利夫・勇二　東海道五十三次額絵：費用2500円

※「*」の技術は体験ができます（有料）。
申込は会場で直接職人さんに申し出てください。
実演・体験は都合により変更される場合があります。

平成27年度江東区伝統工芸展の様子

本展では、江東区無形文化財（工芸技術）保持者として認定されている職人の技術を公開し、その技から生み出された作品を展示いたします。一部の技術については、体験を通してその技に触れることができます。本展で多くの作品や技の実演を通して伝統工芸への興味をもっていただければ幸いです。

A 伝統工芸展を開催。
B 伝統工芸展で実演・体験を行う。

左：須田富雄《金赤被錦帯紋水差し》　右：後藤祐浩（岸本忠雄）《聖観音立像》

### 江東区地域振興部文化観光課 文化財係と工芸

地域に息づく伝統工芸とその背景にある歴史や技を紹介する「工匠館（たくみのやかた）」U-18（地図04 P.43）は、森下文化センター2階（森下3-12-17）に1992年1月にオープンしました。壱番館では、江東区の無形文化財（工芸技術）保持者の作品を展示、弐番館では、伝統工芸の技術や道具および職人の歴史を展示しています。区内に残る伝統工芸技術を、60余本もの記録映画を制作し、映像で後生に伝えていきます。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「夏休み職人の技体験」（2016年）、「江東区伝統工芸展」（2015年）

左：深川江戸資料館 内観　右：工匠館 外観





**台東区立**
**江戸下町伝統工芸館**
Edo Shitamachi
Traditional Crafts Museum

**住所** 台東区浅草2-22-13　**交通** 都営バス「奥浅草」バス停より徒歩2分、つくばエクスプレス線「浅草」駅より徒歩5分、浅草線・銀座線・東武線「浅草」駅より徒歩15分 http://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/shigoto/tradition/kogeikan/index.html　**問** 03-3842-1990（台東区立江戸下町伝統工芸館）／03-5246-1131（台東区役所産業振興課）

# 伝統工芸品オークション

Bidding of Exhibits at Edo Shitamachi Traditional Crafts Museum

［主催］**台東区伝統工芸振興会**

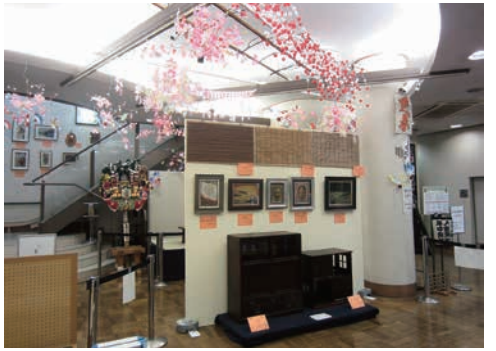
**2016年12月15日(木)～2017年1月10日(火)**

**会場 台東区立江戸下町伝統工芸館**

**時間**：10:00～20:00（最終日は15:00まで）**入場料** 無料

伝統工芸職人による製作実演▸**日程** 毎週土・日曜および祝日　**時間** 11:00～17:00　**会場** 台東区立江戸下町伝統工芸館

A 伝統工芸品オークション。　B 伝統工芸職人による製作実演。



伝統工芸オークション（過去開催写真）

台東区立江戸下町伝統工芸館は、台東区で現在製造・販売されている伝統工芸品を展示しています。半年に一度、展示品の入れ替えを兼ね、展示品の入札会を開催。対象品は新品同様のものなど使用には問題のないものばかり。参考市価の半値以下からスタートするものもあります。対象展示品について、期間内にスタート価格から参考市価の間で、最高値で参加した人が購入できます（同額の人が複数いた場合は抽選）。
※ただし参加受付は江戸下町伝統工芸館のみ。電話・FAX・インターネットなどでの参加受付は不可。

### 台東区立江戸下町伝統工芸館と工芸

台東区立江戸下町伝統工芸館は、江戸時代から続く下町の歴史と風土のなかで育まれ、受け継がれてきた職人たちの伝統工芸品を紹介。伝統工芸品に対する関心を深め、その素晴らしさを実感するとともに、身近で親しみのあるものとして愛用してもらうことを目指しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「手作り教室」（年3回）、「特別展」（年2回）、「オークション」（年2回）、「東京都庁での実演」（年1回）

# すみだ3M運動

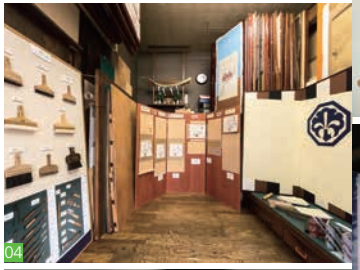
「すみだ3M（スリーエム）運動」は、「小さな博物館」（Museum）、工房と店舗の機能を備えた「工房ショップ」（Manufacturing shop）、付加価値の高い製品を創る職人である「すみだマイスター」（Meister）の3つのMを通じ、墨田区の優れた産業と生産品が「正当な評価」「より高い評価」を受けることを目指し、ものづくりの素晴しさや大切さをアピールしています。

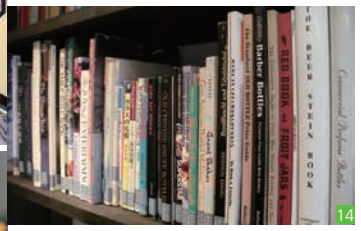
09

10

01

11


04


14

06

15

08

17

## 小さな博物館

U-06-01 **藍染博物館**［あいぞめはくぶつかん］
**収蔵品**「総柄藍染伴天」「長板中型藍染ゆかた」など **住所** 墨田区京島1-29-1 **時間** 13:00～17:00（土・日曜は12:00から） **休館日** 年中無休（土・日曜は要予約） **入場料** 無料 **問** 03-3611-6760 体験可（要予約） ▸**地図03 P.41**

U-06-02 **江戸木目込人形博物館**［えどきめこみにんぎょうはくぶつかん］
**収蔵品** 明治時代から現在までの雛人形など **住所** 墨田区向島2-11-7 **時間** 10:00～17:00 **休館日** 日曜、祝日、12月1日～翌3月15日 **入場料** 無料 **問** 03-3622-4579 体験可（要予約） ▸**地図03 P.41**

U-06-03 **江戸小紋博物館**［えどこもんはくぶつかん］
**収蔵品** 江戸時代から伝わる数々の型紙など **住所** 墨田区八広2-27-10 **時間** 13:00～17:00（土曜は12:00から） **休館日** 日曜、祝日（土曜は要予約） **入場料** 無料 **問** 03-3611-5019 体験可（要予約） ▸**地図03 P.41**

U-06-04 **江戸表具博物館**［えどひょうぐはくぶつかん］
**収蔵品** 表具職人が使用する道具・機械、襖や掛け軸の製作工程パネル **住所** 墨田区千歳3-5-11 **時間** 10:00～16:00（要予約） **休館日** 祝日（11月下旬～翌1月中旬は休館） **入場料** 無料 **問** 03-3631-0508 体験可（要予約） ▸**地図04 P.42**

U-06-05 **折箱博物館「木具輪」**［おりばこはくぶつかん きぐりん］
**収蔵品** 折箱、木箱、竹製品など **住所** 墨田区立川1-3-5 **時間** 9:00～17:00 **休館日** 土・日曜、祝日、年末年始 **入場料** 無料 **問** 03-3631-7785 ▸**地図04 P.43**

U-06-06 **錺かんざし博物館**［かざりかんざしはくぶつかん］
**収蔵品** かんざし、道具、かつらなど **住所** 墨田区東駒形3-22-7 **時間** 10:00～18:00（土曜は17:00まで） **休館日** 日曜 **入場料** 無料 **問** 03-6751-8858 体験可（要予約） ▸**地図03 P.40**

U-06-07 **桐の博物館**［きりのはくぶつかん］
**収蔵品** 江戸時代の箪笥、一弦琴など **住所** 墨田区両国4-1-8 **時間** 10:00～18:00 **休館日** 水曜、ゴールデンウィーク、夏季、年末年始 **入場料** 無料 **問** 03-3632-0341 ▸**地図04 P.42**

U-06-08 **金庫と鍵の博物館**［きんことかぎのはくぶつかん］
**収蔵品** 世界に1台しかない「幻の金庫」や江戸時代の「千両箱」など **住所** 墨田区千歳3-4-1 **時間** 10:00～17:00（要予約） **休館日** 月～金曜、第2・4・5の土・日曜（8月は全日） **入場料** 無料 **問** 03-3633-9151 ▸**地図04 P.42**

U-06-09 **古伊万里資料館**［こいまりしりょうかん］
**収蔵品** 古伊万里の大皿、湯呑、小鉢など **住所** 墨田区八広5-23-9 エーエス自動車株式会社2階 **時間** 11:00～18:00 **休館日** 日～金曜 **入場料** 無料 **問** 03-3619-3867 ▸**地図03 P.41**

U-06-10 **小林人形資料館**［こばやしにんぎょうしりょうかん］
**収蔵品** 特攻隊員が抱いて出撃した「ほまれ人形」など **住所** 墨田区八広6-31-2 **時間** 10:30～17:00（要予約） **休館日** 月～金曜 **入場料** 無料 **問** 03-3612-1644 ▸**地図03 P.41**

U-06-11 **指物博物館**［さしものはくぶつかん］
**収蔵品** 江戸指物、使用する道具・材料、製造工程、関連する書籍・資料 **住所** 墨田区立川4-6-5 1階 **時間** 10:00～18:00（要予約） **休館日** 祝日 **入場料** 無料 **問** 03-6315-8546 ▸**地図04 P.43**

U-06-12 **漆工博物館**［しっこうはくぶつかん］
**収蔵品** 漆塗りの品、製作道具、材料など **住所** 墨田区向島3-38-10 **時間** 10:00～16:00（要予約） **休館日** 金・日曜、祝日 **入場料** 無料 **問** 03-3622-1626 体験可（要予約） ▸**地図03 P.41**

U-06-13 **セイコーミュージアム**
**収蔵品** ウオッチ・クロックなど **住所** 墨田区東向島3-9-7 **時間** 10:00～16:00（要予約） **休館日** 月曜、祝日、年末年始 **入場料** 無料 **問** 03-3610-6248 体験可（要予約） ▸**地図03 P.40**

U-06-14 **ちいさな硝子の本の博物館**［ちいさながらすのほんのはくぶつかん］
**収蔵品** 硝子に関する書籍 **住所** 墨田区吾妻橋1-19-8 矢崎ビル **時間** 10:00～19:00（祝日の月曜、翌火曜は11:00～18:00） **休館日** 月曜（祝日の場合は翌日） **入場料** 無料 **問** 03-6240-4065 体験可（要予約） ▸**地図03 P.40**

U-06-15 **羽子板資料館**［はごいたしりょうかん］
**収蔵品** 昭和初期の羽子板など **住所** 墨田区向島5-43-25 **時間** 10:00～17:00 **休館日** 日～水曜（11月上旬から翌1月下旬まで休館） **入場料** 無料 **問** 03-3623-3051 ▸**地図03 P.41**

U-06-16 **屏風博物館**［びょうぶはくぶつかん］
**収蔵品**「江戸風俗祭礼図屏風」「からくり屏風」など **住所** 墨田区向島1-31-6 **時間** 10:00～17:00 **休館日** 祝日（日曜は要予約） **入場料** 無料 **問** 03-3622-4470 体験可（要予約） ▸**地図03 P.41**

U-06-17 **袋物博物館**［ふくろものはくぶつかん］
**収蔵品** 小銭入れ、札入れ、手動ミシンなど **住所** 墨田区両国1-1-7 **時間** 13:00～16:00（土・日曜は11:00から） **休館日** 年中無休（土・日曜、時 間外は要予約） **入場料** 無料 **問** 03-3631-6353 ▸**地図03 P.42**

U-06-18 **べっ甲資料館**［べっこうしりょうかん］
**収蔵品** くし、かんざし、こうがいなど **住所** 墨田区横網2-5-5 **時間** 10:00～18:00 **休館日** 年中無休 **入場料** 無料 **問** 03-3625-5875 体験可（要予約） ▸**地図04 P.42**

U-06-19 **名刺と紙製品の博物館**［めいしとかみせいひんのはくぶつかん］
**収蔵品** 名刺の製造工程、歴史、古い名刺箱や機械など紙製品に関わるもの **住所** 墨田区立川3-1-7 サクラテラス **時間** 10:00～17:00 **休館日** 土・日曜、祝日、夏季休暇、年末年始 **入場料** 無料 **問** 03-5625-0630 ▸**地図04 P.43**

「小さな博物館」には下記の施設も参加しています。
建築道具・木組資料館／乾燥木材工芸資料館／木造建築資料館／合金鋳物博物館

## 工房ショップ

U-06-20 **アトリエ アミーチ**
**取り扱い** 皮革製品(バッグ、小物、アクセサリー) **住所** 墨田区石原4-21-4 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 日曜、祝日 **問**03-6279-8991 体験可(要予約) **▸地図04 P.43**

U-06-21 **アトリエ創藝館**[あとりえそうげいかん]
**取り扱い** 名入れ提灯、木札、看板、ポスターなどの文字入れ **住所** 墨田区横川3-8-2 **時間** 10:00～18:00(事前連絡で時間外対応可) **定休日** 年中無休(不定休) **問** 03-3622-2381 体験可(要予約) **▸地図04 P.43**

U-06-22 **江戸木箸 大黒屋**[えどきばし だいこくや]
**取り扱い** 江戸木箸 **住所** 墨田区東向島2-4-8 **時間** 10:00～17:00 **定休日** 第2･3土曜、日曜、祝日 **問** 03-3611-0163 **▸地図03 P.41**

U-06-23 **江戸小紋 大松染工場**[えどこもん だいまつせんこうじょう]
**取り扱い** 江戸小紋の着物、ブラウス、革製品など **住所** 墨田区八広2-27-10 **時間** 13:00～17:00(土曜は12:00から) **定休日** 日曜、祝日(土曜は要予約) **問** 03-3611-5019 **▸地図03 P.41**

U-06-24 **大関鞄工房**[おおぜきかばんこうぼう]
**取り扱い** 皮革製品(バッグ、財布、小物など) **住所** 墨田区緑2-13-5 **時間** 9:00～19:00 **定休日** 日曜、祝日 **問**03-5669-1408 体験可(要予約) **▸地図04 P.43**

U-06-25 **おみねらたん**
**取り扱い** 籐工芸品 **住所** 墨田区押上2-10-15 **時間** 10:00～18:00 **定休日** 日曜、祝日 **問** 03-3623-0433 **▸地図03 P.41**

U-06-26 **かざり工芸三浦**[かざりこうげいみうら]
**取り扱い** かんざし、帯どめ、根付など **住所** 墨田区東駒形3-22-7 **時間** 10:00～18:00(土曜は17:00まで) **定休日** 日曜 **問**03-6751-8858 **▸地図03 P.40**

U-06-27 **片岡屏風店**[かたおかびょうぶてん]
**取り扱い** 屏風、スカーフ、帯、着物、風呂敷などを屏風にしたもの **住所** 墨田区向島1-31-6 **時間** 10:00～17:00 **定休日** 祝日(日曜は要予約) **問**03-3622-4470 **▸地図03 P.41**

U-06-28 **(株)磯貝べっ甲専門店**[かぶしきがいしゃいそがいべっこうてん]
**取り扱い** かんざし、くし、ブローチ、ネックレス、イヤリング、おびどめ、メガネフレーム、髪どめなど **住所** 墨田区横網2-5-5 **時間** 10:00～18:00 **定休日** 土・日曜(不定休) **問** 03-3625-5875 **▸地図04 P.42**

U-06-29 **KAMISM Lab.**[かみずむ らぼ]
**取り扱い** 創作和紙を使用した雑貨(ステーショナリー、アートパネル)や壁紙和紙など **住所** 墨田区業平3-7-11 1階 **時間** 10:00～17:30 **定休日** 日･月曜、祝日 **問**03-5637-8571 体験可(要予約) **▸地図03 P.41**

U-06-30 **革倶楽[かわくら]**
**取り扱い** バッグ、財布、小物などの革製品 **住所**墨田区緑1-24-2 **時間** 10:00～18:00 **定休日** 土･日曜、祝日 **問**03-6666-9797 体験可(要予約) **▸地図04 P.43**

U-06-31 **硝子企画舎**[がらすきかくしゃ]
**取り扱い** 硝子のインテリア･食器 **住所** 墨田区石原4-16-7 **時間** 12:00～18:00 **定休日** 月・火曜、祝日 **問** 03-5608-9392 体験可(要予約) **▸地図04 P.43**

U-06-32 **桐屋田中**[きりやたなか]
**取り扱い** 伝統桐箪笥、チェスト、小物など **住所** 墨田区両国4-1-8 **時間** 10:00～17:00 **定休日** 水曜、ゴールデンウィーク、夏季、年末年始 **問** 03-3632-0341 **▸地図04 P.42**

20

32

22

34

27

35

28

37

29

38

30

42

U-06-33 **東駒スポーツ用品(株)**[とうこまスポーツようひんかぶしきがいしゃ]
**取り扱い** 野球のグローブ **住所** 墨田区横網2-4-2 **時間** 9:00～18:00 **定休日** 第2・4土曜、日曜、祝日 **問** 03-3623-6235 **▸地図04 P.42**

U-06-34 **コージロー**
**取り扱い** 皮革製品、布製品 **住所** 墨田区両国1-5-7 2階 **時間** 11:00～18:00 **定休日** 日曜(不定休) **問** 03-6240-2663 **▸地図04 P.42**

U-06-35 **紗蔵**[さくら]
**取り扱い** 皮革製品(バッグ、小物、アクセサリー、インテリア) **住所** 墨田区業平1-7-12 **時間** 11:00～17:00 **定休日** 水曜、第1・3土曜、日曜、祝日 **問** 03-3625-6907 体験可(要予約)085 **▸地図03 P.41**

U-06-36 **シューテクニック**
**取り扱い** 外反母趾など足の悩みをもつ方に合う靴 **住所** 墨田区錦糸3-14-3 **時間** 10:00～18:00(火・金曜は16:00まで) **定休日** 日・木曜、祝日 **問** 03-3625-0577 **▸地図04 P.43**

U-06-37 **すみだ江戸切子館**[すみだえどきりこかん]
**取り扱い** 江戸切子 **住所** 墨田区太平2-10-9 **時間** 10:00～18:00 **定休日** 日曜、祝日 **問** 03-3623-4148 体験可(要予約) **▸地図04 P.43**

U-06-38 **塚田工房**[つかだこうぼう]
**取り扱い** 雛人形を中心とした木目込人形、御所人形 **住所** 墨田区向島2-11-7 **時間** 10:00～17:00(要予約) **定休日** 祝日 **問**03-3622-4579 **▸地図03 P.41**

U-06-39 **NOB.**[のぶ]
**取り扱い** オーガニックコットン **住所** 墨田区亀沢1-8-15 **時間** 10:00～19:00(土・日曜、祝日は11:00から) **定休日** 水曜 **問**03-5819-7035 **▸地図04 P.43**

U-06-40 **ノーブル**
**取り扱い** 皮革製品(紳士カバン、ベルト、財布、バッグ、コート、ベストなど) **住所** 墨田区石原3-5-10 **時間** 10:30～19:00 **定休日** 日曜 **問**03-3624-5875 **▸地図04 P.43**

U-06-41 **羽子板の鴻月**[はごいたのこうげつ]
**取り扱い** 押絵羽子板 **住所** 墨田区向島5-43-25 **時間** 10:00～17:00 **定休日** 日曜、祝日 **問**03-3623-1305 **▸地図03 P.41**

U-06-42 **ヒズファクトリー**
**取り扱い** 鞄、革小物 **住所** 墨田区吾妻橋1-16-5 **時間** 10:00～19:00(土・日曜は13:00～19:00) **定休日** 不定休 **問**03-5619-1602 体験可(要予約) **▸地図03 P.40**

U-06-43 **向島めうがや**[むこうじまめうがや]
**取り扱い** お誂え足袋 **住所** 墨田区向島5-27-16 **時間** 9:00～18:00 **定休日** 日曜、祝日 **問** 03-3626-1413 **▸地図03 P.41**

U-06-44 **むさしや豊山**[むさしやほうざん]
**取り扱い** 押絵羽子板 **住所** 墨田区石原1-28-3 **時間** 10:00～17:00 **定休日** 日曜(不定休) **問**03-3622-0262 **▸地図04 P.42**

### すみだマイスターの取り組み

優れた技術によって質の高い製品をつくっていることに加えて、その技術の普及と後進の育成に努めている職人を「すみだマイスター」として、墨田区が認定しています。さまざまな「技」と彼らが生み出す逸品は多くの方々に評価されています。

▸地図01 P.39

**足立区立郷土博物館**
Adachi City Museum History

**住所** 足立区大谷田5-20-1　**交通** JR「亀有」駅下車、東武バス八潮駅南口行き乗車、バス停「足立郷土博物館」より徒歩1分　http://www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/chiikibunka/hakubutsukan/
**問** 03-3620-9393／hakubutsukan@city.adachi.tokyo.jp

## 開館30周年記念展　アラサーみゅーじあむ　モノがたり

Special exhibition “Adachi City Museum History”

**前期** 2016年11月1日(火)～12月4日(日)、
**後期** 2017年1月5日(木)～29日(日)

**休館日** 月曜、12月28日～1月4日、1月10日 **時間** 9:00～17:00(入館は16:30まで) **入館料** 高校生以上200円。70歳以上、障がい者手帳をおもちの方とその付添者1名まで無料。毎月第2・3土曜は無料公開日

30周年を記念した修復記念公開作品となる建部巣兆(たけべそうちょう)《吉野山桜竜田川紅葉図屏風》(六曲一双)や指物(さしもの)職人と琳派絵師の共作《村越向栄四季草花図付　旅枕》など多彩な資料をご観覧いただきます。

常設展示：家内工芸コーナー

## 展覧会　公開講座　伝統と保存の技術

Open Lecture: Tradition and preservation of technology

**第1回** 2016年11月27日(日)
**第2回** 2017年1月14日(土)

**時間** 各回14:00～15:00 **定員** 各回50名 **講師** 第1回：渡邊宗雲(仏師)、第2回：勝村真光(表具師) **参加料** 無料 申込は電話で博物館に(先着) **問** 03-3620-9393／hakubutsukan@city.adachi.tokyo.jp

町の博物館では多様な資料の研究や保存の技術に支えられています。本事業は、絵画遺産の保存、仏像の制作といった博物館活動とともにある技術を、展覧会に合わせてご覧いただきます。

過去の講演会風景

## 見学会
## みんなで見る“現代の工芸と製品”

Adachi Products Exhibition Tours

**2016年12月17日(土)**

**会場 足立区役所庁舎ホール**
**時間** 14:00～15:00 **定員** 20名 **交通** 東武スカイツリーライン「梅島」駅より徒歩12分 **参加料** 無料 お電話で博物館にお申し込みください(先着)
**問** 03-3620-9393／hakubutsukan@city.adachi.tokyo.jp

足立区では靴や鞄などをはじめとする皮革製品の生産が盛んです。伝統工芸士の成果を展示する「ものづくり展」(足立区主催)を博物館スタッフがご案内します。

## 訪問会
## 工房をたずねる会

Workshops field trip

**2017年1月中旬**

**時間** 14:00～16:00 **定員** 20名 **会場** 足立区千住地域(詳細調整中) **集合場所** 北千住駅西口交番前 **交通** 「北千住」駅より徒歩1分 **参加料** 無料 ご参加の方はお電話で博物館にお申込下さい(先着) **問** 03-3620-9393／hakubutsukan@city.adachi.tokyo.jp

千住の町では多くの工房が魅力的な製品を産み出しています。これらの工房を博物館スタッフとともに訪ねます。

### 足立区立郷土博物館と工芸

足立区に伝来する美術工芸品は生活文化の“道具”として使用されたものです。江戸琳派絵師の村越向栄や中野其豊の作品、谷文晁門下の絵師、舩津文渕の作品、細密な祭礼用具である掃部宿小型厨子を収蔵しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「大千住展」(2013年度)

特 足立区立郷土博物館にて本書をご持参の方に、絵葉書セット進呈

特典 U-04

▸地図02 P.39

**石洞美術館**
Sekido Museum of Art

**住所** 足立区千住橋戸町23　**交通** 京成線「千住大橋」駅より徒歩３分
http://sekido-museum.jp/　**問** 03-3888-7520

# 古染付 ―このくにのひとのあこがれ かのくにのひとのねがい―

Kosometsuke

［主催］**公益財団法人美術工芸振興佐藤基金**

**2016年7月16日(土)～2017年4月2日(日)**

**休館日** 月曜（祝日の場合は翌日）、12月19日～1月6日 **時間** 10:00～17:00(入館は16:30まで) **入館料** ―般500円、学生300円。小学生以下(要引率者)、65歳以上の方、障がい者手帳をおもちの方は無料

C 朱彩を施した磁器や、朱漆の漆器なども展示。

古染付（こそめつけ）は中国明時代の天啓期（1621～1627）を中心に、景徳鎮民窯で焼かれた染付磁器の一群で、「虫喰（むしくい）」と呼ばれる「ほつれ」が見られる粗雑なつくりの器ですが、日本人には却ってそれが自然と映り、大変愛されたやきものでした。その器たちには、日本人のあこがれと中国の人たちの願いが反映されています。本展では、石洞美術館の所蔵品を展示し、日本人が愛した古染付の面白さ、楽しさを味わって頂きたいと存じます。

《古染付笠絵茶碗》17世紀、石洞美術館蔵

## 石洞美術館と工芸

当館は、工芸を通しての国際間の文化交流、相互理解の促進、我が国の文化の向上を図るために（公財）美術工芸振興佐藤基金によって設立されました。世界各国のやきものを中心に、根来などの漆器、茶の湯釜などの金工作品、ガラス器など約2000件を収蔵し、工芸に関する展覧会を年３回程度、開催しています。また、当館を運営する美術工芸振興佐藤基金は、毎年、工芸に関する活動に対して助成を行うとともに、若手金工作家奨励のための賞「淡水翁（たんすいおう）賞」を設けています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「伝統工芸日本金工展」(2016、2014、2012年)、「スペイン陶器展」(2016年)、「沖縄のやきもの展」(2015年)、「マイセン展」(2015、2013年)、「館蔵漆器展―根来と漆絵―」(2013年) など

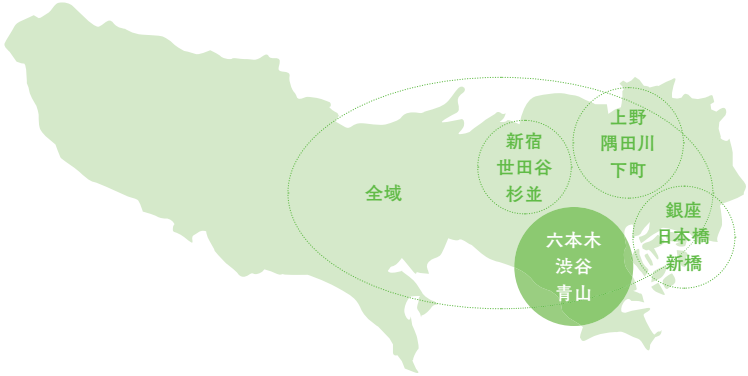
左：《朱漆薬壺》15～16世紀、石洞美術館蔵



特 チケット売場にて本書のこのページのご提示で、入場料を100円引き

R

# 六本木・渋谷・青山
Roppongi , Shibuya , Aoyama



▸地図12 P.59

**東京都庭園美術館**
Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

**住所** 港区白金台5-21-9　**交通** JR・目黒線「目黒」駅より徒歩7分。「白金台」駅より徒歩6分　http://www.teien-art-museum.ne.jp/　**問** 03-5777-8600（ハローダイヤル）

# 並河靖之七宝展
## 明治七宝の誘惑―透明な黒の感性

Namikawa Yasuyuki and Japanese Cloisonné

［主催］**公益財団法人東京都歴史文化財団東京都庭園美術館、毎日新聞社**

**2017年1月14日（土）～4月9日（日）**

**会場　東京都庭園美術館**
**本館＋新館ギャラリー1**
港区白金台5-21-9

**休館日** 第2・4水曜　**時間** 10:00～18:00（入館は17:30まで）※ただし3月24～26日、4月1・2・7・8・9日は20:00まで開館

講演会「西欧における日本七宝へのまなざし（仮）」▸
**日程** 1月14日（土）14:00－15:30　**会場** 新館ギャラリー2　**定員** 100名（入館者対象・無料・事前申込不要）　**講師** グレゴリー・アーヴィン（ヴィクトリア＆アルバート美術館、シニアキュレーター）

ワークショップ「身につける七宝づくり」▸**日程** 2月25日（土）　**講師** 近藤健一（七宝作家）　※事前申込制・有料。詳細については後日東京都庭園美術館ウェブサイトでお知らせします。

トークイベント「透明な黒の感性―“並河靖之”の美」▸
**日程** 2017年3月開催予定　**会場** 新館ギャラリー2　**定員** 100名（入館者対象・無料・事前申込不要）　**登壇者** 樋田豊次郎（当館館長）、大木香奈（本展担当学芸員）ほか　**司会** 八巻香澄（当館学芸員）　※詳細については後日東京都庭園美術館ウェブサイトでお知らせします。

明治時代、輸出用美術工芸として人気を博した七宝。並河靖之（1845-1927）は、そのなかでも繊細な有線七宝により頂点を極めた七宝家です。没後90年を記念する本展は、初期から晩年までの作品を一堂に会する、はじめての回顧展です。京都の武家に生まれた靖之は、久邇宮朝彦親王に仕えたのち、明治維新後に七宝業に取り組みはじめます。知識や資材がないなか、試行錯誤して技術・意匠の改良を進め、やがて内外の博覧会で成功を収めます。工房には外国からの文化人が多数訪れ「京都並河」ブランドは新聞や雑誌を通して海外へと紹介されました。1896年には帝室技芸員となり、当代一流の工芸家としての地位を確立します。大正期に入ると七宝業全体の生産額が落ち込み、並河も工房を閉鎖、その名は次第に忘れ去られて行きました。しかし近年、明治工芸への関心の高まりに伴い再び注目が集まっています。細密な植線、豊かな色彩、四季折々の花鳥風月、そして研ぎ澄まされた透明な黒い釉薬。類まれな技術のみにとどまらず、洗練された感性に基づき制作された七宝は、100年以上の時を経てなお光を放ち、人々を魅了します。本展では、国内外の七宝作品に加え、下絵などの関連資料を通して、その全容を明らかにします。

下図「桜花蝶文皿」
並河靖之七宝記念館蔵

《藤草花文花瓶》
並河靖之七宝記念館蔵

### 東京都庭園美術館と工芸

東京都庭園美術館は、1920-30年代に流行したアール・デコ様式の建築を利用した美術館で、その保存状態のよさは世界でも希少なものといわれています。旧朝香宮邸としても知られる同館は、ルネ・ラリックらの装飾芸術家による内装をそのまま展示室として活用し、建築自体が美術品ともいえる空間ならではの展示を行っています。敷地内には茶室を備えた日本庭園（現在整備中）があり、時代や国籍にとらわれない空間のなかで、デザインや工芸も含めた多様な展覧会を開催しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「ガレの庭―花々と声なきものたちの言葉」（2016年）、「アール・デコの館―東京都庭園美術館公開」（2011年）、「パリに咲いた古伊万里の華－日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念－」（2009年）、「世界に誇る和製テーブルウェア　オールドノリタケと懐かしの洋食器」（2008年）、「没後25年 八木一夫展」（2005年）

**東京美術倶楽部**
Tokyo Art Club

**住所** 港区新橋6-19-15　**交通** 三田線「御成門」駅より徒歩2分、浅草線・大江戸線「大門」駅より徒歩5分、JR・銀座線・浅草線「新橋」駅より徒歩10分、JR「浜松町」駅より徒歩10分　http://www.toobi.co.jp/about/access.html　**問** 03-3432-0191

# 歳末 東美正札会

The winter antique bazaar, Tobi Shofudakai

**2016年12月3日(土)、12月4日(日)**

**時間** 12月3日 10:00～18:00、12月4日 10:00～16:00 **入場料** 無料

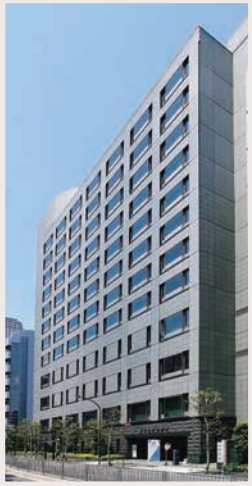
昭和27年より続く、伝統の美術・骨董の展示即売会。全国の美術商が出品する、日本画・洋画・古書画・茶道具・諸美術品を1点2万円より購入できるチャンス。
※各種クレジットカード利用可。好評のチャリティ入札もあり。

## 東京美術倶楽部と工芸

1907年に設立された東京美術倶楽部。交換会（競りで商品を買い落とす）や入札（それぞれの希望の価格を書いて入札箱に入れ、最高の額を書いた人が買う権利を持つ）の会場を提供したり、またそれらの会を主催したりすることが活動の中心です。入札会や交換会は組合員でなければ参加できませんが、一般の人たちも購入できる催しがこの美術倶楽部で定期的に開かれています。主なものでは、秋の「東美アートフェア」、そして中元・歳末の「東美正札会」があります。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「東京美術倶楽部創立100周年記念 大いなる遺産 美の伝統展」（2006年）、「創と造 2016 現代日本 絵画・工芸 新作展」（2016年）、「東美ミュージアム展 TOBI WAVE」（2015年）、「伝統からの創造 21世紀展」（2015年）、「東美特別展」（3年に一度）、「東美アートフェア」（東美特別展の非開催年）、「東美正札会」（毎年中元・歳末時期）、「公開美術講座」（毎年）







**菊池寛実記念 智美術館**
Musée Tomo

**住所** 港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル　**交通** 日比谷線「神谷町」駅より徒歩6分、銀座線「虎ノ門」駅より徒歩10分、南北線「六本木一丁目」駅より徒歩8分、南北線「溜池山王」駅より徒歩8分　http://www.musee-tomo.or.jp/　**問** 03-5733-5131
**時間** 11:00～18:00（入館は17:30まで）　**入館料** 一般1000円、大学生800円、小中高生500円。未就学児は無料。障がい者手帳をおもちの方とその付添者1名は半額

# 「The Power of Colors 色彩のちから」展

The Power of Colors; Contemporary Ceramic Art from KIKUCHI Collection

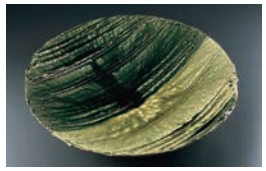
**2016年8月6日(土)～12月4日(日)**

**休館日** 月曜（祝休日の場合は翌平日）

講演会「色材文化を視る・知る－青と赤」▸**日程** 2016年10月29日（土）**時間** 15:00～16:30頃 **会場** 展示室前ホールにて **講師** 降旗千賀子（目黒区美術館学芸員）
アーティストトーク▸**日程** 2016年11月12日（土）**時間** 15:00～16:30頃 **会場** 展示室内にて **講師** 鈴木徹(出品作家)

C「青と赤」をテーマに色材文化について講演を開催。

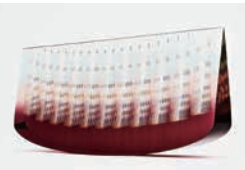
やきものがまとう美しい色彩は、土や釉薬が高温の窯のなかで化学変化を起こすことで生まれ、独特の深みを帯び、見る者の眼を惹きつけます。本展では、陶磁器の豊かな色彩表現をお楽しみいただけます。



鈴木徹《緑釉鉢》2005年、菊池寛実記念 智美術館蔵　撮影：田中俊司

# 「第2回菊池寛実賞 工芸の現在」展

The 2nd Kikuchi Kanjitsu Prize, Contemporary Japanese Crafts



山本茜《源氏物語シリーズ第十帖『賢木』余話（別れのお櫛）》2016年
撮影：道忠之

**2016年12月17日(土)～2017年3月20日(月・祝)**

**休館日** 月曜（祝日の場合は翌平日）、12月28日（水）～1月1日（日）

「陶磁」「ガラス」「金工」「竹工」「截金(きりかね)ガラス」から12名の作家による約60点を展観します。会期中選考を行い、特に優れた制作を示した作家に賞を贈呈します。工芸の多様性に触れられる展覧会です。

出品作家によるギャラリートーク▸※開催日時などの詳細はチラシやホームページにて後日お知らせします

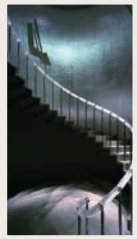
A出品作家によるギャラリートークを開催。

## 菊池寛実記念 智美術館と工芸

設立者である菊池智が収集した現代陶芸のコレクションを母体に、現代陶芸ならびに現代工芸の紹介をしています。作家の個展をはじめ、当館主催の公募展「菊池ビエンナーレ」など、年に3～4回の企画展を開催しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「秋山陽　アルケーの海へ」（2016年）、「夢つむぐ人 藤平伸の世界」（2015年）、「岡部嶺男　火に生き 土に生き」（2014年）、「陶の空間・草木の空間　川崎毅と関島寿子」（2014年）、「隠﨑隆一 事に仕えて」（2014年）



特 受付にて本書のこのページのご提示で、観覧料を100円引き

▸地図09 P.52

公益社団法人 日展
The Nitten Public Interest Incorporated Association

# 改組 新 第3回 日展 ―日本美術展覧会―

The 3rd Reorganized New NITTEN - The Japan Fine Arts Exhibition -

［主催］公益社団法人 日展

**2016年10月28日(金)～12月4日(日)**

**会場 国立新美術館**
港区六本木7-22-2

**休館日** 火曜 **時間** 10:00～18:00(入場は17:30まで) **入場料** 一般1200円、大高生700円。中学生以下は無料 ※11月12日(土)は「日展の日」にて入場無料 **交通** 千代田線「乃木坂」駅直結、日比谷線「六本木」駅より徒歩5分、大江戸線「六本木」駅より徒歩4分 https://www.nitten.or.jp **問** 03-3823-5701／office@nitten.or.jp

毎年、秋に開催される日展は、日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門からなる日本最大規模の公募美術展覧会で、秋の展覧会シーズンには多くの人々から親しまれています。5つの部門を一度に鑑賞いただけるのも日展ならではの楽しさです。日本の美を熱気あふれる会場で体感して下さい。日本を代表とする多くの優れた芸術家を輩出している日展の歩みは、まさに近代日本美術の歴史といえます。

### 親子鑑賞教室
(日展作家が作品のみどころをお教えします)

**日程** 11月6日(日)
10:30～ 日本画・洋画・書
14:00～ 彫刻・工芸美術
11月13日(日)
10:30～ 日本画・洋画・書
14:00～ 彫刻・工芸美術
11月20日(日)
10:30～日本画・洋画・書
14:00～彫刻・工芸美術
※希望する部門を選択、各回約2時間

**会場** 国立新美術館3階 講堂 **対象** 小・中学生とその保護者(参加費は無料、保護者は入場券を各自ご用意ください)
**定員** 各部門10組(20名程度)
**申込受付** 往復はがきに参加希望者の住所・電話番号・氏名・人数・希望部門(第2希望まで)・希望日を明記のうえ、下記住所の日展事務局・親子鑑賞教室係までお申し込み下さい。
申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます(締切10月28日必着)。

### らくらく観賞会
(出品作家たちとゆっくり日展を鑑賞したい方々に)

**日程** 11月7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)
**定員** 各回10～15名
**参加費** 5000円(入場料・昼食・アートガイド他含む)
**時間** 10:30集合、16:10解散(昼食付き)※予約制
(詳細は下記日展事務局までお問い合わせください)

### グループ作品解説
平日(火曜を除く月～金曜)に15名程度の団体で作品解説をご希望の方々に、日展作家が会場をご案内いたします。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書のいずれか1部門をお選びいただき、約1時間で主要作品をご説明いたします。ご希望のグループは、事前にご予約下さい。校外学習やクラブ活動など、学校のグループにも学年や目的に応じた解説をいたしますので、ご相談ください。

### ミニ解説会
(一人からでも解説が受けられます)

**日程** 改組 新 第3回 日展 会期中の平日(火・土・日曜、祝日、初日を除く)
**時間** 13:30～(30分程度)
**定員** 各部門20名(5部門) ※参加者は、各自入場券をご用意ください。予約制(当日受付あり)

21世紀鷹峯フォーラムin東京 連携事業▸

・**「工芸を体感する―卓越した技が冴える工芸の美―」**
**日程** 11月11日(金) 10:30～16:00
**会場** 国立新美術館3階 研修室(A・B)

染織―本友禅染における意匠のアート性―
10:30～12:30(10:15開場)
**講師** 上原利丸(染織作家)
**定員** 先着50名
当日は、10:00より会場(国立新美術館3階 研修室)にて整理券配布。

漆―技法の解説及び実演―
14:00～16:00(13:45開場)
**講師** 並木恒延(漆芸作家)
**定員** 先着50名
当日は、13:30より会場(国立新美術館3階 研修室)にて整理券配布。

・**シンポジウム「日展の工芸美術は何処に向かうか」**
映像による作品解説「今年度の受賞者が語る ―2106年 日本の工芸」
**日程** 11月12日(土)(日展の日) 13:30～15:30
(13:00開場)
**会場** 国立新美術館3階 講堂
**パネリスト** 武腰敏昭、春山文典、大樋年雄
**コーディネーター** 三田村有純
**定員** 先着200名

### 日展と工芸

日展は、1907年に開催された文部省美術展覧会(文展)を礎とし、時代の流れに沿って、「帝展」、「新文展」、そして「日展」と名称を変え、多様な変革を重ねながら、1958年には社団法人(2012年より公益社団法人)として独立し、民営化の道を歩み、常に日本の美術界をリードし続け、長い歴史を刻んできました。また、日展の工芸部門については、文展の開催から20年後、1927年の第8回帝展から新設されました。

奥田小由女《三陸の海への祈り》

ミニ解説会

特 チケット売り場にて本書のこのページのご提示で、入場券を200円引き

**t.gallery**

**住所** 港区芝3-16-2　**交通** 大江戸線「赤羽橋」駅より徒歩3分、三田線「芝公園」駅より徒歩6分　http://www.t-gallery.jp/　**問** 03-3455-7492／info@t-gallery.jp

# 矢部裕輔展

Yusuke Yabe

**2016年11月24日(木)～30日(水)**

**時間** 12:00～19:00 **入場料** 無料

矢部裕輔
1972年　神奈川県生まれ
2002年　東京造形大学
　　造形学部美術学科
　　彫刻専攻卒業
2004年　東京造形大学
　　彫刻研究生修了

# スナ・フジタ展

Suna Fujita

**2016年12月13日(火)～19日(月)**

**時間** 12:00～19:00 **入場料** 無料

スナ・フジタ
藤田匠平と山野千里のユニットで、
2005年より活動開始

藤田匠平
1968年　和歌山県生まれ
1995年　京都市立芸術大学大学院工芸科修了
1996年　イギリス(Edinburgh College of Art)に留学

山野千里
1977年　大阪府生まれ
1997年　京都市立京都芸術大学美術学部美術科
　　(油画、後に陶磁器に転科)入学
2003年　京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業
2005年　京都市立京都芸術大学大学院工芸(陶磁器)修了

# 伊勢﨑晃一朗展

Koichiro Isezaki

**2017年1月6日(金)～12日(木)**

**時間** 12:00～19:00 **入場料** 無料

伊勢崎晃一朗
1974年　岡山県生まれ
1996年　東京造形大学
　　彫刻科を卒業
1998年　ニューヨークにて
　　ジェフ・シャピロ氏に
　　師事(2000年帰国)

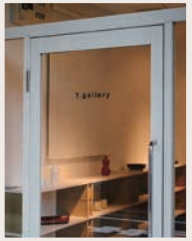
A 各回初日、作家によるギャラリートーク。

## t.galleryと工芸

t.gallery は東京の港区三田にある近現代美術及び工芸作品を中心に取り扱うギャラリーです。不定期で開催する企画展のほか、常設での展示も行っています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「橋場信夫展」(2013年より隔年)、「設楽享良展」(2013年より隔年)、「清水志郎展」(2013年より隔年)、「植松永次展」(2012年より隔年)、「黒田泰蔵コレクション展」(2010年～)







**泉屋博古館分館**
SEN-OKU HAKUKO KAN MUSEUM,TOKYO

**住所** 港区六本木1-5-1　**交通** 南北線「六本木一丁目」駅より徒歩5分、日比谷線「神谷町」駅より徒歩10分、銀座線「溜池山王」駅より徒歩10分
http://www.sen-oku.or.jp/tokyo/program/index.html　**問** 03-5777-8600(ハローダイヤル)／t-info@sen-oku.or.jp

## 有田焼創業400年記念

# 明治有田 超絶の美—万国博覧会の時代

Arita Porcelain 400th Anniversary
"The Compelling Beauty of Arita Ceramics in the Age of the Great International Expo-sitions"

[主催] **公益財団法人泉屋博古館　毎日新聞社**

**前期 2016年9月24日(土)～10月30日(日)**
**後期 2016年11月1日(火)～12月4日(日)**

**休館日** 月曜(祝休日の場合は翌平日) **時間** 10:00～17:00(入館は16:30まで) **入場料** 一般800円、高校・大学生600円。中学生以下は無料

ゲストトーク「香蘭社に秘蔵された図案」▸**日程** 2016年10月22日、11月19日(土) **時間** 15:00～16:00 **会場** 泉屋博古館分館ホール **講師** 森谷美保(美術史家・本展コーディネーター)
ゲストトーク「宮中晩餐会の食器と精磁会社」▸**日程** 2016年11月12日(土) **時間** 15:00～16:00 **会場** 泉屋博古館分館ホール **講師** 長佐古美奈子(学習院大学史料館学芸員)
当日10:00より入館券をおもちの方おひとり様につき1枚、座席指定券付き整理券を配布予定(**定員** 50名)
ギャラリートーク▸**日程** 11月4日(金) **時間** 15:00～16:00 **会場** 泉屋博古館分館ホール **ナビゲーター** 森下愛子(当館学芸員)

A スペシャルトーク、ゲストトーク、平日のギャラリートークを開催。B デザイン画とそれに基づいて制作された作品を共に展示し、当時の職人たちのわざの美に焦点をあてる。

明治時代、細やかな絵付けと精緻な技巧を凝らした佐賀県・有田のやきものは、1873年開催のウィーン万国博覧会で好評を博し、その後も絶大な人気を誇りました。巨大な花瓶や再現不可能と言われる細密描写は、当時の職人達の超絶技巧の美の結晶といえます。当時のデザイン画とそれに基づいて製作された作品が並ぶ、大変貴重な機会です。世界を魅了した華麗なる作品の数々から、明治有田の魅力を紹介します。

精磁会社《色絵鳳凰花唐草文透彫大香炉》1879年～1897年頃、個人蔵(写真提供：世界文化社)

## 泉屋博古館分館と工芸

住友家が収集した美術品を保存・展示する泉屋博古館(京都・鹿ヶ谷)の分館として、東京・六本木の旧住友別邸跡地に2002年に開館。茶道具、能道具、近代陶磁器などの工芸作品、近代絵画などを所蔵し、関連企画展などを開催。

左：泉屋博古館分館　外観
右：重要文化財　板谷波山
《葆光彩磁珍果文花瓶》大正6(1917)年

## これまでの工芸に関する主なイベント

「住友春翠生誕150年記念特別展『バロン住友の美的生活』」(2016年)、「特別展『きものモダニズム』」(2015年)、「特別展『茶の湯釜の美』」(2014年)、「特別展『没後50年 板谷波山』」(2014年)、「特別展『伊万里染付の美—図変り大皿の世界』」(2013年)

**水戸忠交易**
MITOCHU KOEKI Co.

**住所** 千代田区紀尾井町4-1 ホテルニューオータニロビー階　**交通** 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附」駅、半蔵門線「永田町」駅より徒歩10分
http://koheki.com/　**問** 03-3239-0845／aek04267@nifty.com

# 常設展

Gallery Collection

**定休日** 12月30日（金）～1月3日（火）**時間** 11:00～19:00

上：黒田辰秋《耀貝螺鈿腰張茶器》
下：増田敏也《Low pixel CG-The desire is entrusted-》

「水戸忠交易」は、ギャラリーとして国内外の美術品、特に工芸品に重点を置いています。富本憲吉や河井寛次郎、濱田庄司などから、ルーシー・リーやバーナード・リーチなどヨーロッパ、アメリカの近現代工芸作家による作品を扱っています。美術館とはまた違った距離感で作品と出会うことができ、美術品をより身近に感じるいい機会となります。

ハンス・コパー《黒チューブ・フォーム》

## 水戸忠交易と工芸

「ホテルニューオータニ」のロビー階に店舗を構えている「水戸忠交易」。国内外に関わらず、近現代の工芸を中心に、漆芸・木竹工芸・絵画、また茶道具などを広く取り扱い、厳選した作品を紹介しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

第20回東美特別展出展（10月予定）、開催年：2016年
「アートフェア東京2016」出展（2016年）、「2016早春展」（2016年）、「2015東美アートフェア」出展（2015年）、「アートフェア東京2015」出展（2015年）





**狩野グラススタジオ**
KAONO GLASS STUDIO

**住所** 港区元麻布2-5-17　**交通** 大江戸線・南北線「麻布十番」駅より徒歩12分。日比谷線「広尾」駅より徒歩13分　http://www.glassartclass.com/　**問** 03-5785-3220／info@glassartclass.com

# 体験レッスン：オリジナルの小皿をつくろう（全2回）

Let's make your first original glass work（small plate）!（2days workshop）

［主催］**グラスアートクラス**

**2016年10月22日（土）～2017年1月19日（木）**

**休館日** 12月26日（月）～1月4日（水）
毎週土・日曜開催（2回分要予約）※制作工程の関係上、2日連続の予約はとれません。**時間** 14:00～16:30
**参加料**：5400円（2回分）**講師** 狩野智宏（造形作家）

グラスアートクラスは、幻のガラス工芸技法「パート・ド・ヴェール」を中心に、器やアクセサリー、オブジェなどをつくり、ガラス工芸を楽しむための教室です。初心者からプロを目指す方まで、幅広く指導しています。
本ワークショップは2回で作品が完成します。1回目は原形づくりと型づくりをし、ガラス詰め作業をします。　焼成後の2回目は磨きなどの仕上げ作業をしてできあがりです。

## グラスアートクラスと工芸

狩野グラススタジオは、造形作家狩野智宏が主宰しています。
狩野智宏自身が制作するスタジオワークはもちろんのこと、さまざまなガラス技法に関するご相談や、オーダーに対応しております。
ガラス業界のネットワークを活かし、ご相談いただいた案件にふさわしい技法でデザインから制作、納品まで責任を持って管理いたします。
ガラスに関するクリエイティブワークは狩野グラススタジオへお任せください。

## R-11

▶ 地図10 P.55

**藝術学舎（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学）**
Institute of Art

**住所** 港区北青山1-7-15 外苑キャンパス　**交通** JR「信濃町」駅より徒歩5分、半蔵門線・銀座線・大江戸線「青山一丁目」駅より徒歩10分
https://gakusha.jp　**問** 0120-530-920／office@gakusha.jp

# 女性たちの工芸史
## ―女性工芸家列伝

笹井史恵「さかな」
2009年（W30 × H78 × D45）

**2016年12月13日（火）、14日（水）**
**時間** 11:00～17:00（13日）、9:30～16:10（14日）
**受講料**：16000円　**定員** 60名　**講師** 外舘和子

陶芸・染織・漆・金工・竹工芸・人形分野における代表的な女性工芸家の作品を通して、現代における女性の工芸表現の魅力を解説します。あらゆる年齢層の作家を取り上げ、工芸環境の変遷についても触れていきます。

# 伝統工芸の現在（いま）
## ―新時代の工芸家たち

室瀬和美《蒔絵螺鈿菱華文卓》2013年　個人蔵

**2016年10月11日（火）、25日（火）、11月15日（火）、12月6日（火）、20日（火）**
**時間** 10:30～12:30　**受講料** 21000円　**定員** 40名
**講師** 唐澤昌宏、諸山正則

東京国立近代美術館工芸館の研究員を講師に迎え、伝統工芸の世界で新たな境地を拓く工芸家の魅力を紹介します。また工芸館で関連作品や貴重な資料に直接触れる「タッチ&トーク」を行うなど、講義の内容を実地で学びます。

# 東北の暮らしと芸術（2016秋）―南部鉄器―

**2016年11月25日（金）**
**時間** 12:50～15:40　**会場** 岩鋳鉄器館（岩手県盛岡市）
※現地集合・現地解散　**受講料** 10000円　**定員** 20名
**講師** 八重樫亮

南部鉄器の老舗「岩鋳」で製造工程を見学し、三代目清茂の八重樫亮氏より歴史や技法の解説からメンテナンス法までわかりやすく教えていただきます。※詳細はお問い合わせください。

### 藝術学舎と工芸

京都造形芸術大学と東北芸術工科大学による、社会人向けに本格的に芸術を学ぶことのできる機会を提供する新時代のアートカレッジ。両大学の教員はもちろん、各分野の専門家、文化人、第一線のアーティストが講師を務めます。

製作風景



## R-12

▶ 地図10 P.54

**今右衛門東京店**
Imaemon Tokyo

**住所** 港区南青山2-6-5　**時間** 9:00～18:00　**休業日** 日曜、祝日　**交通** 各線「青山一丁目」駅より徒歩3分　http://www.imaemon.co.jp/tokyo/　**問** 電話：03-3401-3441／FAX：03-3401-3448／tokyo@imaemon.co.jp

# お酒をたのしむうつわ展

Vessels for enjoying *Sake*

**2016年11月26日（土）～12月3日（土）**
※11月27日（日）は営業

四季の移ろいを愉しみ、うつわに心遊ばせる。寛ぎのひとときを豊かにする逸品をそろえました。
「お酒をたのしむ」をテーマに、酒器をはじめ、小鉢や珍味入れ、豆皿などを展示・販売いたします。また、会期中の限定品として、二客揃いのうつわもご紹介いたします。

### 今右衛門東京店と工芸

今右衛門東京店は370年の歴史と伝統をもつ色鍋島今右衛門窯の直営店として、人間国宝十四代今泉今右衛門の作品と色鍋島今右衛門窯の作品をご紹介しております。また、季節に合わせたうつわの催事やカルチャー教室なども定期的に開催しております。
今右衛門家は江戸時代、佐賀藩主より幕府への献上品、諸大名への贈答品、城中用品として制作された「色鍋島」の赤絵付けをする御用赤絵師に下命されました。赤絵の調合・技術は一子相伝の秘宝として保護され、今右衛門窯がその伝統と技術を今に伝えております。また、その卓越した技術は宮内庁・各宮家の御用達を受けるなど高い評価をいただき、国の重要無形文化財保持団体の認定を受けております。青みのある縮緬の釉肌、藍の染付、赤黄緑の上絵付で洗練された文様で構成した高い品格と格調の色絵磁器「色鍋島」をお楽しみ下さい。

特典

## R-14

▸地図10 P.55

**伊勢半本店 紅ミュージアム**
Isehan-Honten Museum of Beni

**住所** 港区南青山6-6-20 K's南青山ビル1F　**交通** 銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅より徒歩12分、「渋谷」駅東口・都バス01系統 新橋・赤坂アークヒルズ・六本木ヒルズ行き「南青山七丁目」下車すぐ
http://www.isehanhonten.co.jp/museum/exhibitions.html
**問** 03-5467-3735／mail@isehan.co.jp

佐賀県有田焼創業400年記念 企画展

# 悦楽の磁器
## ―有田の化粧道具―

Fantastic Porcelains — makeup tools of Arita ware

《色絵団扇和歌文碗》1780～1840年代、佐賀県立九州陶磁文化館（柴田夫妻コレクション）

**2016年10月15日(土)～12月4日(日)**

**休館日** 月曜　**時間** 10:00～18:00（金曜は20:00まで、入場は19:30まで）　**料金** 一般600円。中学生以下、障がい者手帳をおもちの方および付添者1名まで無料

協力：佐賀県立九州陶磁文化館、有田町教育委員会、東京都教育委員会、豊島区教育委員会

江戸時代の化粧道具からみた有田焼の展開をたどります。江戸時代、化粧道具は日用品でありながらも華やかな磁器製の容器が多く、非日常を演出していました。本展では磁器による生活様式の変化と、色とりどりの化粧道具を紹介します。

## 併催企画「未来の匠」
## ―有田焼 ふたり展―

左：たなかふみえ氏作品、右：川崎精一氏作品

有田焼作家に学ぶ体験講座
「陶板・影彫り」▸2016年10月22日(土)、23日(日)
**講師** 川崎精一　**時間** 各日12:30～16:30　**定員** 各回8名(定員になり次第、受付終了)　**参加費** 4,000円　※材料費・「悦楽の磁器」展観覧料込み
「吹墨」▸2016年10月29日(土)　**講師** たなかふみえ　**時間** ①10:30～12:00　②14:00～15:30　**定員** 各回8名(定員になり次第、受付終了)　**参加費** 3500円　※材料費・「悦楽の磁器」展観覧料込み

古典模様で独自の世界観をつくり出すたなかふみえ氏と、優美な影彫りの技を駆使する川崎精一氏、有田の両若手作家の作品を展示・販売します。

### 伊勢半本店 紅ミュージアムと工芸

紅花からわずかに抽出される赤色色素「紅」の歴史と文化、紅作りの「技」をご紹介しています。展示室にて紅の歴史的背景や諸相をご覧いただくとともに、日本伝統の口紅「小町紅」をはじめとする紅の色彩的な魅力を体験できます。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「かみ、さまざま一広がる和紙の世界」(2014年)、「Design―江戸デザインの“巧・妙”」(2012年)、「工藝の再結晶―江戸期工人の軌跡を辿った香道具復元制作―」(2011年)、「華雅(かが)やきの赤絵細描―九谷赤絵の妙技―」(2010年)



特 チケット売り場にて本書のこのページ、または公式ウェブの特典ページのご提示で、企画展観覧料を100円引き

## R-15

▸地図10 P.55

**根津美術館**
Nezu Museum

**住所** 港区南青山6-5-1　**交通** 銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅より徒歩8分・B4出口より徒歩10分・B3出口より徒歩10分、都バス「渋88渋谷～新橋駅前」行、バス停「南青山6丁目」より徒歩5分
http://www.nezu-muse.or.jp　**問** TEL 03-3400-2536／FAX 03-3400-2436

# コレクション展「染付誕生400年」

*Sometsuke:* Celebrating Four Centuries of Japanese Porcelain

**2017年1月7日(土)～2月19日(日)**

**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）　**休館日** 月曜（1月9日は開館、翌10日休館）　**料金** 1100円 ※20名以上の団体、障がい者手帳をおもちの方および付添者1名まで200円引

スライドレクチャー：「染付誕生400年」展の展示内容について▸
**日程** 2017年1月21日(土)、2月4日(土)　**時間** 各回13:30より45分程度　**講師** 下村奈穂子（根津美術館学芸員）※事前申し込み不要。※入館料が必要（詳細はウェブサイト参照もしくは電話にて問い合わせ）
特別講座「肥前伊万里と中国伊万里」▸
**講師** 西田宏子（根津美術館顧問）　**日程** 2017年1月14日(土)　**時間** 14:00～15:30　事前申し込み（定員40名）、**参加費** 2000円 ※入館料が別途必要
特別催事「〈現代6作家による〉茶室でみる磁器の現在」▸
**日程** 2017年1月20日(金)～22日(日)　加藤委氏
2017年1月27日(金)～29日(日)　庄村久喜氏・新里明士氏
2017年2月3日(金)～5日(日)　今田陽子氏
2017年2月10日(金)～12日(日)　和田的氏
2017年2月17日(金)～19日(日)　十四代今泉今右衛門氏（重要無形文化財保持者）
**時間** 10:00～16:00（金、土）、10:00～15:00（日）
**会場** 根津美術館庭園内の茶室
庭園内の茶室にて21世紀を担う現代陶芸作家の磁器作品を展示する

1616年、朝鮮半島より渡来した陶工・李参平は、肥前（現在の佐賀県）の地で磁器の焼成に成功。肥前磁器は「伊万里焼」として、染付や白磁、青磁や色絵へと発展し、17世紀にはヨーロッパへ輸出されるなど隆盛を極めました。本展は、1998年に山本正之氏が当館へ寄贈した作品を中心に、17世紀から19世紀までの肥前磁器を概観します。庭園内の茶室では、現代作家の磁器作品を展観する特別催事を開催。約400年におよぶ日本磁器の多彩な魅力が楽しめます。

《染付蝶文稜花皿》肥前 施釉磁器 江戸時代（17世紀）根津美術館 山本正之氏寄贈

A スライドレクチャーと特別講座を開催。

### 根津美術館と工芸

根津美術館は実業家初代根津嘉一郎（1860－1940）の遺志により、1941年南青山に開館。国宝7件、重要文化財87件、重要美術品94件を含む日本と東洋の古美術約7,400件を収蔵している。作品は絵画、書蹟、彫刻、陶磁、漆工、染織、金工など多岐にわたっている。また根津家私邸の面影を残す、17,000㎡を超える緑豊かな日本庭園には茶室が点在し、四季折々の風景が楽しめる。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「中国陶磁勉強会展」(2016年)、「江戸のダンディズムー刀から印籠までー」(2015年)、「名画を切り、名器を継ぐー美術にみる愛蔵のかたち」(2014年)、「カラフルー中国・明清工芸の精華」(2014年)、「井戸茶碗ー戦国武将が憧れた器」(2013年)

根津美術館 外観 © 藤塚光政

**白山陶器東京ショールーム**
HAKUSAN SHOP
（HAKUSAN PORCELAIN SHOWROOM）

**住所** 港区南青山5-3-10 フロムファースト Gフロア　**交通** 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅より徒歩5分　http://www.hakusan-shop.com　**問** 03-5774-8850

# 特別展「Process ―はんこ―」

Process ― Stamp wear ―

［主催］**HAKUSAN SHOP／白山陶器株式会社**

**2016年11月1日（火）～8日（火）**

**時間** 11:00～20:00 **入場料** 無料

HAKUSAN SHOP オープン13周年キャンペーン▸**日程** 2016年11月1日（火）～8日（火） **時間** 11:00～20:00 **会場** HAKUSAN SHOP（白山陶器東京ショールーム）

A 開催期間中は長崎本社のデザイン・開発スタッフが常駐し、「暮らしの器」の製作の背景や、やきものの魅力を伝える。 B 特別展示では製作工程で使う道具や制作風景のスライドショーを通して、量産品でありながらも随所に感じられる手仕事を見ることができる。

白山陶器は1779年に長崎県波佐見町中尾郷で創業した窯元です。デザインから成型・絵付・施釉・焼成までの全工程において、職人たちの丁寧な手仕事を大切にしながら暮らしの器を製作しています。今年の特別展「Process ―はんこ―」では、絵付のさまざまな工程の中でも「はんこ」を使ったパターンの技法を紹介するとともに、実際に使用している道具や生地、絵付の工程を追ったスライドショーを交え、白山陶器のモノづくりの背景を鑑賞できます。

## 白山陶器東京ショールームと工芸

HAKUSAN SHOPは長崎県の白山陶器のすべてのラインアップを紹介する、ショールームを兼ねた直営ショップとして2003年にオープン。「暮らしの器」としてデザインされた美しいフォルムや機能、繊細なレリーフやパターン、それを引き立てる表情豊かな釉薬、最新作からロングライフデザインのものまで、器を使う生活シーンの提案とともに白山陶器のモノづくりの姿勢を紹介しています。

代表的な商品「G型しょうゆさし」





**（株）田島美術店 AOYAMA**
Art Gallery Tajima

**住所** 港区南青山5-10-2 第2九曜ビル1F　**交通** 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅より徒歩3分　http://www.art-tajima.jp　**問** 03-3498-6150／aoyama@art-tajima.jp

# 常設展

Gallery Collection

**休業日** 火曜、祝日 **時間** 10:30～18:00

近代陶芸として人気が高い北大路魯山人、河井寛次郎、加守田章二、岡部嶺男、八木一夫、小山富士夫などの作品を展示しています。盃、徳利など酒器や湯呑、皿、鉢など使って楽しめる作品が中心。

北大路魯山人《志野　平鉢》

加守田章二《盃》

## （株）田島美術店と工芸

創業百余年の田島美術店。南青山の骨董通りに面した青山店では、岡部嶺男、河井寛次郎、北大路魯山人、黒田辰秋、柳宗悦などを扱っています。東京美術倶楽部の工芸、日本画、洋画部門の鑑定委員も在籍しており、資産評価、出張鑑定も受け付けています。

**Salon de TiTi 青山本店**

**住所** 渋谷区神宮前5-4-11 1F　**交通** 銀座線、千代田線、半蔵門線「表参道」駅より徒歩7分　http://www.haoridetiti.jp/index.html　**問** 03-3498-0771／info@yoichinagasawa.co.jp

# トークイベント“Muses～Lariqueラリックの女神たち～”

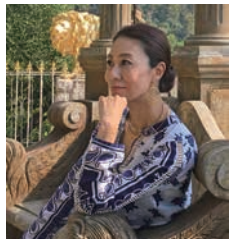
Public Talk with Tazuko Yamaki & Takashi Suzuki
"Glass artworks of René Lalique and the MUSE within"

**2016年10月22日(土)**

**時間** 14:00～15:00(入館は14:30まで)　**会場**「Salon de TiTi」(完全予制)　**入場料** 無料　**申込方法** 電話またはFacebookより申込み

A ギャラリートークを開催 B ルネラリックのガラスアートを展示

ファッションブランド“haorideTiTi”オーナーであり、デザイナーの八巻多鶴子が、アンティークルネ・ラリックのコレクター、ギャルリーオルフェオーナー鈴木尚志とともに行うトークセッション。2017年春夏のテーマ「MUSE」にちなみ、アールデコの最高傑作のひとつ「泉の女神」ほか、女性をモチーフとしたアールデコのガラスアート作品を「haorideTiTi2017年春夏コレクション」とともに展示。作品に込められた女性像やテーマについて解説を交えながらラリックについて語ります。



左：ルネ・ラリック《泉の精》。最新コレクションとともにイメージの源泉となったラリックのグラスアートを展示
右上：haorideTiTi オーナーデザイナー・八巻多鶴子
右下：ルネ・ラリック《シレーヌ》。“MUSE”をテーマにラリックの作り出した美しい女性像について語ります。

## 工芸

「haori de TiTi」は、八巻多鶴子によるコンテンポラリーファッションブランドであり「Salon de TiTi」は、高品質な素材・ものづくり、メイドインジャパンにこだわり日本の工芸技術を生かした産地とのコラボレーションを設立以来続けています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「JFW　2016年秋冬コレクション～和の紋様～」(2016年)、「甲府ジュエリー産地ブランド「Koo-fu」2016新作発表」(2016年)、「JFW　2016年春夏コレクション」(2015年)、「JFW　2015年秋冬コレクション」(2015年)、「JFW　2015年春夏コレクション」(2014年)





**日本陶芸倶楽部**
Nippon Tougei Club

**休館日** 月曜　**会場** 渋谷区神宮前1-5 東郷神社境内　**交通** JR「原宿」駅より徒歩3分、千代田線、副都心線「明治神宮前」駅より徒歩5分　http://www.tougei-club.com　**問** TEL 03-3402-3634／FAX 03-3470-2528

# 第33回 日本陶芸倶楽部アマチュア作品展

33rd Japan Pottery Club Amateur Exhibition

**2016年11月5日(土)、6日(日)**

**時間** 10:00～17:00(5日)、10:00～15:45(6日)
**料金** 無料、「作陶とお茶を愉しむ」前売り券4000円

会員の作品を展示、作陶体験、喫茶(茶席)、職員制作の作品販売を行います。

# こども陶芸教室「陶芸家になってみる」

“Let us be a potter！” Children Pottery Experience

**2016年11月20日(日)、2017年1月22日(日)**

**時間** 9:30～12:45　**料金** 各コース5400円　**定員** 各コース12名　**対象** 小学生

土の準備から窯に詰めるまで、陶芸家の仕事に挑戦します。電動ロクロを使っての成形と、素焼素地への絵付け、2つの作品をつくります。

# 上絵付を愉しむ会「赤絵盃一対」

“A pair of sake cups”Overglaze painting Experience

**2016年12月4日(日)、2017年1月8日(日)**

**時間** 10:00～12:30　**料金** 各コース6000円　**定員** 各コース20名

新春を寿(ことほ)ぐ宴をはじめ 四季折々のお祝いごとなど、人々が集う食卓に 彩りを添える盃を2つつくります。磁胎の真っ白な素地に赤絵具で描き、お好みで玉釉(黄・緑など)も加えてみましょう。

# 赤楽茶碗を作る会

Red-Raku Tea Bowl Class

**2017年1月15日(日)、29日(日)(2日間)**

**時間** 10:00～12:30　**料金** 15000円　**定員** 20名

作者の想いが直に形に表れる楽茶碗。画像で名碗を見て膨らませた想像力で制作。焼成の迫力まで実感できる機会です。

## 日本陶芸倶楽部と工芸

財界人で茶人の松永安左ヱ門を初代会長、哲学者で茶人の谷川徹三を初代理事長に迎え、1967年に発足。誰でもが陶芸を学ぶことができる場所とよき指導者を提供し、アマチュア陶芸の振興と普及を目指しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「作陶体験」、「上絵付け」「子ども陶芸」などを実施。

特 本書持参にて、すべての料金を500円引き

▸地図9 P.52

公益社団法人 日本クラフトデザイン協会
Japan Craft Design Association

# 第56回日本クラフト展 ―くらし心地―

THE 56th JAPAN CRAFTS EXHIBITION － Living in Comfort －

**2017年1月7日(土)～15日(日)**

**会場 東京ミッドタウン・デザインハブ**
港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

**時間** 11:00～19:00（最終日は～17:00） **交通** 大江戸線「六本木」駅直結。日比谷線「六本木」駅直結。千代田線「乃木坂」出口より徒歩約8分。http://designhub.jp/

http://www.craft.or.jp/home/craft56.html

**入場料** 無料 **問** 03-6455-5533

全国から公募された一般・学生の入選作品と、JCDA会員作品による展覧会。日本のクラフトデザイン文化の向上、優秀な人材の発掘、次世代のクラフトマンの育成を目的に開催しています。本展では、日本人の創意工夫で築いた独自のクラフト文化を礎に、モノ・人・環境との関係を深く考え、クラフトの新しい在り方を国内外に積極的にアピールすると同時に、作品を通して人々の豊かな生活の実現に貢献します。

左：第55回日本クラフト展　経済産業大臣賞・日本クラフト大賞　「mageita stool」右：第55回日本クラフト展会場

## 日本クラフトデザイン協会と工芸

公益社団法人日本クラフトデザイン協会（JCDA）は、クラフトデザインの普及を図り、産業の発展と人々の生活文化の向上に寄与することを目的に、60年にわたり活動を行っています。クラフト関連の組織として唯一法人化された全国組織で、スタジオクラフトマンや伝統的地場産業に関わる生産者を中心とした正会員、賛助会員、会友により構成されています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「日本のクラフト in IWATA」（静岡県・磐田市新造形創造館）（2015年）、「JCDA企画展『クラフト動物園』」（北海道・江別市セラミックアートセンター）（2015年）、「清州国際工芸ビエンナーレ　フェア」（韓国・清州市）（2013・2015年）、「日本クラフトデザイン協会展ー日常を演出するクラフト - La vie quotidienne et les objets d'art」パリ日本文化会館（フランス・パリ）（2014年）、「台湾国際デザイン博覧会 - 台北国際クラフトデザイン展」（台湾・台北）（2011年）、「親子ふれあいワークショップ」（2010年～、夏と冬）

# 親子ふれあいワークショップ アートな糸を作る

Workshop on craft making for parent and child － Making art yarn －

**2017年1月14日(土)**

**会場 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター**
港区赤坂9-7-1　ミッドタウン・タワー5F

**交通** 大江戸線「六本木」駅より直結。日比谷線「六本木」駅直結。千代田線「乃木坂」駅より徒歩約8分。

http://www.craft.or.jp/saishin.html

**時間** 10:30～12:30、14:00～16:00（午前・午後各1回） **参加費** 1000円（親子2人分） **定員** 各回 親子15組30名 **講師** JCDA正会員 **申込方法** EメールまたはFAX（03-6455-5534）にて **問** 03-6455-5533／info@craft.or.jp

暮らしの美しい道具であるクラフト作品は、素材を活かすことから創られます。ものづくりの体験とともに、素材の背景となる地域の特徴や暮らしとの関わりを親子で学びます。今回のプログラムは「アートな糸を作る」、素材は羊毛です。素材が「糸」に変わる仕組みを楽しく学ぶワークショップです。

第56回日本クラフト展会期中、1月7日～9日にはJCDA会員の作品をチャリティー販売します（売上の一部は毎日希望奨学金に寄付します）。詳細は日本クラフトデザイン協会ホームページにてお知らせします。http://www.craft.or.jp/

平成28年度、夏のワークショップ

アートな糸（アートヤーン）

A ワークショップやトークイベント、素材別作品解説等を実施します。

特 第56回日本クラフト展会期中、本書のこのページのご提示で、日本クラフト展作品集（税込2000円）を1割（200円）引き



RING!RING! プロジェクト 競輪の補助事業
第56回日本クラフト展・親子ふれあいワークショップは、競輪の補助を受けて実施します。

特典

## R-23

▸地図10 P.55

**しぶや黒田陶苑**
Shibuya Kuroda Toen

**住所** 渋谷区渋谷1-16-14　メトロプラザ1階　**交通** 各線「渋谷」駅より徒歩1分　http://www.kurodatoen.co.jp/　**問**03-3499-3225／info@kurodatoen.co.jp

# 昭和名盤鑑

Exhibition of The Grand masters in Showa era

**2016年10月21日(金)～25日(火)**

**時間** 11:00～19:00 **入場料** 無料

藝術の中でも陶藝には使える楽しみがあります。花を生け、料理を盛り付け、お酒をいただき、お茶を一服する。すべてに器が必要となります。そして、せっかく使っていただけるなら、本当に良いものだけを使っていただきたいと、私どもは願っております。しぶや黒田陶苑ではこの度、昭和を駆け抜けた巨匠の名品を一堂に会する場を設けさせていただきました。錚々(そうそう)たる巨匠の遺した色絵、志野、青瓷(せいじ)、瀬戸黒、萩、備前、楽とさまざまな名盤をご用意させていただきました。先人の残した偉大な礎を、どうかご観覧ください。

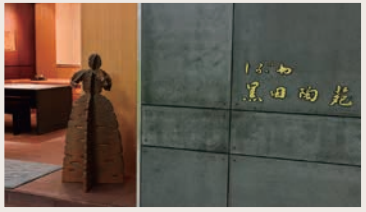
A 本展覧会では昭和の巨匠たちの名品を、一堂に会するまたとない機会です。陶芸の世界にご関心がある方にとって、より深く陶芸界の重厚な足跡を知ることができる場となっております。

上：岡部嶺男《絵志野茶碗》　下：加守田章二《彩色茶碗》　工芸ファンをつくる普及啓発の機会(シンポジウムなど)を設ける

備前 大桐大展 10月28日(金)～11月1日(火)／色絵染付 柴山勝展 11月4日(金)～8日(火)／おいしいうつわ 11月11日(金)～15日(火)／菊池克展 11月18日(金)～22日(火)／金重慷 徳利展『晩秋寸酔』 11月25日(金)～29日(火)／漆藝 太田修嗣展 12月2日(金)～6日(火)／昭和巨匠陶藝逸品展 ひとりたのしむ 12月9日(金)～20日(火)(※12月15日(木)定休日)／唐津 田中佐次郎展 12月23日(金)～27日(火)

### しぶや黒田陶苑と工芸

しぶや黒田陶苑では近現代の巨匠陶藝家の逸品を厳しい眼で選び皆様にご紹介して参ります。同時に、現代に生きる陶芸家たちによりよい作品をつくって貰えるよう対話を重ねながら、美術商の本道を彼らと邁進して参ります。



### これまでの工芸に関する主なイベント

「大藝術家 北大路魯山人展」(2016年)、「山口長男とやきもの展」(2016年)、「特別展『壷心』」(2015年)、「陶藝家の父　富本憲吉展」(2015年)、「作品傳百世 石黒宗麿展」(2015年)



特 お声をかけてくださった方には、本展の特製図録をプレゼント

## R-24

▸地図10 P.55

**ぎゃるり あじゅーる**
**GALERIE AZUR**

**会場** 渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー東急ホテル1F　**交通** 各線「渋谷」駅より徒歩5分　http://1bankan.com//azur/　**問**03-6427-0029／info@1bankan.com

# 美濃 安洞雅彦 オリベ展

**2016年11月12日(土)～20日(日)**

**休館日** 不定休 **時間** 11:00～18:00

A ギャラリートークを開催 A 桃山時代の陶片と今展の作品を比較しながら,その作成方法や素材について説明。C「椿手」と呼ばれる朱色の盃を特別出品。

桃山時代に隆盛を極めた織部を、現代の陶工が忠実に再現。先人の数寄者たちが見出したストーリー性のある織部や、現代のデザインに合わせた幾何学的デザインの織部など拘りぬいた作品を発表します。フランス語で、夜明け前の空の色である「瑠璃色」を意味する「AZUR」から命名されたギャラリーは、心地よく区切られたいくつかの展示スペースやゲストルームなど、ゆったりと寛げる空間となっています。

### GALERIE AZURと工芸

2011年に彫刻家・籔内佐斗司氏とのコラボレーションにより生まれたギャラリー。唐津焼をメインとした陶芸作品とともに籔内氏の新作を紹介。2016年より唐津焼・有田焼の専門店として、新たに九州、美濃の若手作家の企画展や、骨董、絵画などラインナップを大幅に広げ再スタートしました。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「内村慎太郎 李朝の茶碗と盃展」(2016年)、「戸川雅尊　新作展」(2016年)、「山本亮平 新骨董@代官山蔦屋書店」(2016年)、「中里太亀展 そそぐ」(2016年)

**戸栗美術館**
TOGURI MUSEUM OF ART

**住所** 渋谷区松濤1-11-3　**交通**「渋谷」駅より徒歩約15分、京王井の頭線「神泉」駅より徒歩約10分　**問** 03-3465-0070　http://www.toguri-museum.or.jp/

# 戸栗コレクション 1984・1985—revival—展

The Toguri Collection: The Original Exhibition

**2016年10月4日(火)～12月23日(金・祝)**

**時間** 10:00～17:00(入館は16:30まで)　**休館日** 月曜
**入場料** 一般1000円、高校・大学生700円、小・中学生400円

戸栗美術館創設者が収集した陶磁器コレクションが初めて公開された展覧会『戸栗コレクション有田の染付と色絵—伊万里・柿右衛門・鍋島—』(渋谷区立松濤美術館／1984年11月～1985年1月)。今展では、当時の出展品100点以上を再展示。開館30周年を前に、伊万里焼・鍋島焼の名品とともに、コレクションのはじまりを振り返ります。

A 第2・第4水曜・土曜に、学芸員による展示解説を開催。

《色絵 牡丹文 瓶》伊万里、江戸時代（17世紀中期）、高47.0cm、戸栗美術館蔵

## 戸栗美術館と工芸

戸栗美術館は、創設者 戸栗亨が長年に渡り収集した美術品を永久的に保存し、広く公開することを目的として、1987年に開館しました。コレクションは伊万里、鍋島などの肥前磁器や中国・朝鮮などの東洋陶磁が主体で、日本でも数少ない陶磁器専門の美術館として活動しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「古伊万里唐草—暮らしのうつわ—展」(2016年)、「古伊万里—染付の美—展」(2016年)、「鍋島焼展」(2016年)、「柿右衛門・古伊万里金襴手展」(2015年)、「古九谷展」(2015年)





**渋谷区立松濤美術館**
THE SHOTO MUSEUM OF ART

**住所** 渋谷区松濤2-14-14　**交通** 井の頭線「神泉」駅より徒歩5分　**問**03-3465-9421／info@shoto-museum.jp　http://www.shoto-museum.jp

# 月—夜を彩る清(さや)けき光

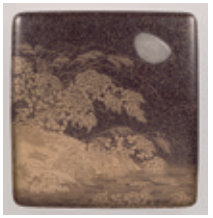
The clear and mysterious moonlight
–various works of the moon in the Japanese art

**2016年10月8日(土)～11月20日(日)**

**時間** 10:00～18:00（入館は17:30まで）※金曜は20:00まで開館　**休館日** 月曜（祝日の場合は翌平日)、10月31日(月)、11月4日(金)、展示替え期間　**入場料** 一般1000円、大学生800円、60歳以上・高校生500円、小中学生100円。

記念講演会▸**講師** 通口一貴氏　**日程** 2016年11月3日(木・祝)　**時間** 14:00～15:30　**会場** 松濤美術館地下2階ホール

明治時代に太陽暦が採用されるまで我が国は長らく太陰暦にのっとり、月の満ち欠けはまさに人々の生活サイクルそのものでした。本展では、81点の絵画・工芸品による多面的な展示を通じて、日本人に脈々と流れる「月」への嗜好を探ります。



《萩薄蒔絵硯箱》江戸時代（17世紀）京都 国立博物館蔵

# セラミックス ジャパン

## 陶磁器でたどる日本のモダン

Ceramics Japan: Tracing Japanese Modern through Ceramics

**前期 2016年12月13日(火)～2017年1月9日(月・祝)**
**後期 2017年1月11日(水)～29日(日)**

**時間** 10:00～18:00（入館は17:30まで）※金曜は20:00まで開館　**休館日** 月曜(祝日の場合は翌平日)、1月10日(火)、12月29日(木)～2017年1月3日(火)、展示替え期間　**入場料** 一般500円、大学生400円、60歳以上・高校生250円、小中学生100円。

記念講演会▸**講師**森仁人　**日程** 2017年1月15日(日)　**時間** 14:00～15:30　**会場** 松濤美術館地下2階ホール

東京高等工業学校窯業科 板谷波山《新製マジョリカ額皿》1905(明治38)年、東京工業大学博物館蔵

近代日本の陶磁器は、世界に誇る品質とデザインで好評を博するとともに、作家の豊かな個性が開花し、そして和洋食器や照明器具などに新感覚が息づきました。明治維新から第二次世界大戦までの約70年におよぶ、近代日本陶磁器の創意とエネルギーにあふれたデザインの流れを紹介する、初めての展覧会です。

## 渋谷区立松濤美術館と工芸

1981年10月に開館しました。絵画・彫刻・工芸と各回さまざまに催す「特別展」を中心とする展覧会事業、講演会、コンサート、美術教室などを開催。哲学の建築家と言われる白井晟一(せいいち)の設計としても有名で、石造りの印象的な外観は、多くの建築ファンも訪れる、建物も楽しめる美術館です。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「穎川美術館の名品」(2016年)、「最後の人間国宝　石黒宗麿のすべて」(2015～2016年)、「藤井達吉の全貌」(2015年)

**NPO法人趣都金澤**
NPO Syuto Kanazawa

フォーラム
# 「工芸建築の可能性
## ～金沢からの創造～」

The possibility of "architecture made by crafts"
～ creativity from Kanazawa ～

**11月16日(水) 19:00～21:00 (開場18:30)**

**会場 アーツ千代田3331 B104**

U-26 (地図07 P.49)
千代田区外神田6-11-14(地下1階)

**募集人数** 70名(先着順) **参加費** 1500円 **申込方法** HP申込フォーム https://goo.gl/oOKKOj **登壇者** 緒方慎一郎(SIMPLICITY代表、クリエイティブディレクター)、中村卓夫(陶芸家、趣都金澤会員)、小津誠一(有限会社E.N.N.代表、趣都金澤会員) **コーディネーター** 秋元雄史(金沢21世紀美術館館長、東京藝術大学大学美術館館長・教授、趣都金澤顧問)

「工芸建築」とは、建築をひとつの工芸作品として考えてみようとする試みです。金沢の工芸と建築の伝統を基盤として、現代における工芸と建築の融合による創造的なクリエイションの展開可能性を議論します。

# 金沢古今茶会

Kanazawa tea ceremony ～ traditioin and modern ～
[後援] **金沢市、目黒区**

**1月21日(土) 13:00～**

**会場 旧前田侯爵家駒場本邸・和館**

R-28 (地図10 P.54)
目黒区駒場4-3-55　目黒区立駒場公園内

**募集人数** 15名(先着順) **参加費** 4000円 **申込方法** HP申込フォーム https://goo.gl/oEt6nE **問** 076-223-3580

来年度、金沢で開催される鷹峯フォーラムのプレイベントとして、加賀百万石ゆかりの地である本会場で茶道家・奈良宗久氏が亭主を務める茶会を開催します。前田家が千利休からの裏千家4代千仙叟宗室を金沢に招いて以来400年、いまでも生活のなかに茶道が息づいています。また、当地では数多くの工芸作家が日々新しい作品を生み出しています。連綿と受け継がれてきた茶道に今を生きる工芸をあわせた一席。金沢の工芸文化の今をご体感ください。

**亭主：奈良 宗久**(裏千家今日庵業躰、趣都金澤会員)
金沢生まれ、十代大樋長左衛門(陶冶斎)の次男。業躰(宗家直下の指導者)として国内外で茶道の普及に努める傍ら、NHKの番組での解説出演や映画の茶道監修など活躍は多岐に渡る。

### NPO法人趣都金澤と工芸

趣都金澤は、「日本一趣深い都市 - 趣都・金澤の実現」をキーワードに文化を機軸とした様々なまちづくり事業を行っています。2006年に発足。工芸作家やギャラリスト、美術館関係者など工芸に関わるメンバーも数多く在籍しています。
http://syuto.co.jp

### これまでの工芸に関する主なイベント

「金沢21世紀工芸祭」
2016年10月13日(木)～2017年2月26日(日)
金沢の工芸を世界に。世界の工芸を金沢へ。趣膳食彩、工芸回廊、金沢みらい茶会、金沢みらい工芸部、金沢アートスペースリンクなど様々な工芸イベントを開催します。http://21c-kogei.jp/





▸地図10 P.54

**日本民藝館**
The Japan Folk Crafts Museum

**住所** 目黒区駒場4-3-33 **交通** 井の頭線「駒場東大前」駅から徒歩8分
http://www.mingeikan.or.jp/events/ **問** 03-3467-4527

# 創設80周年特別展 柳宗悦・蒐集の軌跡
## ―日本の工芸を中心に―

Soetsu Yanagi / Path of His Collection -focusing on Crafts of Japan

**2016年9月1日(木)～11月23日(水)**

**休館日** 月曜(祝日の場合は翌日) **時間**：10:00～17:00(入館は16:30まで) **入場料** 一般1100円、大・高生600円、小・中学生200円

A 講演会の開催、小学校など学校授業として見学受け入れ、高校の美術科・工芸科の教師グループへの研修、新作工芸展では現在の作り手による工芸品を販売。B 露出展示により、作品と近い距離で鑑賞可能。

50年以上にわたって、さまざまな造形物を蒐集した柳宗悦。柳のコレクションは、「民藝」という新しい概念に基く江戸時代の工芸品が主体ですが、その他にも縄文から昭和前期まで、幅広い分野の造形に及んでいます。創設80周年を記念する特別展第3弾である本展は、「信と美」を追求し続けた蒐集家としての柳に注目し、蒐集の軌跡を辿ります。

《陶俑　加彩牛》中国・唐時代(7世紀)
〔1915年頃～1918年蒐集〕日本民藝館蔵

### 日本民藝館と工芸

日本民藝館は、「民藝」という新しい美の概念の普及と「美の生活化」を目指す民藝運動の本拠として、思想家の柳宗悦らの企画により1936年に開設。収蔵品は陶磁器・染織品・木漆工品・金工品・石工品・編組品など、日本をはじめ諸外国の新古工芸品約17000点におよぶ。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「創設80周年特別展　日本民藝館所蔵　沖縄の工芸」(2016年)、「創設80周年特別展　日本民藝館所蔵　朝鮮工芸の美」(2016年)、「平成27年度日本民藝館展 - 新作工藝公募展 - 」(2015年)

**松岡美術館**
Matsuoka Museum of Art

**住所** 港区白金台5-12-6　**休館日** 月曜（祝日の場合は翌平日）12月30日～1月4日　**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）　**入場料** 一般800円、65歳以上・障がい者手帳をおもちの方700円、中高大生500円　**交通** 南北線・三田線「白金台」駅より徒歩6分　http://www.matsuoka-museum.jp/　**問** 03-5449-0251／info@matsuoka-museum.jp

# 松岡コレクション 中国の陶磁 明から清まで

The Matsuoka Collection – CHINESE CERAMICS, from the Ming Dynasty to the Qing Dynasty

**2016年10月5日（水）～2017年1月15日（日）**

宮廷用の御用器を生産する官窯が設置された景徳鎮窯。明時代、白磁に紅い文様の釉裏紅にはじまり、青い文様の青花、そして五彩の出現でいよいよ器面に色彩が溢れ出します。さらに精度の高い技術が駆使される清時代、前代に開発された豆彩は華やかさを増し、西洋七宝の技術を応用した粉彩は絵画に迫る表現を可能にしました。今展では、年款銘の入った景徳鎮官窯の陶磁器を中心に、明から清までの中国陶磁の展開を館蔵の名品でたどります。

《青花龍唐草文天球瓶》景徳鎮窯、明時代 永楽期

### 松岡美術館と工芸

1975年に実業家・松岡清次郎が創立、2000年に白金台に移転した私立美術館。古代オリエント美術、現代彫刻、古代東洋彫刻、東洋陶磁器、日本画、フランス近代絵画など幅広いコレクションを常設・企画展示しています。

**久米美術館**
Kume Museum of Art

**住所** 品川区上大崎2-25-5 久米ビル8階　**交通** JR「目黒」駅徒歩1分、南北線／三田線、目黒線「目黒」駅徒歩2分　http://www.kume-museum.com　**問** 03-3491-1510／foumit-koume-1510@nifty.com

# 美術工芸の半世紀 明治の万国博覧会Ⅱ ～さらなる挑戦～

World Expositions in the Meiji Period II

［主催］**一般社団法人 霞会館、久米美術館**

**2016年10月29日（土）～12月4日（日）**

**休館日** 月曜　**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）　**入場料** 一般500円、大高生300円、中小学生200円

万博での国際デビューを紹介した昨年の第1回の展覧会に続き、第2回として、明治時代中頃のバルセロナ万博（1888年）、第4回パリ万博（1889年）、シカゴ万博（1893年）を取り上げます。日本からは、当代きっての美術工芸家たちが、もてる技術の粋を尽くして出品しました。今回は日本のさらなる挑戦を、美術工芸を中心に紐解きます。さらに、鹿鳴館、華族会館ゆかりの品も特別公開いたします。

鈴木長吉《十二の鷹》より、1893年、東京国立近代美術館蔵

### 久米美術館と工芸

久米美術館は、岩倉使節団に参加した歴史家である久米邦武、その長子で洋画家の久米桂一郎を記念し1982年に設立されました。久米父子はそれぞれ歴史研究、美術行政の立場から、特に有田の陶磁器や博覧会出品とのかかわりも深く、関連の文献等を収蔵、展示しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「美術工芸の半世紀　明治の万国博覧会Ⅰ」（2015年）、「久米邦武・桂一郎と有田瓷器展―肥前の精美を世界の産業に―」（2007年）

特 チケット売り場にて本書のこのページ、または公式ウェブの特典ページのご提示で、入場料を各100円引き

**畠山記念館**
Hatakeyama Memorial Museum of Fine Art

**住所** 港区白金台2-20-12　**交通** 浅草線「高輪台」駅より徒歩5分、南北線・三田線「白金台」駅より徒歩10分　http://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/index.html　**問** TEL：03-3447-5787

# 天下人の愛した茶道具

Tea Utensils Beloved of Great Unifiers of Japan

**2016年10月1日(土)～12月11日(日)**

**休館日** 月曜(祝休日の場合は翌平日)、11月4日(金)　**時間** 10:00～16:30(入館は16:00まで)　**料金** 一般700円、高校・大学生500円。中学生以下無料。障がい者手帳をおもちの方および付添者1名まで100円引

列品解説　展示品について学芸員が解説します。
**日程**：10月29日(土)、11月5日(土)、19日(土)：各回14:00-／10月27日(木)、11月10日(木)、12月1日(木)：各回10:30-　※約60分、事前申込不要
ミニトーク　主要作品を学芸員が解説します。
**日程**：11月27日(日)：15:00-／10月26日(水)、11月16日(水)、30日(水)：各回11:00-　※約20分、事前申込不要

## 畠山記念館と工芸

畠山記念館は、茶道具を中心に、書画、陶磁、漆芸、能装束など、日本、中国、朝鮮の古美術品を展示公開し、茶の湯の美術館として親しまれています。展示室内の茶室「省庵」のほか、庭園内に6つの茶室が点在しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「茶の湯ことはじめ」(2016年)、「尾形光琳没後300年記念　光琳とその後継者たち」(2016年)、「古田織部没後400年記念　桃山茶陶と『織部好み』」(2015年)、「涼づくし―書画とやきものを中心に―」(2015年)、「畠山即翁の大師会茶会 ―井戸茶碗信長の取り合せ―【併設】益田鈍翁ゆかりの茶道具」(2015年)

正門

室町後期に誕生した侘び茶は、江戸時代にかけて変遷、展開を遂げます。ことに信長が名物茶道具を積極的に求めたことから、武将たちの間に茶の湯ブームが巻き起こりました。
今回は、彼らが華やかに演出した「黄金と侘び」をテーマに、信長、秀吉、家康ら天下人ゆかりの品々をご紹介いたします。期間中、11月5日(土)～11月20日(日)は国宝「煙寺晩鐘図」(伝 牧谿筆・南宋時代)を特別展示いたします。かつて室町将軍足利義満が手に入れたのち、松永久秀、織田信長、そして徳川家康へと権力者の間を流転した歴史をもつ掛軸を、この機会にゆっくりとご鑑賞ください。

C 朱を用いた作品《菊桐蒔絵棗》を展示予定

《唐物茶壺　銘 十五夜》明時代





**株式会社HALI'S**
HALI'S CO, LTD

**住所** HALI'S Glass Art Studio 目黒区自由が丘1-22-3　**休業日** 毎週月曜、第1・第3日曜、11月5日、22日、23日、12月29日～1月6日　**交通** 東横線「自由が丘」駅より徒歩6分　http://www.halis.jp　**問** 03-6421-4163／info@halis.jp

# 鋳込みガラス、ワークショップ

Workshop of CastGlass
[主催]**HALI'S Glass Art Studio**

**2016年10月22日(土)～2017年1月29日(日)**

**時間** 10:00～15:00　**参加料** 5400円　**講師** 由水直樹

A 鋳込みガラスのワークショップ

上：ワークショップ風景
下：ワークショップで制作する作品（イメージ）

ガラス工芸は製造法や華飾の種類が多岐に渡っています。吹きガラスが代表的な製造方法ですが、耐火石膏で鋳型を起こし、鋳造する成型方法もあります。このワークショップはその「鋳造するガラス」に焦点をあてより多くの方に触れ合っていただきます。

上：工房内観　下：由水直樹《霖雨》

## 株式会社HALI' Sと工芸

株式会社HALI'Sは「パート・ド・ヴェール」やキャストガラス、鋳込みガラスといった鋳込み型を使ったガラス鋳造による工芸品を制作しています。ガラス工芸作家の由水直樹が代表を務め、若手の育成をはじめ鋳造ガラスの為の材料販売、教室等を行なっています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「ユネスコ、ガラス古代技法のワークショップ」(2014、2016年)、「横須賀美術館、パート・ド・ヴェールのワークショップ」(2014年)、秋田公立美術大学でのワークショップにTeam GA70's メンバーとして参加（2015年）

特 本書のご提示で、ワークショップ参加費を500円引き

**虎ノ門ヒルズ** | **住所** 東京都港区虎ノ門1-23-1　**交通**「虎ノ門」駅より徒歩約5分

# A hundred threads

**アーティスト** 奥村巴菜、久芳真純、鈴木直人、地村洋平、渡部直也

［主催］ **女子美術大学 ＋100年後の工芸のために普及啓発実行委員会**
［企画・コーディネート］女子美術大学アート・デザイン表現学科アートプロデュース表現領域研究室
日沼禎子（准教授）、山田早苗、清野安由実
［後援］ 東京藝術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学
［特別協力］ O JUN（東京藝術大学教授）、藤原信幸（東京藝術大学教授）、十時啓悦（武蔵野美術大学教授）、杉浦幸子（武蔵野美術大学教授）

**2016年11月10日（木）～13日（日）**

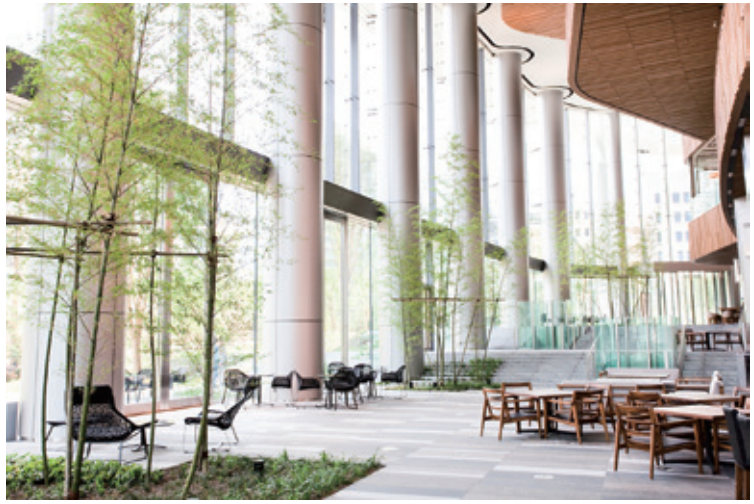
**会場　虎ノ門ヒルズ アトリウム**

**時間** 11:30～18:00　**入場料** 無料

**記念フォーラム「世界とつながる工芸の未来」▸**
**日程** 2016年11月12日（土）　**時間** 14：00～17：00　**会場** 虎ノ門ヒルズ4F虎ノ門フォーラムホールB　**ゲストトーカー** 杉山道夫（滋賀県立陶芸の森創作研修課長）、辻真木子（遊工房アートスペースコーディネーター、アーティスト・イン・レジデンスリサチャー）出展アーティスト5名の作品紹介と、ゲストトーカーを交えて未来の工芸、可能性について語る。

未来の工芸をめぐる、人・モノ・場との出会いをテーマに、若手アーティスト5名による展覧会を開催します。光と緑あふれる虎ノ門ヒルズアトリウムに、気鋭の若手アーティストによる布・陶・ガラスなどを素材とした個性豊かな作品を展開。往来する人々に新たな発見をもたらす空間を創り出します。

A 若手アーティストに焦点を当て、開放的なアトリウムでの展示を行うことで、気軽に触れる機会を創出。若手アーティストと鑑賞者、使い手との直接の交流の場を生み出す。



虎ノ門ヒルズ
アトリウム





**渋谷ヒカリエ 8/** | **住所** 渋谷区渋谷2-21-1　**交通** 各線「渋谷」駅直結

江戸の技、明治の細工、現代の匠

# 長崎みかわち焼 展

［主催］**長崎県、三川内陶磁器工業協同組合**

**2016年11月26日（土）～12月8日（木）**

**会場　渋谷ヒカリエ 8/CUBE**

**休館日** 会期中無休　**時間** 11：00～20：00（最終日17：00）　**入場料** 無料　http://www.mikawachi-utsuwa.net　**問** 0956-30-8311（三川内陶磁器工業協同組合）／kumiai@mikawachi-utsuwa.net

トークイベント「みかわち焼の見方、見分け方」▸**日程** 2016年11月26日（土）　**時間** 14：00、16：00（各回30分）　**会場** 渋谷ヒカリエ 8/CUBE　**講師** 森由美（陶磁研究家、戸栗美術館キュレーター）

左：菊彫向付、明治時代［佐世保市蔵］写真＝大川裕弘　右：雲龍文角形香炉、江戸時代後期［佐世保市蔵］写真＝大川裕弘

400年の歴史をもつ、長崎県のやきもの「みかわち焼」。江戸時代初期に始まり、その当時は「平戸焼」と呼ばれていました。平戸藩の藩主・松浦公のための器や献上品をつくる「御用窯」として、篤い保護のもと採算を度外視した繊細なやきものを数多く残しました。生産量は多くないものの、海外で人気を博し、現在は博物館に所蔵されているヨーロッパの主要な王室のコレクションに納められました。人気の理由の一つは、手間のかかった細工や造形です。「透かし彫り」「置き上げ」「薄づくり（エッグシェル）」の技。近年においても知る人ぞ知る存在ですが、いまでもこの技術を継承するつくり手が器をつくりづづけています。江戸時代から明治・大正・昭和、そして現代に生きる工芸の技を展示いたします。

# みかわち焼 1000趣1000枚の豆皿市

**2016年11月26日（土）～29日（火）**

**会場　渋谷ヒカリエ8階 8/COURT**

**時間** 11：00～20：00（最終日は17：00まで）　**問** 0956-30-8311（三川内陶磁器工業協同組合）／kumiai@mikawachi-utsuwa.netnet　**問** 0956-30-8311（三川内陶磁器工業協同組合）／kumiai@mikawachi-utsuwa.net

丸皿と角皿の上に、すべて手描きで描かれた唐子や宝尽くしの古典文様。人気の鯨などの独自の絵柄が多種多彩に並びます。

写真＝海老江重光

特 ガイドブックのご提示で、江戸から明治時代のみかわち焼の名品ポストカード1枚をプレゼント。

## R-07

▸地図09 P.52

**サントリー美術館**
Suntory Museum of Art

**住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階　**交通** 大江戸線・日比谷線「六本木」駅より直結、千代田線乃木坂駅出口3より徒歩約3分
http://suntory.jp/SMA/　**定休日** 火曜日、展示替期間、年末年始　**時間** 10:00～18:00（金曜・土曜は20:00まで開館）　**問** 03-3479-8600

1961年に当時のサントリー社長・佐治敬三が千代田区丸の内のパレスビルに開館。「生活の中の美」を基本テーマとして、企画展示や作品収集を行い、収蔵品は絵画、陶磁、漆工、染織など、国宝1件、重要文化財15件、重要美術品21件を含む約3,000件に及びます。1975年に赤坂・サントリービル、そして2007年に現在の東京ミッドタウンに移転しました。イベントホール、茶室「玄鳥庵」、ミュージアムショップとカフェを併設。「美を結ぶ。美をひらく。」をミュージアムメッセージに掲げ、魅力あふれる企画展を通し、日本の美を国内外に発信している。

《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》 国宝　鎌倉時代 13世紀
サントリー美術館蔵

《薩摩切子　藍色船形鉢》 江戸時代 19世紀中頃
サントリー美術館蔵

**10月22日～1月29日に開催される展覧会**

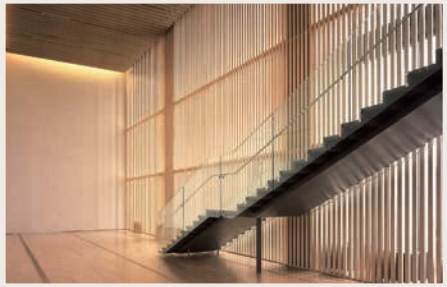
鈴木其一 江戸琳派の旗手▸
2016年9月10日（土）～10月30日（日）
世界に挑んだ7年 小田野直武と秋田蘭画▸
2016年11月16日（水）～2017年1月9日（月・祝）
サントリー美術館新収蔵品 コレクターの眼
ヨーロッパ陶磁と世界のガラス▸
2017年1月25日（水）～3月12日（日）

### 主な所蔵品

浮線綾螺鈿蒔絵手箱（国宝、鎌倉時代 13世紀）、小倉山蒔絵硯箱（重要文化財、室町時代 15世紀、色絵五艘船文独楽形大鉢（重要文化財、有田、江戸時代 18世紀）、白泥染付金彩芒文蓋物（尾形乾山、重要文化財、江戸時代 18世紀）、薩摩切子　藍色船形鉢（江戸時代 19世紀中頃）

### これまでの工芸に関するおもなイベント

「オルセー美術館特別協力　生誕170周年 エミール・ガレ」展（2016年）、「没後100年 宮川香山」展（2016年）、「着想のマエストロ 乾山見参!」展（2015年）、「天才陶工 仁阿弥道八」展（2014年）、「IMARI／伊万里 ヨーロッパの宮殿を飾った日本磁器」（2014年）、「Drinking Glass―酒器のある情景」（2013年）、「沖縄復帰40周年記念　紅型　BINGATA ー琉球王朝のいろとかたちー」展（2012年）、「誇り高きデザイン 鍋島」展（2010年）、「和ガラス 粋なうつわ、遊びのかたち」展（2010年）

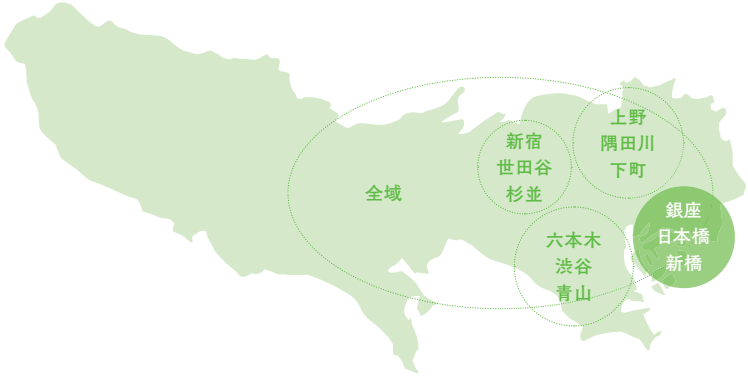


3階吹き抜けスペース © 木奥恵三



G

# 銀座・日本橋・新橋
Ginza , Nihonbashi , Shimbashi



▸地図08 P.51

**東京国立近代美術館工芸館**
Crafts Gallery, The National Museum of Modern Art, Tokyo

**住所** 千代田区北の丸公園1-1　**交通** 東西線「竹橋」駅より徒歩8分。東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅より徒歩12分。 http://www.momat.go.jp　**問** 03-5777-8600（ハローダイヤル）

# 革新の工芸 —“伝統と前衛”、そして現代—

Craft Arts: Innovation of “Tradition and Avant-Garde,” and the Present Day

**2016年9月17日（土）～12月4日（日）**

**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）**休館日** 月曜（祝休日の場合は翌平日）**入館料** 一般550円、大学生350円。高校生以下、障がい者手帳をおもちの方と付添者1名は無料。11月3日（木・祝）文化の日は無料観覧日。

アーティストトーク
10月30日（日）八木明（陶芸家）
ギャラリートーク
11月6日（日）諸山正則（工芸課主任研究員）
いずれも申込不要、参加無料（要観覧券）

日本工芸の戦後の基盤である“伝統”は、昭和30年代頃、“伝統の工芸”と“前衛的な工芸”へと展開され、「革新」ともいうべきあらたな局面が生まれました。本展では、その先人たちの芸術を新たな感覚で吸収した「現代」の工芸に焦点をあてます。古典的な様式美や伝承のわざのなかに、新たな素材や独自の技法を取り入れた作品を通じ、現代の工芸の様相を探ります。

草間喆雄《The Flow》2013年、個人蔵

十四代今泉今右衛門《色絵雪花墨色墨はじき菊文花瓶》2014年、個人蔵



# 所蔵作品展　近代工芸と茶の湯Ⅱ（仮称）

Modern Crafts and the Tea Ceremony Ⅱ from the Museum Collection (tentative title)

**2016年12月17日（土）～2017年2月19日（日）**

**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）**休館日** 月曜（祝休日の場合は翌平日）、年末年始（12月28日～1月1日）**入館料** 一般210円、高校生以下、65歳以上、障がい者手帳をおもちの方と付添者1名は無料。1月2日（月）、2月5日（日）は無料観覧日

日本の工芸の発展と深い関わりをもつ茶の湯には、さまざまな素材や技法を駆使した器が使われています。それらはつくり手の想いを伝える「表現の“うつわ”」として、また、使い手からの「見立ての“うつわ”」として、造形や意匠に独自性を打ち出したものも少なくありません。本展では、大正から昭和、そして平成へと移りゆく器の形や様式の美を、茶の湯の器を通して紹介します。

川喜田半泥子
《志野茶碗　赤不動》1949年
東京国立近代美術館蔵

三輪壽雪
《鬼萩割高台茶碗》
2006年
東京国立近代美術館蔵

## U-24, R-30, S-03, A-03, U-27

# 工芸館がやってきた！ 出張タッチ&トーク

Touch&Talk（original program of Craft Gallery, MOMAT）

**会場**

**U-24** ▸地図07 P.48

11月13日（日）文京区立小石川図書館
文京区小石川5-9-20　丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩6分、都バス「小日向四丁目」バス停より徒歩2分

**R-30** ▸地図12 P.59

11月24日（木）港区立高輪図書館分室
港区高輪1-4-35 高輪子ども中高生プラザ3F　南北線・三田線「白金高輪」駅より徒歩2分

**S-03** ▸地図11 P.57

11月27日（日）新宿区立四谷図書館
新宿区内藤町87　丸ノ内線「新宿御苑前」駅より徒歩5分、都バス「新宿1丁目」バス停より徒歩2分

**A-03** ▸地図24 P.65

1月15日（日）練馬区立美術館
練馬区貫井1-36-16 池袋線「中村橋」駅より徒歩3分

**U-27** ▸地図18 P.64

1月29日（日）江戸川区篠崎子ども図書館
江戸川区篠崎町3-12-10　新宿線「篠崎」駅より徒歩15分、京成バス「ポニーランド」バス停下車

12年間にわたり、子どもたちのためのプログラムを推進してきました。今回は、各展覧会期中の毎週水・土曜に行われてきた「タッチ＆トーク」を都内5ヶ所で開催します。人間国宝から人気の若手の作品の重さや感触など、目で見たり触ったりすることはもちろんのこと、音、匂いなど、五感をフルに使って味わう内容です。ガラス越しでは気づきにくい素材や技法の秘密に迫ります。ガイドスタッフと一緒に、色や形、好き嫌いなどを話すうちに、参加者の「見る力」が引き出されます。今回は対象年齢や開催館の活動にあわせてプログラムをアレンジ。言葉遊びや工作、英語トークなど、子どもたちの好奇心へのさまざまなアプローチを試みます。

### 東京国立近代美術館工芸館と工芸

東京国立近代美術館工芸館は、近現代の工芸とデザインの作品を紹介する美術館として、1977年に開館。とくに多様な展開を見せた戦後の作品に重点が置かれ、陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、人形、金工、工業デザイン、グラフィックデザインなどの各分野にわたって、約3500点以上の工芸作品を所蔵し、展示を行っています。赤レンガの建物は「旧近衛師団司令部庁舎」を保存活用し、重要文化財に指定されているものです。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「芹沢銈介のいろは―金子量重コレクション」（2016年）、「ようこそ日本へ：1920-30年代のツーリズムとデザイン」（2016年）、「栗木達介展―現代陶芸の鬼才」（2015年）、「中村ミナトのジュエリー：四角・球・線・面」（2015年）、「青磁のいま―受け継がれた技と美 南宋から現代まで」（2014年）



## G-21

▸地図08 P.51

**池坊東京会館**

**住所** 千代田区神田駿河台2-3　**交通** JR「御茶ノ水」駅より徒歩5分
http://www.ikenobo.jp/tokyokaikan/　**問** 03-3291-9321（平日9:00-17:00）／メールアドレス：lesson-tokyo@ikenobo.jp

# 身近ないけばな、身近な工芸

［主催］**一般財団法人 池坊華道会**

**2016年12月17日（土）**

**会場** 池坊東京会館 **時間** 10:30-／14:00- **料金** 500円 **対象** 青少年向け（22歳まで） **募集人数** 各回10人（予定）※先着順　※年少者は親子での参加も可（花材は1組に1つ支給） **申込方法** メールまたはFAX（03-3295-1018）にて受付 **申込締切** 12月2日（金）

A 子ども向けワークショップの開催。

家にある身近な生活工芸品を用いた、初心者向けいけばな体験。季節の花を身近にある器に生けてみましょう。用意するものは、花を生ける器だけです（必要な方はお手拭やエプロンなど）。コップやお皿、急須、お盆、お椀、ボウル、どんぶり、靴、カバンなど毎日の生活で使っている、水を入れて濡れても大丈夫なものをおもちください。もち込む器が無い方は剣山・花器ともに貸し出し可能です。

### 池坊華道会と工芸

華道家元池坊の東京における拠点。首都圏の池坊会員の活動の場として、教授者の指導法向上を目的とする池坊中央研修学院の講座や、一般を対象とした池坊ビギナーズレッスンを開講するなど、池坊いけばなの普及・振興を目的とする事業を実施しています。

**明治大学博物館**
Meiji University Museum

**住所** 千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン地階　**交通** JR「御茶ノ水」駅より徒歩5分　**休館日** 12月26日～1月7日　http://www.meiji.ac.jp/museum/　**問** 03-3296-4448

# 常設展示 商品—さまざまな伝統的デザイン

Regular Exhibition: Various Traditional Handmade designs.

**2016年10月22日(土)～2017年1月29日(日)**

**会場 明治大学博物館**

**時間** 10:00～17:00(入館は16:30まで)　**入館料** 無料

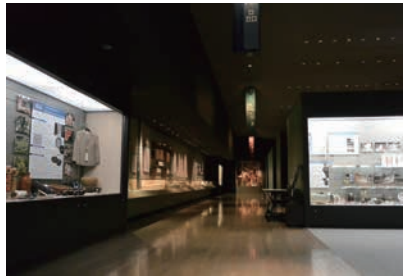
常設展示リニューアル記念ギャラリートーク▸❶"伝統的工芸品"の成立 **日程** 2016年11月19日(土) ❷移り変わる商品—伝統的工芸品の変容 **日程** 2016年12月10日(土) ❸伝統的工芸品の価値創造 **日程** 2017年1月21日(土) **時間**各回14:00～15:00 **会場** 明治大学博物館B2常設展示室 **講師** 当館学芸員

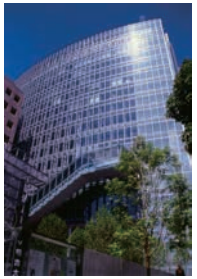
A ギャラリートークを開催。 B 陶磁器、漆器、絣糸染色、友禅染、和包丁などの半製品による製造工程見本及び製造風景の写真を展示。

商品という観点から伝統的工芸品を展示。2016年3月に展示をリニューアルしました。陶磁器、漆器、染織品などについて種目別に文化的背景、原材料、製法、デザイン、新旧商品の対比などを展示。製造コストの高い伝統的工芸品は、付加価値の普及啓発が不可欠です。この展示では、消費者にとって支払う対価に見合う商品の有用性(使用価値)とは何かを考えることをテーマとしています。

リニューアルされた商品部門の常設展示

金蒔絵の技法についての紹介





左：内観
右：明治大学アカデミーコモン
(博物館は地階部分)





**画廊 三溪洞**
Sankeido Ltd.

**住所** 中央区日本橋室町4-3-15　**休業日** 日曜、祝日、12月30日～1月5日　**交通** JR「神田」駅より徒歩5分、銀座線・半蔵門線「三越前」駅より徒歩3分、JR「新日本橋」駅より徒歩1分　http://www.sankeido.co.jp/　**問** 03-3241-1003

# 常設展

Gallery Collection

加藤土師萌《色絵金襴手水指》

## 画廊 三溪洞と工芸

創業以来100年以上にわたる業界屈指の長い歴史と経験のもとに、近・現代の日本画、洋画、彫刻、工芸品を中心に茶道具、古美術品など美術品全般を扱っています。美術品の販売、買い入れ、絵画・工芸品等の美術品の展示、制作依頼についてのコンサルティング、美術品の保護など、美術市場の安定を図り、真に価値のある美術の紹介、若き芸術家の紹介を行っています。

**日本橋とやま館**
NIHONBASHI TOYAMA

**住所** 中央区日本橋室町1-2-6　日本橋大栄ビル1階　**時間** 10:30～19:30（ショップフロア）　**休業日** 12月31日～1月3日　**交通** 銀座線・半蔵門線「三越前」駅より徒歩1分　http://toyamakan.jp　**問** 03-6262-2723（代表）

# キテ・ミテ・フレテ KOGEI TOYAMA
## ―手しごとを知る18日間―

**2016年11月3日（木・祝）～20日（日）**

**時間**：10:30～19:30※最終日は18:00まで開場

「有名人＆若手職人のトークショー」▸**日時** 12日（土）〈第一部〉15:00～16:00、〈第二部〉18:00～19:00 **定員** 各回20名（事前申込制）
伝統工芸（五箇山和紙）の実演▸**日時** 13日（日）11:00～15:30 **参加費** 無料（自由見学）
とやま工芸×蔵元ナイト▸**日時** 18日（金）19:30～21:00 **定員** 30名（事前申込み優先）**参加費** 入場無料　ただしワンドリンク制※ドリンク引換券を受付で購入
螺鈿細工体験▸**日時** 19日（土）❶11:00～12:00 ❷12:30～13:30 ❸14:00～15:00（計3回）**定員** 各回5名（事前申込み優先、当日希望者も受付）**参加費** 2,000円
**申込方法**：（株）TRUNKあてメール info.toyama@trunk-design.jp ※件名にイベント名、本文に氏名・電話番号、「トークショー」はご希望の回を記載し、お申し込みください

「9人のトヤマギフト―3つの手ものがたり―」と題し、「伝え手」「担い手」「買い手」がそれぞれの立場からトヤマギフトを選ぶとともに、その想いを展示します。また、「大切な人に贈りたい、富山の手しごと」として「色・食・楽・創・祝」の5つのテーマの切り口で富山の伝統工芸の展示販売をいたします。期間中は伝統工芸の実演や若手職人を招いてのトークショー、体験コーナーの開催も予定しています。

### 日本橋とやま館と工芸

食・文化・伝統・技・デザインなど、富山の「上質なライフスタイル」を発信する情報発信拠点。錫やガラス製品など、県内でつくられた工芸品の販売に加え、館内の和食レストランやバーでは実際に体感することができます。

五箇山和紙実演





**齋藤紫紅洞**
Saito-Shikoudo

**住所** 中央区京橋2-6-8仲通りビル2階　**休業日** 日曜、祝日　**交通** 銀座線「京橋」駅より徒歩2分、浅草線「宝町」駅より徒歩1分　**問** 03-3561-5583

# 漆の用と美

**2016年10月22日（土）～11月5日（土）**

**時間** 11:00～18:00（日曜、祝日休業）　**入場料** 無料

古くから日本の伝統的な美である「漆」と「蒔絵」にスポットをあてた展覧会。今回、この東京で近代の茶席で親しまれてきた赤地友哉、渡辺喜三郎の漆工芸品を中心に、江戸前の塗の美を紹介します。塗の滑らかさ、木地の質感など、実際に手に取って感じ取れる、絶好の機会となるでしょう。

赤地友哉《朱茶器》

### 齋藤紫紅洞と工芸

1984年から東京・京橋仲通りで開業。日本の古美術を中心に茶道具、書画を扱っています。近年では毎年春先に日本橋・京橋で行われている東京アートアンティークにて企画展を積極的に実施しています。

**LIXILギャラリー**
LIXIL GALLERY

**住所** 中央区京橋3-6-18　**時間** 10:00～18:00　**休館日** 水曜、12月28日～1月4日　**交通** 銀座線「京橋」駅より徒歩1分、有楽町線「銀座一丁目」駅より徒歩3分、浅草線「宝町」駅より徒歩3分、JR「有楽町」駅より徒歩7分　**入場料** 無料　**問** 03-5250-6530

# WASHI
## 紙のみぞ知る用と美 展

The Wondrous Beauty and Utility of Japanese Handmade Paper

**2016年12月8日(木)～2017年2月25日(土)予定**

江戸時代以降、紙は変幻自在で身近な素材として発展していきました。本展では和紙製のものを中心とした実資料約80点を、「衣」「食」「住」「遊」に分けて紹介します。和紙の造形文化の豊かさと、未来につながる和紙の可能性をご覧ください。

「WASHI」展「修二会紙布」東大寺二月堂で行われる「修二会（しゅにえ）」（お水取り）で練行衆（僧侶）が着用した紙布（かみぬの）。所蔵：桂樹舎和紙文庫　撮影 佐治康生

# 「クリエイションの未来展」
## 第10回 宮田亮平監修 みなの衆 ―東京藝術大学鍛金研究室で学ぶ

「クリエイションの未来展」は、4人の監修者が独自のテーマで現在進行形の考えを具現化します。第10回目の本展では金工作家の宮田亮平監修のもと、全国の金属造形作家22名の作品を2期に分けて展示します。

**第一期** 2016年12月15日(木)～2017年1月19日(木)
**第二期** 2017年1月21日(土)～2月25日(土)

「クリエイションの未来展 第10回宮田亮平監修」前回参考作品 丸山智巳「RIDER」2015（D）175×（H）108×（W）70㎝ Copper, Silver

# 大塚茂吉展 ―静寂なる振動―

OSTUKA Mokichi—Vibration of Silence

**2016年9月13日(火)～10月31日(月)**

1994年よりイタリア・ファエンツァで制作している大塚茂吉は、テラコッタによる静謐でモダンな雰囲気をたたえた表現が高い人気を得ています。本展では、新たな方向が芽生えた新作4点を含む7点を展示します。

市野雅彦展 ICHINO Masahiko
▸**日程** 2016年11月4日（金）～12月26日（月）
美崎光邦展 Misaki Mitsukuni
▸**日程** 2017年1月12日(木)～3月12日(日)

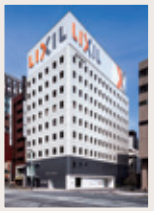
「大塚茂吉展」:「聖猫」2016年 h51×16.5×29㎝ 撮影 Giorgio Biserni

### LIXILギャラリーと工芸

1981年銀座に、（株）LIXILの文化活動として開廊したギャラリーは、「建築とデザインとその周辺をめぐる巡回企画展」と「建築・美術展」、そして「やきもの展」の3本を軸に展開をして35周年を迎えます。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「文字の博覧会 ―旅して集めた“みんぱく”中西コレクション―展」(2016)、「背守り子どもの魔よけ展」(2014)、「ブルーノ・タウトの工芸―ニッポンに遺したデザイン―展」(2014)



A 全展、講演会、ギャラリートークを開催。B ギャラリー1「WASHI」展 江戸時代の和紙の甲冑や漆椀など珍しい道具を展示。





**中長小西**
NAKACHO KONISHI ARTS

**住所** 中央区銀座1-15-14 水野ビル4F　**交通** 銀座線「京橋」駅より徒歩3分、浅草線「宝町」駅より徒歩2分　http://www.nakachokonishi.com　**問** 電話・FAX：03-3564-8225／info@nakachokonishi.com

# 「頂点を極めたお椀」室瀬和美＋目白漆學舎

MUROSE KAZUMI ＋ The Mejiro Urushi Studio

**2016年12月14日(水)～2017年1月17日(火)**

**時間** 11:00～19:00　**入場料** 無料　**休廊日** 日曜、祝日、（冬期休廊）2016年12月25日～2017年1月9日

漆芸家（人間国宝）の室瀬和美は、漆椀の利点を常に力説しています。「漆椀は熱伝導率が低く、適度に水分を吸うので、ご飯も最後の一粒まで温かく美味しく食べられます」と。2013年、三浦雄一郎の登頂隊がエベレスト（チョモランマ）に挑みました。極限状態での楽しみは食事。しかし、ベースキャンプの食器はアルミや合成樹脂製で、温かな食事もすぐに冷めてしまいます。その悩みを相談された室瀬は「美味しい食事を摂って登頂に成功して欲しい、そして漆椀の利点を極地で試してみたい」との思いから、漆椀を人数分制作し、贈りました。登頂隊は厳しい環境下でその漆椀を使い、いつも温かい食事を摂ることができたそうです。そして戻ってきた漆椀には全く問題が無く、漆の強さも証明されました。まさに頂点を極めたお椀です。本展では、登頂隊と同形の漆椀を、目白漆學舎の協力で展観。漆の強さと温かい感触を味わってください。三つ椀タイプ（¥83000）に加え、中小入子椀（¥54000）もご用意いたしました。

室瀬和美＋目白漆學舎
〈漆椀　ちょもらんま〉

### 中長小西と工芸

2008年の開廊以来、古美術から近現代美術までを扱う銀座のギャラリー。深見陶治、八木一夫、加守田章二などの陶芸作品ほか、村上華岳、山口長男などの絵画も扱っています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「猪倉髙志展」(2010、14、15年)、「隠﨑隆一展」(2012、15年)、「博多芦屋展」(2015年)、「小川待子展」(2015年)、「杉浦功悦展」(2013年)、「川瀬忍展」(2012年)、「岡部嶺男展」(2011年)

**一般社団法人芸術支援・地方創造機構**
**工芸とアートの金沢オークション実行委員会**
Kanazawa Auction for Kôgei and Art Executive Committee

# 第2回 工芸とアートの金沢オークション出品作品展示

The 2nd Kanazawa Auction for Kôgei and Art Exhibition

［主催］**一般社団法人芸術支援・地方創造機構**

**2016年10月19日(水)～24日(月)**

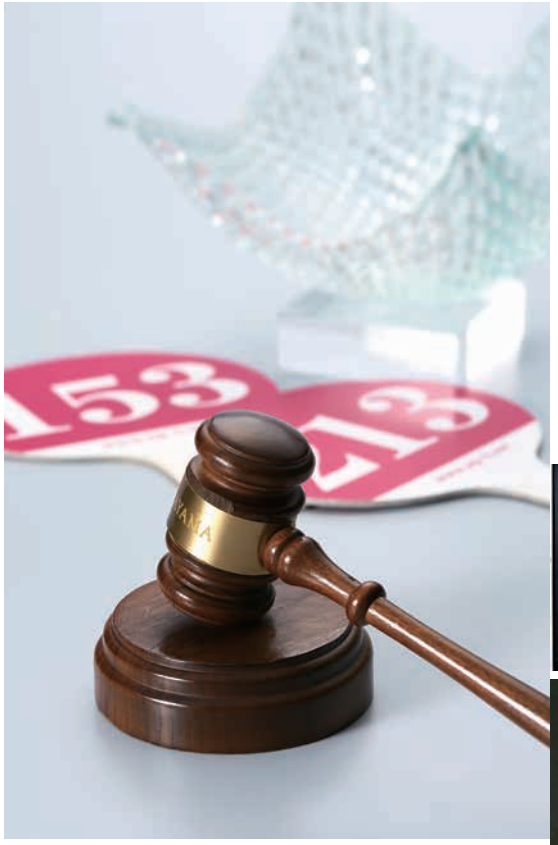
**会場 dining gallery 銀座の金沢**
中央区銀座1-8-19 キラリトギンザ6階

**時間** 11:00～21:00※最終日は16:00まで開場 **交通** 有楽町線「銀座一丁目」駅から徒歩1分 http://www.kaforka.net/ **入場料** 無料 **問** 株式会社AGホールディングズ 03-3465-3010／info@ag-h.net

北陸地方で活動する若手芸術家による意欲作32作品を東京・大阪・金沢の3都市で展示します。すべての作品は、2016年11月5日（土）金沢の料亭「つば甚」で開催される若手芸術家のためのオークション（スタート価格は一律1万円）にて販売され、落札金額は全額出品者が受け取ります。展示会場では、書面による事前入札も受付けます。

レセプションパーティー▸**日程** 2016年10月23日(日) **時間** 15:30～17:00 **会場** dining gallery 銀座の金沢
どなたでも無料でご参加いただけます。金沢らしいドリンクや軽食をお楽しみいただきながら、北陸から全国へ活動の場を広げつつある注目の若手芸術家による作品をご覧ください。

工芸とアートの金沢オークション▸**日程** 2016年11月5日（土）**時間** 14:00～16:00（開場13:30）**会場** つば甚（金沢）出品作品展示で発表された全ての作品を、スタート価格1万円の若手芸術家のためのオークションにて販売します。オークションへの**参加費**は無料で、落札金額は全額出品者が受け取ります。参加申込などの詳細はウェブサイトをご覧ください。



浅野恵理子《memory#4》、ガラス

## 工芸とアートの金沢オークション実行委員会と工芸

昨年度に引き続き2回目の開催となる「工芸とアートの金沢オークション」は、日本ではまだ珍しいライブオークションを通じて、作品を買うことを楽しみながら若手芸術家を支援することを目的として開催します。

KAKA
Kanazawa Auction for Kôgei and Art





**はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー**
HASEGAWA CO., LTD.

**住所** 中央区銀座1-7-6 銀座河合ビル1・2F **時間** 10:30～18:30（入館は18:00まで） **入場料** 無料 **交通** 有楽町線「銀座一丁目」駅すぐ、JR「有楽町」駅より徒歩9分、銀座線「京橋」駅より徒歩4分、日比谷線・丸の内線「銀座」駅より徒歩6分 http://www.hasegawa.jp/corporate/shop/ginza/ **問** 03-5524-7576／ginza-honten@hasenet.co.jp

# はせがわ銀座本店／銀座ギャラリー

HASEGAWA GINZA

**日程** 常設展示 **休廊日** 1月1日～3日

A 木工芸、漆箔、金工、蒔絵、彫刻、彩色など工芸技術の多くを網羅し、高度な技が発揮されたお仏壇の展示をしており、来場者の身近にある伝統工芸とのつながりを想起していただいています。東京藝術大学大学院文化財保存学の優秀研究作品に対し、毎年「お仏壇のはせがわ賞」を授与し、若手技術者の育成の支援を行うと同時に、受賞作品の展示を行うことで来場者にその研究の成果をご覧いただいています。C 東京藝術大学名誉教授 大西長利の、水銀朱を用いた作品を展示。

右：《菊輪灯》昭和初期に完成した、繊細な彫金の技術が用いられた仏具の傑作　左上：大西長利《朱漆の鈷、黒漆の鈷》乾漆の技法で制作された器の作品　左下：明治期に7人の匠の技と想いを結集して制作された金仏壇

はせがわ銀座ギャラリーがお届けする美術工芸品との語らいの空間です。日本の精神文化、伝統を現代に伝えることを使命とする「はせがわ」の企業活動の一環として、「祈り」「癒し」「平和」「生命（いのち）の喜び」「自然」「供養」など、企業理念に即したテーマで美術工芸の作品展を随時開催しています。

## はせがわ銀座本店 銀座ギャラリーと工芸

お仏壇のはせがわのフラッグシップショップ。お仏壇のショールームやお墓の相談窓口のほか、仏壇仏具にまつわるギャラリーを併設し、明治時代に制作されたお仏壇や截金（きりかね）工芸など、祈りに関連する工芸作品を展示しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「ー新しい祈りのかたちー 安藤和夫 厨子展」（2014年）、「うるしをくらしに展 ー輪島塗の仕事ー」（2012年）、「東京藝術大学お仏壇のはせがわ賞 5周年記念展」（2011年）、「九つの音色 祈りの継承展」（2009年）

特典

## G-18

▶地図05 P.45

**パナソニック 汐留ミュージアム**
Panasonic Shiodome Museum

**住所** 港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4F　**交通** JR「新橋」駅より徒歩約8分、銀座線・浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分　http://panasonic.co.jp/es/museum/　**問** ハローダイヤル 03-5777-8600

# モードとインテリアの20世紀展
## ―ポワレからシャネル、サンローランまで―

Fashion and Interior Decoration in the 20th Century:
From Poiret and Chanel to Saint-Laurent
Iwami Art Museum Collection

［主催］**パナソニック 汐留ミュージアム、毎日新聞社**

ポール・ポワレ《イブニング・ドレス》
1913年　島根県立石見美術館蔵

**2016年9月17日(土)～11月23日(水・祝)**

**休館日** 水曜（ただし11/23は開館）　**時間** 10:00-18:00（入館は17:30まで）　**料金** 一般1000円、65歳以上900円、大学生700円、中・高校生500円。小学生以下、障害者手帳をおもちの方、および付添者1名まで

きらめくベルベットの布地に豪華な毛皮で襟飾りが施されたコート、最高の職人の手で刺されたビーズ刺繍のケープ、銀糸で複雑に織り込まれた薔薇モティーフが華やかなパンプス……。国内屈指の島根県立石見美術館の所蔵品、約130点を一堂に紹介します。

# 工芸ワークショップ
## 「銀製ペンダントトップを作ろう!」

**2016年11月6日(日)**

**会場 パナソニック東京汐留ビル3階ホール**

概要 銀板を切り抜き、猫や犬などの動物のシルエットを形作ります。　**時間** 13:30～16:00（開場は13:20）　**対象** 小学5年生以上　**定員** 先着20名　応募方法 ハローダイヤル（03-5777-8600）へお申し込みください。

# マティスとルオー展

Matisse et Rouault

［主催］**パナソニック 汐留ミュージアム、産経新聞社**

**2017年1月14日(土)～3月26日(日)**

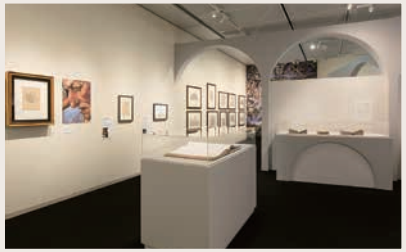
A 工芸に関する展覧会にあわせたギャラリートーク、工芸に関するワークショップ、工芸に関する書籍・雑誌の販売など。

### パナソニック 汐留ミュージアムと工芸

20世紀フランスを代表する画家ジョルジュ・ルオー（1871－1958）の油彩・版画作品などを含むルオー・コレクションに関連する企画展、また、パナソニックの事業と関わりの深い「建築・住まい」「工芸・デザイン」をテーマとする企画展を開催。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「REVALUE NIPPON PROJECT 中田英寿が出会った日本工芸」（2016年）、「ルオーとフォーヴの陶磁器」（2015年）「アール・ヌーヴォーのガラス」（2015年）、「メイド・イン・ジャパン南部鉄器 ー伝統から現代まで、400年の歴史ー」（2014年）、「幸之助と伝統工芸」（2013年）



特 本書持参、または該当ウェブページをプリントアウトもしくはご提示で、入館料を100円割引き（お連れ様1名様まで可能）



## G-17

▶地図05 P.45

**資生堂ギャラリー**
Shiseido Gallery

**住所** 中央区銀座8-8-3　東京銀座資生堂ビル地下1階　**交通** 各線「銀座」駅より徒歩4分、銀座線「新橋」駅より徒歩4分、JR「新橋」駅より徒歩5分　http://www.shiseidogroup.jp/gallery/　**入場料** 無料　**問** 03-3572-3901

# 「そばにいる工芸」展

Exhibition “KOGEI to live together”

［主催］**株式会社 資生堂**

**2016年9月6日(火)～10月25日(火)**

**時間** 11:00～19:00（平日）、11:00～18:00（日・祝）
**休館日** 月曜

川端健夫（木工）

今日、テクノロジーに頼ったモノや情報にあふれた生活から、自然に寄り添うシンプルな生活へとシフトする人が増え、日々の暮らしで使用する道具を丁寧に選び、大切に使う生活が見直されています。海外でも近年、素材と真摯に向き合ってつくられた、味わいあるミニマルな日本の工芸品への人気が高まっています。本展は、日常の生活で人間と寄り添う工芸をテーマに、暮らしの基本となる「食」と「住」の側面から選んだ6名の工芸作家の作品を展示します。
企画協力：森岡督行

### 資生堂ギャラリーと工芸

資生堂は、「美しい生活文化の創造」を企業使命とし、1919年に資生堂ギャラリーを開設しました。開設当初から、生活を豊かにするものとして工芸に着目し、美術と同様に数多くの工芸の展覧会を催してきました。陶芸や漆芸などの工芸作家の個展、海外の美術工芸品展、日本の工芸の発展を目指し結成された団体の作品発表など、さまざまな展覧会を通して工芸とともに歩んできました。資生堂ギャラリー創設当時から収集している美術、工芸作品は、資生堂アートハウスで収蔵公開しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「現代工藝展」（1975～1995年）、「life/art」展（2001～2005年）

**ギャラリー桜の木銀座**
GALLERY SAKURANOKI GINZA

**住所** 中央区銀座5-3-12壹番館ビル3階　**交通** 各線「銀座」駅より徒歩1分、JR「有楽町」駅より徒歩5分　http://www.sakuranoki.co.jp/
**問** 03-3573-3313／info@sakuranoki.co.jp

# さわるあそぶ 王朝の雅 ワークショップ

Artistic handicrafts princess loved - graceful millenary Japanese toys and games

**2017年1月14日(土)～15日(日)**

**時間** 14:00～16:00 **定員** 各回30名 **参加料** 8000円（貝覆(かいおおい)と練香をおもち帰りいただきます） **講師** 林美木子 **協力** 株式会社山田松香木店

A さわるあそぶ王朝の雅ワークショップを開催

やまと絵の伝統と技法を受け継ぐ有職彩色絵師・林美木子氏を講師にギャラリートークと練香体験のワークショップを開催いたします。

貝覆・鳳凰（左列上）、胡蝶（左列真ん中）、ほたる（左列下）、紅葉賀（中央列二段目）、初音（中央列三段目） 写真＝松野誠

**1. 林美木子氏によるギャラリートーク**
**2. 練香体験**　京都の老舗香木店・山田松香木店によるオリジナルの練香体験です。香の原料をそれぞれの好みに合わせて調合し、自分の香りを作ります。作った練香と貝覆に使用する蛤(絵はついていません)をお持ち帰りいただけます。
**3. 貝覆・歌留多体験**　林先生が実際に彩色をした貝覆と歌留多で遊びます。

**林美木子（有職彩色絵師）**
1966年京都市生まれ。銅駝美術工芸高校日本画科、京都芸術短期大学日本画コース卒業。1987年以降各地で個展を開く。父は「桐塑人形」の重要無形文化財保持者（人間国宝）の林駒夫。著書に『王朝のかたち』（猪熊兼樹氏との共著・淡交社刊）など。

## ギャラリー桜の木銀座と工芸

同時代のつくり手のアトリエから、暮らしのなかへ、さまざまなジャンルのアートワークをお届けしています。サロンスタイルで、今活躍するつくり手との交流イベントを多く企画。平面が主ですが、土鍋展から海外ジュエリー作家のトランクショウまで、幅広い視点での提案力が特徴です。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「林美木子展」（2012、2015年）、「宮村秀明展」（2009、2013、2015年）、「チャワン展」（2015年）、「村瀬治兵衛展」（2013年）、「第17代永樂善五郎の香合展」（2009、2012年）





**小津商店小津和紙**
OZU WASHI

**住所** 中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル　**交通** 総武線快速「新日本橋」駅より徒歩2分、半蔵門線「三越前」駅より徒歩5分、日比谷線「小伝馬町」駅より徒歩5分

# 和紙の作り手と使い手をつなぐ

Craftsman to User of Japanese Paper

［主催］**小津商店小津和紙＋100年後の工芸のために普及啓発実行委員会**　［共催］**女子美術大学**

**2017年1月9日(月)～21日(土)**

**会場 小津和紙**

**時間** 11:00～18:00　入場は17:30まで　※最終日は15:00まで開場（入場は14:30まで） **休館日** 日曜 http://www.ozuwashi.net **入場料** 無料 **問** 03-3662-1184/studio@ozuwashi.net

シンポジウム「日本文化にいきづく和紙」▸
**日程** 2017年1月14日(土) **時間** 14:00~15:30 **会場** 小津本館ビル2階 展示会場

A 関連イベント（シンポジウム）「日本文化にいきづく和紙」 B 和紙漉き体験 C 富山 悠久紙

和紙には書画材にかぎらず、さまざまな用途があります。紙漉きそのものも工芸の一分野ですが、工芸技術を支える素材としても和紙は大きな存在です。小津和紙は江戸時代より360余年続く紙問屋として、各地の生産者と消費者をつないできました。鷹峯フォーラム「100年後の工芸のために」に向けて、和紙のつくり手と使い手に焦点を当てた展示と関連イベントを行います。今回紹介する和紙は、富山の悠久紙です。金沢の工芸と連携してさまざまな試みを行なっています。シンポジウムつくり手と使い手による対談「日本文化にいきづく和紙」を行ないます。

左：小津ギャラリー「工芸和紙展」の時の様子
右：workshop 紙漉き体験

## 小津和紙と工芸

手漉き和紙および和紙関連小物を販売する「店舗」、「小津史料館」、多種多様な和紙文化・日本文化と楽しく触れ合う場を提供する「小津文化教室」および「小津ギャラリー」、「小津和紙照覧」、手漉き和紙の製作を体験していただく「手漉き和紙体験工房」で構成されています。3階の「小津史料館」では、1653年の創業以来、紙と小津和紙の歴史的関わりを物語る文書類、千両箱などの用具類（中央区民文化財）、約1000点の史料を無料で順次公開。「小津和紙照覧」は、日本の各地の和紙と紙漉職人を知っていただくスペースで、各地の和紙展示とともに、その和紙を使用した絵画、版画等の展示や和紙造形作品の展示も行っています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「創作こけし展」（2016年6月）、「和紙照明3人展」（2016年7月）、「屏風展」（2016年8月）など

「小津和紙照覧」にある全国の和紙見本

特 小津和紙にて、期間中商品を5%値引き

G-14

▸地図06 P.46

**三菱一号館美術館**
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

**住所** 千代田区丸の内2-6-2　**交通** JR「東京」駅より徒歩5分　http://mimt.jp　**問** 03-5777-8600（ハローダイヤル）

# 拝啓 ルノワール先生 ―梅原龍三郎に息づく師の教え

Bonjour, Monsieur Renoir; Renoir et Umehara ― Joie de peindre

［主催］**三菱一号館美術館、朝日新聞社**

**2016年10月19日（水）～2017年1月9日（月・祝）**

**休館日** 月曜（祝日の場合は開館）、年末年始（2016年12月29日～2017年1月1日）　**時間** 10:00～18:00（祝日を除く金曜、第2水曜、10月27日、1月4日～6日は20:00まで／いずれも入場は閉館の30分前まで）　**料金** 一般1600円、高・大学生1000円、小中学生500円

拝啓ルノワール先生展 ギャラリートーク▸**日程** 2016年11月1日（火）、11月8日（火）、11月29日（火）　**会場** 三菱一号館美術館内　**時間** いずれも10：30～11:00　**参加費** 無料　**申込方法** ウェブサイト参照（http://mimt.jp/event/）

拝啓ルノワール先生展 記念講演会▸**日程** 2016年11月15日（火）　**会場** コンファレンススクエア エムプラス「サクセス」（※フリードリンクサービス有）（千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル1階）　**時間** 14：00-15:30（受付開始13:30）　**講師** 嶋田華子氏（梅原龍三郎曾孫、本展学術協力者）　**定員** 120名　**参加費** 1,000円（学生無料）　**申込方法** ウェブサイト参照

展覧会を語る「拝啓ルノワール先生―梅原龍三郎に息づく師の教え」▸**日程** 2016年12月9日（金）　**会場** コンファレンススクエア エムプラス「サクセス」（※フリードリンクサービス有）（千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル1階）　**時間** 14:00～15:30（受付開始13:30）　**講師** 安井裕雄（三菱一号館美術館 学芸グループ副グループ長、本展担当学芸員）　**定員** 120名　**参加費** 無料　**申込方法** ウェブサイト参照

A ギャラリートーク、レクチャーを開催

日本の洋画界を牽引した梅原龍三郎。1908年、20歳で渡仏し、翌年ルノワールに出会った梅原は、彼を師と仰ぎ親密な関係を築きました。梅原は後に、ヨーロッパで学んだ油彩画に日本の伝統的な美術を取り入れ、高く評価されます。本展はルノワールと梅原の作品だけでなく、梅原が蒐集した作品、梅原と親交のあったビカソやルオーらの作品約80点により、近代絵画における東西の交流をご紹介します。

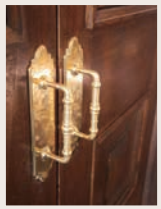
梅原龍三郎《パリスの審判》 1978年
油彩 / カンヴァス　個人蔵

## 三菱一号館美術館と工芸

1894年にジョサイア・コンドルによって設計された「三菱一号館」を復元し、2010年春に開館。主に19世紀後半～20世紀前半の近代美術を主題とする企画展を行うなかで、型紙、ジャポニスムの器などの展覧会を行ってきました。

## これまでの工芸に関する主なイベント

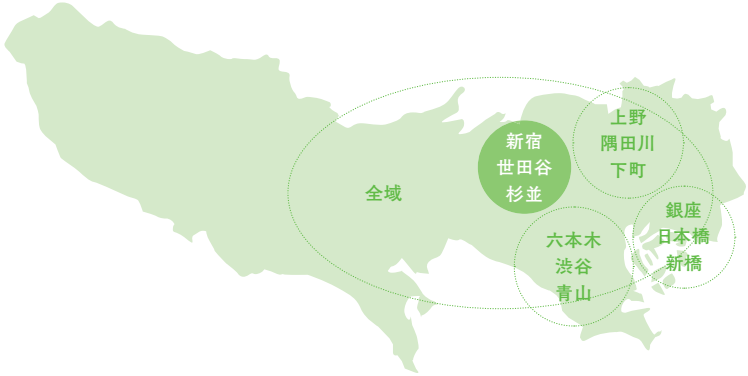
「KATAGAMI Style― 世界が恋した日本のデザイン」（2012年）、「もてなす悦び― ジャポニスムのうつわで愉しむお茶会」（2011年）



下右：光が射す格子状の階段は鋳鉄（溶かした金属を型に流し込み製造する方法）と鍛鉄（熱した鋼材を叩き製造する方法）でつくられている。 下左：建物内の取付けビスは、全て特注による真鍮製マイナスビスが取り付けられている。

S

# 新宿・世田谷・杉並
Shinjyuku , Setagaya , Suginami



**文化学園大学・文化学園大学短期大学部**
Bunka Gakuen University

**住所** 渋谷区代々木3-22-1　**交通** 各線「新宿」駅より徒歩7分　http://www.bunka.ac.jp　**問** 03-3299-2517／nakayama@bunka.ac.jp

## 平成28年度文化学園大学特別公開講座「伝統の技を革新する技術」

Bunka Gakuen University Special Open Public Lecture 2016
"New techniques to renovate traditional weaving techniques"

［主催］**文化学園大学**　［共催］**文化学園大学短期大学部**

**2017年1月11日（水）**

**会場** 文化学園大学A館201教室　**時間** 16:30～18:00（受付は16:00から）　**入場料** 無料

常に人々の生活とともにあり、心に潤いをもたらしてきた工芸。なかでも織物は技術が急速に進み、近年は手工芸と機械工芸との生産性の差が大きくなっています。そこに課題はあるものの、伝統技法のエッセンスを取入れ新機軸を模索することが、将来に渡り織物工芸を継承・発展させていくためのひとつの手法だと考え、解説を交え実作品に触れて鑑賞します。

A 伝統の技を革新する技術に関する公開講座を開催。B 実際の作品を示して、使用された技法を解説。

### 文化学園大学と工芸

文化学園大学・文化学園大学短期大学部における建学の精神は、「新しい美と文化の創造」を掲げ、開学以来今日までその意義を失うことなくこれを継承してきています。そして時代をリードする「新しい美」を追究し、教育研究活動を通じて次世代の「文化」を創造することを基本理念としています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「文化学園大学造形学部USR推進室イベント『染の小道』」（2016年）、「平成26年度文化学園大学特別公開講座『織技術の継承と発展ー平面の織組織から立体構造へー』」（2014年）

## ファッションデザイン分野のアーカイブ中核拠点形成に関するシンポジウム

**―文化庁 アーカイブ中核拠点形成モデル事業（ファッションデザイン分野）2016年度報告会―**

Symposium on the Formation of a Fashion Design Archive
Japan's Agency for Cultural Affairs
– Core Base Archive Formation Model Project（Fashion Design Field）
2016 Report Conference

［主催］**文化学園大学和装文化研究所**
［助成］**文化庁「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」**

**2017年1月21日（土）**

**会場 文化学園大学 C051教室**

時間 13：00～15：00　コーディネイター 近藤尚子（文化学園大学和装文化研究所）

A 工芸ファンをつくる普及啓発の機会（シンポジウムなど）を設ける

2015年度に文化庁事業に採択され、アーカイブ中核拠点の形成のための調査・研究を行っています。服飾系の作品を収蔵する美術館・博物館の多くは独自のデータベースを作成していますが、各館の特徴に準じたものです。その現状を調査し、アーカイブ構築に際してどのような課題があるのか検討してきました。この度は'16年度の調査報告とシンポジウムを開催します。





**文化学園服飾博物館**
Bunka Gakuen Costume Museum

**住所** 渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル　**交通** JR・京王線・小田急線「新宿」駅より徒歩7分。新宿線・大江戸線「新宿」駅より徒歩4分　http//museum.bunka.ac.jp　**問** 03-3299-2387

## 麻のきもの・絹のきもの

Ramie Kimono & Silk Kimono

**2017年1月6日（金）～2月20日（月）**

**休館日** 日曜、1月9日　**時間** 10:00～16:30（入館は16:00まで／1月20日、2月10日は19:00まで）　**入場料**一般500円、大高生300円、小中学生200円。障害者手帳をおもちの方および付添者1名まで無料　**問** 03-3299-2387

縄文や弥生時代の遺跡からの出土品や、『魏志倭人伝』の記述で知られているとおり、日本人は古代より衣服の材料として麻と絹を利用してきました。麻は高温多湿の日本の気候において良く育ち、絹もまた蚕蛾の育ちやすい環境である日本においては、自分たちで管理し身近に手に入れられる材料でした。本展では、麻と絹、それぞれが糸となるところから、織られて布となり、着物になるまでの経過をたどり、それぞれの材料の特色や染織技術との結びつきを見ていきます。

A ギャラリートークの開催。ワークショップの開催（予定）。研究会の開催（共催）。B 麻布、絹布のつくり方を原材料、道具、工程の動画・静止画と合わせて紹介。

## 第11回無形文化遺産部公開学術講座「麻のきもの・絹のきもの（仮）」

［主催］**独立行政法人国立文化財機構　東京文化財研究所、文化学園服飾博物館**

**会場 文化学園服飾博物館・文化学園クイントサロン**（仮）

※日程、プログラム等の詳細は東京文化財研究所無形文化遺産部のHP（http://www.tobunken.go.jp/ich/）をご覧ください

### 文化学園服飾博物館と工芸

日本では数少ない服飾専門の博物館です。日本をはじめ西洋、アジア、アフリカ、中東など約2万点の服飾・染織資料を収蔵しています。年4回テーマを設けた展覧会を開催し、年間を通じて世界各国の資料を見ることができます。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「時代と生きる　ー日本伝統染織技術の継承と発展ー」（2014年）、「雛人形・雛道具に映し出された雅の世界」（2014年）、「体験してみよう！（絞り染、絹糸作り、友禅染）」（2012年）、「日本の型染」（2010年）、「三井家のきものと下絵」（2009年）

小袖、江戸時代中期

特 チケット売り場にて本書のこのページのご提示で、入館料を100円引き（本展覧会会期中1回限り）

**公益財団法人 三徳庵**
The Santokuan Foundation

**住所** 新宿区左門町20　**交通** 丸ノ内線「四谷三丁目」駅、JR「信濃町」駅より徒歩約6分　http://www.santokuan.or.jp/　**問**03-5379-0753

# はじめての茶道講座

［主催］**公益財団法人三徳庵**

**2016年10月14日(金)、28日(金)、**
**11月11日(金)、12月9日(金) ※全4回**

**会場 徳友会館（大日本茶道学会本部教場）**

**時間** 13:30～16:00 **入場料** 19000円

茶道の歴史や茶席の鑑賞、点前の所作や扱う道具について、茶席での振る舞い、客作法・茶の飲み方・菓子器の扱いなど茶道の全体像を学ぶ講座。

本部教場半日体験講座
▸**日程**：2016年11月26日（土）**時間** 13:30～15:30 **参加費** 3240円
大日本茶道学会の本部教場で実際の点前を間近に見ながら、茶道具がどのように使用されているかを実際に見ることができ、しかも立礼で一服できます。

木村孝先生講演会「年末年始の晴れの日に」
▸**日程** 2016年11月29日（火）**時間** 13:30～15:00 **参加費**：4320円
木村孝氏を招き、華やかな席にふさわしい着物と帯の取り合わせや、その装いについての講演。

「抹茶を点ててみませんか」茶道体験教室
▸**日程** 2017年2月4日（土）**時間** ❶10:00～11:30 ❷12:30～14:00 ❸14:30～16:00 **参加費** 1600円
椅子で行う体験教室。お茶に興味がある人なら気軽に参加できます。

はじめての茶道講座

## 公益財団法人 三徳庵と工芸

大日本茶道学会（1898年創設）は茶道を保存するとともに公開し、茶道を親しみやすいものに発展させ、茶道文化の研究・振興に取り組み、日本特有の伝統文化として伝承しています。また、田中仙堂が提唱した「お茶から広がる和の世界」を合言葉に、日本の文化として伝えてきた茶道の「こころ」を大切に活動しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「お茶つながりがおもしろいVol.7」（2016年）、「第15回仙心会茶道工芸展」（2015年）、「第14回仙心会茶道工芸展」（2012年）、「第13回仙心会茶道工芸展」（2008年）

徳友会館 外観

茶室 三徳庵 外観





**東京おもちゃ美術館**
TOKYO TOY MUSEUM

**住所** 新宿区四谷4-20 四谷ひろば内　**交通** 丸ノ内線「四谷三丁目」駅より徒歩6分　http://goodtoy.org/ttm/　**問**03-5367-9601

# 木のおもちゃ20作家展

Japan Wood Toys Creation

［主催］**認定NPO法人日本グッド・トイ委員会**

**2016年10月1日(土)～2017年1月9日(月)**

**時間** 10:00～16:00（閉館は15:30まで）**休館日** 木曜（11月3日は開館）、12月26日～1月5日 **入場料** 800円

東京おもちゃまつり▸**日程** 2016年10月15日（土）、16日（日）**時間** 10:00～16:00 **会場** 東京おもちゃ美術館

A 木製玩具作家によるおもちゃづくりワークショップ（予定）。

守重シゲ子「かえるくん」

豊かな森と匠の技をもつ木の国、日本。世間では木製玩具といえば海外製のものが中心ですが、東京おもちゃ美術館では日本の木のおもちゃ文化を応援しようと毎年20名の木製玩具作家に声をかけ企画展を開催しています。乳幼児のガラガラ、大型玉ころがし、地域材でつくられた積み木、医療現場で使われる木製玩具など、さまざまなインスピレーションで製作された玩具を展示します。

## 東京おもちゃ美術館と工芸

戦前に建てられた旧校舎10教室を活用した体験型ミュージアム。木のぬくもりあふれる館内で、国内外の木製玩具で遊ぶことができます。「多世代交流」をテーマに、人との触れあいや会話を大切にする賑やかな美術館です。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「中国玩具とアジアのおもちゃ」（2016年）、「木育サミット」（2016年）、「郷土玩具展」（2015年）、「移動型おもちゃ美術館」（2008年～）、「おもちゃコンサルタント養成講座」（1987年～）

## S-07

▸地図13 P.61

**平成記念美術館ギャラリー**

**住所** 世田谷区桜3-25-4　**休廊日** 日曜　**時間** 10：00～18：00　**入場料** 無料　http://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/　**交通** 世田谷線「上町」駅より徒歩10分、渋谷駅バス停 渋24「成城学園前駅西口」／「大蔵ランド前」より徒歩1分　**問** 03-3426-1103

# 三田村 有純 漆藝展「黄金幻想」

**10月25日(火)～11月25日(金)**

伝統的な漆の技法を駆使して独自の世界観で制作してきた三田村有純。本展では風景彫刻、レリーフ、箱や器など約35点を発表します。同時に三田村家四代に渡る作品も展示し、明治から平成へと続く歴史と共に漆芸の未来を展観します。

三田村有純《蒼く光る頃》

# 色絵シルクロード行 武腰一憲 陶芸展

**12月1日(木)～24日(土)**

鮮やかなサマルカンドブルーが力強く優しく語り掛け、悠久の時間が流れる作品たち。その中から、陶額を中心に約70点展示します。上絵付けを家業とする九谷焼の名工・九谷庄三洞の五代目を担い、かつ、現代九谷焼を牽引する武腰一憲。シルクロードの空の色、街町のざわめきや、静かな人生が広がる、独自の世界です。

武腰一憲《月輪の器》
（第53回日本現代工芸美術展文部科学大臣賞受賞）

### 平成記念美術館ギャラリーと工芸

株式会社平成建設の創立25周年を記念して、2014年に開館した「平成記念美術館ギャラリー」は、スペインのジョルディ・セラ、初代徳田八十吉、薩摩の藪明山などの陶芸作品、明治の細密技巧の漆芸、木工といった工芸作品などの展示を行うと同時に、「WAZA」をキーワードに工芸を中心としたアーティストの発掘と育成、各種プログラムや国際交流事業等により、世界に向けた発信しています。

## S-08

▸地図13 P.60

**世田谷美術館**
SETGAYA ART MUSEUM

**住所** 世田谷区砧公園1-2　**交通** 田園都市線「用賀」駅より美術館行バスに乗車、バス停「美術館」より徒歩3分　http://www.setagayaartmuseum.or.jp/exhibition/　**問** 03-3415-6011

# 志村ふくみ―母衣（ぼろ）への回帰

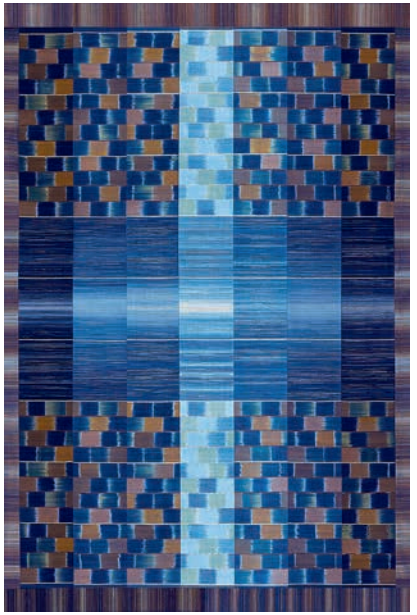
SHIMURA | FUKUMI

［主催］**世田谷美術館**（**公益財団法人せたがや文化財団**）、**京都国立近代美術館**

**前期 9月10日(土)～10月10日(月)**
**後期 10月12日(水)～11月6日(日)**

**休館日** 月曜　**時間** 10:00～18:00（入場は17:30まで）
**料金** 一般1000円、65歳以上800円、大高生800円、中小生500円、障がい者手帳をおもちの方は500円。小・中・高・大学生の障害者手帳をおもちの方および付添者1名は無料 リピーター割引　会期中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。

92歳を超えてなお現役の染織家・志村ふくみの展覧会。自然染料で染められた糸で織り上げられた作品は、多くの人を魅了し、国際的にも高く評価されています。本展では代表作を中心に、初期の作品から最新作までを一堂に展示。60年におよぶ創作の歩みを紹介するとともに、志村ふくみの魅力とその芸術の核心に迫ります。京都国立近代美術館、沖縄県立博物館・美術館に巡回した展覧会の最終会場となる本展では、当会場のための新作2点も発表されるほか、特別展示としてゲーテやシュタイナーの色彩論につながるコーナーを設けます。



《母衣曼荼羅》2016年

### 世田谷美術館と工芸

都会のオアシスといえる緑豊かな都立砧公園の一角に位置する美術館。世田谷ゆかりの工芸家の作品や、北大路魯山人の書画から器までが揃う157件のコレクションを所有しています。レストランやカフェ、ライブラリーなどの施設も充実しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「ボストン美術館　華麗なるジャポニスム展―印象派を魅了した日本の美」（2014年）、「暮らしと美術と高島屋展　世田美が、百貨店のフタを開けてみた。」（2013年）、「オルセー美術館展　パリのアール・ヌーヴォー―19世紀末の華麗な技と工芸」（2009年）、「特別展　平泉―みちのくの浄土」（2009年）、「青山二郎の眼」（2007年）など

**静嘉堂文庫美術館**
Seikado Bunko Art Museum

**住所** 世田谷区岡本2-23-1　**交通**「二子玉川」駅下車、東急コーチバス「玉31・32系統」でバス停「静嘉堂文庫」下車、徒歩約5分。小田急線「成城学園前」駅下車、二子玉川駅行きバスでバス停「吉沢」下車、徒歩約10分。　http://www.seikado.or.jp/　**問**03-5777-8600（ハローダイヤル）

# 漆芸名品展―うるしで伝える美の世界―

Selected Masterpieces of Lacquerwares from The Seikado Collection:
The Beau-ty Inherited in the World of *URUSHI*

**2016年10月8日（土）～12月11日（日）**

※作品には一部展示替えがあります
**休館日** 月曜（祝休日の場合は翌平日）　**時間** 10:00～16:30（入館は16:00まで）　**入館料** 一般1000円、大高生700円。中学生以下無料

漆の楽しい見方、教えます。《静嘉堂の巻》▸**日程** 2016年11月20日（日）　**会場** 静嘉堂文庫美術館地下講堂　**時間** 13:30～（13:15開場）　**講師** 室瀬和美氏（漆芸家・重要無形文化財〈蒔絵〉保持者）　**定員** 先着120名様（当日、開館時より整理券配布）※整理券（No.入り）は1名につき1枚のみの配布
学芸員による列品解説▸**日程** 11月23日（水・祝）・12月3日（土）11:00～、10月27日（木）・12月8日（木）14:00～　展示内容・作品について担当学芸員が解説します。（展示室または地下講堂にて）

古来、天然の美しい塗料として、あるいは接着剤・保護膜として用いられ、今日まで豊かな造形と意匠を生み出してきた“うるし”。本展は、館所蔵の日本・中国・朝鮮・琉球などの漆芸品から優品を精選、10年ぶりに公開します。特に、漆芸の傑作・重要文化財の「羯鼓催花（かっこさいか）・紅葉賀図密陀絵屏風（もみじのがずみつだえびょうぶ）」は修理後初公開となります。このほか、中国漆芸、朝鮮漆器、琉球漆芸など、“うるし”によって伝えられた美の世界を、どうぞお楽しみ下さい。

重要文化財《羯鼓催花・紅葉賀図密陀絵屏風》（羯鼓催花図）桃山～江戸時代初期（17世紀）両隻展示：11/8（火）～11/20（日）　羯鼓催花図（本図）：10/8（土）～11/20（日）　紅葉賀図：11/8（火）～12月11日（日）

### 静嘉堂文庫美術館と工芸

実業家の岩崎彌之助と小彌太の父子二代によって設立。およそ20万冊の古典籍と、世界に3点しか現存していない中国・南宋時代の国宝「曜変天目（稲葉天目）※」をはじめとする6500点の東洋古美術品を収蔵。
※本展では漆の天目台にのせて特別展示（11/8～12/11のみ）

### これまでの工芸に関する主なイベント

「茶の湯の美、煎茶の美」（2016年）、「金銀の系譜―宗達・光琳・抱一をめぐる美の世界―」（2015年）、「せいかつ動物園―いきものをめぐるイマジネーション―」（2013年）、「曜変・油滴天目―茶道具名品展―」（2013年）







**五島美術館**
The Gotoh Museum

**住所** 世田谷区上野毛3-9-25　**交通** 大井町線（各駅停車）「上野毛」駅より徒歩5分　http://www.gotoh-museum.or.jp/　**問**03-5777-8600（ハローダイヤル）

# 館蔵　茶道具取合せ展

Tea Utensils from the Gotoh Museum Collection.

**2016年12月10日（土）～2017年2月12日（日）**

**休館日** 月曜（1月9日は開館）、12月26日（月）～1月4日（水）、1月10日（火）　**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）　**入場料** 一般1000円、高・大学生700円。中学生以下は無料

ギャラリートーク「茶道具取合せ展について」（仮称）▸**日程** 2016年12月16日（金）、2017年1月20日（金）　**時間** 14:00～15:00　**会場** 五島美術館別館講堂　**定員** 椅子席100名先着順（以下同）
ギャラリートーク「茶の湯の裂」（仮称）▸**日程** 2016年12月21日（水）、2017年1月25日（水）　**時間** 14:00～15:00　**会場** 五島美術館別館講堂
ギャラリートーク「古経楼と茶の湯」（仮称）▸**日程** 2017年1月13日（金）、2月3日（金）　**時間** 14:00～15:00　**会場** 五島美術館別館講堂
茶室公開▸**日程** 2017年2月8日（水）　**時間** 11:00～16:00　**会場** 五島美術館茶室
平成28年度 第3回 陶芸講座 織部焼・越前風自然釉焼締陶器▸**日程** 2017年1月28日（土）、29日（日）　**時間** 10:00～15:00頃　**会場** 五島美術館第2講堂　**参加資格** 五島美術館美の友会会員（美の友会にはどなたでもお入りいただけます）

A ギャラリートーク・陶芸講座を開催。

《唐物円座肩衝茶入　銘　利休円座》南宋時代（13世紀）、五島美術館蔵

展示室に五島美術館の茶室（古経楼・松寿庵・冨士見亭）の床の間の原寸模型をしつらえ、館蔵の茶道具の中から名品を選び、取り合わせて展示します。今回は、桃山時代の茶人千利休（1522～91）とその弟子たちゆかりの茶道具や懐石道具など約70点を展観。また、特集展示として朝鮮半島で焼かれた井戸茶碗などの高麗茶碗を中心とした陶芸作品を展示します。

### 五島美術館と工芸

五島美術館は、東京急行電鉄の会長であった五島慶太（1882～1959）が、半生をかけて収集した日本・東洋の古美術品（明治期以前）を根幹に、1960年に開館した美術館です。現在は、国宝5件、「鼠志野茶碗　銘峯紅葉」を含む重要文化財50件を収蔵し、年間6～7回の展覧会を開催しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「特別展『瓷華明彩―イセコレクションの名陶―』」（2015年）、「特別展『存星―漆芸の彩り―』」（2014年）、「特別展『光悦―桃山の古典（クラシック）―』」（2013年）

特 入館受付で本書のこのページのご提示で、一般入館料を一名様一回に限り100円引き（他の割引との併用はできません）

**国際基督教大学博物館**
**湯浅八郎記念館**
ICU Hachiro Yuasa Memorial Museum

**住所** 三鷹市大沢3-10-2　**時間** 10:00～17:00※土曜は16:30まで開館
**休館日** 日・月曜、祝日　**交通** JR「三鷹」駅、「武蔵境」駅南口より小田急バス「ICU行」終点下車　http://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/
**入館料** 無料　**問** 0422-33-3340

# 特別展「藍の仕事着」

Japanese Indigo-dyed Work Clothes

**2016年9月6日(火)～11月11日(金)**

江戸時代以降、庶民の生活の中で広く愛用されてきた藍染の木綿。屋号を染め抜いた半纏や、絣の野良着、刺子を施したドンザなど、今日では考えられないほどの手間と労力をかけてつくられた60点を展示し、仕事着にも「美」を追い求めた日本人の心の豊かさを紹介します。

仕事着 松皮菱文・麻の葉文(木綿に藍染、寄裂、絣、絞り)

# 特別展「とり、とりどり」

Birds in Form and Design

**2017年1月10日(火)～3月10日(金)**

新年の干支「丁酉(ひのととり)」にちなんだ特別展。鶏をはじめ雀や雁、鶴など、人々の生活で身近に親しまれたさまざまな鳥の姿をあしらった工芸品の数々を展示します。

公開講座「藍の仕事着、その用と美」▸**日程** 2016年10月8日（土）**時間** 14:00～15:30 **会場** 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 **講師** 福井貞子氏(染織家・日本工芸会正会員、鳥取県無形文化財保持者)

A 染織における第一人者、福井貞子氏(日本工芸会正会員、鳥取県無形文化財保持者)による公開講座を開催。B 藍染の布にさまざまな技法(寄裂、刺子、裂織、絣、絞り、筒描、型染)をほどこした仕事着を展示。

## 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館と工芸

初代学長・湯浅八郎が蒐集した日本各地の陶磁器や染織品、木工品のほか、学内で発掘された旧石器時代から縄文時代の考古遺物などを展示しています。特別展示室では、収蔵資料をもとにしたさまざまなテーマの展示を年３回開催。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「酒の器」(2016年)、「日本の文様 10　意匠を読む」(2016年)、「昔のあかり」(2015年)、「子どもと遊び」(2015年)、「日本の色 赤・黒」(2015年)





**公益社団法人 日本工芸会**
Japan *Kōgei* Association

# 第34回 日本伝統漆芸展

34th The Exhibition of the Japanese Traditional *Urushi* works

**2017年1月11日(水)～24日(火)**

**会場 西武池袋本店**
豊島区南池袋1-28-1

**時間** 10:00～21:00※日曜は20:00まで開場 **入場料** 無料 **交通** JR「池袋」駅より1分 http://www.nihonkogeikai.or.jp **問** 03-3828-9789／honbu@nihonkogeikai.or.jp

A 列品解説を開催。

漆芸は日本を代表する工芸として、古くから芸術的にも、技術的にも高度の発達をしてきました。この貴重な伝統を継承し、一層練磨するとともに、現代に生かすことは、我々に課せられた責務であると信じます。ここに、伝統工芸の精神にそって、今日の生活に即した創意ある作品を展示し、広く人々のご清鑑を仰ぎ、漆芸の健全な発展に寄与しようとするものです。

上：石原雅員《堆漆象嵌鹿唐草文小簞笥》
下：中條伊穂理《乾漆螺鈿花鳥文漆箱「ロンド」》

## 公益社団法人日本工芸会と工芸

公益社団法人日本工芸会は、文化財保護法の精神に則り、1955年に無形文化財の保護育成を図るために、工芸作家が中心となって設立されました。技術の保存と活用を図り、文化の向上に寄与することを目的としています。現在、重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）を中心に伝統工芸作家、技術者等で組織しています。毎年日本伝統工芸展を全国12か所で開催するとともに、支部展、部会展を開催しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「第63回日本伝統工芸展」「第45回金工展」「第28回人形展」「第50回染織展」「第44回陶芸展」(2016年)

S-15

▸地図24 P.65

**西武池袋本店 アート・ギャラリー**
Seibu Ikebukuro Art Gallery

**住所** 豊島区南池袋1-28-1　**交通** JR「池袋」駅より徒歩5分（駅ビル内）
https://www.facebook.com/owanten/　**問** 03-5949-5348

# 作家による「うるし・おわん・うつわ展」

**2016年12月14日（水）～20日（火）**

**会場** 西武池袋本店　6Fアート・ギャラリー **時間** 10:00～21:00※日・祝日は20:00まで、最終日は16:00まで開場 **入場料** 無料

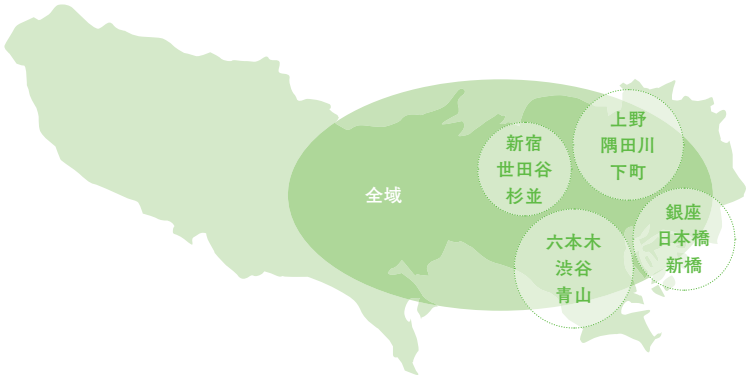
A 出品者が常に在廊して来場者に解説。

2010年より毎年末に開催している若手漆芸作家によるグループ展です。ともに人間国宝である、輪島の小森邦衛と東京の室瀬和美の門下の作家14名が出品します。「使う」ことを大切にした、漆のうつわの展覧会です。

出品作家：浅井康宏、坂本修、鷺野谷一平、志賀裕昭、清水康志、竹岡千穂、伴野崇、樋渡賢、水口咲、室瀬祐、室瀬智弥、山田勘太、余野さつき、渡辺絵美（50音順）

A

# 全域（その他）
Whole Area



特典 R-22, S-06, A-10

女子美術大学／女子美術大学短期大学部
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN／JOSHIBI COLLEGE OF ART AND DESIGN

# えどがわ伝統工芸×女子美術大学
## ―伝統工芸者と女子美生のコラボレーション作品展―

EDOGAWA Traditional Arts and Crafts × Joshibi University of Art and Design
Collaboration Work Exhibition of Traditional Craftsman and Joshibi Students

［主催］女子美術大学、東京都江戸川区　［協力］（株）CUCサポート

**2017年1月13日（金）～15日（日）**

**会場** 渋谷ヒカリエ 8/COURT
R-22（地図10 P.55）
渋谷区渋谷2-21-1

**時間** 13:00～20:00（13日）、11:00～20:00（14日）、11:00～18:00（15日）　**交通** 各線「渋谷」駅直結　**入場料** 無料（ワークショップ参加の場合は材料費が必要）　**問** 03-5340-4500

2003年からスタートした「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」は、「美大生の感性」と「伝統工芸者の技」により、現代に適応した新しい伝統工芸品を生み出すことで、伝統工芸産業の活性化を目指すものです。当プロジェクトの開発商品は、インターネットショップ「えどコレ！（楽天市場）」を始め、大手百貨店や海外店舗でも取り扱われるなど、着実な拡がりを見せています。この企画では、ここ数年間の優れたコラボレーション作品を展示・販売し、プロジェクトの紹介と伝統工芸のPRを行います。

A 展示期間中にワークショップの実施を企画。
B 展示期間中に伝統工芸品の製作実演を企画。

左上：江戸扇子、右上中：江戸風鈴、
左下：漆芸、中下：型小紋、右下：組子建具

# 伝統工芸 こどもワークショップ

Workshop of Traditional Arts and Crafts for Children

［主催］女子美術大学、女子美術大学付属高等学校　［協力］（有）篠原風鈴本舗

**2016年11月19日（土）**

**会場** 女子美術大学（杉並キャンパス）
杉並区和田1-49-8 S-06（地図24 P.65）

**時間** 13:00～15:00　**定員** 20名　**申し込み方法** 女子美術大学事業推進グループ（03-5340-4646）まで　**交通** 丸ノ内線「東高円寺」駅より徒歩8分

女子美術大学付属高等学校の3年生が大学授業の一環として伝統工芸を学び、江戸扇子と江戸風鈴を伝統工芸者の指導でデザイン・制作し、小学生への風鈴絵付けワークショップを企画実施します。

A ワークショップ「江戸風鈴の絵付け」を通して、こども達が伝統工芸に触れる機会を提供します。

# 創る、伝える、繋がる
## 女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻教員作品展

Create, Communicate, Connected. Faculty Exhibition: Joshibi University of Art and Design, Department of Design and Crafts, Concentration in Textiles, Ceramics and Glass

［主催］女子美術大学アートミュージアム、女子美術大学デザイン・工芸学科 工芸専攻
［後援］相模原市、相模原市教育委員会

**2016年12月7日（水）～12月21日（水）**

**会場**：女子美術大学アートミュージアム（女子美術大学相模原キャンパス）
A-10（地図23 P.65）
神奈川県相模原市南区麻溝台1900

**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）　**交通** 小田急線「相模大野」駅下車、「女子美術大学」行きバス乗車20分 ※平日・土曜の10:00前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗り場乗車　JR「古淵」駅下車、「女子美術大学」行きバス乗車15分　http://www.joshibi.net/museum　**入場料** 無料　**問** 042-778-6801

講演会「現代アート化する工芸」▸**日程** 2016年12月7日（水）　**時間** 15:00～16:30　**会場** 女子美術大学相模原キャンパス2号館2階224教室　**講演者** 秋元雄史（東京藝術大学大学美術館館長）

創る、伝える、繋がる 女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻教員作品展を開催します。伝統工芸から現代美術までにおよぶ、さまざまな素材や技法で表現された教員作品を一同に展示することで「女子美工芸教育の多様性」を広く一般の方々へ伝えることを目的としています。「創る」ことを「伝え」、工芸を未来へ「繋げる」という工芸の教育活動とその可能性を、展覧会を通して多くの方々にご理解いただき、現代の工芸をより身近に感じていただく機会になることを期待しています。

A 講演会を開催。B 染、織、刺、陶、ガラスの多彩な作品を展示。

吉田潤一郎

渡邊三奈子

森田麻里

### 女子美術大学と工芸

女子美術大学の工芸学科は、戦後間もない1949年、民藝運動の柳宗悦、芹沢銈介、柳悦孝らによって創設されました。「手仕事による日本の復興」と「工芸による女子の社会参加」を目的に、日本初の女子を対象とした工芸科（染織）が誕生し、大学における工芸教育の先駆的な役割を果たしていきます。また女子美術大学美術館には、旧カネボウコレクションであるコプト裂や小袖など、約12000点を収蔵しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

女子美術大学　第29回「東京国際ミネラルフェア特別展『鉱物美術・工芸、そしてナノテクノロジー』」（2016年）、「ガラス教育機関（GEN）合同作品展」（2016年）、「糸と光と風景と一刺繍を通してみる近代一」（2016年）、第40回「日本ホビーショー『日本を感じるアート展』」（2016年）、「純国産《宝絹 takaraginu》展」（2015年）


特 小津和紙にて、期間中商品を5%値引き

R-44

▶地図10 P.55

# 「想像×創造」

## ―116年の伝統と躍動する工芸女子―
## 女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻卒業・修了制作展

"Imagination × Creation" - 116 Years of Tradition & Lively Kogei-Joshi - Graduation Exhibition: Joshibi University of Art and Design, Department of Design and Crafts, Concentration in Textiles, Ceramics and Glass

［主催］**女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻**

**テキスタイルコース：2017年1月20日(金)～22日(日)**
**陶・ガラスコース：2017年1月24日(火)～26日(木)**

**会場 スパイラルガーデン**
港区南青山5-6-23

**時間** 11:00～20:00 **交通** 銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅より徒歩1分 スパイラルガーデン http://www.spiral.co.jp／女子美術大学工芸専攻 http://joshibi-crafts.net **入場料** 無料 **問**0427-78-6645

女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻、染、織、刺繍、陶、ガラスの5分野による卒業修了制作展です。作品は常に自然、身体、感情などからイメージを膨らませながら手を動かし形にしていく、「想像と創造」から生まれています。その制作過程で素材や技法に潜む思いがけない魅力を発見し、さらに想像を膨らませ答えを探していくのです。このようにして独自の発想から創作に挑み生み出された、テキスタイル、和・洋服、オブジェ、器などを発表します。伝統工芸から現代美術までの幅広い表現、これからの工芸の可能性を感じていただきたいと願っています。

B 染、織、刺、陶、ガラス，5分野の卒業・修了制作を展示。C テーブルクロスプロジェクト：隣接のスパイラルカフェにて、在校生が「朱色」を取り入れ、染・織・刺繍の技法で制作したテーブルクロスを展示。

上：「テキスタイルコース卒業制作展」（2015年）、下：「陶・ガラスコース卒業制作作品展」（2015年）

spiral 外観



**多摩美術大学／多摩美術大学美術館**
Tama Art University / Tama Art University Museum

## たまびやきⅠ
# 陶プログラム優秀作品展（学部）

"TAMABI-YAKI" selected works
by ceramic program stu-dents（Undergraduate）

［主催］**多摩美術大学 工芸学科研究室**

**2016年9月26日(月)～10月1日(土)**

**会場 ギャラリーなつか**
中央区京橋3-4-2

**時間** 11:00～18:30※最終日は17:00まで開場 **交通** 銀座線「京橋」駅より徒歩2分、有楽町線「銀座一丁目」駅より徒歩3分、JR「有楽町」駅より徒歩5分、JR「東京」駅より徒歩8分 http://homepage2.nifty.com/gallery-natsuka/natsuka/2016/tamabiyaki16.html **入場料** 無料 **問**042-679-5651

学部3、4年生の前期作品の中から優秀者7名を選抜。教育的実践の実例を優秀者の作品によって明らかにします。
出品作家：陶プログラム4年　安藤優、大井真希、太田浩子、増田結衣／陶プログラム3年　石井彩子、玖島優希、水谷汐梨

第8回たまびやき

## たまびやきⅡ
## 陶プログラム優秀作品展（大学院）
# 鯨虎（いさなこ）じょう展／王（ワン） 怡方（イファン）展

"TAMABI-YAKI" selected works
by a ceramic program stu-dent(Graduate)

［主催］**多摩美術大学 工芸学科研究室**

**2016年10月3日(月)～8日(土)**

**会場 ギャラリーなつか**
中央区京橋3-4-2

**時間**、**交通**、**入場料**、**問** 全て同上

大学院生の前期作品の中から優秀者2名を選抜し、それぞれの個展を同時開催。教育的実践の実例を優秀者の作品によって明らかにします。
出品作家：陶プログラム大学院1年・今城芙美乃（作家名：鯨虎じょう）／王 怡方

# ガラスプログラム―3年生 作品展

Glass program third grader exhibition

［主催］**多摩美術大学 工芸学科研究室**

**2017年1月18日(水)～25日(水)**

**会場 長池公園自然館 第二展示室**

八王子市別所2-58 **A-07**（**地図23 P.65**）

**時間** 9:00～17:00(閉館は16:50まで) **交通** 相模原線「南大沢」駅より京王堀内行きバス「長池小学校入口」下車 **入場料** 無料 **問**042-679-5651

工芸学科ガラスプログラム3年生による作品展。1年生から学んできた成果を発表するとともに、作品の展示方法など将来の活動に役立つことを学ぶために授業の一環として行っています。

# 金属プログラム3年生展

Metal program third grader exhibition

［主催］**多摩美術大学 工芸学科研究室**

**2017年3月6日(月)～24日(金)**

**会場 天王洲アイルセントラルタワービル**

品川区東品川2-2-24 **R-36**（**地図14 P.62**）

**時間** 8:30～20:00(閉館は19:50まで) **交通** 東京モノレール「天王洲アイル」駅中央口、りんかい線「天王洲アイル」駅B出口よりスカイウォークで直結。 **入場料**無料 **問**042-679-5651

工芸学科金属3年生による3年次後期課題自由制作の発表および展示。3年次に学外発表を経験し、学生に展覧会を行う際の知識や、学外で作品を発表する際の作品制作の意識を高め、4年次の卒業制作とその学外発表の機会となっています。

# メタルアートストリート展

Metal Art Street Exhibition

［主催］**多摩美術大学 工芸学科研究室**

**2017年3月7日(火)～12日(日)**

**会場 ギャラリーKINGYO**

文京区千駄木2-49-10 **U-23-2**（**地図07 P.49**）

**ギャラリーTEN**

台東区谷中2-4-2 **U-23-1**（**地図07 P.49**）

**WhiteGallery**

文京区千駄木2-35-2 **U-23-3**（**地図07 P.49**）

**時間** 11:00～19:00（最終日は17:00） **交通** ギャラリーKINGYO：千代田線「根津」駅、「千駄木」駅より徒歩7分／ギャラリーTEN：千代田線「根津」駅より徒歩7分／WhiteGallery：千代田線「千駄木」駅より徒歩2分 **入場料** 無料 **問** 042-679-5651

工芸学科大学院生・教職員、大学院修了生の制作の発表展示。進歩的な表現とかけ離れたジャンルとして見られがちな金工作品ですが、今まで普遍認識としてとらえられていた工芸の姿とは異なる新たな英姿を体感してもらうことで新天地の開拓を目的としています。また、技術力の高い作品を一堂に展示します。





生誕100年記念

# 染色家 岡村吉右衛門の造形と探求―祈りの徴し―

100th birth year anniversary exhibition- KICHIEMON OKAMURA The Plying Master; Representations of prayer

［主催］**多摩美術大学美術館**

**2016年12月17日(土)～2017年2月19日(日)**

**会場 多摩美術大学美術館** 多摩市落合1-33-1

**時間** 10:00～18:00(入館は17:30まで) **休館日** 火曜、12月27日～1月5日 **交通** 京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター」駅より徒歩7分 http://www.tamabi.ac.jp/museum **入館料** 300円 **問**042-357-1251

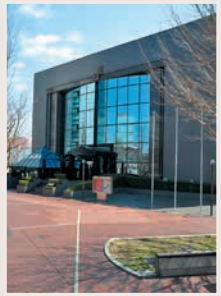
B さまざまな和紙に型紙で染めた独特の染織技法の作品を展示。C アイヌの文化や自然観をテーマとした、朱染めの型染版画作品も展示。

鳥取県出身で、民芸運動の推進者である柳宗悦の薫陶を受けたことから、工芸家の道に入り、独自の活動と作品を展開した日本を代表する染色作家であり、染色技法研究の第一人者であった岡村吉右衛門（1916-2002）。その岡村吉右衛門の生誕100年を記念する展覧会。晩年の遺作となった未公開の蝦夷絵や初期の文字絵など型染め版画を中心に、膨大なフィールドワークと著作のための資料などでその業績をたどります。

岡村吉右衛門 《蝦夷絵　狼神送り》多摩美術大学美術館蔵

## 多摩美術大学／多摩美術大学美術館と工芸

美術大学が運営する美術館として、美術、工芸、デザイン、メディア芸術などの展覧会を多く企画し、歴史的見地や未来への可能性などにも触れて、芸術や文化の多様性と拡張性について発信と例証に努めています。工芸についても世界各地や歴史的、民俗的な視点を含め、現代工芸の可能性も見据えた陶、ガラス、金工、染織、その他のテーマにも取り組んでいます。



## これまでの工芸に関する主なイベント

「タマビガラス ―キラキラ・ワクワク・ドキドキ―」（2015年）、「インドネシアの染織 生活に伝承された彩りと文様」（2014年）、「東北のオカザリー神宿りの紙飾りー」（2014年）、「日本現代ファイバーアート展 ー共鳴する繊維」（2011年）

特「生誕100年記念 染色家 岡村吉右衛門の造形と探求―祈りの徴し―」受付にて本書、または公式ウェブの特典ページのご提示で、入館無料

▸地図24 P.64

**武蔵野美術大学**
**美術館・図書館**
Musashino Art University
Museum & Library
Folk Art Gallery

**住所** 小平市小川町1-736　**休館日** 日曜、祝日　**交通** JR「国分寺」駅より徒歩3分・「国分寺駅北入口」バス停より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車、「武蔵野美術大学」下車、JR中央線「国分寺」駅で西武国分寺線「東村山」行に乗換、「鷹の台」より徒歩約18分　http://mauml.musabi.ac.jp/　**問** 042-342-6003

# あかり／AKALI：デザインされた日本の光

AKALI: The Art of Designing Light in Japan

**2016年9月5日(月)～11月12日(土)**

**会場 武蔵野美術大学美術館 展示室1、4、5**

**時間** 10:00～18:00（土日曜、特別開館日は17：00閉館）**入場料** 無料

ワークショップⅠ「あかりとひかりのお話」▸**日程** 2016年9月24日（土）**時間** 14:00～16:00 **会場** 武蔵野美術大学 第10講義室（美術館2階）**講師** 藤原 工（武蔵野美術大学 造形研究センター客員研究員／株式会社灯工舎）油や和ロウソクのような日本の伝統的なあかりの原理を、体験しながら学ぶ。 **参加方法** 参加無料（定員30名）対象年齢：8才～15才（10才以下は保護者同伴）**申込方法** 事前に電話予約（042-342-6003）。定員になり次第、締切。

ワークショップⅡ「オリジナルランプをつくろう」▸**日程** 2016年10月22日（土）**時間** 14:00～16:00 **会場** 武蔵野美術大学 第10講義室（美術館2階）**講師** 冬野朋子（アトリエ「PAPERMOON」主催）**内容**：和紙を用いて、オリジナルのあかりを手づくりする。 **参加方法** 定員30名 **参加費** 一般1,000円、本学学生500円（12歳以下無料 ただし10歳以下は保護者同伴）**申込方法** 事前に電話予約（042-342-6003）。定員になり次第、締切。

トークイベント「道具としてのあかり」▸**日程** 2016年9月5日（月）**時間** 17:00-18:00 **会場** 武蔵野美術大学 美術館ホール **参加方法** 入場無料、先着順（予約不要、直接会場へ）**出演者** 藤原 工（武蔵野美術大学 造形研究センター客員研究員／株式会社灯工舎）、小泉 誠（武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科教授）

トークイベント「祝祭とあかり」▸**日程**：2016年9月12日（月）**時間** 17:00～18:00 **会場** 武蔵野美術大学 美術館ホール **参加方法** 入場無料、先着順（予約不要、直接会場へ）**出演者** 藤原 工（武蔵野美術大学 造形研究センター客員研究員／株式会社灯工舎）、柏木 博（武蔵野美術大学 造形文化・美学美術史教授）

トークイベント「日本のあかり」▸**日程** 2016年10月8日（土）**時間** 15:00～16:00 **会場** 武蔵野美術大学 美術館ホール **参加方法** 入場無料、先着順（予約不要、直接会場へ）**出演者** 落合 勉（武蔵野美術大学 非常勤講師／照明文化研究会会長）

ギャラリートーク▸**日程** 2016年9月24日（土）/10月22日（土）**時間** 12:00～13:00 **会場** 武蔵野美術大学美術館 展示室4 **参加方法** 入場無料、先着順（予約不要、直接会場へ）

19世紀半ばに西洋技術が輸入されるまで、1000年以上にわたり日本の「あかり」は独自の進化を遂げ、光として炎をとり扱う技術に日本の文化風土が合わさって、世界でも類をみない多くの「あかり」がデザインされました。本館はあかり研究家・広瀬二郎氏が収集したあかり道具類のコレクションを所有しており、本展ではコレクション1000点以上の中から厳選し、日本の光とそのデザインのエッセンスをつかみ出します。

有明行灯（ありあけあんどん）

短檠（たんけい）　雪洞（ぼんぼり）

A「あかり／AKALI：デザインされた日本の光」にて、ワークショップ、ギャラリートークを開催。

# 面 めん／つら 民俗資料にみる顔の表現

Masks/Faces Features in Folk Art

**2016年10月17日(月)～11月12日(土)**

**会場 武蔵野美術大学美術館・図書館 民俗資料室ギャラリー（13号館2階）**

**時間** 10:00～17:00 **入場料** 無料 **問** 042-342-6006

世界中には多種多様な「面（めん）」があり、それらを用いた祭礼や儀礼、演劇もそれぞれの文化に存在する。「面（めん）」は人が目に見えない世界、神や精霊といった超自然的な存在と交信するための手段の一つといえるでしょう。一方で、「顔の造形＝面（つら）」そのものが魔除けなどの効果をもったり、誇張したり簡略化したりすることで、笑いや娯楽の対象とされるものもあります。本展では多種多様な顔をもつ民俗資料を通して、文化や歴史を凝縮した、その造形的魅力を紹介します。

「仮面」を観る－エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ上映会▸**日程** 2016年11月10日（木）**時間** 16:30～18:00 **会場** 武蔵野美術大学 美術館ホール **参加方法** 参加無料 **定員** 100名 **申込方法** 予約不要、当日の先着順に席を案内。
1951年にドイツ国立科学映画研究所で始まった映像プロジェクト「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」の中から、「仮面」に関する世界の習俗や儀礼を収録したフィルムを上映。世界のさまざまな仮面と、それを用いた文化の一端を紹介します。

河童面（千葉県）

払い面（新潟県）

A「面 めん／つら 民俗資料にみる顔の表現」にて、映像上映会を開催。

B「面 めん／つら 民俗資料にみる顔の表現」にて、日本各地の張り子の技術で作られた面を展示。

## 武蔵野美術大学 美術館・図書館 民俗資料室と工芸

図書館・美術館・博物館の各機能をあわせもつ複合施設。美術館は4万点におよぶデザイン資料や美術作品を所蔵、民俗資料室は暮らしの造形資料（民具）が9万点あまり蓄積されています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「民俗資料室ギャラリー展示21『菓子木型の造形―職人の技と美』」（2015年）、「民俗資料室ギャラリー展示18『デザインの原像としての民具Ⅱ：竹が生み出すかたち－竹の多様性と民具－』」（2014年）、「版画・陶磁コレクションハイライト展」（2013年）、「学生による布の邂逅2004巡回展」（2005年）、「『焼物』という造形 館蔵陶磁展」（2000年）

## A-18, S-14

**茶道宗和流**（〈株〉HIECAL）
Sowa-ryu

**住所** 新宿区上落合2-23-2 色離庵　**交通** 大江戸線・新宿線「中井」駅より徒歩1分、東西線「落合」駅より徒歩3分　http://www.sowaryu.jp
**問** 080-6256-7000

# 一枝窓茶事体験
## （一席七名限定）

Experience of Cha-ji in Isshi-so

**2017年1月22日（日）**
**会場 三鷹・一枝窓（いっしそう）** A-18（地図24 P.64）

**住所** 武蔵野市関前4-10-12　**交通** JR「三鷹」駅下車、関東バス（鷹30武蔵境駅行、鷹33武蔵小金井駅行）「新町一丁目」より徒歩3分　**時間** 18:30～21:30（終了時間は予定）**入場料** 無料（お子様のご参加はご遠慮ください）

宗和流十八代 宇田川宗光の茶室「一枝窓」での茶事にお招きします。今回の茶事では、初釜の茶事体験を通して茶道のなかで実際に使われている工芸作品を体感していただきます。お茶を習っていない方でも気楽にご参加いただけます。参加費は無料ですが、茶事体験後にアンケートをご提出いただきます。

一枝窓での茶事の炭点前

# 夜咄Sahan 茶飯釜体験

Experience of Sahan-gama in yobanashi Sahan

**2016年12月4日（日）～6日（火）**
**会場 夜咄Sahan（よばなし さはん）** S-14（地図24 P.65）

**住所** 新宿区上落合2-23-11 **交通** 各線「中井」駅より徒歩1分、東西線「落合」駅より徒歩3分 **時間** 18:30～21:30（終了時 間は予定）**入場料** 15,000円（お子様のご参加はご遠慮ください）**講師** 宗和流十八代 宇田川宗光

新宿区中井駅近くにある小間の立礼茶席「夜咄（よばなし）Sahan（さはん）」は、正座をしなくても茶の湯を体験できる場として、通常は紹介制で利用されています。今回は21世紀鷹峯フォーラムの一環として特別に、茶飯釜やカクテルで気楽に茶席の空間を体験でき、さまざまな「工芸」を実際の茶席の中でお楽しみいただけます。

A 茶の湯で使用する工芸品を実際に使って体感。

夜咄 sahan の内観

### 茶道宗和流と工芸

宗和流は金森宗和を祖とする茶道の流派。宗和は武家に生まれながら公家サロンと交わり、野々村仁清の茶陶や春慶塗などに代表される好みの茶道具を作らせ、独自の茶の湯を展開しました。茶道宗和流では、流派の活動のほかにも、〈株〉HIECAL 主催でさまざまな文化に触れられるイベントを開催しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「初音の会」（2015年～、毎月1回）、「色離庵陶芸教室」（2015年～、年2～3回）、「色離庵座禅会」（2014年～、毎月1回）、「凍玉軒座禅会」（2013年～、年2～3回）



## U-25, S-12, G-13, G-05, A-14

特典

**梅若サロン（梅若能楽学院）**
**株式会社 道明**

**住所** 梅若サロン（梅若能楽学院）：中野区東中野2-6-14 株式会社 道明：台東区東上野2-11-1　**交通** 梅若サロン（梅若能楽学院）：丸ノ内線「中野坂上」駅、JR「東中野」駅より徒歩10分　株式会社 道明：JR「上野」駅・「御徒町」駅より徒歩5分、千代田線「湯島」駅より徒歩3分　http://www.jtcia.org　**問** 090-1806-2293（高橋信枝）

# 日本の工芸、文化を「体感・体験・発見」するワークショップ

［主催］**特定非営利活動法人 日本伝統文化交流協会**

**2016年12月23日（金）～25日（日）**
**時間** 10:30～17:30

「組紐でストラップ作り体験」12月23日（金）、24日（土）、25日（日）▸午前午後各1回ずつ 1回定員20名（時間制、要予約）**会場** 株式会社 道明 U-25（地図07 P.49）**体験料** 2000円
「本格的な機織り体験」▸**日程** 12月24日（土）・25日（日）午前4名、 午後6～7名（時間制、要予約）
**会場** 梅若サロン S-12（地図24 P.65）**体験料** 1500円
「日本刺繍体験」▸**日程**：12月24日（土）・25日（日）10:30～12:30、13:30～17:30 一回定員4名（時間制、予約優先）**会場** 梅若サロン S-12 **体験料** 3000円
日本刺繍 紅会 第25回かがりはずし展▸**日程** 2016年10月30日（日）～11月5日（土）**会場** 東京交通会館 地下1階ゴールドサロン G-13（地図05 P.45）
道明展 飛鳥・奈良時代の色彩 II ▸**日程** 11月23日（水）～11月29日（火）**会場** 日本橋高島屋 G-05（地図06 P.47）／**日程** 12月1日（木）～12月6日（火）**会場** 横浜高島屋 A-14（地図20 P.66）

A ワークショップを開催。

日本人に1000年以上も愛され続けている絹は組紐、織物、刺繍といったさまざまな手法により生活に彩りを与えてきました。その3つの工芸技術の体験と作品販売を上野の株式会社道明と東中野の梅若サロンで同時開催します。子どもでも気軽に体験できるワークショップなので親子で参加も歓迎。クリスマスにちなんだ色糸でオンリーワンの作品づくりを体験できます。
※体験は午前午後に分けて事前予約（時間制）が必要になるので、お問い合わせください。

### 梅若サロン（梅若能楽学院）と工芸

1999年に設立した当会は、日本の文化（能楽・伝統工芸品・邦楽・日本歌曲など）への理解と普及を促進し、若い世代の人々の育成に努めるとともに、日本だけでなく海外の人々への紹介や交流を通じて、豊かな国際社会の実現に貢献することを目的として運営しています。日本の伝統工芸・芸能を広く社会に発信する「つなぐ文化プロジェクト」や、日本歌曲の普及のための「Foster Japanese Songs」を通して日本伝統文化の振興の実現を目指しています。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「動く伝統工芸美術館～歌と絹が織りなす日本の真髄」（2014、2016年の計3回）

上：梅若サロン 外観、下：道明 外観

特 3つのプログラムを全て体験した方に、クリスマスプレゼントをご用意

# JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2016

**2016年10月22日(土)～**
**11月3日(木)**

［主催］**伝統的工芸品産業振興協会**

東京・名古屋・大阪の衣食住を扱うライフスタイルショップが伝統的工芸品の産地とコラボレーション。各ショップの個性でセレクトした日本各地の伝統的工芸品を展示販売や実演を行う。また、各店舗を巡るスタンプラリーの実施や、会場において製作実演やワークショップを実施します。

01

02

03

04

05

06

07

08

09

**A-16-01 伝統工芸 青山スクエア**
伝統工芸 青山スクエア×肥後象がん **住所** 港区赤坂8-1-22 赤坂王子ビル1F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 年中無休(年末年始を除く) **問** 03-5785-1301 ▸**地図09 P.52**

**A-16-02 陶香堂**
陶香堂×大阪浪華錫器 **住所** 港区赤坂3-21-12 **時間** 10:00～19:00（平日）※期間中／11:00～17:00（土曜、日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3583-3915 ▸**地図09 P.53**

**A-16-03 かぐれ 東京ミッドタウン**
かぐれ 東京ミッドタウン×美濃和紙 **住所** 港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン ガレリア2F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5772-3568 ▸**地図09 P.52**

**A-16-04 THE COVER NIPPON**
THE COVER NIPPON×京鹿の子絞 **住所** 港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン ガレリア3F E-0305 **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5413-0658 ▸**地図09 P.52**

**A-16-05 STYLE MEETS PEOPLE**
STYLE MEETS PEOPLE×雄勝硯 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3F D-0302 **時間** 11:00～21:00 **定休日** 1月1日のみ **問** 03-5413-3705 ▸**地図09 P.52**

**A-16-06 TIME & STYLE MIDTOWN**
TIME & STYLE MIDTOWN×久留米絣 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5413-3501 ▸**地図09 P.52**

**A-16-07 菱屋カレン ブロッソ 東京ミッドタウン店**
菱屋カレン ブロッソ×江戸木版画 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン3F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 不定休 **問** 03-5413-0638 ▸**地図09 P.52**

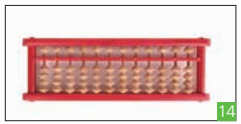
**A-16-08 テネリータ 東京ミッドタウン店**
テネリータ×秋田杉桶樽 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア4F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-6447-0181 ▸**地図09 P.52**

10

11

12

13


14

15

16

17

18

19

20

**A-16-09 LIBECO HOME**
LIBECO HOME×別府竹細工 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3F D-0305 **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5647-8358 ▸**地図09 P.52**

**A-16-10 WISE・WISE tools**
WISE・WISE tools×大阪唐木指物 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5647-8355 ▸**地図09 P.52**

**A-16-11 ファーバーカステル東京ミッドタウン**
ファーバーカステル東京ミッドタウン×加茂桐箪笥 **住所** 港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 東京ミッドタウンに準ずる **問** 03-5413-0300 ▸**地図09 P.52**

**A-16-12 TSUTAYA TOKYO ROPPONGI**
TSUTAYA TOKYO ROPPONGI×金沢箔 **住所** 港区六本木6-11-1 六本木ヒルズ 六本木けやき坂通り **時間** 7:00～28:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5775-1515 ▸**地図09 P.52**

**A-16-13 MA by So Shi Te**
MA by So Shi Te×石見焼 **住所** 港区南青山2-22-15 クリヤマビル1F **時間** 11:00～19:30（土曜、日曜、祝日は19:00まで） **定休日** 期間内無休 **問** 03-3401-0922 ▸**地図10 P.55**

**A-16-14 マスターウォール 東京**
マスターウォール 東京×播州そろばん **住所** 港区南青山2-26-11 青山グラフティ2F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 水曜（祝日の場合は営業） **問** 03-6804-1133 ▸**地図10 P.55**

**A-16-15 FLANNEL SOFA 東京ショールーム**
FLANNEL SOFA×京友禅 **住所** 港区南青山3-10-32-2F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 水曜 **問** 03-6438-9811 ▸**地図10 P.55**

**A-16-16 プレインピープル青山**
プレインピープル青山×三川内焼 **住所** 港区南青山5-3-5 **時間** 10:30~20:00 **定休日** 会期中無休 **問** 03-6419-0978 ▸**地図10 P.55**

**A-16-17 銀座夏野 青山店**
銀座夏野 青山店×庄川挽物木地 **住所** 渋谷区神宮前4-2-17 **時間** 10:00～20:00（月曜～土曜）／10:00～19:00（日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3403-6033 ▸**地図10 P.55**

**A-16-18 青山ブックセンター本店**
青山ブックセンター本店×箱根寄木細工 **住所** 渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F **時間** 10:00～22:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5485-5511 ▸**地図10 P.55**

**A-16-19 玉川堂 青山店**
玉川堂×十日町絣 **住所** 港区南青山5-11-5 住友南青山ビル1F **時間** 11:00～20:00 **定休日** 火曜 **問** 03-5778-3020 ▸**地図10 P.55**

**A-16-20 風呂敷専門店むす美**
風呂敷専門店むす美×宮城伝統こけし **住所** 渋谷区神宮前2-31-8 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 水曜 **問** 03-5414-5678 ▸**地図10 P.55**

### A-16-21 銀座夏野 新丸の内ビル店
銀座夏野 新丸の内ビル店×一位一刀彫 **住所** 千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル4F **時間** 11:00～21:00（月曜～土曜）／11:00～20:00（日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3211-1184 ▸地図06 P.46

### A-16-22 かまわぬ 丸の内店
かまわぬ×奥会津編み組細工 **住所** 千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル4F **時間** 11:00～21:00（月曜～土曜）／11:00～20:00（日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3211-5277 ▸地図06 P.46

### A-16-23 LES TOILES DU SOLEIL
LES TOILES DU SOLEIL×土佐和紙 **住所** 千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル4F **時間** 11:00～21:00（月曜～土曜）／11:00～20:00（日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-5224-8656 ▸地図06 P.46

### A-16-24 ザ・コンランショップ 丸の内店
ザ・コンランショップ 丸の内店×伊勢形紙 **住所** 千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビル2・3F **時間** 11:00～21:00（月曜～土曜）／11:00～20:00（日曜、祝日） **問** 03-5288-6600 ▸地図06 P.46

### A-16-25 HIGASHIYA GINZA
HIGASHIYA GINZA×本場大島紬 **住所** 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル2F **時間** 売店11:00～19:00　茶房11:00～22:00（ラストオーダー21:00）／11:00～19:00（日曜、祝日、ラストオーダー18:00） **定休日** 月曜（月曜が祝日の場合は翌日） **問** 売店03-3538-3230　茶房03-3538-3240 ▸地図05 P.45

### A-16-26 銀座きもの青木
銀座きもの青木×駿河竹千筋細工 **住所** 中央区銀座1-8-2 **時間** 12:00~20:00（月曜～土曜）／12:00~18:00（日曜） **定休日** 年末年始 **問** 03-3564-7171 ▸地図05 P.45

### A-16-27 AKOMEYA TOKYO
AKOMEYA TOKYO×大谷焼 **住所** 中央区銀座2-2-6 **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-6758-0270 ▸地図05 P.45

### A-16-28 ノリタケ・大倉陶園 銀座店
ノリタケ・大倉陶園 銀座店×東京銀器 **住所** 中央区銀座3-4-12 文祥堂ビル2F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-3567-6121 ▸地図05 P.45

### A-16-29 東京鳩居堂 銀座本店
東京鳩居堂 銀座本店×川連漆器 **住所** 中央区銀座5-7-4 **時間** 11:00～19:00（月曜～土曜）／11:00～19:00（日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3571-4429 ▸地図05 P.45

### A-16-30 安藤七宝店 東京支店
安藤七宝店×甲州手彫印章 **住所** 中央区銀座5-6-2 **時間** 10：00～18：30（平日）／10：30～18：30（土曜、日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3572-2261 ▸地図05 P.45

### A-16-31 スローハウス・銀座
スローハウス・銀座×信楽焼 **住所** 中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座5F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-3575-5800 ▸地図05 P.45

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

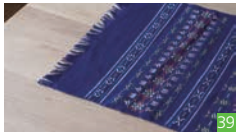
33

34

35

36

37

38

39

40

41

### A-16-32 かぐれ東急プラザ銀座
かぐれ東急プラザ銀座×喜如嘉の芭蕉布 **住所** 中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座6F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-6264-5210 ▸地図05 P.45

### A-16-33 プレインピープル東急プラザ銀座
プレインピープル東急プラザ銀座×山形鋳物 **住所** 中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座3F **時間** 11:00~21:00 **定休日** 会期中無休 **問** 03-6264-5418 ▸地図05 P.45

### A-16-34 DEAN & DELUCA
DEAN & DELUCA×会津塗 **住所** 千代田区有楽町2-5-1 ルミネ有楽町 ルミネ2-1F **時間** 10:00～21:30（平日）／10:00～21:00（土曜、日曜、祝日） **定休日** 不定休 **問** 03-6212-0070 ▸地図05 P.45

### A-16-35 日比谷花壇 日比谷公園店
日比谷花壇 日比谷公園店×内山紙 **住所** 千代田区日比谷公園1-1 **時間** 9:00～19:00（平日）／9:00～18:00（土曜、日曜、祝日） **定休日** 期間中無休 **問** 03-3501-8783 ▸地図05 P.44

### A-16-36 フィアット松濤
フィアット松濤×二風谷アットゥシ **住所** 渋谷区松濤2-3-13 **時間** 9:30～18：30 **定休日** 火曜 **問** 03-6804-9555 ▸地図10 P.54

### A-16-37 HAREM TOKYO
HAREM TOKYO×江戸からかみ **住所** 目黒区青葉台3-13-14 グランデュオ青葉台B1 **時間** 03-6455-1375 **定休日** 水曜 **問** 03-6455-1375 ▸地図12 P.58

### A-16-38 ザ・コンランショップ 新宿本店
ザ・コンランショップ 新宿本店×阿波和紙 **住所** 新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー3・4F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 水曜（祝日の場合は営業） **問** 03-5322-6600 ▸地図11 P.56

### A-16-39 ノルディックフォルム
ノルディックフォルム×読谷山花織 **住所** 新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー内 リビングデザインセンターOZONE5F **時間** 10:30～19:00 **定休日** 水曜（祝日の場合は営業）、夏季・年末年始 **問** 03-5322-6565 ▸地図11 P.56

### A-16-40 成城学園前 HANSEL&GRETEL
成城学園前 HANSEL&GRETEL×小代焼 **住所** 世田谷区成城6-5-34 成城コルティー2F **時間** 10:00～21:00 **定休日** 期間中無休 **問** 03-5429-2525 ▸地図13 P.60

### A-16-41 FLAXUS
FLAXUS×伊万里・有田焼 **住所** 武蔵村山市榎1-1-3 イオンモールむさし村山1F **時間** 10:00～22:00 **定休日** イオンモールむさし村山に準ずる **問** 042-590-4222 ▸地図24 P.64

## 伝統的工芸品産業振興協会
伝統的工芸品産業の振興を図るための中核的機関として、国、地方公共団体、産地組合などの出捐により設立された財団法人。受け継がれてきた全国の工芸品産業の発展に努めるとともに、消費者が工芸品を正しく理解することを目的として、国、地方公共団体、産地組合などの協力を得てさまざまな事業を行っている。

# TOKYO CRAFT MAP

老舗工芸店やライフスタイルショップ、セレクトショップ、ギャラリーなど、東京には日本全国の手仕事に触れるさまざまな入口があります。毎年春に開催する「東京工藝月間」。これまでに2回開催され、表参道・原宿エリアから目黒・世田谷エリア、下町エリアまで約40店舗が参加し、冊子「TOKYO CRAFT MAP 2016」を配布し好評を博しました。このMAPは期間が終了した後も、片手に東京をめぐり、作家の企画展や知らなかった店に足を伸ばしながら、自分にあった入口から「工藝の今」に触れるきっかけとなっています。

http://tokyocraftmap.jp

## 表参道·原宿エリア

01

02

03

04

05

06

07

08

### A-17-01 Style-Hug Gallery［すたいる-はぐ ぎゃらりー］

**住所** 渋谷区千駄ヶ谷3-59-8 原宿第2コーポ208 **時間** 11:00～18:00 **定休日** 不定休（展示会期中は無休）**問** 03-3401-7527　展示会期間のみオープンする器ギャラリー。緑に囲まれた古いコーポの2階で営業しています。 ▸地図10 P.55

### A-17-02 shizen［しぜん］

**住所** 渋谷区神宮前2-21-17 **時間** 12:00～19:00 **定休日** 火曜、年末年始 **問** 03-3746-1334　古い小さな2階建て家屋の器店。土ものから絵付け、ガラス、金属、漆、さまざまな器を展示販売しています。 ▸地図10 P.55

### A-17-03 LT shop［えるてぃー しょっぷ］

**住所** 渋谷区神宮前3-38-11 原宿ニューロイヤルマンション2F-212 **時間** 15:00～20:00（月曜～土曜）／12:00～19:00（日曜、祝日）**定休日** 不定休 **問** 03-3401-0302　リトアニアと日本の文化やものづくりを相互に紹介する「from East to East Project」運営のセレクトショップ。リトアニア製の工芸品やデザイン、書籍などを取り扱っています。 ▸地図10 P.55

### A-17-04 べにや民芸店［べにやみんげいてん］

**住所** 港区南青山2-7-1 ホームズ飛驒1F **時間** 10:00～19:00 **定休日** 水曜 **問** 03-5875-3261　創業50年。日常使いの器やかごなどを扱う民芸店。併設ギャラリーでは民・工芸に関わる企画展も開催しています。 ▸地図10 P.55

### A-17-05 かぐれ表参道［かぐれおもてさんどう］

**住所** 渋谷区神宮前4-25-12 MICO神宮前 **時間** 11:30～20:00 **定休日** 不定休 **問** 03-5414-5737　天然素材の衣服や作家の器、食品などを紹介している。店の内装や什器は作家・海野毅氏の手によるものです。 ▸地図10 P.55

### A-17-06 LANTIKI centraaaaal［らんちき せんとらる］

**住所** 渋谷区神宮前5-45-12 **時間** 12:00～20:00 **定休日** 不定休 **問** 03-5766-8415 「真のクロージングのパイプ役に徹する」をコンセプトに1993年に神戸でオープン。国籍、ジャンル、トレンドを超えたスタイルを提案しています。 ▸地図10 P.55

### A-17-07 VA-VA CLOTHING & VARIETY［ばーばくろーじんぐ あんど ばらえてぃ］

**住所** 渋谷区神宮前5-45-6 GT表参道ビル1F **時間** 12:00～20:00 **定休日** 不定休 **問** 03-6434-1373　オーナーの地元・九州の陶器など、日本のプロダクトにこだわってセレクトした品が並ぶ。オリジナルのシャツも販売しています。 ▸地図10 P.55

### A-17-08 BLOOM & BRANCH AOYAMA［ぶるーむ あんど ぶらんち あおやま］

**住所** 港区南青山5-10-5 第1九曜ビル101 **時間** 11:00～20:00 **定休日** 年中無休 **問** 03-6892-2014 「和洋折衷」をコンセプトとして、「次の世代に残したいと思えるモノ」をていねいに集めた、衣食住のセレクトショップです。 ▸地図10 P.55

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

### A-17-09 うつわ謙心［うつわけんしん］

**住所** 渋谷区渋谷2-3-4 スタービル青山2F **時間** 11:00～20:00 **定休日** 水曜 **問** 03-6427-9282　「個性的」「繊細」な作品を中心に、若手現代作家20～30名の作品を展示販売している。 ▸地図10 P.55

## 目黒·世田谷エリア

### A-17-10 PARTY［ぱーてぃ］

**住所** 目黒区駒場2-9-2 **時間** 12:00～19:00（展示会中11:00～19:00）**定休日** 不定休 **問** 03-3467-6830　毎日のごはんをより楽しく、心なごむものにしてくれる作家ものの器を提供しています。 ▸地図10 P.54

### A-17-11 Lion Pottery［らいおん ぽたりー］

**住所** 目黒区中央町2-35-18 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 日曜、月曜 **問** 03-6331-0708　国立市より移転してきた路地裏のうつわ屋。作家もの、民窯を問わず、日々の暮らしを彩る実用的な器が並んでいます。 ▸地図12 P.58

### A-17-12 yūyūjin［ゆうゆうじん］

**住所** 目黒区鷹番3-4-24 **時間** 11:00～19:00（平日）／11:00～18:00（日曜、祝日）**定休日** 月曜 **問** 03-3794-1731　1985年にオープンし、今年で31年目。民窯を中心に、普段使いできる器をセレクトしています。 ▸地図12 P.58

### A-17-13 CLASKA Gallery & Shop "DO"［くらすかぎゃらりーあんどしょっぷ"どー"］

**住所** 目黒区中央町1-3-18 CLASKA 2F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 年中無休 **問** 03-3719-8124 伝統工芸品から現代作家の器、ファッションアイテムまで、今の暮らしに映える品々を集めたライフスタイルショップです。 ▸地図12 P.58

### A-17-14 宙［そら］

**住所** 目黒区碑文谷5-5-6 **時間** 11:00～18:00 **定休日** 火曜、水曜 **問** 03-3791-4334 コンセプトは「お気に入りの器を使って楽しい毎日を」。陶磁器を中心に、ガラス、木工、漆など約50名の作家の器を取り揃えています。 ▸地図12 P.58

### A-17-15 ギャラリー·セントアイヴス

**住所** 世田谷区深沢3-5-13 **時間** 12:00～18:00（展示会中11:00-18:00）**定休日** 月曜～水曜 **問** 03-3705-3050　バーナード・リーチと濱田庄司が英国セントアイヴスに築窯して約百年。その流れを汲む英国の陶芸家を中心に、常設と企画展で紹介しています。 ▸地図13 P.61

### A-17-16 工藝 器と道具 SML［こうげい うつわとどうぐ えすえむえる］

**住所** 目黒区青葉台1-15-1 AK-1ビル1F **時間** 12:00～20:00（平日）／11:00～20:00（土曜、日曜、祝日）**定休日** 不定休 **問** 03-6809-0696　残し、伝えたいもの。生活にあわせ変化していくもの。そんな陶磁 器、硝子、木工、型染など、日本各地の工藝品が揃っています。 ▸地図12 P.58

### A-17-17 益久染織研究所 中目黒店［ますひさそめおりけんきゅうじょ なかめぐろてん］

**住所** 目黒区青葉台1-8-10 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 水曜 **問** 03-6427-0665 自然栽培の綿を人の手で糸に紡ぐ。糸や布からタオル、衣類 まで扱う、やさしい肌ざわりの手紡ぎ木綿専門店です。 ▸地図12 P.58

### A-17-18 MIGRATORY［みぐらとりー］

**住所** 目黒区上目黒2-44-10 1F **時間** 12:00～21:00 **定休日** 月曜 **問** 03-6303-3272　日々の暮らしに彩りを。丁寧につくられた手仕事ものの日用雑貨を中心に、国内外からさまざまなアイテムをセレクトしています。 ▸地図12 P.58

A-17-19 **monsen**[もんせん]
**住所** 世田谷区玉川3-20-10 メリス玉川PART2-201 **時間** 12:00～18:00 **定休日** 火曜、水曜（祝日の場合は営業） **問** 03-3708-9311　器と雑貨の小さなお店。暮らしを楽しく、いつの時代にも使える、シンプルで味わいのあるものを取り扱っています。 ▸地図13 P.61

## 中央線エリア

A-17-20 **MARKUS**[まるくす]
**住所** 武蔵野市吉祥寺本町2-18-15 武蔵野カントリーハイツ112 **時間** 11:00～20:00 **定休日** 不定休 **問**0422-27-2804　日本の手仕事や暮らしに寄りそう新しい工芸の形を、その背景にある物語とともに紹介しています。 ▸地図24 P.65

A-17-21 **Vada antiques**[うぁだ あんてぃーく]
**住所** 武蔵野市吉祥寺本町1-30-6 B1F **時間** 12:00~19:00 **定休日** 火曜 **問** 0422-23-6690　ヨーロッパのアンティーク家具や古道具、日本の作家ものの器や沖縄の器やちむんなどを取り扱っています。 ▸地図24 P.65

A-17-22 **器と道具 つみ草**[うつわとどうぐ つみくさ]
**住所** 武蔵野市吉祥寺南町2-20-3 吉祥寺フラット1F **時間** 12:00～20:00（1月～3月は19:00まで） **定休日** 月曜、火曜（祝日の場合はその翌日） **問** 0422-24-9585 民陶や作家ものの器、かごやホウキなどの生活雑貨、郷土玩具など、日本各地の手仕事を紹介しています。 ▸地図24 P.65

A-17-23 **zakka 土の記憶**[ざっか つちのきおく]
**住所** 杉並区阿佐谷南1-34-11 2F **時間** 11:00～19:00 **定休日** 水曜、木曜 **問** 03-3311-6200　素材を大切にした手仕事のモノ。日々の暮らしのなかで気軽に使えて愛着がわいてくる器や雑貨を取り揃えています。 ▸地図24 P.65

A-17-24 **モノ・モノ**
**住所** 中野区中野2-12-5 メゾンリラ104 **時間** 11:00～18:00 **定休日** 月曜～水曜 **問** 03-3384-2652　工業デザイナーの秋岡芳夫が1971年に創設。日本人の生活様式にあわせたオリジナル家具と昭和期の名作クラフトを販売しています。 ▸地図24 P.65

## 下町エリア

A-17-25 **暮らしの道具 谷中 松野屋**[くらしのどうぐ やなか まつのや]
**住所** 荒川区西日暮里3-14-14 **時間** 11:00～19:00（平日）／10:00～19:00（土曜、日曜、祝日） **定休日** 火曜（祝日は営業） **問** 03-3823-7441　大量生産品ではない、美術工芸品でもない、町工場や農村の職人たちがつくる素朴な日用品を取り扱っています。 ▸地図07 P.49

A-17-26 **TSUGIKI**[つぎき]
**住所** 文京区千駄木2-7-13 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 火曜 **問** 03-5832-9313 富山県を主軸にした伝統工芸士の作品や蔵出しの古家具に加え、アウトドアやストリートカルチャーを提案しています。 ▸地図07 P.49

A-17-27 **classico**[くらしこ]
**住所** 台東区谷中2-5-22 山岡ビル102 **時間** 12:00～19:00 **定休日** 火曜 **問** 03-3823-7622　長い年月人々に愛され育まれてきたもの、次世代に残し伝えていきたいものを紹介するジャンルを超えた道具店。 ▸地図07 P.49

A-17-28 **組む 東京**[くむ とうきょう]
**住所** 千代田区東神田1-13-16 **時間** 12:30～19:00 **定休日** 不定休 **問** 03-5825-4233　器、文具、インテリアアイテムなど、暮らしを彩るものづくりや生活デザイン製品を販売。企画展やワークショップなども行っています。 ▸地図04 P.42

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

A-17-29 **watari**[わたり]
**住所** 江東区牡丹3-7-4 1F **時間** 12:00～19:00 **定休日** 火曜 **問** 03-5809-9586 織りや刺繍の布を中心に、国・時代を超えて受け継がれてきたたくさんの美しい手仕事を紹介しています。 ▸地図17 P.63

A-17-30 **かまわぬ 浅草店**[かまわぬ あさくさてん]
**住所** 台東区浅草1-29-6 **時間** 10:30～19:00 **定休日** 不定休 **問** 03-6231-6466 本染てぬぐいと暮らしの道具を国内外から集めたコンセプトショップ。2階ギャラリーでは毎月イベントも開催。 ▸地図03 P.40

A-17-31 **SyuRo**
**住所** 台東区鳥越1-15-7 **時間** 12：00～19：00 **定休日** 日曜・祝日（仕入れにより不定休） **問** 03-3861-0675　日本の伝統や職人さんの技術を、「SyuRo」のフィルターを通して、日常使いの雑貨として提案しています。 ▸地図04 P.42

## 銀座エリア

A-17-32 **クープスタンド**
**住所** 中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座6F **時間** 11:00～21:00 **定休日** 不定休 **問** 03-6264-5617　日本各地の手仕事による日用品、現代のデザイナーによるプロダクトまで、愛着を持って長く使い続けたい、美しく機能的なアイテムを集めた衣食住のセレクトショップです。 ▸地図05 P.45

A-17-33 **銀座 たくみ**[ぎんざ たくみ]
**住所** 中央区銀座8-4-2 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 日曜、祝日 **問** 03-3571-2017 日本と世界の手仕事の中から、名もない職人たちが生み出す風土に根ざした素晴らしい工藝品を提供しています。 ▸地図05 P.45

## 新宿エリア

A-17-34 **備後屋**[びんごや]
**住所** 新宿区若松町10-6 **時間** 10:00～19:00 **定休日** 月曜、第3土曜とその翌日（5、8、11、12月を除く） **問** 03-3202-8778　陶磁器や染織品、漆器、紙工品、ガラス器、郷土玩具など、日本各地の民藝品を取り揃えています。 ▸地図11 P.57

A-17-35 **jokogumo**[よこぐも]
**住所** 新宿区白銀町1-6 1F **時間** 12:00～18:30 **定休日** 日曜、月曜 **問** 03-5228-3997　作り手や産地、ものづくりの背景を伝えることを大切に考え、自然素材の手仕事の道具を中心に販売しています。 ▸地図08 P.50

## 池袋エリア

A-17-36 **小鹿田焼ソノモノ**[おんたやきそのもの]
**住所** 豊島区長崎4-25-7 **時間** 11:00～18:30 **定休日** 日曜 **問** 03-3958-5231 大分県日田市の山あいで江戸時代からつくられている、小鹿田焼の器を紹介しています。 ▸地図24 P.65

A-17-37 **knulpAA**[くぬるぷえーえー]
**住所** 練馬区石神井町1-21-16 **時間** 11:00～19:00 **定休日** 不定休 **問** 03-3996-8533　陶磁器、硝子、木工作家による個展を中心に、日々の生活に奥行きが出るモノを提供しています。 ▸地図24 P.65

特典

## A-01

▸地図16 P.63

**紙の博物館**
Paper Museum

**住所** 北区王子1-1-3　**交通** JR「王子」駅より徒歩5分、南北線「西ヶ原」駅より徒歩7分、荒川線「飛鳥山」駅より徒歩3分、都バス（王40甲・王55・草64系統）でバス停「飛鳥山」より徒歩4分、北区コミュニティバスでバス停「飛鳥山公園」より徒歩2分
http://www.papermuseum.jp　**問**03-3916-2320

# 小川和紙手漉き実演会

Demonstration of Ogawa-washi hand-made papermaking

**2016年11月3日（木）**

**時間** 13:30～15:30　**講師** 谷野裕子（埼玉伝統工芸士）
申込不要（随時見学可。1F講堂まで直接お越しください）
**入館料** 大人300円、小中高生100円

埼玉県小川町で伝承されている手漉き和紙の細川紙は、1978年に国の重要文化財に指定され、2014年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。その技術を受け継ぐ埼玉伝統工芸士、谷野裕子氏による小川和紙の実演会を行います。

小川和紙手漉き実演会
（実演：埼玉伝統工芸士・谷野裕子氏）

# 紙で旅するニッポン～九州・中国編～

Traveling Japan guided by "Paper" - Kyusyu and Chugoku -

**2016年9月17日（土）～2017年3月5日（日）**

**時間** 10:00～17:00（入館は16:30まで）　**入場料** 大人300円、小中高生100円　**休館日** 月曜（祝休日の場合は翌日）、11/4（金）、11/24（木）、12/26（月）～1/6（金）、2/14（火）

日本各地の製紙業（和紙・洋紙）やさまざまな製品・工芸品などについて紹介する「紙で旅するニッポン」展の第三弾。九州・中国地域の製紙工場や、守り受け継がれる伝統産業としての和紙や紙工芸品について紹介します。

A 企画展やイベントを開催。　B 手漉き和紙の道具や材料を展示し、製作工程を紹介。

型染絵「現代日本紙漉場地図」（西）／岡村吉右衛門画／昭和34年（1959）

和紙づくりを楽しもう▸**日程** 2016年10月10日（月）　**時間** 13:00～15:00　**会場** 紙の博物館 1F講堂
小川和紙手漉き実演会▸**日程** 2016年11月3日（木）　**時間** 13:30～15:30　**会場** 紙の博物館 1F講堂
「紙で旅するニッポン～九州・中国編～」ミュージアムトーク▸**日程** 2016年12月3日（土）、2017年1月28日（土）　**時間** 14:30～15:00　**会場** 紙の博物館 4F企画展示室

### 紙の博物館と工芸

1950年にわが国の洋紙発祥の地である東京・王子に設立された、世界有数の紙専門の博物館。紙の製造工程や種類、紙の歴史、紙の工芸品について和洋問わず展示。和紙づくりの道具や原料、各産地の和紙の見本なども見ることができます。

### これまでの工芸に関する主なイベント

「木版画の美～今に生きる職人の技～」（2016年）、「紙で旅するニッポン～北海道・東北編～」（2015年）、「紙で旅するニッポン～関東・甲信編～」（2014年）、小川和紙「楮かしき」体験（2014年）、「金唐紙展～上田尚作品展～」（2014年）

特 受付にて本書このページのご提示で、入館料2割引

## A-02

▸地図16 P.63

**瑞玉ギャラリー**
Suigyoku Gallery

**住所** 板橋区板橋2-45-11　**休廊日** 会期中無休、通常は水・日曜、祝日　**時間** 10:00～18:00※最終日は17：00まで開廊　**入場料** 無料　**交通** JR「板橋」駅より徒歩10分、三田線「板橋区役所前」駅より徒歩8分、東上線「下板橋」駅より徒歩7分　http://www.suigyoku.com/gallery.html　**問** 03-3961-8984／suigyoku@gns-net.jp　隣接して作家物の器を使用するフレンチレストラン「仏蘭西舎すいぎょく」　http://www.suigyoku.com　**問**03-3963-7611

# Δημιουργος（デミウルゴス）

Demiurgos

**2016年11月13日（日）～19日（土）**

デミウルゴスとはギリシャ語の職人・工匠・創造者という意味をもちます。“現代のデミウルゴス”として期待されている3名の東京藝術大学出身のオブジェ作家による展覧会。土、釉薬、顔料などの素材を自分のものにすべく真摯に取り組んで完成した作品を紹介。オブジェ、茶陶・花器・食器を中心に展示。
参加作家：黒田高通、角谷啓男、高岡太郎

# 椎名勇 作陶展

Isamu Shiina Ceramic Exhibition

**2016年12月11日（日）～17日（土）**

左より、椎名勇《白金彩白釉桃彩茶碗》、《白金彩白釉黒彩茶碗》、《金彩白釉黄彩茶碗》

東京藝術大学大学院陶芸専攻修了後、恩師の薦めで栃木県那須に入りその後独立。以来一貫して自然との共生・形と文様の一体化をモットーに灰釉の青、鉄釉の茶色を生かした作品を制作。オブジェ的な花生、柔らかな色調の茶碗、動物をイメージした土鍋など多彩なラインナップを予定。

### 瑞玉ギャラリーと工芸

閑静な住宅街に約40年前にオープンした工芸専門のギャラリー。常設スペースで唐津、備前、萩、信楽、焼締、粉引、灰釉、青磁、色絵、染付などの陶芸をはじめ、さまざまな技法の漆芸、その他金工、ガラスなどの作品も多く取り扱っています。毎月個展・グループ展を企画開催。

**たましん歴史・美術館**
TAMASHIN ART MUSEUM

**住所** 国立市中1-9-52 たましん国立支店6F　**交通** JR「国立」駅より徒歩1分　http://www.tamashin.or.jp　**問** 042-574-1360／info@tamashin.or.jp

# 東洋古陶磁展

［主催］**公益財団法人たましん地域文化財団**

**2016年9月20日(火)～12月4日(日)**

**会場 たましん歴史・美術館**

**休館日** 月曜、祝日　**時間**：10:00～18:00（入館は17:30まで）　**料金** 一般100円。中学生以下は無料

ギャラリートーク▸**日程** 2016年11月11日（金）　**会場** たましん歴史・美術館（申込不要・要入館券）　**時間** 14:00～15:00

「東洋古陶磁展」では、日本、中国、朝鮮の古陶磁の中から伊万里・鍋島など日本古陶磁、宋・明・清時代の中国古陶磁、高麗・朝鮮王朝時代の朝鮮古陶磁のほか漆工芸品併せて全54点を展覧します。また、たましんコレクションから、画中に陶磁器が描かれた絵画を展示します。

C 上絵付けに朱色を用いた伊万里、鍋島の色絵磁器を展示。

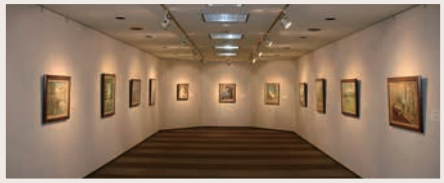
左：《色絵椿青海波文皿》鍋島、江戸時代（17～18世紀）
右：《色絵S字文水注》伊万里、江戸時代（17～18世紀）

## たましん歴史・美術館と工芸

たましん歴史・美術館は、多摩信用金庫を設立母体とする公益財団法人たましん地域文化財団が運営する登録博物館です。多摩地域を代表する作家の作品をはじめ、絵画・彫刻・浮世絵や、日本・中国・朝鮮の古陶磁を含めて約3000点を所蔵し、コレクションによる企画展を年4～5回行っています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「東洋古陶磁展」（2015年）







**玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館**
Tamagawa University College of Arts
Tamagawa University Museum of Education

**住所** 町田市玉川学園6-1-1　**時間** 9:00～17:00（入館は16:30まで）　**入館料** 無料　**交通** 小田急線「玉川学園前」駅より徒歩15分　www.tamagawa.jp/campus/museum/　**問** 042-739-8656／museum@tamagawa.ac.jp

# 「みる・さわる・つくる・つかう
## ―焼き物大好きの未来世代育成プログラム〈焼き物大好き！子供作品展〉」

Exhibition of Ceramic Plates by Future Pottery Lovers: Children's Perspective on Ceramics

**2016年10月31日(月)～11月13日(日)**

**会場 玉川大学教育博物館**

焼き物をつくり、使い、愛する未来世代を育成するプロジェクトです。今回は焼き物の❶対話型鑑賞、❷ハンズ・オン体験、❸皿の制作、❹出来上がった作品を料理盛り付けに使用する―つまり焼き物のすべてを小学校4～6年生が継続的に楽しく体験することで、子供たちのなかに育った焼き物へのまなざしを、展覧会という形で見ていただきます。彼らの作品と言葉、そして彼らの表情などの記録から、工芸教育のあるべき姿を探ります。

A ワークショップ（8月に開催済）と展覧会（ワークショップの成果発表）を開催。

## 玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館と工芸

玉川大学は創立以来、調和の取れた人間形成のための芸術教育を行い、そこから社会のなかで機能する芸術を支える幅広い人材育成を目指しています。人間の生活に密着した工芸は、このミッションにふさわしく、その新たな教育方法を模索しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「ミュージアム・コレクション展2011」（2011年）、「現代能面・狂言面三人展／髙津紘一・伊藤通彦・岩崎久人」（2010年）

**土鈴工房 鈴蔵**
Dorei artier SUZUKURA

**住所** 練馬区石神井町5-13-28(石神井公園ふるさと文化館隣) **交通** 池袋線「石神井公園」駅より徒歩7分、JR「荻窪」駅から西武バス **問** 電話・FAX：03-6913-2729

# 土鈴・触れて聞いて語ろう

DOREI (Japanese pray Bell) Touch, Hear, and Discuss

**2016年11月3日(木・祝)、5日(土)、6日(日)、8日(火)**

**会場 土鈴工房 鈴蔵**

**時間** 13:30～15:30 **参加費** 一般500円、子供(12歳以下)300円(お持ち帰り土鈴代) **定員** 各回10名 **申込締め切り** 10月30日(日)

A ワークショップ開催。

土鈴は約4000年前の遺跡からも発掘されます。縄文人の心にも響いていた土鈴は今もつくられています。工房で土鈴を手にとって触れ、耳で音色を聞き、製作工程もご覧ください。土鈴は「100年後に残る工芸でしょうか」皆さんとお話ししてみましょう。お気に入りの素地土鈴にお気に入りの紐を付け、お持ち帰りできます。

## 土鈴工房 鈴蔵と工芸

土鈴は土器づくりの技術でつくられています。土鈴工房 鈴蔵では、手びねりと型づくりの方法で土鈴を製作しており、ミュージアムコーナーも開設しております。収蔵展示品は、社寺仏閣の授与土鈴、観光おみやげ土鈴、愛好家がプレゼントや交換目的で製作したオリジナル土鈴など、日本全国古今東西津々浦々の品々です。見学ご希望の方はご予約をお願いいたします。

**町田市立博物館**
Machida City Museum

**住所** 町田市本町田3562 **時間** 9:00～16:30 **交通** JR・小田急線「町田」駅下車、町田バス「藤の台団地」行きに乗りバス停「市立博物館前」下車、徒歩7分 http://www.city.machida.tokyo.jp **問** 042-726-1531／bunspo011@city.machida.tokyo.jp

## 青野武市作品受贈記念展
## —ガラスに、彫る— 日本のグラヴィール

Japanese Glass Engraving from the 19th Century to Today

[主催]町田市立博物館 [後援]日本ガラス工芸学会

**2016年9月10日(土)～11月27日(日)**

**時間** 9:00～16:30 **休館日** 月曜 **入場料** 一般300円、障害者手帳をおもちの方150円。中学生以下は無料

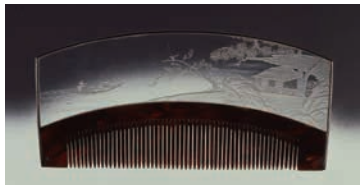
講演会「父、青野武市の生涯と作品」▸**講師** 青野覚氏(明治大学法学部長・教授) **日程** 2016年11月6日(日) **時間** 14:00～15:30 **会場** 町田市立博物館2階講堂(エレベーターなし) **定員** 60名 町田市イベントダイヤル(Tel.042-724-5656)にて要予約、高校生以上要入館料

ギャラリー・トーク(担当学芸員による展示解説)▸**日程** 2016年11月26日(土) **時間** 14:00～14:30 **会場** 町田市立博物館1階展示室 予約不要、高校生以上要入館料

町田華道協会によるいけばな展示▸**日程** 2016年11月15日(火)～11月27日(日) **時間** 9:00～16:30 **会場** 町田市立博物館1階エントランスホール グラヴィールが施された器に花を生けて展示します

B ビデオやサンプルなどで、グラヴィールの制作工程を紹介。

「グラヴィール」とは、銅盤などの回転工具でガラス表面を削り、絵画的な文様を表す技法です。本展覧会は、近代日本を代表するグラヴィール作家のひとりである青野武市(1921-2011)の作品87点が町田市に寄贈されたことを記念して開催されます。江戸・明治期に作られたものから現代の作家の作品まで、確かな技術に裏打ちされた繊細かつ優美な作品約120点をご紹介します。



右：青野武市《金赤被枝垂桜文花器》、町田市立博物館蔵(青野覚氏寄贈)
左：《鼈甲台銀縁ギヤマン帰去来図櫛》、サントリー美術館蔵

## 町田市立博物館と工芸

市内の遺跡から出土した埋蔵文化財および市内の民家に伝わる民俗資料など、先人たちが遺した貴重な資料を収集・保存・展示する施設として、1973年に「町田市郷土資料館」として開館しました。その後、美術工芸品などの展示も含め、より広範囲な事業が行えるように1976年「町田市立博物館」と改称しました。現在では、ガラス、東洋陶磁器、懐中時計、大津絵といった美術工芸品を含め約1万点の資料を収蔵しています。

## これまでの工芸に関する主なイベント

「インドネシアファッション展」(2016年)、「中国陶磁うつくし展」(2016年)、「懐中時計展」(2016年)、「国立能楽堂コレクション展」(2015年)、「沖縄の工芸展」(2015年)

特 2016年10月22日～2017年1月29日の期間、受付にて本書のご提示で、絵葉書1枚プレゼント
(お一人様1回限り、先着200名様まで)

A-18

# 三井ゴールデン匠賞

2015年に創設され、2年に1度開催されるこの賞は、日本の伝統文化を継承しつつも、革新的アイデアを積極的に取り入れることでさらに発展させている個人、団体を表彰することを目的としています。応募は自薦と他薦。技術、革新性・アイデア性、作品のクリエイティブ・美・デザイン、有用性、国際性、継続性などを基準に厳正な審査を行います。第1回目となる今回は2016年2月に発表され、5組の受賞者、さらにそのなかから「グランプリ」、「モストポピュラー賞」各1組が決定しました。

「伝統×イノベーション」の担い手に注目と称賛が集まる機会を創りたいーそんな想いから、「三井ゴールデン匠賞」を創設。次回は2017年に公募、2018年の発表となります。

## 第1回「三井ゴールデン匠賞」(2015年度)受賞者

**グランプリ**

**株式会社 能作**

代表：能作克治

高岡銅器／富山県高岡市

※団体として受賞

**モストポピュラー賞**

**株式会社 岩鋳**

代表：岩清水 晃

南部鉄器／岩手県盛岡市

※団体として受賞

**杉原吉直**

株式会社 杉原商店

越前和紙／福井県越前市

**立川裕大**

株式会社 t.c.k.w

伝統技術ディレクター

**福島武山**

九谷焼／

石川県能美市

### 三井広報委員会

三井グループ企業 25 社で構成し、さまざまな文化活動および広報活動を通じて、国際交流や地域社会の活性化に貢献するとともに、社会の繁栄と福祉に寄与する活動を推進しています。

三井広報委員会 会員会社▶三機工業　新日本空調　三井住友建設　サッポロビール　東レ　王子ホールディングス　デンカ　三井化学　日本製鋼所　三井金属　東洋エンジニアリング　三井造船　商船三井　日本ユニシス　三井物産　三越伊勢丹ホールディングス　三井住友海上　三井住友銀行　三井住友ファイナンス＆リース　JA三井リース　三井生命　三井住友トラスト・ホールディングス　三井不動産　三井倉庫ホールディングス　エームサービス

第1回「三井ゴールデン匠賞」(2015年度) 受賞者





イベントページで、紹介したところ以外にも東京には多くの工芸の充実した施設があります。その一部をご紹介します。

**美術館・博物館**／工芸作品のコレクションや、工芸に関わる展覧会がみられるミュージアム

- 宮内庁三の丸尚蔵館　千代田区
- 出光美術館　中央区
- 三井記念美術館　中央区
- 大倉集古館（改修中）　港区
- 富田染工芸（東京染ものがたり博物館）新宿区
- つまみかんざし博物館　新宿区
- 永青文庫　文京区
- 講談社野間記念館　文京区
- たばこと塩の博物館　墨田区
- 杉野学園衣裳博物館　品川区
- 目黒区美術館　目黒区
- 川本喜八郎人形ギャラリー　渋谷区
- d/47 MUSEUM　渋谷区
- 刀剣博物館　渋谷区
- 板橋区立美術館　板橋区
- 練馬区立美術館　練馬区
- 大名時計博物館　足立区
- 中近東文化センター　三鷹市
- 澤乃井櫛かんざし美術館　青梅市
- 旧白州邸 武相荘　町田市
- 中村研一記念 はけの森美術館　小金井市
- 平櫛田中美術館　小平市

**ギャラリー、百貨店**／工芸作品を多く扱うギャラリー・ショップ

- うつわ花田　千代田区
- 現代陶芸寛土里　千代田区*
- 大丸ミュージアム　千代田区
- FORUM ART SHOP／EXHIBITION SPACE A.P.J.　千代田区*
- MOORIT 千代田区
- 山田松香木店　千代田区
- AC ギャラリー　中央区
- うおがし銘茶 茶の実倶楽部　中央区
- ギャラリーおかりや　中央区
- ギャラリーこちゅうきょ　中央区
- ギャラリー田中　中央区*
- ギャラリー東京ユマニテ　中央区
- ギャルリ・プス　中央区*
- 銀座一穂堂サロン　中央区
- 銀座黒田陶苑　中央区*
- 銀座・和光　中央区
- gungendo　中央区
- 工芸むら田　中央区*
- 香老舗 松榮堂　中央区
- SUS Gallery　中央区
- SILVER SHELL　中央区
- 中川政七商店本店　中央区
- 日々　中央区*
- 日本橋高島屋　美術部　中央区*
- 日本橋三越　中央区
- pragmata　中央区
- 松屋銀座　中央区
- LIVETART　中央区
- azabujúban Gallery　港区*
- 器楓　港区
- ギャラリー酉福　港区
- サボア・ヴィーヴル　港区*
- 桃居　港区
- 桃林堂画廊　港区
- 布　港区
- 備前焼ギャラリー青山　港区
- 伊勢丹新宿店　新宿区
- 柿傳ギャラリー　新宿区
- ラ・ロンダジル　新宿区
- Hacoa　台東区
- ギャラリー空箱　渋谷区
- 小山登美夫ギャラリー　渋谷区
- 炎色野　渋谷区
- Pond Gallery　目黒
- 器・ギャラリー たち花　大田区
- D&DEPARTMENT INC.　世田谷区
- Hidari Zingaro　中野区
- ブックカフェ 6次元　杉並区
- みずのそら　杉並区
- FUURO東京　豊島区
- ババグーリ本店　江東区
- 伝統工芸カフェ・アルティザン　江戸川区

**書店**／工芸関係の書籍、図録が多く並ぶ、新刊および古書店

- 風月洞書店　千代田区
- 悠久堂書店　千代田区
- 澤口書店　千代田区
- 小宮山書店　千代田区
- ボヘミアンズギル　千代田区
- LIXIL ブックギャラリー　中央区
- 森岡書店　中央区
- 閑々堂　中央区
- 代官山TSUTAYA　渋谷区

**アーカイブ**／工芸関係の書籍、図録、および映像などが見られるアーカイブ

- 東京国立近代美術館工芸館 資料室　千代田区
- 国立新美術館アートライブラリー　港区
- 東京都現代美術館 美術図書室（休館中）　江東区

**ホテル**／室内および共有空間などに工芸作品が展示されたり、調度品で使用、またイベントなどが行われる機会が多いホテル

- ザ・キャピトルホテル東急　千代田区
- ザ・プリンス・ギャラリー　千代田区
- ザ・ペニンシュラ東京　千代田区
- 星のや東京　千代田区
- ホテルニューオータニ 東京　千代田区
- パレスホテル東京　千代田区
- パークホテル東京　港区

**webサイト**／つくり手が見える、工芸のサイト

- コトモノミチ
- panorama

『全国市町村要覧』の順に準じ、同一区市町村では50音順

*の付いたギャラリーは「21世紀鷹峯フォーラム in 東京」のPR等でご協力いただいている施設です

重要文化財「洛中洛外図屏風」／林原美術館
DNP独自の高精細複製「伝匠美®」は、
高精細デジタル技術と、伝統工芸の技を融合させることで、
精緻な再現性と耐久性を両立させた、文化財複製です。

「伝匠美®」はDNP京都太秦文化遺産ギャラリーにてご覧いただけます。

# 歴史を未来に つなぐ技術。

形のあるもの、無いものに関わらず、
先人の叡智と想いが宿る文化遺産を後世へ伝えること。

私たちは、これまで培ってきた印刷技術と情報技術を生かし、
かけがえのない文化遺産の保存と継承に貢献しています。

金箔上に直接印刷することで金雲の質感・立体感を忠実に再現しています。

DNPenguin

未来のあたりまえをつくる。
DNP

大日本印刷株式会社

水と生きる SUNTORY

最高にプレミアム。
ザ・プレミアム・モルツ

The PREMIUM MALT'S

STOP! 未成年者飲酒

ストップ！未成年飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒はなによりも適量です。のんだあとはリサイクル。 サントリービール株式会社 http://suntory.jp/PREMIUM/

人を、想う力。街を、想う力。 三菱地所

Dynamic Harmony
Tokyo Marunouchi

# 新しい私に出会う、三菱一号館美術館

赤煉瓦の建物は、三菱が1894年に建設した「三菱一号館」を復元したもの

明治27年竣工当時の旧三菱一号館

一号館広場

併設しているCafé1894の様子

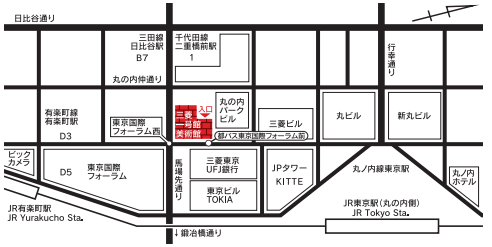
近代美術中心の企画展を年3回開催。コレクションは、建物と同時代の19世紀末西洋美術を中心に収蔵。

三菱一号館美術館
MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

## 三菱一号館美術館

〒100-0005東京都千代田区丸の内2-6-2

お問合せ：03-5777-8600（ハローダイヤル）
美術館サイト：http://mimt.jp
公式twitter　ichigokan_PR




●JR「東京」駅（丸の内南口）徒歩5分 ●JR「有楽町」駅（国際フォーラム口）徒歩6分 ●東京メトロ千代田線「二重橋前」駅（1番出口）徒歩3分 ●東京メトロ有楽町線「有楽町」駅（D3/D5出口）徒歩6分 ●都営三田線「日比谷」駅（B7出口）徒歩3分 ●東京メトロ丸ノ内線「東京」駅（地下道直結）徒歩6分

# 21世紀鷹峯フォーラム in 東京
# 「工芸を体感する100日間」ガイドブック


監修・発行 | 「100 年後に残る工芸のために」普及啓発実行委員会＋
オールジャパン工芸連携 東京／京都／金沢実行委員会

発行日 | 2016 年 10 月 22 日

編集 | 坂井基樹＋浅野靖菜［坂井編集企画事務所］、
永峰美佳、永澤浩子、佐藤恵美、齊藤佳代、市川浩人、小澤泰子、藤本弥生

デザイン | 松田行正＋梶原結実＋倉橋弘

地図 | 河合理佳

英訳 | 澤口えりか

印刷・製本 | 大日本印刷株式会社

DTP | アドエイム



**お問い合わせ**

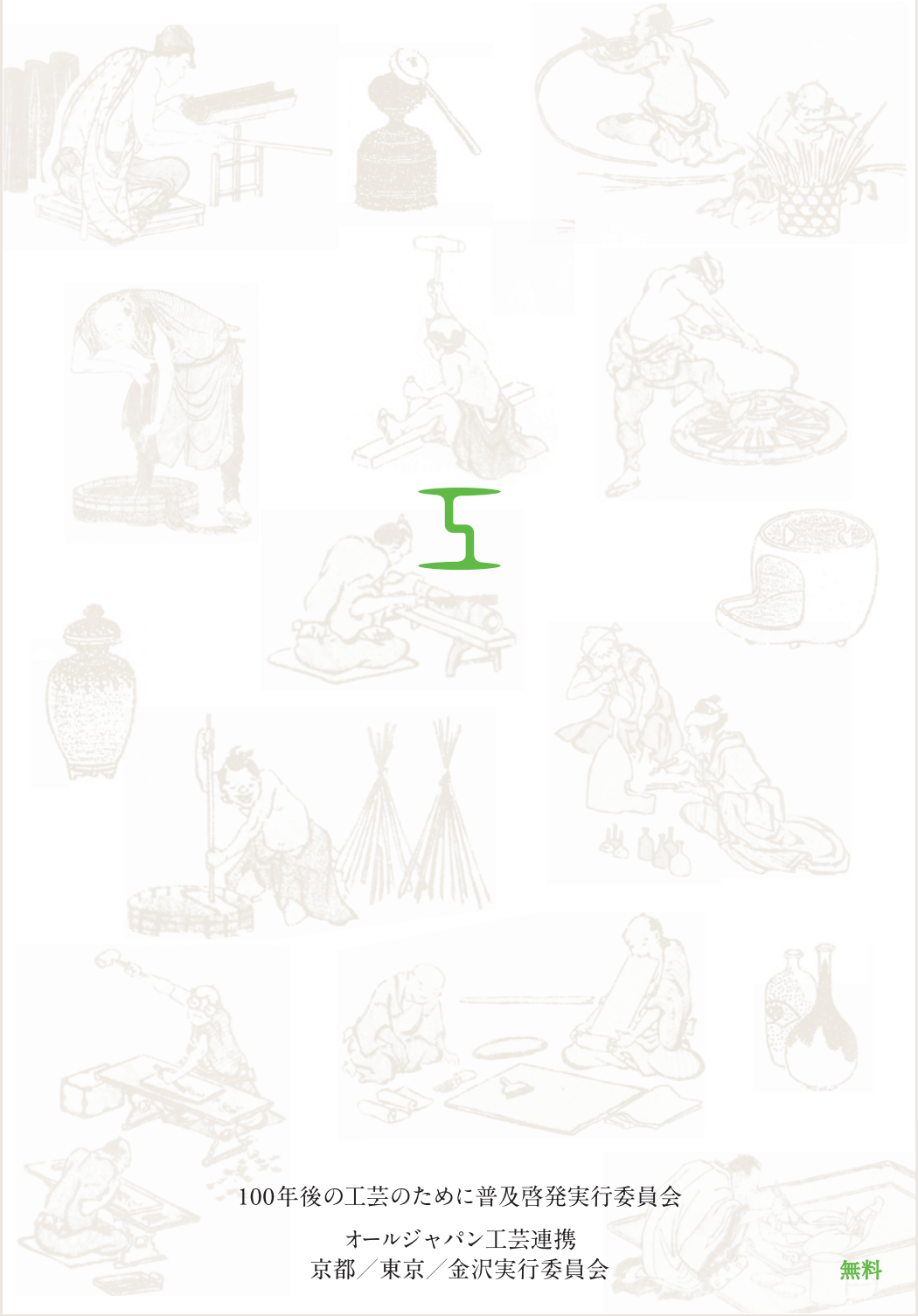
「100年後に残る工芸のために」普及啓発実行委員会

事務局担当：重光　女子美術大学（杉並キャンパス）
〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8
TEL:03-5340-4646　FAX: 03-5340-4546
Mail:apgs@venus.joshibi.jp

オールジャパン工芸連携 東京／京都／金沢実行委員会

事務局：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-3-12 壱番館 3 階
TEL：03-3573-3339　FAX：03-3573-3315
Mail：info@thecreationofjapan.or.jp


http://takagamine.jp/2016_tokyo/



100年後の工芸のために普及啓発実行委員会

オールジャパン工芸連携
京都／東京／金沢実行委員会

無料